



巻頭レビュー

本家の底力
を見た!



6

英語版でも欲しくなる
Tungsten T

OS 5、Bluetooth、ボイスレコーディング機能を搭載

10

普段着で使うPalm
Zire

シェイプアップしたPalm本来のデザイン&機能

「シンプル」
を体現



special

14

特集1 ハードやソフトの仕組みがわかる

Palmまるごと大事典

69

特集2 バックアップだけじゃもったいない!

Palm で持ち歩こう
メモリーカード(得)活用術

81

特集3 簡単! 確実! だから安心!

**データ・ソフト・設定の
クリエNX移行術**

news

40

Palmのニュースをピックアップ!
information

46

機種別ニュース
m500 Magazine m500 的携帯電話活用計画

47

Visor Magazine Treo 90でAir H" SDカードを使う

48

CLIE Magazine TPOに合わせてフォントを替えよう!

49

OS 5 Magazine 使えなくなったHackをソフトの使いこなして補う! **新連載**

66

ベストBUYへの道しるべ
新製品ハード&ソフトレビュー

useful

- 52 無線LANはホントに使える？
実験しました街角ホットスポット
- 60 いろいろあるけど、どの方法が一番早い？
入力王決定戦
マックユーザーのための
- 94 **パームわんわん寺子屋**
97 **パームの達司** (人?)
- 126 Documents to Go **教室**
第3回 関数の使い方を学ぼう
- 128 **てのひら通信生活**
- 130 **FAQ Palm なんでも相談所**
- 132 **To Go サイト案内板**
- 134 **用語辞典**
- 136 **周辺機器&ソフトカタログ**
- 140 **Palm デバイスカatalog**

variety

- 45 Palm Fan.com **オフラインレポート**
- 58 子供だけに使わせるのはもったいない！
ラップトップ型 Palm デバイス「Dana」の魅力
- 92 **GOGO Palm Gamers!**
- 96 **パームファッション専門学校**
NS Basicで始めるプログラミング
- 98 **目指せ！ パームウェア作家**
CodeWarriorでマスターする
- 102 **パームウェア開発テクニック**
- 106 いちPalmユーザーからの提言
Palm Reading Palm 第二期黄金時代の幕開けか
- 107 お待ちしています、読者の声
Palm Powerwed Voice

palmware

- 44 **パームウェア対応速報**
- 50 **パームウェアランキング**
- 64 **パームウェア教習所** PicDia
使い心地のいいソフトをゲットしたい！
- 88 **パームウェア真剣勝負 ショッピングリスト**
- 110 **新着パームウェアピックアップ**
- 112 **厳選パームウェア 300**

present

- 56 **Webで答えてプレゼントをもらおう！**
読者プレゼント
- 106 **特別付録 CD-ROM の使い方**

【特別付録小冊子】

パーム航空・機長(伊藤正宏)書き下ろし
日本パーム界のインサイドストーリー
プロジェクト・パーム



本家の底力を見た！
英語版でも欲しくなる

Tungsten T

OS 5、Bluetooth、ボイスレコーディング機能を搭載



CLIE PEG-NX

シリーズに若干の後れを

取りはしたものの、本家の米パー

ム社からもPalm OS 5.0を搭載した新製品

「Palm Tungsten T」が米国で発売された。CPUには

米テキサス・インスツルメンツ社のARMベースCPU「OMAP

1510」を採用。ボディがスライドする独特の本体デザインに、5-Way

ナビゲーターボタン、内蔵Bluetooth、ボイスレコーダー機能を搭載した。NX

シリーズと比べると、自己主張するようなマルチメディア系の機能はほとんどなく、従来通

りオーガナイザーとしての機能を中心に堅実な進化を遂げたマシンと言える。国内での発売は未

定だが、英語OS版にて新たに搭載された機能を中心にTungsten Tの魅力に迫ろう。

文 難波茂広、編集部 Photo Shinohara Takashi / Pacia 協力 秋葉館PDA

「Tungsten T」の最大の特徴は、そのスライダーデザインだろう。閉じたボディはソニー(株)のCLIE PEG-SJ30(以下、SJ30)に匹敵するほど小さくなる。Palm m500シリーズと比べると厚みこそ増すが、縦が小さくなったことでSJ30同様ホールド感は向上している。

スライドさせるとシルクエアアが現れる。スライドさせなければ、文字入力もできないし、シルクボタンのタップもできない。この弱点を補うために、「5-Wayナビゲーター」ボタンにさまざまな操作が割り当てられている。スライド機構といえば、「ザウルス(MI-E21)」(シャープ(株))などのキーボード搭載ザウルスがおなじみだが、同機のように表面のカバーだけがスライドするのではなく、本体そのものが縦に伸び、中に空洞ができる。

液晶の明るさは、シルクエアアの輝度ボタンで呼び出すダイアログで調整する。スライダー位置の右端で最高輝度に、左端ではバツ

クライトがオフになる状態まで細かに調整可能だ。なお、ハイレゾ液晶ソフトなら、CLIEと同じようにたくさんの情報を1画面に表示できるが、CLIEハイレゾ対応ソフトならハイレゾ表示できるわけではなく、Palm OS 5のハイレゾモードに対応している必要がある。

ユニバーサルコネクターのおかげでPalm m500シリーズ用のサードパーティー製周辺機器では、純正モデム、「SnapConnect 500

(PC9664-500) (株アイ・オー・データ機器)、「コミュニケーションカードアダプター(HPD-PMCP) (株ハギワラシスコム)、「Guyver (シーエフ・カンパニー(株))が問題なく動作することを確認した。背面の固定ラッチはスライドする側に実装されているので、これらの機器を装着したままでもスライドできる。なお、CPUの「OMAP 1510」はARMプロセッサにDSPを搭載したものである。

Spec Tungsten T

OS	Palm OS 5.0(英語版)
CPU	OMAP1510(クロック周波数不明)
メモリー	4MB(フラッシュ)/16MB(RAM)
インターフェース	赤外線ポート、Bluetooth、SDカードスロット、ヘッドホンジャック、ユニバーサルコネクター
ディスプレイ	反射型TFTカラー液晶(バックライト搭載)
表示解像度/表示色	320×320ドット、6万5000色
外形寸法	約幅76.2×高さ101.6(クローズ時)、121.1(オープン時)×奥行き15.2ミリ
重さ	158.76グラム
ボディカラー	シルバー
電源	リチウムポリマー充電電池(内蔵)
付属品	クレードル、ACアダプター、プラスチックカバー
価格	499ドル

ヘッドホンジャック

ボイスメモボタンの脇には、ヘッドホンジャックが搭載された。ヘッドホンを接続すると、アラームなどの音がヘッドホンを通じて聞こえるが、標準ではこのヘッドホンを積極的に利用するようなオーディオアプリケーションは収録されていない

スタイラス

スタイラスの頭の部分を軽くロックすると15ミリ程度伸びるので、伸びた部分をつまむようにして取り出せる。本体ボディーの縦の長さが短くなったことで、今までよりも短いスタイラスしか収納できないが、スタイラスに伸縮機構を実装することでその欠点を補っている

電源ボタン

上面

SD / マルチメディアカードスロット

カードは従来とは反対に、ラベル面を液晶側に向けて入れる。SDIOカードはドライバーがPalm OS 5に対応している必要があるようで、「AH-S101S (DDIポケット機)」は動作しなかった

マイク

ボイスメモボタン

標準で「VoiceMemo」の起動が割り当てられており、同ソフトの起動中はボタンを長押ししている間だけ、マイクで録音できる。録音したVoiceMemoは、スピーカーかヘッドホンからも再生可能だ

LED 充電しているときは緑色に発光する

スピーカー

液晶パネル

320 × 320ドットの解像度、6万5000色の反射型TFTカラー液晶を搭載。m500シリーズとは異なり、非常に明るく、色再現性が良好だ。アイコンや文字が高解像度表示に対応し、画面から受ける印象が滑らかで締まった

左側

オープン時

5 wayナビゲーター

Tungsten Tの特徴的な機構。従来の上下スクロールを十字4つの方向ボタンと中心のセレクトボタンという構成に進化させた。ソフトの選択や決定がこのボタンだけでできる

スライディングデザイン

背面と側面にレールが配されており、これに添ってスライドする。合計4点で支持されており、耐久性の面でも取り立てて心配しなくても良さそうだ。スライドギミックのせいで、ハードボタンや5-Wayナビゲーターボタンの感触が悪くなるということもない

底面

ユニバーサルコネクター

すでに発売されているユニバーサルコネクターに接続する機器も、使用できる。付属するUSBクレードルはm500シリーズとまったく同じもので、ACアダプタが一回り大きいものに変更されただけで

背面

リセットスイッチ

本体をオープンスタイルにすると、背面にリセットスイッチが現れる。付属スタイラスでそのまま押しせばリセットができるよう工夫されている

「5-Wayナビゲーター」ボタン

Tungsten Tでは、スタイラス以外の操作ボタンとして、「5-Wayナビゲーター」ボタンを採用した。これは、従来のスクロールボタンを十字4つの方向ボタンと中心のセレクトボタンという構成に進化させたもので、携帯電話の操作ボタンとして見慣れたものである。

基本的には選択項目の上下左右の移動に使用できるが、左ボタンは「戻る(Back)」を、右ボタンは「進む(Forward)」をそれぞれ兼ねる。メニューが表示されているときは、左右でメニューの移動、上下で選択項目の移動、セレクトで決定の操作を行える。また、画面上に三角形の矢印アイコンが出ているときは、矢

印と同じ方向のボタンが対応するので、どのボタンを押せばいいかが画面を見ただけでわかる点が親切だ。ただ、これはアプリケーションが対応している必要がある。

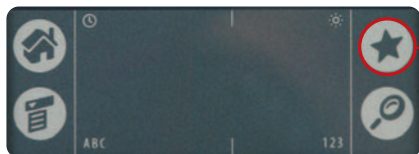
このほか、セレクトボタンを長押しするとホーム画面に戻ったり、セレクトボタンを押すと項目が選択(ハイライト)、左ボタンで選択解除となる。また、ダイアログボックスを表示しているときは、「OK」「Done」「Yes」の各ボタンを押す代わりにセレクトボタンを押すことでダイアログを閉じられる。このあたりは、印象としてCLIEのジョグダイヤル&Backボタンに近い。



シルクエリア

電卓がキーボードが割り当てられていた右上の「Calc / Keyboard」ボタンが、「お気に入りアプリケーション」ボタンに変更された。このボタンは、「Prefs」メニューの「Buttons」でユーザーの好みのアプリケーションを割り当てることができる。なお、デフォルトでは「Prefs」が割り当てられている。

それ以外は、グラフィティエリア左上に時計ボタン、右上にコントロールボタンが配置され、Palm m515に準じている。

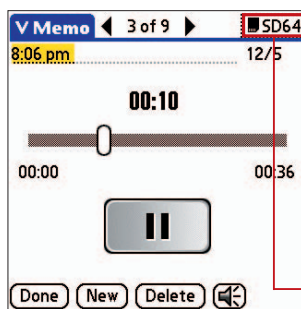


「お気に入りアプリケーション」ボタン

VoiceMemo

「VoiceMemo」のデータはメモリーカードに直接記録することもできる。また、本体メモリーに録音したデータは、カテゴリーをメモリーカード名にすることでメモリーカードに移動できる。このようにしてメモ

リーカード上に記録/移動したデータは、WAV形式で保存されるので、パソコン上でもそのまま再生できる。なお、メモリーカード上でVoiceMemoデータが保存されるのは、「¥Audio」ディレクトリーだ。



録音データをメモリーカードに移動できる状態

ランチャー

ランチャーの画面構成、機能はほとんど変更されていないが、アイコン表示では、従来の2倍となる64×44ドットの高精細なアイコンで表示される。アイコンのデザインも一新されており、左斜め上から見下ろしたBeOSの立体アイコン風になっている。また、アプリケーション名もボールドフォントで表示されているので視認性は良好だ。ただ、せっかくハイレゾ画面になったのだが、CLIEに搭載された標準ランチャーのように「小アイコン」でたくさんのアイコンを1画面に表示するモードはない。

5-Wayナビゲーターボタンでの操作は、セレクトボタン押下で項目選択(ハイライト)を表示し、十字方向で起動するアプリケーションを選択して起動できる。また、セレクトボ

タンを長押しすると、カテゴリーメニューがブルダウンするので、上下ボタンでカテゴリーを選択して変更できる。

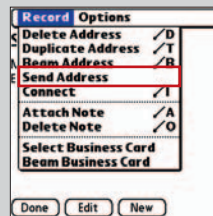


画面構成こそ変わっていないが、高精細でデザインを一新されたアイコン、視認性の優れたボールドフォントのアプリケーション名で、Palm OS 4以前とはずいぶん雰囲気が変わっている

catchup!

「Send」メニューの追加

ランチャーやPIMソフトのすべてには、「App」メニューに「Send」の項目が追加された。これは、Palm OS 4でも「Palm Bluetooth Card」を利用すると追加される項目だが、内蔵Bluetooth機能が搭載されたTungsten Tでは標準でメニューに含まれている。各アプリケーションで「Send」メニューを選択すると、送信する経路方法を選択するダイアログが表示され、Bluetooth経由か、あるいは付属ソフトの「SMS」「VersaMail」に添付するかを指定して送信することができる。



PIMソフトやランチャーには、メニューに「Send」という共通の項目が新たに追加された。例えばAddress Bookでは、「Record」メニューの「Send Address」という項目で、指定したレコードをBluetoothやメールで送信する機能を持つ

Prefs (環境設定)

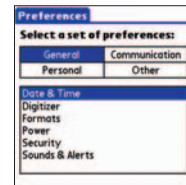
Palmマシンのあらゆる設定を行う「Prefs」(日本語版では環境設定)は、各環境設定パネルへのアクセス方法が大きく変更された。各パネルが「General」「Communication」「Personal」「Other」の4つのカテゴリーに分類され、まずカテゴリーを選択し、次に一覧に表示された各パネルを選択する手順で起動する。

Generalのカテゴリーには、日付と時刻を管理する「Date & Time」、デジタイザーの調整をする「Digitizer」、カレンダー、数字などの表示形式を設定する「Formats」、電源関連の設定を行う「Power」、セキュリティ機能の設定を行う「Security」、音とアラート画面に関する設定を行う「Sounds & Alerts」の6つのパネルが含まれる。この中では、PowerとSounds & Alertsが新しく追加された。Powerは、オートオフやクレードル上での常時電源オンの設定が以前のGeneralから移動してきたほか、スライドのギミックに連動して電源をオン/オフする設定ができる。Sounds &

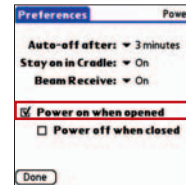
Alertsは、通常時の「Custom」、音のみをすべてオフにする「Silent」、音とアラートをすべてオフにする「All Off」の3つのモードをワンアクションで切り替えられる。

Communicationには、内蔵Bluetooth機能を設定する「Bluetooth」、通信機器との接続方法を設定する「Connection」、ネットワーク接続を設定する「Network」、IrDA / Bluetooth対応携帯電話と連動する機能を設定する「Phone」の4つのパネルがある。Bluetoothは、Palm Bluetooth CardやCLIE用のPEGA-MSB1のBluetoothパネルを進化させたもの。Phoneは、Connectionで設定した携帯電話との接続方法を指定するパネル。残念ながら国内でこの機能を利用できる携帯電話は存在しない。

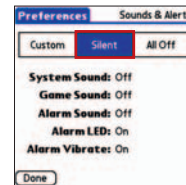
Personalには、「Buttons」「Owner」「ShortCuts」の3つのパネルが振り分けられた。Otherは、出荷状態では何も分類されておらず、後から追加するパネルアプリケーションが振り分けられるようだ。



環境設定パネルは、4つのカテゴリーに分類され、各パネルは5-Wayナビゲーターボタンだけで表示を切り替え可能



Powerパネル。Power on when openedの設定にチェックを入れると、ボディをスライドしたときに電源オンを連動させることができる



Sounds & Alertsパネル。通常設定のCustomからSilentに切り替えることで、音が鳴る設定を一括してオフができる。携帯電話のマナーモードと同じような機能だ



Bluetoothパネル。OS 4搭載機にBluetooth機能を追加した場合とほぼ同じ。他機器からBluetoothリンクを求められたときに、Wakeupする設定が追加されている

PIMソフト

「Date Book」「To Do List」「MemoPad」は、5-Wayナビゲーターボタンによる操作の改良以外はあまり大きな変更点はないが、「Address Book」には「Quick Connect」機能が新たに追加された。

Quick Connect機能は、Address Bookのレコードに記載された電話番号、メールアドレスに対して、Address Bookから電話をかけたり、メールを送信したりする機能である。レコード表示でQuick Connectアイコンをタップするか、右方向ボタンを押すと呼び出すことができ、電話番号を選択すれば「Phone」機能を利用してBluetooth(あるいは赤外線通信)でリンクされた携帯電話から電話をかけられる。

また、「SMS」(残念ながら、日本国内では利用できない)を選択すれば、その番号向けに新規ショートメッセージの作成画面を、メールアドレスを選択すれば、「VersaMail」で新規メールの作成画面をそれぞれ呼び出せる。

また、Quick Connect機能はAddress Bookの「Options」メニューにある「Preferences」で「Enable Tap-to-Connect」の設定をチェックしておくことで、Quick Connectアイコンをタップせずに、レコードの電話番号やメールアドレスの部分にタップすれば呼び出せる。ちなみにこの機能は、CLIE Mailでの新規メール作成のみ、CLIE NXシリーズにも搭載されているものだ。



Address Bookのレコード表示。画面構成はほとんど変わらないが、上部にQuick Connectアイコンが追加された

Quick Connectアイコン



Quick Connect機能を呼び出すと、レコードに含まれる電話番号宛てに電話をかけたり、メールアドレス宛てに新規メール作成画面を呼び出せる



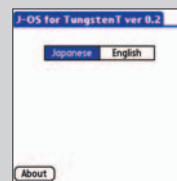
MemoPadは、レコード表示にて5-Wayナビゲーターボタンの左右で、表示するメモを切り替えられるようになった



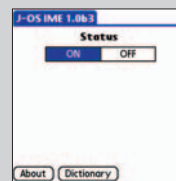
J-OS for Tungsten Tによる日本語化

英語版のPalm OSを搭載したマシンで日本語を利用できるようにする「J-OS V」はPalm OS 4までしか対応していない。しかし、ついにPalm OS 5搭載のTungsten T専用のプログラムとして、「J-OS for Tungsten T」がリリースされた。使用感は従来のJ-OSと似ているが、日本語の表示を可能にするJ-OS for Tung-

sten Tと、従来のJ-OSと同じように日本語を入力する「J-OS IME」で構成されるまったく別のプログラムだ。12月上旬の時点ではまだ 版のため、半角カナが文字化けしたり、フォントの変更はできなかったが、J-OS for Tungsten Tをインストールすることで日本語の利用も問題なく行えるようになる。



日本語モードと英語モードを切り替えるJ-OS for Tungsten T



従来のOSと同じように日本語の入力を行うJ-OS IME



スモールフォントに割り当てられた12ドット東雲フォントでの表示



「シンプル」を体現 普段着で使うPalm

Zire

シェイプアップしたPalm本来のデザイン&機能

文 難波茂広、編集部 Photo Shinohara Takashi / Pacia 協力 秋葉館PDA

「Zire」は、エグゼクティブ向け機種である「Tungsten」と同じく、米パーム社製品の新しいブランド名で、エントリー向け機種に命名されたものだ。ちなみに、今秋発売された「Palm Zire」と「Tungsten T」には、従来から継続する機種名も名付けられており、前者にはm150、後者にはm550という機種名が背面のラベルに記載されている。コレといった新機能はなく、ハードのスペック的にはひと昔前のレベルだ。しかし、最初からエントリーマシンという位置づけで設計されたZireは、「オーガナイザー」という用途を見つめ直し、シンプルさを極めた一台といえるだろう。そんなZireの魅力を紹介しよう。

「Palm Zire (以下、Zire)は、一時的なセールやディスカウント価格を除くと、初めてその発売時から100ドルを切って販売されたエントリーモデル。店頭では、「Palm Portable Keyboard」や「Palm Bluetooth Card」と同じように、プリスターパック入りで販売されており、日本で人気な高級志向のPDAとは対極に位置づけられたマシンだ。

CPUには、米モトローラ社のDragonBall EZ 16MHzを搭載。内蔵メモリーは容量2MBだが、実質的に利用できる空き容量は1.8MB。液晶もカラーではなく160×160ドットのモノクロ液晶を搭載する。ハード的なスペックは「Palm m100」とほぼ同じで、言ってしまえば4年近く前に発売された「WorkPad (30J)」よりもメモリー容量のぶんだけやや劣る。とはいえ、Palm OS 4.1を搭載し、バッテリーも充電式のリチウムイオンバッテリーを採用。スタンダードなUSB Mini-Bコネクタを搭載しているの、HotSyncもUSBケーブル経由

で高速に行うことができるのはメリットだ。また、Zireには初めからまったく新しいエントリー向けマシンとして設計されたことによる魅力が随所に盛り込まれている。それは、Palm OSが高性能化する過程の中で組み込まれていったさまざまな機能を見直し、オーガナイザーに必要な最低限の機能しか搭載しないというよりも、むしろ必要なものまで思い切ってバッサリ削り、シンプルさを極限まで追求したマシンと言えるだろう。また、コストとのバランスを取りながら、薄さと軽さ、手に持ったときの感触や頑丈さ、プラスチック製ならではの質感とデザインが見事にマッチしている点も、Palmを道具と割り切ってガツガツ使っている人には好感が持てるはずである。

ただ、Zireの安さだけを見ると、魅力は感じられなくなって

しまう。日本国内では'01年後半から'02年春にかけて、パーム コンピューティング(株)やハンスプリング(株)の低価格戦略により、Zireよりも高性能なマシンが5000円を切る価格で販売されていた。しかし、これらの端末はいわばひとつ前の世代のマシンだ。USB接続でパソコンと素早く同期でき、パソコンのない外出先ではデータの閲覧や簡単な入力を行えるオーガナイザーとして、Zireは十分便利に使えるマシンである。

Spec Zire

OS	Palm OS 4.1(英語版)
CPU	Motorola DragonBall EZ(16MHz)
メモリー	2MB(RAM)
インターフェース	赤外線ポート、ミニUSBコネクタ、ACコネクタ
ディスプレイ	反射型TFTモノクロ液晶(バックライト搭載)
表示解像度/表示色	160×160ドット
外形寸法	約幅111.8×高さ73.7×奥行き15.2ミリ
重さ	107.73グラム
ボディカラー	ホワイト
電源	リチウムイオン充電電池(内蔵)
付属品	HotSyncケーブル、ACアダプター、カバー
価格	99ドル



ポート類

ZireとパソコンとのHotSyncは、付属の「シンクロナイゼーションケーブル」をUSBポートに差しに行く。充電も付属のACアダプターを本体に直接差しに行く

USBポート

「サイバーショット（ソニー製）やCLIEシリーズのプラグアダプターと同じ形状のUSB Mini-Bコネクタ。時間はかかるが、USBバスパワーによる電源供給で内蔵バッテリーを充電することも可能だ



ACポート

赤外線ポート

スタイラス

オールプラスチック製の1パーツでできており、スタイラス内部にリセットピンは内蔵されていない

素材

3色のプラスチックパーツを組み合わせて構成されたボディ。背面は全体的に角を落として丸みのある形状となっているため、手のひらに持ったときの感触が非常にいい



フリップカバー

オールラバー製。上面の両サイドが切れ込んでいるので、カバーを閉じたままでもスタイラスを抜いたり、ACアダプターを接続できる



電源ボタン

リセットスイッチ

スクロールボタン

従来のPalmデバイスには、必ず4つのアプリケーションボタンとスクロールボタンが搭載されていたが、Zireのスクロールボタンは2つのアプリケーションボタンと一体化したデザインになった。ボタンの大きさは十分なサイズが確保されて押しやすい

DateBookボタン

Address Bookボタン

Zireには「Date Book」と「Address Book」ボタンの2つしか搭載されていない。PIMソフトの中でも利用度の高いDate BookとAddress Bookの起動ボタンを残し、ボタンの数を極力減らして、よりシンプルな操作で使えるようにしたためだ

底面

機能をできる限りシェイプアップしたZireには、ユニバーサルコネクタさえも搭載されていない。ユニバーサルコネクタの端子やクレードルの省略が、コストダウン実現の理由のひとつ。HotSync、充電はそれぞれ本体上部のポートで行う



Zireの機能とポイント

Prefs(環境設定)

Buttons

Zireは、Date Book、Addressの2つのアプリケーションボタンしか搭載していないので、「Buttons」パネルはZire専用のものになっている。アプリケーションを割り当てられるのは、前述の2つのボタンにシルクエリアの「Favorite()」ボタンを加えた3つのボタン。

従来の機種は、ボタンにHotSyncを割り当てたとしても、HotSyncアプリケーションが起動するだ

けで実行するには至らなかった。しかし、ZireのFavorite()ボタンは特別で、PrefsでHotSyncが割り当てられているときにタップすると、あたかもHotSyncボタンを押したのと同じように、HotSyncが実行される。クレードルを利用しないことによって、ハード的なHotSyncボタンが存在しないPalm Zireの弱点をフォローする意味で、このような仕様になったのであろう。

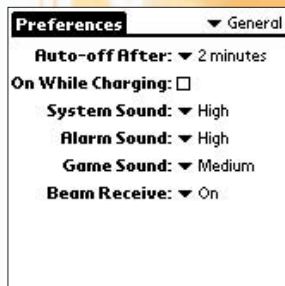


Connection



Connectionパネル。他の機種では「Cradle / Cable」になっていた接続設定が、クレードルを接続できないことから「Cable」に変更されている。また、シリアルコネクタが省略されているため、モデムも赤外線経由の「IR to Phone」の設定しかない。

General



リチウムイオンバッテリーを搭載したほかのPalm OS 4搭載マシンとほとんど変わらないが、「クレードル上では常時電源オン」のオプションが、「On While Charging(充電中は常時オン)」に記述が変更されている。クレードルを使えないZireならではの変更点。

Clock



1つのアラームを設定できる時計アプリケーション。設定するアラームは音量などをカスタマイズできる。バージョンは1.2で、Palm m125からの変更はない。電源オフ時に上スクロールボタンを押すことで、画面上に時計を2秒間表示する機能も健在だ。

ランチャー



各種アプリケーションを起動するランチャーの画面に、標準で搭載されているアプリケーションを並べてみた。Date BookとAddress Bookのアイコンは、それぞれのハードボタンに描かれているアイコンに合わせて従来のものから若干変更が施されている。

Zireをもっと使い倒す

8MBメモリアップグレードサービスを利用する

Zireを使っていていちばん残念だと思う点は、やはり内蔵メモリーが2MBではインストールできるソフトにも限りがあることだ。

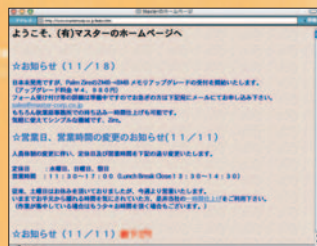
また、Zireにはメモリーカードスロットがないので、DOC形式の文書データやJFileのデータベースファイル、FireViewerのイメージファイルといったデータもあまり多く持ち歩くことができない。

この欠点を抜本的に解決するには、やはり内蔵メモリーが増えるのがいちばんだ。幸いZire向けの8MBメモリアップグレードサービスを提供しているショップがいくつかあり、価格も比較的リーズナブルだ。Zireをもっと使い倒したいという人は利用してみるといいだろう。オリジナル保証制度や、アップグレード時間仕上げなどのサービスがある。



PDA工房
TEL 086-430-0430
営業時間 10:00~18:00
定休日 土曜、日祝日
アップグレード料金 4980円(Webサイトから申し込み)
URL <http://www.u-systems.co.jp/pda/>

PDA関連商品の販売とメモリー増設、カスタムペイントなどのオリジナルサービスがセールスポイントのショップ。手持ちのZireを同店に送付してメモリー増設サービスを行ってもらおう。同店ではオリジナルサービスに関して「PDA工房保証制度」を設けサポートする。



(有)マスター
TEL 03-3526-5090(平日 10:00~17:30)
営業時間 11:30~17:00(Lunch Break: 13:30~14:30)
定休日 水曜、日祝日
アップグレード料金 4980円(メールにて受け付け)
URL <http://www.master-corp.co.jp/>

同店の目玉は、手持ちのZireを店頭を持ち込めば、1時間でアップグレード作業を完了する「一時間仕上げ」を実施していることだ(事前に要連絡)。Zireが自分の手を離れるのがイヤなら、ぜひ利用したいサービスである。なお、一時間仕上げの受け付けは16:00まで。

2MBの限られたメモリー容量で日本語環境を構築する

日本語化するのに最低限必要なファイル

Zireは英語版しかないので、日本語を表示させようと思うと「J-OS V」による日本語化は必須である。J-OS VはPalm OS 4.0までしか正式にはサポートしていないが、Zireが搭載しているPalm OS 4.1でも、特に問題なくインストールが可能だ。しかし、Zireの内蔵メモリーは実質1.8MBしか利用することができないので、なるべく小さなメモリー容量で日本語環境を構築しなければならない。

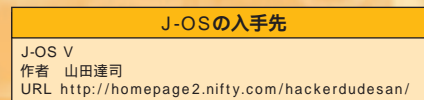
J-OS Vで日本語化するために最低限必要なファイルは、J-OS V本体(92.4KB)とスモールフォント、スモールボールドフォント(各54KB)、ラージフォント、ラージボールドフォント(各161KB)、そして、かな漢字変換辞書である。かな漢字変換辞書は4種類の中から選択してインストールするので、まずはこれを除いたファイルの合計をできるだけ節約することを考えることにする。

上記ファイルを単純に合計すると522.4KBとなり、Zireの内蔵メモリーのおよそ4分の1を占めてしまう。ただし、スモールフォントと同ボールドフォント、ラージフォントと同ボールドフォントをそれぞれ同じフォントで表示するという事も可能だ。ボールドフォントで表示される箇所も同じフォントで表示されてしまうため、見た目の表示はメリハリのないものになってしまうが、メモリー残量には代えられない。使用するフォントを、ス

モールフォントは「Small font-elisa.prc」、ラージフォントは「Large font-shinonome 12pt.prc」(こちらは気に入ったフォントで構わない)だけにすることで、最低必要なファイルの合計は307.4KBまで減らすことができるわけだ。



ZireもJ-OS Vをインストールすれば、日本語の表示と入力が可能。ただし、フルセットをそのまま導入すると空きメモリー容量がかなり小さくなる



J-OS Vのフォント選択画面。StandardフォントとBoldフォント、LargeフォントとLarge Boldフォントを同一のフォントにして、215KBも節約できる

かな漢字変換辞書以外で、J-OS Vで最低限必要なファイルとその容量

ファイル名	ファイル容量	フォントを2つに抑えた場合 ファイル容量
jos5.prc	92.4KB	92.4KB
Small font-elisa.prc	54KB	54KB
(SmallBold font-narita 9pt.prc)	54KB	
Large font-shinonome 12pt.prc	161KB	161KB
(LargeBold font-narita 12pt.prc)	161KB	
合計	522.4KB	307.4KB

工夫次第でファイル容量の合計を307.4KBにまで落とせる

必要に応じて導入するかな漢字変換辞書のサイズを変える

J-OSおよび日本語表示に必要なフォントをインストールし終わったら、次はかな漢字変換辞書のインストールである。

J-OS Vには、S、M、L、XLのサイズの異なる4種類のかな漢字変換辞書「dic-iシリーズ」が収録されている。辞書それぞれのサイズは表の通りで、サイズが大きくなるほど変換辞書の語彙数も増加するので変換効率もいくぶん向上する。メモリーに余裕があるなら、快適な日本語環境を得るために、なるべく語彙数の多い辞書を用いたいところだ。しかし、最大容量の「dic-it12 XL size dictionary.prc」をインストールしてしまうと、それだけでZireの内蔵メモリーの4分の1がふさがってしまうので、この辞書は選択しづらい。必要に応じてほかの3つの辞書の中から選択すればい

いが、Zireを主にビューアーとして利用するならいちばん小さな「dic-it1 S size dictionary.prc」をインストールすれば十分だ。

また、アプリケーションの英語のメニューを日本語にするローカライザーは、メモリー容量を節約するために使用は見合わせる。こ

こまで説明してきたとおりファイルをインストールすると、ほかのファイルと合計しても455.4KB。内蔵メモリーが実質1.8MBしか利用できないZireでも、ここまで節約して最小構成のJ-OS V環境を構築すれば、空き容量1.3MBというのも夢ではない。

かな漢字変換辞書のサイズとインストールするすべてのファイルの容量

かな漢字変換辞書ファイル	ファイル容量	ほかのファイルとの合計 合計(カッコ内はフォント4つ使用)
dic-it12 XL size dictionary.prc	498KB	805.4KB(1020.4KB)
dic-it3 L size dictionary.prc	329KB	636.4KB(851.4KB)
dic-it2 M size dictionary.prc	200KB	507.4KB(722.4KB)
dic-it1 S size dictionary.prc	148KB	455.4KB(670.4KB)

Zireをビューアーとして割り切れば辞書は最小容量のものでも十分だ

小さくて軽いポディー、
サクサク動いて使いやすいアプリケーション。
Palmデバイスには、
ユーザーが快適に使うための
工夫が随所に施されている。
普段、何げなく使っている
Palmのことをもっと知りたい
。少しでもそんな思いがよぎったら、
ぜひこの「Palm大事典」を
ひもといてみてほしい。

文 霜田憲一 / 藤田 実 / 八島伸之
アートワーク 鶴岡 敦
イラスト 保坂庸介



ハードやソフトの仕組みがわかる Palmまるごと



【INDEX】

ハードウェア

本体	P.16
ディスプレイ	P.18
操作ボタン類	P.19
赤外線ポート	P.20
カードスロット	P.21
バッテリー	P.22
メモリー	P.23
CPU	P.24

ソフトウェア

Palm OS	P.26
Hack・DAソフト	P.30
アプリケーション	P.32
ファイル	P.34
インストール・削除	P.36
テキスト	P.39

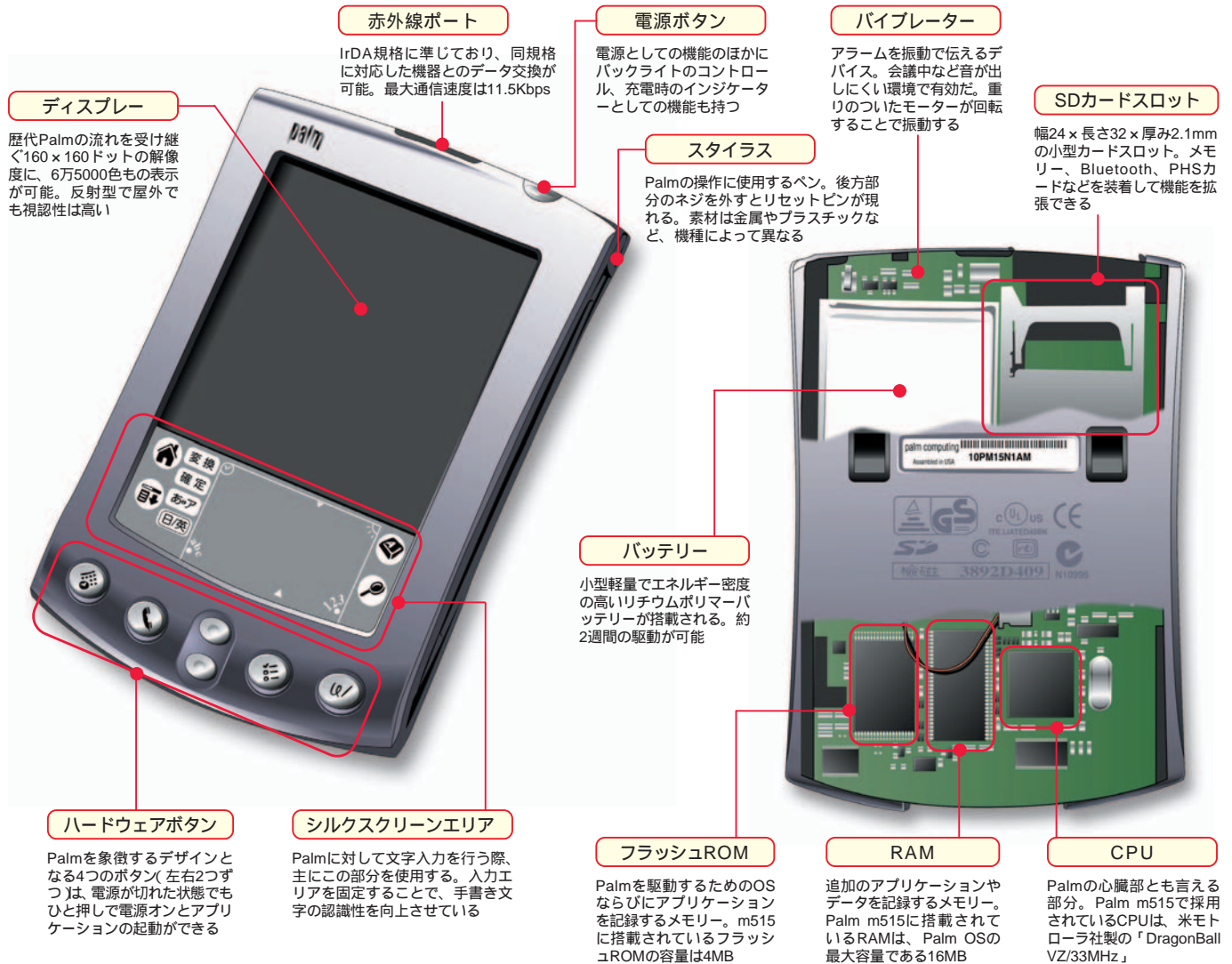
大事典



ハードウェア

Palm m500シリーズのような一体型が主流だったPalmデバイスに、'02年3月、折り畳み型のCLIE NRシリーズ、10月にはNXシリーズが加わった。Palmデバイスに搭載されているハードウェア機能の詳細を追ってみよう。

一体型デバイスの構造 [Palm m515]



ボディ

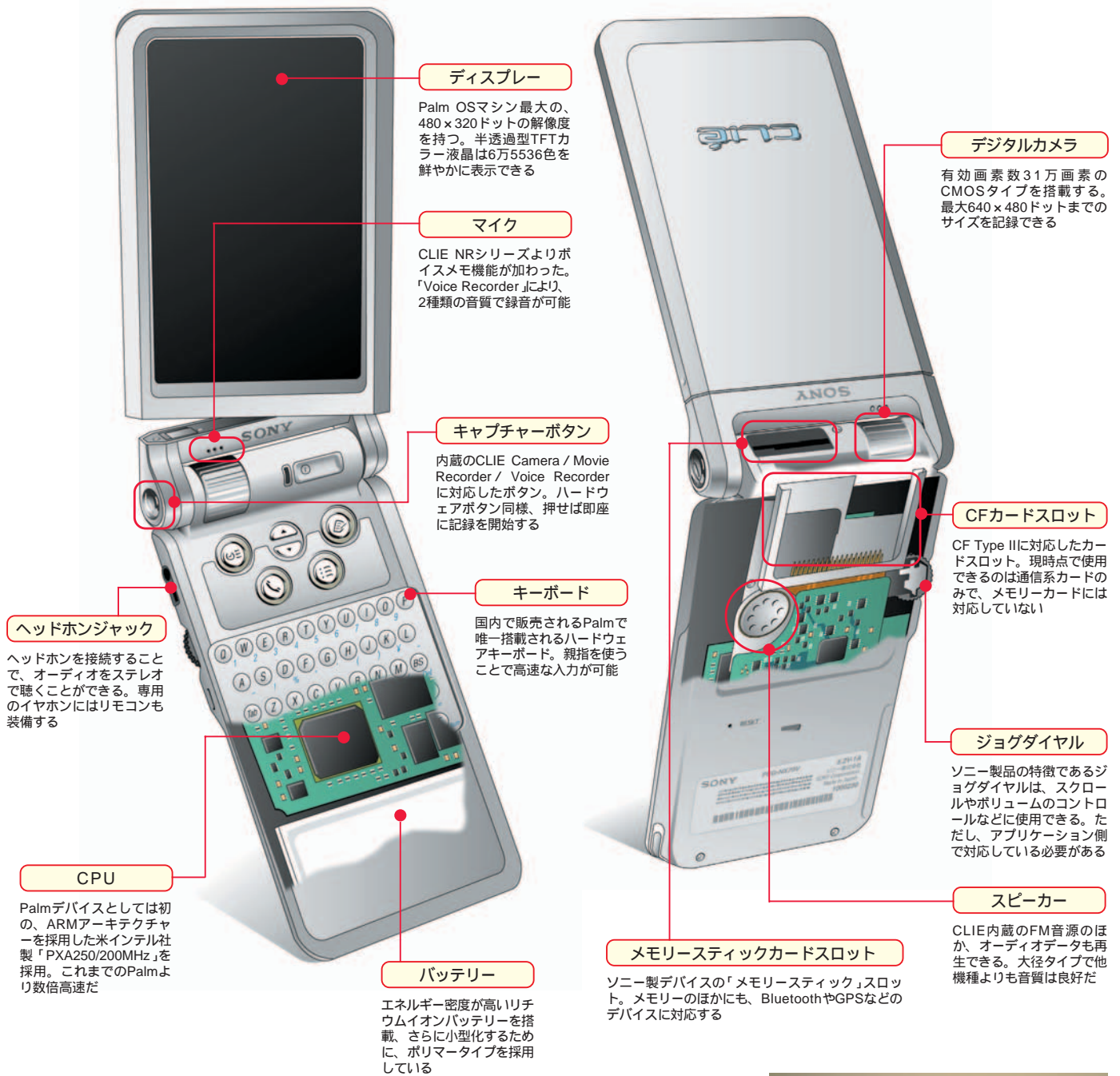
Palmデバイスで進化しているのは、OSやCPUだけではない。ボディ素材にもこれまで使われなかったものが採用され、さらなる軽量化に成功している。

Palmデバイスは長い間、ボディ形状こそ変わっても操作系のインターフェースは変わらなかった。目に見えて変化したのは、ソニー(株)がPalmデバイスを発売してからだ。基本デザインこそパームコンピューティング社のデバイスに近いが、ソニー製品

の特徴でもあるジョグダイヤルとメモリースティックスロットが付加されていた。その後、各社から発売されたPalmデバイスにはそれぞれのメーカーの色が加わり、CLIE NR/NXシリーズのようなウイングデザインまで登場した。

ボディの素材も、アルミボディ(Palm V / 同500シリーズ)やマグネシウム合金(CLIE NR / NXシリーズ)などが採用され始めた。それまではボディ内部の複雑な形状までも成型できる樹脂パーツが用いられていたが、ボディが極端な薄

折り畳み式デバイスの構造 [CLIE NX70V]



ハードウェア

型・小型になったことで、樹脂パーツでは強度を保てなくなったためだ。実際、Palm m500シリーズのプレート厚は0.6mm。皿のように加工したそれを「もなか」のように張り合わせることで、1cmほどの厚みながらも強靱なボディを得られた。

しかし、ボディはアルミニウムでも、内部にはプリント基板や各種構造物を支えるための樹脂製シャーシが必要になる(写真)

真)。しかし、ソニー(株)は「マグネシウム合金」を使い、樹脂のように型を使って加工できる製造工法「プレスフォーミング製法」を確立した。CLIE NR / NXシリーズに使われたマグネシウム合金は「AZ91系」で、マグネシウムにアルミニウムを9パーセント、亜鉛1パーセントを混ぜたもの。加工品の最薄部は0.4mmと完成度が高く、さらなる薄型・軽量化に成功している。

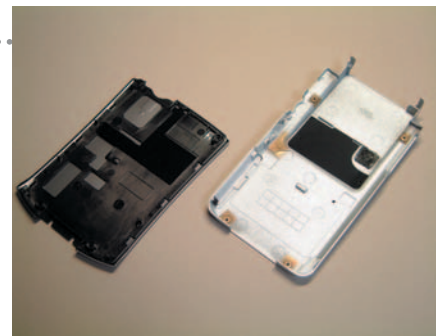


写真 Palm m515(左)はシャーシが樹脂製だが、CLIE NX(右)はその部分すらもマグネシウム合金製だ

ディスプレイ

「160×160ドット」が常識だったPalmデバイスラインアップにも、ハイレゾや大型ディスプレイが加わったモデルが登場。ディスプレイの違いを見ていこう。

デバイスによる解像度の違い

Palmデバイスの解像度は長らく「160×160ドット」が一般的だったが、米ハンドエラ社が320×240ドットの液晶画面でこれまでの常識を打ち破り、ソニー㈱が「ハイレゾ」という名称で4倍の密度を持つ320×320ドットのディスプレイを搭載した。そしてCLIE NX/NRシリーズでは320×240ドットの大画面を搭載している。

Palm OS 5.0マシンに搭載しているCPUは液晶ディスプレイのコントローラーが内蔵されており、160×160や320×320ドットのほか、160の倍数単位での拡張をサポートする(図1)。今後は、ハードに合わせた多様なディスプレイモデルが登場するだろう。

現在販売されている、主なPalmデバイスの液晶ディスプレイ解像度は以下の通り。

- ・160×160ドット
初代PILOT～Palm mシリーズ/Zire/Visorシリーズ/初代CLIE Sシリーズ/TRGpro
- ・320×320ドット
Palm Tungsten T/CLIE N/T/SJシリーズ

- ・320×240ドット
HandEra 330
- ・480×320ドット
CLIE NX/NRシリーズ

一般的にパソコンの場合、解像度の違いはディスプレイの面積の違いにも関係するが、Palmデバイスの場合はドットの密度の違いになっている。実際、160×160ドットと320×320ドットのモデルはほぼ同じ外形寸法だ。これにより、表示の表現力が格段に増した(図2、3)。また、従来の解像度のフォントを4分の1の面積で表示できるため、より多くの情報を表示することも可能になった。

解像度の比較

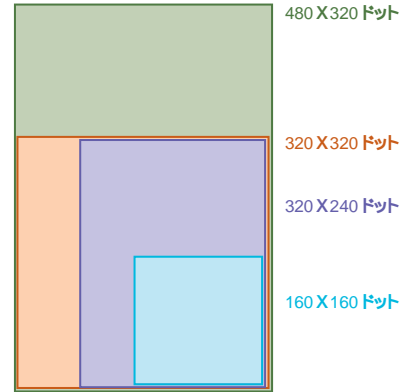


図1 Palmデバイスに搭載されているディスプレイ解像度の比較。すべて160ドットの倍数で成り立っている



図2 解像度160×160ドットを採用しているPalm m515の画面。アイコンや文字を拡大すると粗さが目立つ



図3 320×320の解像度を持つCLIE T650Cの画面。アイコンは160×160ドットのままで、文字は格段に滑らかだ

ハードウェア

各ディスプレイの色数と特徴

Palmデバイス発売当時はモノクロ2階調だった液晶ディスプレイもやがてグレースケールをサポートし、256色、5万8621色、6万5000色と表示可能な発色数が増えていった。そして現在では6万5536色ものカラー表示が可能。特に最新型のCLIEは高解像度のサポートと相まって、画像を表示すると写真をはめ込んでいるように見えるほどの表現力を身につけている。

そもそも、当初のPalmデバイスのコンセプトはPIMを主体とした使い方だったため、色数の少なさはほとんど問題にならず、いかに操作速度を高速にするかに重点が置かれていた。技術的にカラーサポートが可能になった後も、色数を多くすることでCPUに負担をかけ、操作速度が低下することは避けたいという意向があり、しばらくはモノクロのデバイスが主流だったのだ。しかし現在、CLIE NXシリーズなどの新型CPU

搭載マシンでは、かつてのモノクロ液晶搭載マシンよりも速い表示が可能になったため、「カラー表示はレスポンスが遅い」という常識は覆されている。

また、屋外での視認性は日差しが強いほどモノクロ液晶が有利であり、カラー液晶では画面が真っ黒になってしまっていた。

最近では、CLIEに採用されている半透過型カラー液晶ディスプレイのように、外光を利用するタイプのものが主流になってきた。モノクロ液晶ほどは視認性がよくないものの、透過型よりはハッキリ見える。屋外での使用に関しても、問題は解決されつつあると言っていいだろう。

各ディスプレイの特徴

ディスプレイの名称	採用している主なデバイス	特徴
反射型モノクロ液晶ディスプレイ	Palm m500	初代Palmデバイスから使われている。コントラストも高く、あらゆるシーンでの視認性のよさを誇る。少しでも明るさがあればバックライトが不要なため、消費電力の少なさも大きな魅力
反射型カラー液晶ディスプレイ	Palm m130・m505・m515/CLIE Nシリーズ	反射型モノクロ液晶ディスプレイのよさを生かしたままカラー化。カラー液晶のネックだった屋外での視認性を高めた。コントラストが低いが、CLIEはサイドライトなどの構造を工夫することで解決している
透過型カラー液晶ディスプレイ	Visor Prism	パソコン用のディスプレイと同じ構造。圧倒的な明るさを誇り、輝度を上げるとまぶしいほど。屋内での表示クオリティーは敵ないのだが、屋外だと真っ黒で見えなくなってしまう。消費電力が大きい
半透過型カラー液晶ディスプレイ	CLIE T・SJ・NR・NXシリーズ	反射型と透過型のメリットを併せ持つ、最近のモデルの大半が採用するタイプ。輝度、コントラストともに明瞭で鮮やかに表示され、屋外での視認性も良好。消費電力の面でもやや改善されている

操作ボタン類

上下スクロールキーやアプリケーションを起動するハードウェアボタン、CLIEに搭載されているジョグダイヤル、キーボードなどの機能を解説しよう。

ハードウェアボタン

Palmの前面にあるハードウェアボタンは、Palmを象徴するデザインアクセントと言っても過言ではないだろう(写真1~3)。中央のスクロールボタンと左右に配置されたPIMアプリケーションのランチャーボタンは、Palmの使い勝手のよさを決定づけている。また、左右均等な配列は右利き、左利きに関係なく使うことが可能で、ソフトに依存せずに指先の感触で操作が可能なのは、ユニバーサルデザインの観点から見ても優れたものだ。

Palmデバイスのハードウェアボタンは、デフォルトの状態では左から予定表/アドレス/To Do/メモ帳に割り当てられている。環境設定画面では、ハードウェアボタンへ任意のアプリケーションを割り当てることが可能だ。もちろんシステムにも影響はないので、ぜひ試してみよう。

また、ジョグダイヤルが付いているCLIEでは片手でアプリケーション起動などの操

作ができるが、他機種では画面をタップするしかなく、結果的に片手での使用は不可能だった。そんな面倒くささを解消してくれるのが「PowerJOG」だ(図)。ジョグダイヤルを搭載していないマシンでも、ハードウェアボタンを押すことで画面操作ができるようになるので、電車の中など、片手でPalmデバイスを使用する場面では非常に重宝するだろう。



図 ジョグダイヤル非対応アプリケーションもジョグダイヤルで操作できるようになるなど、ジョグダイヤルの操作性を大幅に向上させる

PowerJOG
 作者：山田達司
 種別：シェアウェア(1500円/パッケージ版はオープンプライス)
<http://www.simple-palm.com/>

Palm m500シリーズ



写真1 スタイラスでハードウェアボタンを押して操作できるように、ボタンの中央がくぼんでいる

CLIE NR/NXシリーズ



写真2 折り畳み式のデバイスであるCLIE NRシリーズより採用された、W型に並ぶハードウェアボタン

Tungsten T



写真3 ボタンの配列はこれまでのPalmデバイスを踏襲しているが、上下スクロールキーがダイヤル型になった

ジョグダイヤル

CLIEの左側面には、ソニー(株)が特許を持つダイヤル式ボタン「ジョグダイヤル」が装備されている。その名の通りJog：押す、Dial：回すという機構のものだ。ソニー製のパソコン、家電、携帯電話などにも搭載されている。一般的には回すと「スクロールホイール」、押すと「Enter」として機能するが、アプリケーションによってはボリュームのアップダウンにも使われる。



図 CLIE NXシリーズに搭載されたCLIE標準のアプリケーションランチャーは、これまでのホーム画面よりもジョグダイヤルの機能を最大限に生かせるような作りになっている



携帯電話



電子辞書



キーボード

CLIE NX/NRシリーズには小型ハードウェアキーボードが搭載されており、両方の親指の腹でキーの感触を確かめながら入力する(写真)。コマンドを覚えればさらに操作が快適になるだろう。



写真 キー配列は少々特殊だが、文字はパソコンと同じQWERTY配列。慣れればちょっとした文章もCLIEだけで入力できるようになる

主なコマンド操作

操作	機能
Shift + アルファベットキー	アルファベットの小文字を入力
Shift + アルファベットキー (Caps ON)	アルファベットの大文字を入力
Shift + /	文字列を選択
Shift + Ctrl +	文字列を先頭まで選択
Shift + Ctrl +	文字列を最後まで選択
Ctrl + C	選択した文字列をコピー
Ctrl + X	選択した文字列を切り取り
Ctrl + V	選択した文字列を張り付け
Ctrl + D	選択した文字列を消去

ハードウェア

赤外線ポート

Palmデバイスが備える赤外線ポートは、名刺やファイルデータ、アプリケーションの送受信などに使用できる。ほかの便利な使い方もチェックしておこう。

赤外線通信とは

赤外線は、太陽光に含まれる可視光線や紫外線と同じ電磁波の一種だ。光を発しているが波長の関係上、目には見えない。Palmデバイスに搭載された赤外線ポートは、IrDAという標準規格の通信プロトコルに対応しており、同規格の機器同士での通信が可能だ。データ転送速度は4Mbpsで、最大到達距離は3.8m。赤外線ポート同士を対向に置いて通信する。

主な特徴としてワイヤレスによる通信が挙げられるが、ほかの無線規格であるIEEE802.11bやBluetoothに置き換えられる方向にある。しかし、第三者に傍受されにくく、通信が安定しているというメリット

も持ち合わせているため、現在も採用されている機器は多い。

Palmデバイスで赤外線が利用できるのは、予定表/アドレス/ToDo/メモなどのアプリケーションやファイル(ロックされていない場合)/HotSync(パソコンにIrDA対応の赤外線ポートが必要)/ネットワーク接続/AV機器の操作(CLIEのみ)と多岐にわたる。

ほかにも「Pronto Lite」のようなアプリケーションを追加することで、家電やオーディオ機器など、赤外線を使った関連機器の操作なども可能となる。赤外線通信状態を知りたいときは、赤外線の状態をわかりやすくグラフで示す「Ir Monitor」を使って確認してみるといいだろう。

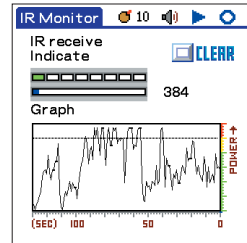
Pronto Lite



作者：Philips社
種別：シェアウェア
(19.95ドル)
http://www.pronto.philips.com/

あらゆる赤外線リモコンを記憶し、Palmでの操作が可能となるソフト。最大で10種類の機器をコントロールできる

Ir Monitor



作者：瀬古茂幸
種別：フリーウェア
http://pamupamu.tripod.co.jp/

Palmの赤外線ポートに入ってくる赤外線をキャッチし、量をグラフに展開する。赤外線通信に失敗することが多いときに試してみよう

赤外線ポートを備えた他OSデバイスとのデータ交換

IrDAは機種を問わない共通の規格なので、同規格に準拠した機器であれば、相手がPalmデバイスでなくてもデータ送受信が行える。アドレスの内容など、送受信するデータの規格が「vCard」に対応しているデバイスであればOKだ。

vCardとは、名刺交換の共通データフォーマットだ。米アップル社、米AT&T社、米IBM社および米シーメンス社で構成されたVersitコンソーシアムが開発し、現在はIMCという企業団体が管理している。

例えば、(株)NTTドコモの携帯電話端末「504iシリーズ」には、全機種に標準で赤外線ポートが装備されている(データ通信専

用。モデム機能は備えていない)。端末内にある電話帳のデータはvCardに対応しているため、同じくvCard規格であるPalmデバイスのデータとやり取りできる。

ここでは504iを例に、アドレス帳のデータを送信してみよう。Palmデバイス側の操作は、Palm同士でアドレス帳のデータを交換する方法と同じだ。もちろん、携帯電話からのデータも受信できる(図)。

ここでは504iを例に、アドレス帳のデータを送信してみよう。Palmデバイス側の操作は、Palm同士でアドレス帳のデータを交換する方法と同じだ。もちろん、携帯電話からのデータも受信できる(図)。

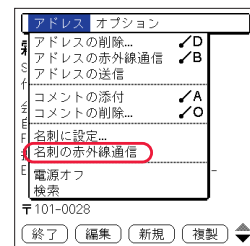
携帯電話との赤外線データ交換

1 送りたいアドレスを作成する



Palmデバイスのアドレス帳に携帯電話へ送信したいデータを作成し、「名刺に設定」を選択しておく

3 Palmから名刺を送る



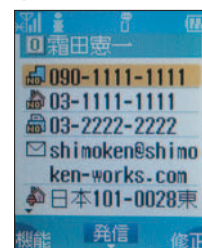
Palm側で「メニュー」の「アドレス」から「名刺の赤外線通信」を選択すると、すぐに送信が開始される

2 携帯電話で受信方法を選択



携帯電話で「赤外線通信」を選択し、受信方法を選ぶ。ここでは1件受信とする。すると、携帯電話は赤外線通信の受信待ち状態となる

4 データを保存



携帯電話上でデータを保存する。電話番号や住所、メールアドレスなどが正しいフィールドに格納されている

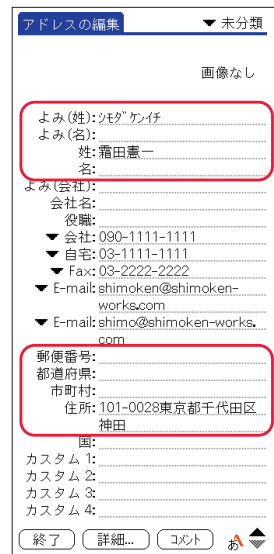


図 携帯電話からアドレスデータをPalmデバイスへ送った例。データはすべて送られているが、姓や住所が連続している状態で、そのままではPalmの標準フォーマットに当てはまらない。電話番号のカテゴリも含め、受信してからの調整が必要

カードスロット

近頃のPalmデバイスは、カードスロットの搭載が当たり前になってきた。メモリーや周辺機器機能を持つ各カードをうまく使いこなそう。

Palmデバイスのカードスロットで使用できる各種カード

最近のPalmデバイスには、必ずと言っていいほど拡張カードスロットが装備されている。Palmデバイスが備えているカードスロットで使用できるカードの種類を以下に挙げてみよう。

・コミュニケーションカード

いわゆる通信、すなわちモデムなどのことを示す。最近ではPHSやBluetoothなどのカードもこのカテゴリーに含まれる。

・メモリーカード

メモリーカードを利用すれば、辞書データやムービーファイルなど、大容量のデー

タを持ち歩ける。CLIEでは、メモリースティック搭載のデジカメで撮影したメモリースティックをCLIEに挿入すれば、すぐに閲覧できる。MP3などの音楽データを記録できるため、データの保護機能が加わったものもある。

・データカード

メモリーカードにコンテンツを入れて販売しているタイプ。辞書やゲームがカードに記録されているので、必要なときだけ挿入して使う。使わないときは、Palmデバイスからアプリケーションごと取り除けるの

で、内部メモリーを圧迫することがない。データカードは、アプリケーションを消して使うということではできない。

・周辺機器としての利用

CLIEに標準装備されているメモリースティックスロットで、デジタルカメラやGPSといったデバイスカードも使用できる。CLIEに新たな機能をスマートに追加できる。Palmに装備されているSDカードスロットも、メモリー以外のSDIOに対応しており、今後無線LANなどの新しいデバイスカードが発売される見込みだ。これらのカードを利用することで、Palm単体ではできないことも実現できる。

Palmデバイスで使用できるカード一覧

マシン	Palm				CLIE				
種類	SDカード				メモリースティック			コンパクトフラッシュ	
名称	マルチメディアカード 	SDメモリーカード 	Bluetoothカード 	AirH ⁺ PHSカード 	メモリースティック 	Bluetoothモジュール 	カメラモジュール 	GPSモジュール 	ワイヤレスLANカード
特徴	もともとはMP3プレーヤーなどに使われていたメモリーカード。SDメモリーカードとは厚みとピン数が異なるが、SDカードスロットで使用できる。サイズは同じだが、著作権保護機能を備えたセキュアMMCカードも用意する	SDMI(デジタル音楽著作権保護協議会)が策定した規格に準拠する著作権保護技術を搭載。最近では家電やデジカメ、携帯電話に使われている。大容量化が進んでおり、容量1GBのSDメモリーカードが発売する予定もある	PalmデバイスにBluetooth機能を付加する。同規格をサポートする携帯電話や他デバイスとのデータ通信/交換ができる。今後は公共設備などに組み込まれて情報提供するなど、活用の広がりが期待されている	SDカード大のPHSカード。DDIポケット(株)のAirH ⁺ サービスに対応し、32K、64Kbps PIAFS、32Kbps/パケット通信に対応する。Palmのほかにはアダプターを用意する必要がないので、スマートな通信が可能となる	ソニー(株)製品を中心に採用が進んでいるメモリーカード。青色の通常のメモリーと、著作権保護技術を施した「マジックゲート」と呼ばれる白色カードがある。音楽再生機能を備えたCLIEではマジックゲートが機能する	メモリースティック状のBluetoothカード。Bluetooth v1.1に対応し、Bluetooth携帯電話などとのデータ通信や交換に使うことができる。同社はBluetooth対応製品ラインアップが多いので、今後の対応に期待ができる	デジカメを装備しないCLIEにNR/NX70Vのようなデジカメ機能を加えることができるカードモジュール。画素数は11万と、必要にして十分なスペックで、撮った画像はメールで気軽に送信できる。OS 4.1以降のCLIEに対応	CLIEに付属している地図閲覧ソフト「Navin' You Pocket」と組み合わせることで、現在位置確認などの簡易的なGPS機能が利用できるカードモジュール。GPSの受信状態に合わせてアンテナの角度を自由に換えられる	IEEE802.11bに準拠した、コンパクトフラッシュ Type II型の無線LANカード。「Wireless LAN環境設定ユーティリティ」をインストールすれば、CLIEで使用できるようになる。通信だけでなく、HotSyncも可能
価格	¥1000円(8MB) ~ 1万5000円(128MB)	¥1000円(8MB) ~ 4万5000円(512MB)	¥1万円(参考価格)	¥1万7800円(新規加入時)	¥1000円(8MB) ~ 9000円(128MB)	¥1万9800円	¥1万5000円	¥2万円	¥1万5000円

column

CFメモリーカードはCLIE NXシリーズで使えるか?

CLIE PEG-NXシリーズは、Palmデバイスとしては初めてCFカードスロットを搭載した。ソニー(株)は、これを通信専用のスロットとして割り当てている。しかし、CFスロットが付いているならばメモリーも差してみたい。実際にフラッシュメモリーカードとIBMマイクロドライブを差してみたところ、結局どちらも認識すらしなかった。CFメモ

リーカード用のドライバーをぜひ期待したい(図)。ちなみに無線LANカードは、NXシリーズ発売当時「純正のものしか使用できない」とアナウンスされていた。しかし、現在ソニー(株)のWebサイトより、DDIポケット(株)の128Kbps対応CFタイプ通信カードの使用を可能にするドライバー「AirH⁺128対応ドライバ(Version 1.0)」がダウンロードできるようになっており、選択肢は広がっている(図 <http://www.nccl.sony.co.jp/download/C-W010-002-01/index.html>)。



図 PDAニュースサイト「CLIESource」では、CFスロットのメモリーカード使用を可能にするドライバーのプログラミングコンテストを開催中

バッテリー

現在のPalmデバイスは、リチウムイオン電池を使用しているモデルがほとんどだ。出先で慌てることのないよう、充電機器にも気を配っておこう。

Palmデバイスに使用されているバッテリー

現在販売されているPalmデバイスの大半は、電源に充電電池を用いている。以前は乾電池を使った機種が中心だったが、充電電池の性能と信頼性が大幅に向上したこともあり、Palmを含めた大半のPDAで充電電池が主要電源となっている。

Palmデバイスの充電電池は完全に内蔵されたものが大半で、ユーザーは容易に交換できない形態だ(写真)。そのようなことが

ら、一時期は電池残量への不安もあったが、周辺機器ではそれらをフォローする製品も登場している。

主な電池の種類として、ニッカド、ニッケル水素、リチウムイオンがある。現在Palmデバイスで最も多く使われているのは、リチウムイオン電池だ。ほかの電池と比べていくつか優れた点を持つこの電池の代表的な特性を以下にまとめたので、参考

にしてほしい。

とはいえ、出先などではやはりPalmデバイスのバッテリー切れが心配になることもあるだろう。バッテリー稼働を監視するパフォーマンスウェア「Battery Bench 2」は、使用できなくなるまでの期間を統計にできる。自分が持っているデバイスの電池がどれくらい持つのかを、日頃から把握しておこう。

Battery Bench 2
作者：山田達司
種別：フリーウェア
<http://www.simple-palm.com/>



写真 Palm m515では、背面のフタを開けると左手にバッテリーが収納されている。近頃のデバイスはリチウムイオン電池がほとんど

リチウムイオン電池の特性

エネルギー密度に優れ、小容量でも安定した高出力
リチウムイオン電池はニッカドの約2倍、ニッケル水素の1.5倍ものエネルギー密度に優れ、同じ出力であればリチウムイオン電池の搭載量はほかの電池よりも軽量で済む

低温など、悪条件下での放電特性に優れる
氷点下でも出力特性はそれほど低下しないため、さまざまな環境下で使われるデバイスに向いている。出力電圧もニッカドやニッケル水素の約3倍と高電圧なので、容量を小さくできる

「メモリー効果」が少ない
充電電池の放電が終わる電圧、約1ボルトに達する前に再充電を繰り返すことで電池容量が減っていく「メモリー効果」がほとんどない

放置時の自然放電率が低い
通常、バッテリーは使用しなくても自然放電するため、徐々に蓄電量が低下する。ニッカドやニッケル水素が月に約20~30パーセント減るのに対し、リチウムイオン電池は約10パーセント

ハードウェア

いざという時に役立つ充電関連製品

出張や旅行などにPalmデバイスを持っていく際、一番心配になるのは、やはりバッテリーがどれくらい持つかということだろう。各種デバイスに標準で装備されているクレードルは少々かさばることから携行には向かないので、別売りの小型ACアダプターや、バッテリー充電キットを用意しておくのが一番だ。一緒にパソコンを携行してHotSyncも行おう場合は、トラベルキットが重宝するだろう。



バッテリーアダプター PEGA-BC10

価 3800円
問 ソニーマーケティング㈱
TEL 0570-00-3311
URL <http://www.sony.co.jp/sd/CLIE/>
対応機種：CLIE T・SJ・NR・NXシリーズ
単3乾電池4本を使ってCLIEを充電・駆動できる。緊急時のケース。AC電源が見当たらないときでも、コンビニなどで手に入れられる単3乾電池が使用できるのが心強い



Palm m500 トラベルキット

価 5480円
問 パーム コンピューティング㈱
TEL 0120-564-380
URL <http://www.palm-japan.com/>
対応機種：Palm m500シリーズ
折り畳み式プラグを採用した、純正の携帯用ACアダプター。薄型で軽量なので持ち運びが苦にならない。この製品ひとつで充電とHotSyncが行える



PowerBank for CLIE PE-0505ATNR

価 8900円
問 ダイアテック㈱
TEL 03-5688-3421
URL <http://www.diatec.co.jp/>
対応機種：CLIE T・SJ・NR・NXシリーズ
5V / 3600mAの大容量リチウムイオン充電電池を内蔵している、携帯に便利な充電式バッテリーパックで、ほぼフル充電することが可能。野外でAC電源の確保が困難なときでも使用できるのがいい



USB充電Syncケーブル for Palm m500

価 1580円
問 PDA工房
TEL 086-430-0430
URL <http://www.u-systems.co.jp/pda/>
対応機種：Palm m500シリーズ
見た目はPalm m130 / m500シリーズとパソコンを直接接続できるUSBケーブルだが、これでHotSyncと充電が一度に行える。パソコンを携行しているときに便利だ。ただし、フル充電までには少々時間がかかる



MicroPower

価 3980円
問 ダイアテック㈱
TEL 03-5688-3421
URL <http://www.diatec.co.jp/>
対応機種：Palm 130・500シリーズ / CLIE S・N・T・SJ・NR・NXシリーズ
シンプルなUSBケーブルに専用のACアダプターをセットした構成。アダプターが小さいので携帯に便利だ。同製品のトラベルキットは、USBケーブルも付属する



カーバッテリーアダプター PEGA-DC10

価 4800円
問 ソニーマーケティング㈱
TEL 0570-00-3311
URL <http://www.sony.co.jp/sd/CLIE/>
対応機種：CLIE T・SJ・NR・NXシリーズ
車のシガーライターソケットからCLIEの充電ができるアダプター。車での移動が多い人にお勧め。充電する時間をわざわざとらなくても移動中にCLIEを充電しておけば、いざという時に準備万端だ

メモリー

ひとりで「メモリー」といっても、Palmデバイスにはさまざまな種類のメモリーが搭載されている。Palmに使われているメモリーの詳細を探ってみよう

Palmデバイスのメモリー

メモリーは大きく分けて、「RAM(Random Access Memory)」と「ROM(Read Only Memory)」の2種類がある。RAMは、任意のアドレスに対してメモリーヘータの読み書きができる半導体メモリーだ。Palmデバイスの中では、パソコンのハードディスクと実行用のメモリーの2つの役目を担っている。RAMにもDRAMとSRAMの2種類あり、Palmには容量が小さくコストも抑えられるDRAMを採用している。

ROMは、読み出し専用の半導体メモリー。RAMは電源がなくなると保存した記録を保持できないが、ROMは内容を記録したまま。主に、OSや基本プログラムを記録したりするなど、安易に消えては困るデータを格納するのに使われる。

ROMは開発された当初、データの読み出しのみで一切の書き換えができないものと定義されていた(現在ではこれを「マスクROM」と呼ぶ)。そうすると内部プログラムのバグやバージョンアップの際、最初から製造をやり直さなければならず、OSやプログラムのバージョンアップが頻繁な近年は、こういったタイプのROMは好まれなくなってきた。

そこで書き換えができ、何度も使用できるタイプの「EEPROM」が登場した。一般的なメモリーカードと呼ばれているフラッシュメモリーはこのEEPROMの一種で、大容量に対応できるよう改良されたものだ。EEPROMは内部データを1バイト単位で消去/書き込みできるのに対し、フラッシュメモリーは32KB、64KBなどの大きなブロック単位で行うため、容量のシビアな使い方には向かない。その代わりに、メモリーチップの単価は安く済むのだ。

以前、ソニー㈱がCLIE N700CのPalm OS 4.0を4.1へアップグレードするサービスを行っていたが、これは内部のEEPROM内に納められているPalm OSを書き換えるというものだった。

この手法が使えるデバイスは、提供されるサービスにハードが対応する限りOSをアップグレードできる。ただ、本体の構造が複雑になりがちなので、価格も高い。よって価格が安いエントリーモデルには、書き換えできないマスクROMが使われているのだ。このタイプは、OSのバージョンアップの際に本体を買い替える必要がある。

メモリー分類表

メモリーの種類	構造	特徴
RAM	スタティックRAM (SRAM)	バイポーラ型 フリップフロップ回路で内容を記録。レジスターやキャッシュメモリーに使用する。高速/低集積・小容量/消費電力が大きい
	ダイナミックRAM (DRAM)	MOS型 コンデンサーを使って内容を記録。メインメモリーに使用。低速/高集積・大容量/消費電力が少ない
ROM	マスクROM 製造時に内容を書き込む。再利用不可	
	プログラマブルROM	OTPROM 最初の一度だけ書き込み可能
		EPROM 書き込み可能。消去時に紫外線を使用
		EEPROM 書き込み可能。消去時に電気信号を使用
フラッシュROM 書き込み可能。読み書きはブロック単位に限る。消去時に電気信号を使用		

ハードウェア

column

PDA工房がチャレンジした32MBメモリー増量サービス

一部の販売店などでは、Palmデバイスに搭載されているRAMの容量をアップするサービスを行っている。

そもそもなぜ、メーカーは小さな容量のメモリーを選択しているのだろうか。これは単純にコストの関係だ。メモリーチップは時価なので、そのPalmデバイスを製造する前に部品を調達する必要がある。その時の価格が反映されるのだ。ほとんどの場合、時期的に後のほうが価格は安くなる傾向にあるものだ。

Palmデバイスのメモリー増設サービスを行っている「PDA工房」では、メモリー増設ができるほぼすべてのPalmデバイスに対し、限界までの容量のメモリーを搭載することにチャレンジしている(図1)。以前は2MBから8MBへ増設することが多かったが、最近では8MBから16MBへの増

設を行うことが増えた。

そして、ついに登場したのがメモリー容量32MBへの増設サービスだ。しかし、ここで疑問なのは、Palm OSは仕様上、16MBまでしかサポートしていないということ。なのに、なぜ32MBが実現したのだろうか。

それはデバイスの内部で、メモリーを16MB×2として扱っているからだ。ひとつは従来の内蔵メモリーに、もうひとつは内蔵のRAMディスクとして、それぞれの切り替えは同社が開発した専用ドライバーソフト「ERDD(Enhanced RAM Disk Driver)」によって行われている(図2)。

内部メモリーを増設すれば、外部メモリーカードに頼ることなく大容量のソフトやデータをインストールできるようになる。例えばPalm m500シリーズでは、SDカードスロットを通信カード専用として使用することもできる。徹底的にメモリー増設にこだわった、同社ならではの手法に拍手を送りたい。



図1 メモリー増設サービスは、CLIE NR/NXを除く、ほとんどのデバイスに対応
URL: <http://www.u-systems.co.jp/pda/>

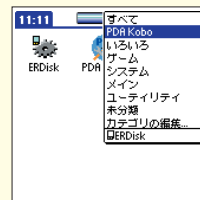


図2 独自のドライバーを使って、32MBのメモリーを16MBのメインメモリーを16MBの仮想Diskとして認識させられる

CPU

Palm OSが5.0にアップグレードし、ARMアーキテクチャーを採用したCPUがPalmデバイスで搭載可能になった。これまでのCPUとの違いを解説しよう。

新しいCPUの採用

小型なPalmデバイスも、基本的な仕組みはパソコンと変わらない。パソコンと同様にCPUが搭載されていて、基本的な処理をすべて行っている。ほとんどのPalmデバイスで使われているCPUは、米モトローラ社が開発した「DragonBall」シリーズだ。

機能のシンプルさを身上としていたPalmデバイスではあるが、用途の多様化により、より高速・高性能なデバイスが求められるようになってきた。そうすると従来のCPUでは処理が追いつかないとの判断から、Palmデバイスもより強力なCPUを求め始め

たのだ。それがPalm OS 5.0マシンのCLIE NXシリーズに搭載された米インテル社の「PXA250」(写真)や、米モトローラ社の「DragonBall MX1」、Palm Tungstenに搭載された米テキサス・インスツルメンツ社の「OMAP1510」だ。

これらのCPUに共通しているのは、「ARM」というアーキテクチャーを採用していることだ。ARMアーキテクチャーは、小型RISCプロセッサの代名詞とも言われている。ちなみに、これまでのDragonBallはCISCプロセッサだった。CISCとRISC、この違いを知ることが、今後のPalmデバイスを知るうえでの重要な鍵となるだろう。



写真 CLIE NX70Vに搭載されている「XScale PXA250」。Palmデバイスとしては初めてインテル社製のCPUが採用された

Palmに採用されているCPU

マシン名	CPU	プロセッサの種類
Palm m130・500シリーズ/ CLIE T600・400	Motorola DragonBall VZ (33MHz)	CISC
CLIE SJ30	Motorola DragonBall Super VZ (33MHz)	CISC
CLIE NRシリーズ・ T650C・SJ30	Motorola DragonBall Super VZ (66MHz)	CISC
CLIE NXシリーズ	Intell Xscale PXA250 (200MHz)	RISC
Tungsten T	Texas Instruments OMAP 1510	RISC

「CISC」「RISC」という命令処理方式の違い

CPUには、大きく分けると2つの命令処理方式がある。それが「CISC(Complex Instruction Set Computer)」と「RISC(Reduced Instruction Set Computer)」だ。

簡単に説明すると、CPUに与える1つの処理に複雑な命令を与えて一気に処理するのがCISC。1つの処理にシンプルな命令を与え、短時間で複数の処理をするのがRISCだ。

CISCは命令が複雑なぶんデータ容量が大きい。それを処理するハードも複雑になりがちで、処理にも時間がかかる。しかし、一度に処理できる量が多いので大型のコンピュータシステムなどではこの方法を採用しているケースが多い。

RISCは命令が単純かつ均等なので、処理するハードも最小限度で済む。処理量は少ないが1命令の実行時間が短いので、命令を素早く繰り返せる。主に小型の機器、携帯電話やPDAなどに使われる。

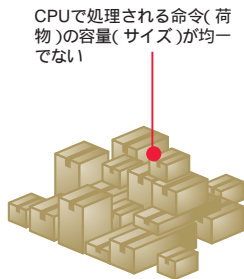
それぞれの処理方式を配送センターにたとえると、命令は段ボール箱に入った荷物、容量はサイズ、搬送人はプログラム。荷物の中身を処理する機械がCPUとなる。

まず、搬送人(プログラム)が処理装置(CPU)まで荷物を運ぶ。CISC配送センターでは荷物の大きさがまちまちだ。搬送人はそれを1つずつ持って処理装置まで歩くが、重い荷物は歩く歩数(クロック)が多いため時間がかかる。処理装置も大きな荷物を処理するのに備え、大規模なものだ。

対してRISC配送センターでは、受け付ける荷物の大きさが決まっている。容量が小さいので搬送人は軽々持ち運べ、処理装置まで1歩で到達する。処理装置も荷物のサイズが決まっているので最小限の規模で済み、処理速度が速い。しかし箱が小さいため、荷物の数はCISCよりも多くなる。

CISCとRISCの違い

CISC



CPUで処理される命令(荷物)の容量(サイズ)が均一でない

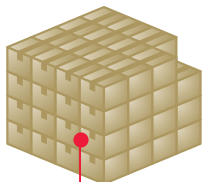
CISC配送センター



命令の容量によって、処理されるまでの時間(クロック数)が変動する

命令の容量が決まっていないため、余裕を持った処理能力のCPUが必要となる

RISC

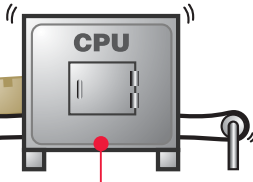


CPUで処理される命令の容量は小さめに統一されている。そのぶん数は多い

RISC配送センター



命令は容量が少なく一定なので、すぐにCPUへ送られる。クロック数は一定



命令の容量が統一されているので、CPUは最小限度の構成で十分

RISCが採用している「パイプライン処理」とは

前ページでCISCとRISCの処理方法の違いを説明した。ひとつの命令に対する絶対的な処理能力は、CISCのほうが高速だ。しかしRISCは、ひとつの処理が簡単な点を生かし、複数の処理を続けてできるように工夫してある。

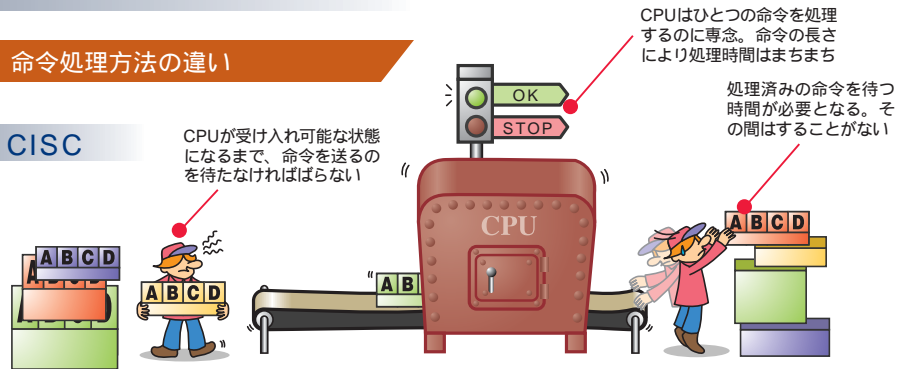
1つの命令には命令の「読み込み」「内容の把握」「実行」「書き出し」と、全部で4つの処理がある。CPUでは、命令が入るたびにこれを繰り返している。そしてCISCは、ひとつの命令が完了するまでは次の命令を受け付けずにしている。命令が大きければ次の命令を処理するまでの待ち時間がたくさん必要だ。

RISCではこのCPUの処理をさらに細分化し、命令の流れる経路を複数に分けることで、より効率よくスムーズに処理が進むような工夫が施されている。これをパイプライン処理という。

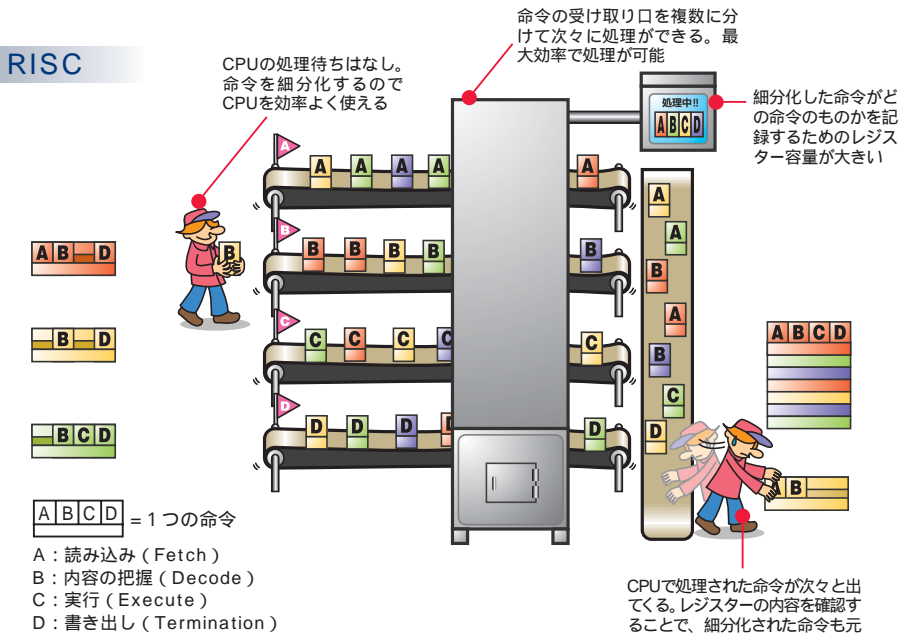
しかし、経路が複雑に分かれては、いくら命令が小さいからといってもCPUは混乱してしまう。そこで、CPUに直結する「レジスタ」と呼ばれる記憶部分の容量をCISCよりも大きくとり、命令を細分化してバラバラにCPUに送った場合でも、命令の順序を正しく記憶できるようにしているのだ。近年ではこの手法がCPUの高速化に最も有効と言われている。

命令処理方法の違い

CISC



RISC



ハードウェア

プログラム次第で決まるRISCの能力

少々視点を変えて、「人が歩く」という例で、CISCとRISC比較してみよう。CISCでは、「歩く」という命令の処理方法をあらかじめ定義してある。しかし、命令によっては忍び足のようにゆっくりだったり、全速力で走ったりと、必要に応じた定義をする必要があるのだ。「歩く」というバリエーションはかなり豊富で複雑だ。

RISCの場合には同じことをする場合、左足を上げる前に出す重心を前にかける左足を降ろすというような細かい命令を組み合わせて初めて「歩く」という処理が可能になる。

このように命令を細切れにするメリットは何か。命令の間隔や組み合わせを変えることで、走ったりゆっくり歩いたりという

指定ができることだ。ひとつひとつの命令は非常に細かいが、さまざまな処理に使い回せるために無駄が少なく、CISCのように組み合わせをあらかじめセットにして定義するよりも、命令の種類が少なく済む。

これまでCISCとRISCの違いを述べてきたが、どちらが優れていて高速かという点では比較はできない。なぜなら、それぞれの処理方法を動かすプログラムに大きく依存するからだ。

命令の処理方法を選択するだけで実行するCISCは、プログラムも単純ですぐに高速なパフォーマンスを出しやすい。しかし、細かい命令を組み合わせて実行するRISCでは、プログラムの組み方次第で速くも遅く

もなってしまう。

今後、Palmデバイスに搭載されるRISCプロセッサの能力が十分に生かされるか否かは、Palm OSならびにアプリケーション次第なのだ。

CISCとRISCそれぞれの特徴

	CISC	RISC
命令形態	複雑かつ高度な機能を持つ	単機能に限定したシンプルな形態
命令の形式	多種多様で、長さもさまざま	1つに固定されているが、現在では32ビットが多い
命令の実行速度	一度の処理に数クロックが費やされる	1クロックのみで実行
命令回路	シンプルなパイプライン	複数のパイプライン
レジスタ	8bit程度	大半が32bit



ソフトウェア

Palm OSの使いやすさや俊敏さ、アプリケーションの豊富さは、ほかのOSと比べても群を抜いている。こうしたソフトウェアの仕組みを知ること、Palmの魅力をより理解できるようになるだろう。

OS Palmデバイスのキモである「Palm OS」。バージョンが上がることで何がかわるのか？ 目には見えないけれど、重要なOSの仕組みを知っておこう。

Palm OSの仕組み

人=OS

自転車はハードなら人はOSそのものだ。同じ人でも「自転車を自由に運転できる能力を持っている」ということが大前提になる

ライトやベル=機能拡張

基本機能(OS)に足すことでより高機能になるものは機能拡張として扱われる。新たに付け加えるものは周辺機器となる

自転車=ハード

OSやソフトなど、すべてはハードを中心に構成されている。目的や用途に応じて部品(周辺機器)を加えることでより高機能になる

行動目的=ソフト

例えば「買い物に行く」という行動目的がアプリケーション。行き先までの情報しかなく、自転車の乗り方などはOSに依存する

カゴ=メモリー

カゴは荷物を積むところ、さしずめメモリーといったところ。カゴ(メモリー)が大きければ、たくさんのモノを入れられる

変速ギヤ=機能拡張

ハードやOSに密接な機能拡張の一部には、付けただけでは動作しないものもある。例えば、変速ギヤなどは使い方を知らないといと役に立たないのと同じだ。ギヤの使い方が、すなわちドライバーソフトにあたる

Palm OSのバージョンアップ

コンピューターのソフトには、必ずと言っていいほどバージョンナンバーが振られている。Palm OSもそれは同じで、バージョン1から始まり、現在は5に至る。バージョンナンバーは、ソフトの内容が改訂されるたびに増えていく。Palm OSのバージョンの移り変わりとその内容を説明しよう。「Palm OS 3」は、初代PalmからのOSが一定の完成の域に達したバージョンと言える。今では当たり前な赤外線通信やフロント機能、シリアルポートの強化、カラー表示のサポートなどが追加された。OSの安定性といった基本中の基本が無駄なくまとまっている。自転車で表現すればしっかりと

走る/曲がる/止まるといった基本機能が整ったと言えるだろう。

「Palm OS 4」はPalm OS 3に、より高度な機能を拡張したものだ。16ビットのカラー表示、SDカードやメモリースティックなどのストレージ機能、サウンドのサポートなどが追加された。インターネットへの接続も本格的になり、機動力も増している。

ハード面はPalm OS 3がベースとなっているので、CPUやそれに関係するハード構成などの根幹に関しては大きく変化していない。自転車でたとえれば、ライトやベルが追加され、より荷物が積めるようにカゴが加わり、泥よけやフレームカラーが加わるなど

の快適装備も追加されたようなものだ。

そして、「Palm OS 5」では大きな変化を迎えた。Palm OS 4が大幅に機能を拡張したことでハードの能力が不足し、十分な実力を発揮できずにいた点を改善したのだ。機能は拡張したが、ベースとなるハードに余裕がないといった、ハード面に対するあらゆる問題点を根底から一新した。

ここでは機能の拡張は大きく行われておらず、処理能力がステップアップしたことでハード側に余裕が生まれている。たとえるなら、自転車からオートバイに変わったようなものだ。操作形態は大きく変わらないが、運動能力や機動力が向上している。

ハードウェアを動かす基幹ソフトである「OS (Operating System)」。PalmデバイスとPalm OSを、ここでは自転車とそれに乗る人になぞらえて解説しよう。

自転車はハードウェア、つまり「Palm本体」を指す。自転車を運転する人が「Palm OS」に乗っている人の頭の中で「へ行って何かをする」という用件が「アプリケーション」だ。自転車に付けられたライトやベル、カゴなどは後付けできる「周辺機器」で、自転車に組み込まれた変速機は「機能拡張」にあたる。

自転車に乗れる人は、運転方法をいちいち考えながら自転車に乗ったりはしない。OSも同様に、ハードやソフトの動かし方が頭の中に入っていると考えてほしい。画面をタップした場所が反応したり、メモリーカードを差せばマウントされるなど、ユーザーが特別に何かを準備することなくPalm

デバイスを使えるようにしてくれる。

そしてアプリケーションとは、ハードを使って目的を達成するアクションだ。Palmのスケジュールやアドレスといったアプリケーションは、データを入力すれば整理をして順番に表示するなど、煩雑な情報をまとめてくれる。自転車に例えると、自転車に乗ってどこかへ行く、という行動になる。これは自転車の操作方法(基本操作)は知っているという前提で目的地への到達手段(アプリケーション)を遂行する。Palmデバイスでもアプリケーションの実行には基本的な部分、すなわちOSが動作していることが大前提になっている。

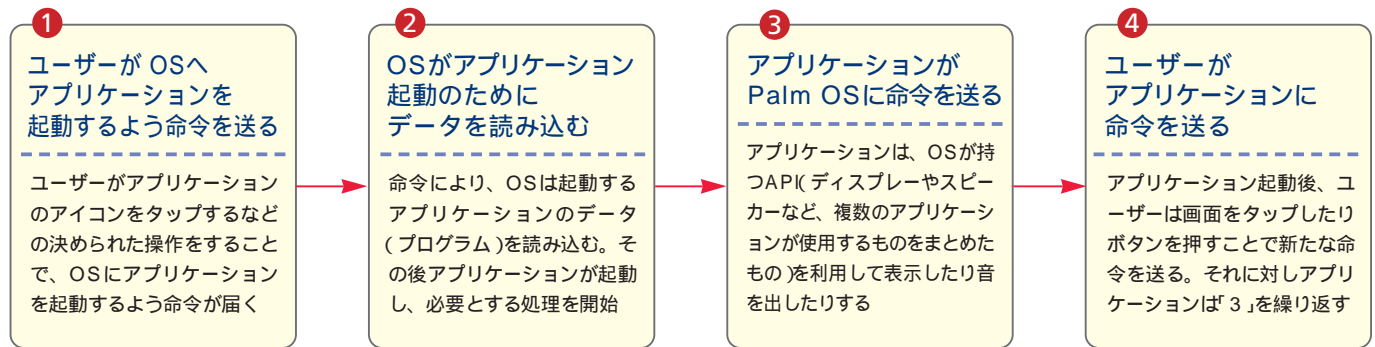
周辺機器とはメモリーカードなどを指しており、これらに加わることでハードは新たな能力を付加できる。メモリーカードが加えることでたくさんのデータを扱えるようになったPalmデバイスは、さしずめカゴ

の付加で荷物の搭載量が増えた自転車、といったところだろうか。

機能拡張は、OSが持っていなかった機能を後から加えて拡張する役割を持つ、ドライバーソフトなどが当てはまる。周辺機器と重なる部分があるが、周辺機器と違ってOSに直接関係する要素が多い。これは自転車でいうと、ギアの変速機能にあたる。変速ギアなしの自転車に乗っていた人が後から自転車に変速ギアを付け足しても、その使い方を教わらなければいつまでも使いこなせず、結局は無駄になってしまう。BluetoothカードをPalmデバイスに差してもドライバーソフトを入れなければ動作せず、役に立たないのと同じだ。

このようにOSは基本中の基本で、ユーザーが特別に意識することはない。しかし、OSがないと何もできないという最も重要なものなのだ。

ある特定のアプリケーションを実行した際の流れ



ソフトウェア

これまでのバージョンアップ

Palm OS 3



ハードをつがつがなく動かす最低限の機能を装備。オプションの付いていない自転車に乗るようなもの

Palm OS 4



ストレージ機能やサウンドをサポート。カゴやベルなどが付き、自転車をより便利に使える状態

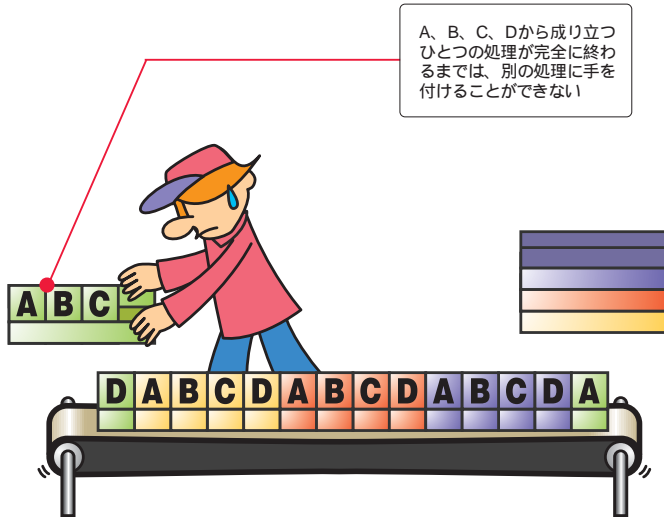
Palm OS 5



自転車からバイクへ乗り換えるように、より高性能なハードへと変化。OSも能力を十分に生かせる

シングルタスクとマルチタスク

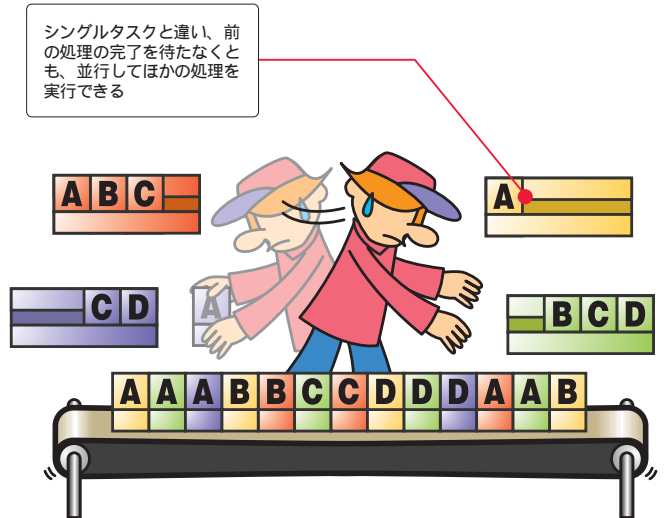
シングルタスクの仕組み



シングルタスク

1つの処理が完全に完了するまで、次の処理を始めることができない。必ず同じ処理内の命令でもA、B、C、Dと順番を守って処理が進められる。処理できるのが1つのみで、複数の処理を並行して行うことができないので、シングルタスクということになる

マルチタスクの仕組み



マルチタスク

1つの処理が完了する前に別の処理の命令を割り込ませて、順々に複数の命令を処理する。CPU自体の処理能力は1つの命令を処理するのと変わらないので、複数の命令を処理した場合は、その命令数分の処理時間が必要となる

バージョン4までのPalm OSはシングルタスクだったが、Palm OS 5.0でついにマルチタスクOSとなった。このシングルタスクとマルチタスクについて説明しよう。

「タスク」とは、OSが処理する作業の単位を指す。通常、コンピューターはプログラムを決められた順序で処理している。つまりシングルタスクでは、ひとつのタスクの実行が完了しない限りは、次のタスクは実行状態に移ることができない。

Palm OS 4以前のOSではシングルタスクとすることで、乏しいCPUの能力をひとつのアプリケーションに最大限に割り当て、快適な使い心地を実現していた。Palmのアプリケーションは、切り替えるたびに直前に実行していたアプリケーションを自動的に停止し、新しいアプリケーションを起動して実行する「シングルレッドタイプ」と言われるものだ。アプリケーションが常

にひとつしか起動しないと聞くと能力が低いように思われがちだが、Palmデバイスのように限られたCPUの性能を最も効率よく生かす方法なのだ。

しかし、CPUの処理能力が高くなればプログラムの処理速度も速くなる。その処理能力を生かし、ひとつのプログラムを処理中にいったん別のプログラムを割り込ませて処理を行い、また元のプログラムの処理をするということを高速に繰り返すことで、あたかも2つのプログラムが同時に処理されているように見える。この手法がマルチタスクだ。

もう少し詳しく説明すると、マルチタスクでは、システム内に発生する各タスクがそれぞれ「実行状態」「実行可能状態」「待ち状態」といったような、それぞれの状態に遷移することが可能になる。例えば、ひとつのタスクが実行状態から実行可能状態

に移行し、その代わりに別のタスクが実行状態に遷移する、といった状況が作れるのだ。実行状態から待ち状態に遷移したタスクの場合は、待ち状態から実行可能状態へ、それから実行状態へと遷移する。つまりマルチタスクでは、実行がいつ終わるかかわからない複数のタスクを並行して実行させることが可能となる。

人間に置き換えて考えてみても、決められたキャパシティの中でひとつの仕事を行いつつ別の仕事をするとするのは、ひとつの仕事を集行的に行うよりも大変だ。複数の仕事を処理できるだけの能力が伴わなければ逆に遅くなってしまいう結果となる。

同様にコンピューターでも、マルチタスクはCPUやOSに高い負荷を与える。よってCPUにも処理能力の高さが要求され、OSにはタスク切り替えのコントロールや管理能力が重要なのだ。

Palm OSの未来

Palm OSはハードを一新したことで、より高度な処理も実行できるだけのハード的な基盤を得た。ただし、現状ではその資産をフルに生かせるだけのアプリケーションが出そろっていない。Palm OS 5.0では、OS 4.0のアプリケーションが新しいハードウェア上でも動作するように環境を整えたにすぎないのだ。

つまり、アプリケーションはこれまでの資産ができるだけそのまま利用できるようにとPalm OS 5.0内に用意された、「PACE (Palm Application Compatibility Environment)」という互換環境のなかで動作しているのである(図)。これは、今後進められる新しいハード構成へ完全移行するまでのつなぎであり、まだまだ完成形ではないことを示している。

それでは見方によっては中途半端とも思えるOSを、なぜリリースするに至ったの

Palm OS 5のブロックダイアグラム

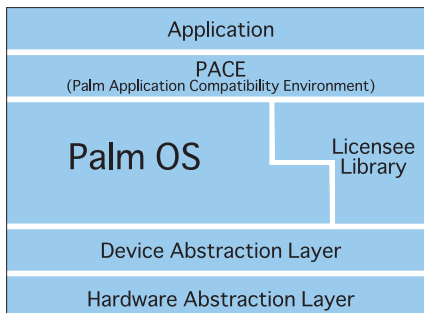


図 アプリケーションとPalm OS 5の間にはOS 4系互換環境であるPACEが用意されているため、ARMベースのCPU上でもこれまでのアプリケーションが動作する

か。これにはPalm OSを開発している米パームソース社の戦略が絡んでいる。今回進められたような大幅なハード変更の際には、すでに公開されている膨大なアプリケーション資産がそのままでは動かなくなる可能性が高い。プログラマーがアプリケーションをPalm OS 5.0に合わせて変更するには、多大なる労力や時間をかけることになるだろう。同社はそれを大きなロスと考えた。その間にPalm OSコミュニティが縮小することだけは避けたいのだ。

そのためにもOSにはPACEを用意し、現在のデベロッパーやユーザーが新たに何かを習得することなく新ハードへスムーズに移行できるような形態をとった。そしてまずは基本的な動作を確実なものとしておき、少しずつ問題点を洗い出して解決していったあと、新しいハード環境に完全適合しようとしているのだ。いわゆるそれが、完全ネイティブ化されたOSと言われるPalm OS 6.0になる。現在はまさに新OSへの準備期間だと言っていいだろう。

特に、今回から採用されているCPUのARMアーキテクチャーがRISCプロセッサという点からも、そのメリットを最大限に引き出すためにはOSの最適化が重要な鍵となる(24ページ参照)。それは、その上で動作するアプリケーションにも同じことが言える。新しいハード環境が構築されれば、Palmはまだまだ高速かつ高機能なデバイスになれるはずだ。

column

メジャー/マイナーバージョンアップの違い

バージョンアップは、その内容によって種類が分けられており、よく「マイナー」や「メジャー」といった言葉で表現されている。自動車でもモデルチェンジの際に使われているが、ソフトの場合も似たような表現といえる。

ソフトの場合は、バージョンを数字によって区別している。数字には小数点があり、大抵の場合は小数点第2位まで記載されているものが多い。先頭の数字はソフトの構成に関わるもの、小数点第1位は構成

にまで関わらないが機能面などで変化したもの。小数点第2位はバグなどによる修正の際に記述されることが多い。最近では小数点第2位は数字ではなく、アルファベットを記述したものもある。メジャーバージョンアップは主に整数の変化、マイナーはそれ以外を指すものが多い。

明確な定義ではないのだが、ソフトのリリースなどで表記されるバージョンナンバーにも注意してから利用すると、思わぬトラブルに出くわすことも少なくなるだろう。

Palm OSの変遷

OS 5.0

CLIE NXシリーズ
ARMアーキテクチャーを採用したCPUへの対応
マルチメディア機能追加
セキュリティの強化

OS 4.1

CLIE N750C / 同Tシリーズ / 同NRシリーズ / 同SJ30
16ビットカラーサポート

OS 4.0

Palm m500シリーズ
本体ロック機能など、セキュリティを強化
ストレージ対応(プラグ&プレイによる拡張をサポート)
「Web Clipping」機能追加
アラーム機能の強化

OS 3.5

Palm IIIc / 同Vx / 同m100シリーズ・Visor Prism / 同Platinum / 同Edge・CLIE S500C / 同N700C・HandEra 330など
カラー表示サポート
コマンドメニューパー
シリアルマネージャー拡張(赤外線、CFモデムなどのシリアルポートサポート)
Notification Manager
プライベートデータのマスク機能

OS 3.1

WorkPad 30J・Palm V・Visor Deluxeなど
国際化機能搭載
初の日本語対応OS

OS 3.0

Palm III
赤外線サポート(Exchange Manager)
フォントおよび
フォント切り替え機能追加
MIDI再生機能サポート
ダイナミックUI

OS 2.0

PalmPilot
バックライトの追加
TCP/IPサポート
スクロールバーのサポート
環境設定が追加可能に
フラッシュROM搭載
デバイスIDサポート
ランチャーの単体アプリケーション化

OS 1.0

Pilot1000・Pilot5000
初期バージョン

Hack・DAソフト

Hackソフトによるカスタマイズの仕組みや、DAソフトによる疑似マルチウィンドウ・マルチタスク的な使い方ができる仕組みを紹介しよう。

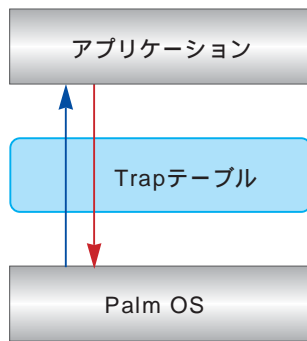
Hackソフトの仕組み

Hackソフトを利用すれば、Palm OSやソフトが本来持っている機能の拡張や置き換えが可能だ。例えば、シルクボタンに別の機能を割り当てたり、時計表示機能を持たないソフトでも常時計を表示させるといったことができるようになる。

Hackソフトを利用するには、Hack管理ソフトをインストールする必要がある。Hack管理ソフトは、インストールされたHackソフトの一覧を表示し、それぞれの機能をオン/オフしたり、詳細設定を変更できるソフトだ。

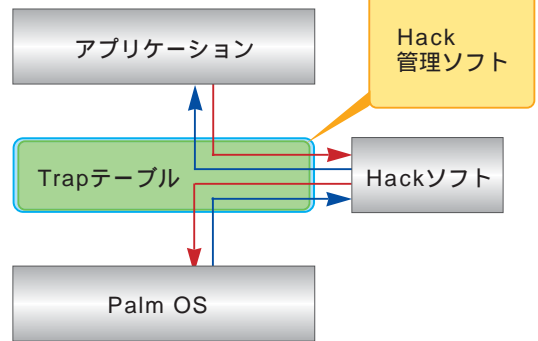
Palm OSでは、ユーザーによる入力操作やソフトが発行した表示コマンド(命令)を、システムが持っている「Trapテーブル」を参照し、該当の処理を行うプログラムの格納場所を判断して動作させている。「X-Master」などのHack管理ソフトは、このTrapテーブルを書き換え、OS本来が持つプログラムの代わりにHackソフトを動作させるようにしているのだ。

一般的なソフトの動作原理



アプリケーションとPalm OSの間には「Trapテーブル」(APIの一種)があり、そこを經由して命令がやり取りされる

Hackの動作原理



基本的にHackとは、「Trap テーブルを書き換える」ことだ。Hack管理ソフトは、Hackソフトが使用できるような状態にしようとTrapテーブルを書き換えたり、命令伝達の管理を行っている

また各Hackソフトは、自身の処理を行ったあと動作をOSに戻したり、別のHackソフトへと引き継ぐ必要がある。Hack管理ソフトは、それらの戻り先に矛盾が生じないように管理する役目をも担っている。

同じ操作を必要とするHackソフトが複数設定されていると、内部で思わぬ動作となり原因不明のエラーになることもあるので注意しよう。

代表的なHack管理ソフト

X-Master
作者: LinkeSOFT
種別: フリーウェア
<http://linksoft.com/>
フリーウェアということもあり、現在もっとも一般的になっているHack管理ソフト

TealMaster
作者: TealPoint Software
種別: シェアウェア(9.95ドル)
<http://www.tealpoint.com/>
本来Hackソフトが動作しないPalm OS 5マシンでも、一部のHackソフトを動作させられる

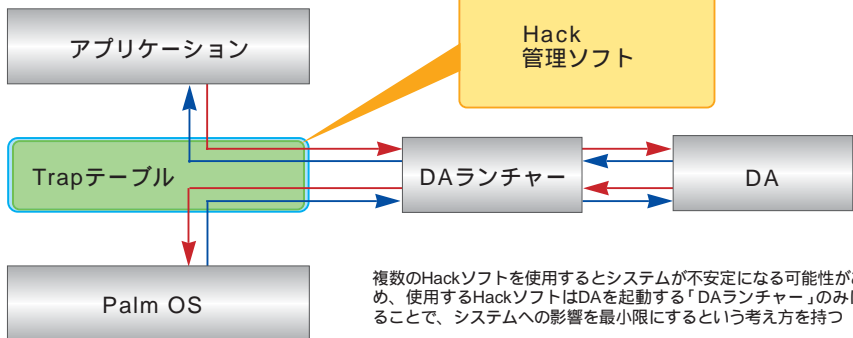
DAソフトの仕組み

Hackは、複数のHackソフトが同時にOSへパッチを当てる(改変する)仕組みのため、システムを不安定にしたり動作速度が落ちるといった問題が生ずることがある。それらの問題を解決するために山田達司氏により提唱されたのが、DA(Desk Accessory)だ。DAは、システムを不安定にする可能性があるHack機能はDAを起動するランチャーだけが受け持ち、DAソフト自体はシステムパッチなしに動作する。

DAソフトを利用するには、DAを起動できる機能を持ったソフトが必要だ。山田氏が開発した「DA Launcher」では、Hack版やノーティフィケーション版などの複数タイプが用意されている。

DAソフトとはいっても、通常のアプリケーションとまったく同等の機能を持つものや、DAの後ろの画面に残っているアプリケーションとの間でデータのやり取りができ

DAの動作原理



複数のHackソフトを使用するとシステムが不安定になる可能性があるため、使用するHackソフトはDAを起動する「DAランチャー」のみに抑えることで、システムへの影響を最小限にするという考え方を持つ

るもの、疑似マルチウィンドウ的な使い方ができるものなどさまざま。Palmデバイス本来の、ソフトを切り替える使い方とはひと味違う使い勝手が大変便利。ただし、すでにアプリケーションが起動したうえで動作するため、多くのメモリーを必要とするソフトは実行できない。そのため開発時には、複数の画面はできるだけ持たない、リソースの消費量は2KB以下に抑えるなどのガイドラインがある。

代表的なDAランチャーソフト

DA Launcher
作者: 山田達司
種別: フリーウェア
<http://www.simple-palm.com/>
アプリケーションタイプ。メニューボタンの左隅をタップするとDAソフトのリストが現れる

App / DA Launcher
作者: Hoshi Takanori
種別: シェアウェア(5ドル)
<http://www.sra.co.jp/people/hoshi/>
Hackタイプ。ホームボタンを4分割し、アプリケーションやDAソフトの起動を割り当てる

ローカライザーとオーバーレイ

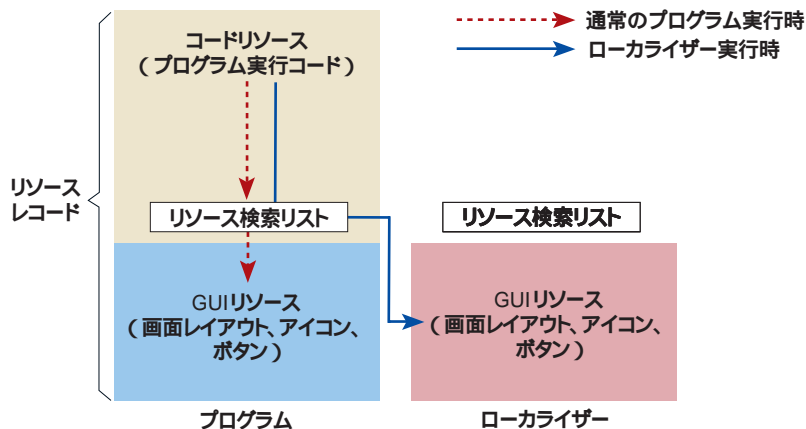
「ローカライザー」とは、もともとは英語版Palmデバイスを日本語化するために山田氏が開発したユーティリティー「J-OS」に実装された、英語版ソフトのメニューや画面の文字を日本語表示に差し替えるための機能だ。個々の英語版ソフトに対応した、日本語メニューなどのデータを入力した日本語ローカライザーファイルをインストールして設定をオンにすると、英語表記のソフトを日本語へと置き換えられる。この機能をJ-OSから切り出し、日本語版Palmデバイスでも利用できるようにしたのが、同氏の「Localize HACK」だ。

Palm OS用ソフトは、画面表示に使うメニューやボタンなどの部品をプログラムファイルの「リソースレコード」エリアに格納しており、それらの部品を呼び出して表示する仕組みになっている。Palm OSには、もっとも最近開いたリソースを利用するという特徴があるが、J-OSやLocalize HACKは、指定のソフトを起動したときに該当の日本語ローカライザーファイルを遅れてオープンさせることで、以降は自動的に日本語版の部品データに差し替わるといった特徴を生かして作られた。

またパーム社はPalm OS 3.5以降、標準

で多国語対応のための仕組みを追加した。それが「オーバーレイ」だ。各ソフトに対応したオーバーレイファイルをインストールすれば各国の言語に対応した表示になるという、ローカライザーに似た機能を持つ。残念ながらローカライザーファイルとの互換性はないが、山田氏が開発したユーティリティー「PowerLOCALIZER」を使えばローカライザーからオーバーレイへ変換できる。Localize HACKはPalm OS 5.0以降では動作しないとされているため、それ以降の機種でソフトのメニューなどを日本語にするにはオーバーレイを利用することになる。

ローカライザーの概念図



Localize HACKがソフト起動後にローカライザーファイルを読み出すことで、それ以降ソフトが起動している間はローカライザー側のGUIリソースが利用される

オーバーレイの概念図



Palm OSがオーバーレイの有無を判断し、オーバーレイがあれば自動的にGUIリソースを置き換えて実行する

ソフトウェア

Hack・DAソフトのPalm OS 5対応状況

Palm OS 5.0にはPACEが組み込まれているため、従来からのソフトが動作するようになっている(29ページ参照)。しかし、PACEはTrapテーブルの書き換えをサポートしておらず、ほとんどのHack管理ソフトがシステムにパッチを当てられないため、HackソフトはPalm OS 5.0上では正常に動作しない。現時点で動作するのは、米ティールポイント社の「TealMaster」だけだ。従来のHack管理ソフトが行っていた機能のうち利用度が高いものを、Palm OS 5.0より提供されているシステムの拡張機能、ノーティフィケーションに橋渡しすることで、Palm OS 5.0対応を実現した。

DA自体はPalm OS 5.0で動作するものも

あるが、DAランチャーがHackソフトである場合が多く、そのままでは起動できない。しかし、DAランチャーのノーティフィケーション対応版を利用すれば、DAソフトの

ノーティフィケーション対応版



利用が可能だ。ただし、HackもDAも個別に動作確認する必要がある。

SONY CLIE NX70,NX60対応アプリ情報

アプリ名	バージョン	動作状況
CDManager 1.0	1.0b	フロントパネル
3000mail	1.0b	256色であれば正しく動作する。65000色 (High Color) を使用する上、ボールの両端が動く場合があります。
AS	0.141	※文字が重なってしまい利用できません。(予定とTOUCHを連携表示で確認できる)
Abuse! 0.1		※文字が重なってしまい利用できません。(予定とTOUCHを連携表示で確認できる)
AcciFreeCell 2.0a		※スピードももう少しよい、シミュレーションが速くなる
AcciImage	2.0a	新しいバージョンをダウンロードし、新しいバージョンの動作が必要
AcciMail	2.0a	※動作確認済み。日本語を英語のPDAファイルは自動的に日本語メニューになる。日本語は5.0から対応済み。
AcciMail Reader		※動作確認済み。日本語を英語のPDAファイルは自動的に日本語メニューになる。日本語は5.0から対応済み。
AcciNews		※動作確認済み。日本語を英語のPDAファイルは自動的に日本語メニューになる。日本語は5.0から対応済み。
AcciNotes		※動作確認済み。日本語を英語のPDAファイルは自動的に日本語メニューになる。日本語は5.0から対応済み。
AcciPDA	0.9102	※動作確認済み。日本語を英語のPDAファイルは自動的に日本語メニューになる。日本語は5.0から対応済み。
AcciPDA	1.4	※動作確認済み。日本語を英語のPDAファイルは自動的に日本語メニューになる。日本語は5.0から対応済み。

Palm OS 5.0を搭載したCLIE NXシリーズでのソフト動作状況を取りまとめたWebサイト。頻繁に更新される
<http://www.geocities.com.jp/HearthLand-Namiki/8083/>

アプリケーション

Palmデバイスの特徴は、軽快で使いやすいPIMや、デベロッパーが開発した数千のアプリケーションにある。その種類や仕組みについて探っていこう。

アプリケーションの種類

標準アプリケーション

工場出荷時からROMに搭載されているアプリケーション。主なものにPIMソフト(予定表、アドレス、To Do、メモ帳)、電卓、環境設定、データ保護、ランチャーなどがある

置き換えアプリケーション

標準アプリケーションの機能を置き換える。追加アプリケーションの一種で、PIMやランチャーを置き換えるものが多い。標準アプリケーションのデータベースを流用するのが特徴

環境設定パネルアプリケーション

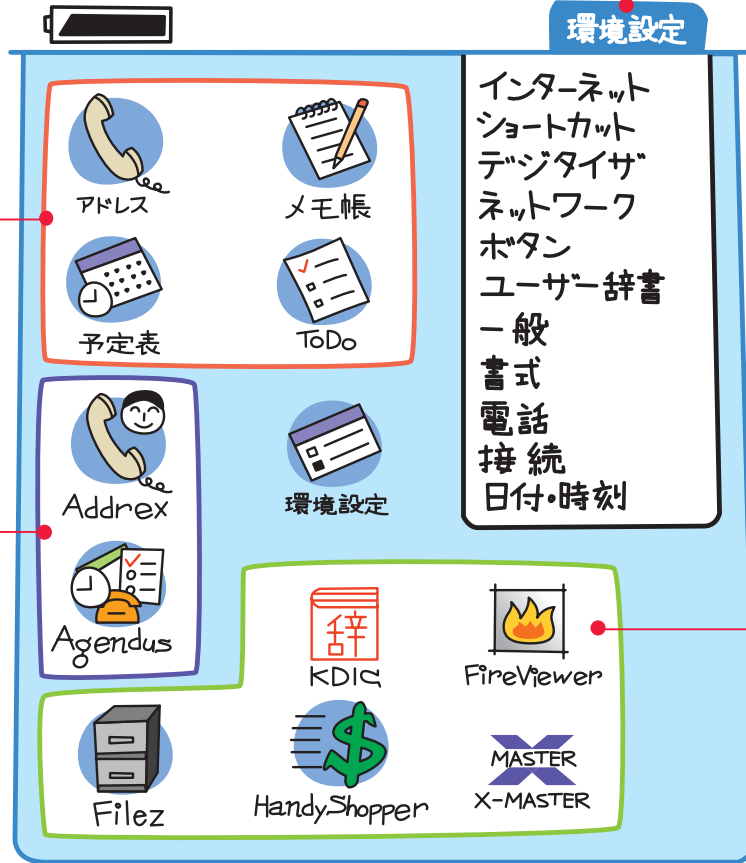
環境設定アプリケーションにパネルとして組み込まれる、追加アプリケーションの一種。特定のものだけでなく、どのアプリケーションでも使える機能を提供するものが多い

環境設定

インターネット
ショートカット
デジタイザ
ネットワーク
ボタン
ユーザー辞書
一般書式
電話
接続
日付・時刻

追加アプリケーション

標準アプリケーション以外に自分で追加したアプリケーション。HotSyncや赤外線でのビームを通じてインストールする。アプリケーション単体で動作するものと、データベースを必要とするものがある



Palmデバイスにインストールされているアプリケーションは、上図のように4種類に分類できる。

「標準アプリケーション」は最も基本的なものだ。Palm本体を工場から出荷する時点ですでにROM(読み出しのみが可能なメモリー)に記録してある。具体的には、予定表、アドレス、To Do、メモ帳などのPIM、電卓、辞書、初期設定、ランチャーなどだが、機種やOSのバージョンによって多少のバラつきがある。例えば、拡張カードロット付きのPalmデバイスは「カード情報」を内蔵しており、Palm mシリーズは「手書きメモ」や「クロック」を独自に標準アプリケーションとしている。

追加アプリケーションは、標準アプリケーション以外を指す(環境設定パネル/置き換えアプリケーションを含む)。本体付属のCD-ROMに収録されているものや、サードパーティーが配布/販売するアプリ

ケーションがこれに当たる。アプリケーションによっては、本体とは別にデータベースもインストールする必要がある。例えば、経路検索ソフト「おこしやす」は、アプリケーション本体と経路データベースの両方をインストールしてはじめて、経路検索機能が利用できるようになる(図1)。

環境設定パネルアプリケーションは、ランチャーからは起動できない。まずホーム画面から環境設定アプリケーションを起動し、右上のプルダウンリストから該当の環境設定パネルアプリケーションを実行する(図2)。なお、置き換えアプリケーションについては次ページを参照してほしい。

標準アプリケーションはROMに収納されているため削除できないが、標準アプリケーションのうち、PIMが読み書きを行うデータベースはRAM上にある。ファイルユーティリティなどで削除してしまわないよう気をつけよう。

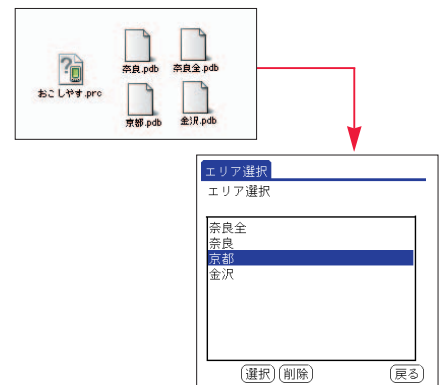


図1 アプリケーションの拡張子は「prc」、データベースは「pdb」。データベースも一緒にインストールしよう

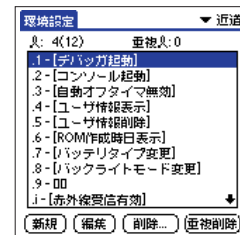


図2 環境設定パネルアプリケーションの画面。環境設定画面の右上にあるポップアップメニューから起動する

「置き換えアプリケーション」とは

置き換えアプリケーションとは、標準アプリケーションの機能を置き換えるアプリケーションのこと(標準アプリケーションプログラムを上書きするわけではない)。標準のものに機能を追加するタイプが多い。

置き換えアプリケーションは標準アプリケーションと同じデータベースを利用しているため、標準の予定表やアドレスにデータを登録したあと置き換えアプリケーションを起動すると、データが入力された状態で表示される(図)。置き換えアプリケーション側でデータを登録/編集も可能だ。仮にアプリケーションを削除しても、データベースは残っているのご安心を。

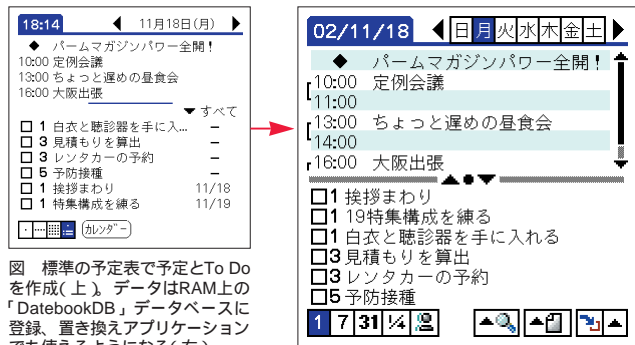


図 標準の予定表で予定とToDoを作成(上)。データはRAM上の「DatebookDB」データベースに登録、置き換えアプリケーションでも使えるようになる(右)

ROMに追加アプリケーションを移動したい

PalmデバイスのROMには標準アプリケーションが、RAMには追加アプリケーションが収納されている。では、追加アプリケーションはROMにインストールできないのだろうか。

実は、「JackFlash」というユーティリティを利用すれば追加アプリケーションをROMに移動できる(図1、2)。そのメリットはふたつ。ROMに移動したアプリケーションのぶんだけRAMの容量が増えることと、長期の電池切れやハードリセットなどでRAMの内容が消去されても追加アプリケーションが消えないことだ。ただし、ROMの書き換えはメーカーの保証外となるので、あくまでも自己責任の下で作業しよう。

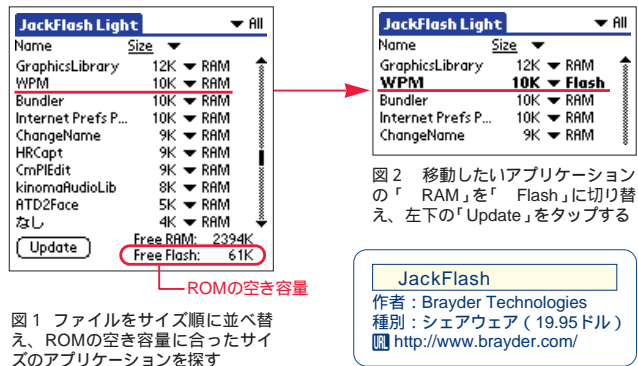


図1 ファイルをサイズ順に並べ替え、ROMの空き容量に合ったサイズのアプリケーションを探す

図2 移動したいアプリケーションの「RAM」を「Flash」に切り替え、左下の「Update」をタップする

Palmデバイスにはない「保存」

予定表などに文字を入力すると、そのデータは何もしなくても保存される。これは、アプリケーションがRAMにリアルタイムに記録しているからだ(図1)。

そもそもPalm OSには「保存」といった考え方がない。ファイルを使用しないことで、「保存」操作が不要となり、パソコンに慣れていないユーザーでもPalmデバイスを自然に使えるように配慮しているのだ。

追加アプリケーションの中には、保存機能を持っているものもある(図2)。これは、RAM内部でデータを移動する場合や、メモリーカードにデータを書き出したりする場合などに使われることが多いようだ。

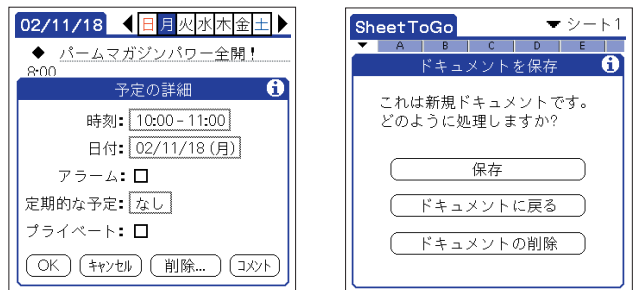


図1 PIMの各アプリケーションには「OK」や「キャンセル」は存在するが「保存」はない。入力データはRAM内部の記録用エリアに直接保存される

図2 追加アプリケーションには編集内容を保存する必要があるものもある。図の「Sheet To Go」は、文書を閉じる際に保存するの否かを尋ねられる

予定表の開始/終了年月日

予定表の日付は、なぜ1904年1月1日~2031年12月31日までなのか(図1、2)。年の種類は「年」「閏年」「平年」(世紀の最後の年)の3つで、Palmデバイスではそれぞれ一定の数え方でカウントする。原則的に平年は閏年にならないが、4世紀周期で閏年になる。Palmデバイスの内蔵カウンターは32ビットで構成されており、1秒に1ずつカウントすると、1904年1月1日から2040年2月6日まで計算できる。

このルールでいくと2000年は閏年として処理でき、すべての日付が年と閏年だけでまかなえる。もし開始年月日を1900年にした場合、1900年を数えるためだけに平年を判断する計算式が必要になってしまう。そこで便宜上、1900年の後の最初の閏年である1904年を開始年月日に選んだといわれている。

2031年12月31日が終点なのは、2000年問題の次に起こるとされる2038年問題を選避けるためという考え方が有力だ。

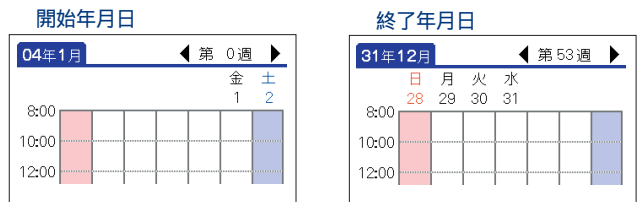


図1 この日付はPalmだけが採用しているわけではなく、マックOSなどほかのOSでも1904年1月1日をシステム時計の始まりの日としている

図2 2038年問題とは、C言語で記述されたプログラムが2038年1月19日以降の時刻を表現できなくなるのではないかという仕様上の問題だ

ソフトウェア

ファイル

Palmデバイスのメモリー内で、ファイルは1つ1つに設定されたさまざまな属性情報を基に管理されている。それらの属性と活用事例を紹介しよう。

ファイルタイプとクリエイター

Palmデバイス内のファイルには、ファイルを識別するためのファイルネームに加え「ファイルタイプ」と「クリエイター」という属性が設定されている。ファイルタイプにはそのファイルの種類が、クリエイターには、そのファイルを扱うアプリケーションが固有に持っているクリエイターIDが定義されている。

各アプリケーションはこれらの情報を基に、対象となるファイルを開いたりデータ一覧を作っているのだ。ファイル自体がアプリケーションのときは、タイプが「appl」であり、クリエイターにはそれぞれ固有のクリエイターIDが設定されている。例えばDOCデータの場合は、タイプが「TEXT」、クリエイターが「REAd」となっており、DOCリーダーアプリケーションはこの条件に合ったファイルを、対象ファイルとして一覧表示しているということになる。

代表的なクリエイター

ファイル名	タイプ	クリエイター
AddressBook	appl	addr
CCC	appl	CuCC
Calculator	appl	calc
CrsMeDoc	appl	CMDc
DateBook	appl	date
DocsToGo	appl	DTGP
gMovie	appl	xpud
HandStory	appl	hslB
J-DOC Reader	appl	JDoc
McFile	appl	McFL
MemoPad	appl	memo
MemoPLUS	appl	G201
PenDoc	appl	PDOC
PhotoStand	appl	PSPG
PocketBBS	appl	NetT
PooK	appl	POOK
PowerLOCALIZER	appl	PowL
TealMovie	appl	TIMv
ToDoList	appl	todo
TrainTime	appl	DATT
Zao!2016	appl	AsZS

代表的なファイルタイプ

ファイル名	タイプ	クリエイター
ソフト	appl	各種
DAソフト	DAcc	各種
Hackソフト	Hack	各種
オーバーレイ	ovly	各種
環境設定/パネル	panl	各種
レファレンスファイル	pref	各種
DOCファイル	TEXT	REAd
HandStory CLIPファイル	hslB	Clip
HandStory 画像ファイル	hslB	vIMG
cccサイトファイル	Site	CuCC

column

置き換えソフトを削除してもデータが消えない理由

ホームの「削除」は、選ばれたアプリケーションと同じクリエイターIDを持つデータを削除する機能を持つ。しかし置き換えアプリケーションは、扱うデータと異なるクリエイターIDのため、アプリケーションを削除しても関連データは残る。

ファイルの属性を確認

まず、ファイル属性を確認/変更できるファイル管理ソフトをインストールしよう。使用方法を誤って必要なファイルを削除すると、最悪Palmデバイスが起動しなくなる可能性もある。わからない機能や設定の変更は、むやみに行わないようにしましょう。

ファイル属性を確認できるソフト

FileZ
 作者: opensleep
 種別: フリーウェア
<http://nosleepsoftware.sourceforge.net/>
 操作したいファイルにチェックマークを付けてから「Details」ボタンをタップすると、詳細属性の表示、編集が行える

McFile
 作者: 今関弘明
 種別: シェアウェア
 (1500円。NXシリーズに対応したVer.2.2は 版)
<http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>
 任意のファイルを選択し、「全てのデータベース」を「クリエータグループ」に切り替えると、同じクリエイターのファイル一覧表示になる

G-DB Fighter
 作者: Gaku Taniguchi
 種別: シェアウェア(1000円)
<http://sapporo.cool.ne.jp/gpalm/>
 アイコン表示が可能で、「Backup」「Launchable」「Bundle」など、さまざまな属性情報を一覧画面で確認できるのが特徴

FileZで表示したファイル属性

ローライザーとは

General

Read Only

Backup

Stream

Hidden

Open

Attributes

OK Install New

Reset After Ins.

Copy Protect

App Info Dirty

Launchable

Resource DB

Save Cancel Delete Beam

Read Only
 設定変更から保護されているファイル。ROMにインストールされているソフトウェアなどで、設定変更できないものが多い

Bundle
 ホーム画面で同一のクリエイターIDを持つアプリケーションを本体-外部メモリーカード間でコピー/移動したときに、データも一括で同様に処理するかどうかの設定(次ページ参照)

Hidden
 アプリケーションをインストールすると、基本的にホーム画面に表示されるが、「Hidden」をオンにすると表示されなくなる

Backup
 この設定がオンになっていると、HotSync時にPCにバックアップされる。バックアップされたファイルは、本体をハードリセットして工場出荷時に戻しても、次回HotSyncで同じユーザーIDを選択すれば、一括でリストアされる

Copy Protect
 赤外線通信やファイル移動によるコピープロテクト設定。コピープロテクトは、特定のPalmデバイスでしか機能しないファイルや、ライセンス上移動が禁止されているファイルなどに設定される。理由があって設定されているので、変更しないこと

Launchable
 この設定をオンにすると、データファイルもホーム画面に表示され、ファイルからの起動に対応した一部のアプリケーションが起動できるようになる。アイコンは、同じクリエイターIDを持つアプリケーションのアイコンが流用される

Palmデバイスの内部的には「データベースレコード」という形でデータを保持しているが、便宜上ファイルと表記する

ソフトウェア

バックアップされるソフト・されないソフト

バックアップビットがオンになっているファイルは、HotSync時にデータがパソコンへバックアップされる。バックアップされたファイルは、本体をハードリセットしても、次回HotSyncで同じユーザーIDを選択すれば、一括でリストアされる。

左ページで紹介している「FileZ」を利用すれば、全ファイルのバックアップを一括でオン/オフすることが可能だ(図1)。「G-DB Fighter」を利用すると、「Backup」表示で多くのファイルの状況を一览することができる(図2)。画面右側にあるオン/オフ表示部をタップすれば、バックアップビットを簡単に切り替えることが可能だ。

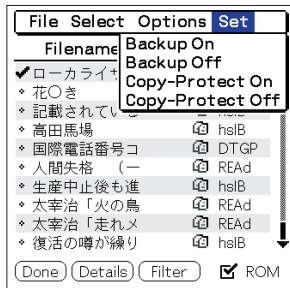


図1 「FileZ」の一覧表示画面。メニューの「Set」にある項目が全ファイルに適用される。自己責任で使用しよう

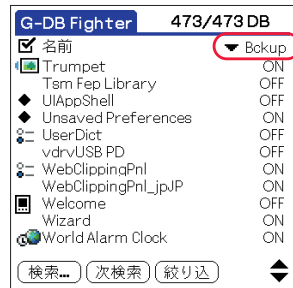


図2 「G-DB Fighter」の一覧表示画面。画面右上にある「Backup」メニューを選び、オン/オフを切り替える

内蔵アプリケーションのアイコンを消したい

FileZでHidden属性をオンにするとアプリケーションのアイコンをホーム画面に表示させないようにできるが、内蔵のPIMアプリケーションにはこの方法を使うことができない。どうしても消したいときには、「Invisible」を使おう(図)。アイコンを表示させなくなるだけでアプリケーション自体を削除したわけではないが、内蔵アプリケーションの有無はユーザーメモリー容量には関係ないので、無理して削除する必要はない。

内蔵アプリケーションが格納されているフラッシュメモリーの編集も機種により特殊なツールで可能ではあるが、危険度が高く、高度な知識が必要になる。

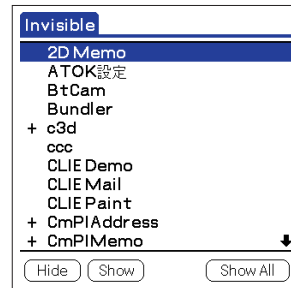


図 アイコンを表示させたくないアプリケーションを指定して、画面左下の「Hide」をタップすればいい

Invisible

作者: Horace Ho
 種別: シェアウェア(5.95ドル)
<http://palm.pair.com/>
 アプリケーション名を選択して「Hide」ボタンをタップすれば、内蔵アプリケーションもホーム画面で非表示にできる

バンドルビットのオン/オフ

バンドルビット属性とは、アプリケーションに関連するデータベースを束ねる働きをするビットのことだ。Palm OS 4.0から利用できるようになった。

データファイルのバンドルビットをオンにすると、ホーム画面でアプリケーションを本体と外部メモリーカード間でコピー/移動させた時に、同一のクリエイターIDを持つデータも一括で処理させることができる。バンドルビットがオフになっている状態では、アプリケーションのみがコピー/移動するということになる。

FileZはバンドルビットの操作には対応していないが、左ページで紹介している「McFile」や、バンドルビットの切り替え専用アプリケーション「Bundler」を利用すれば設定できる(図)。

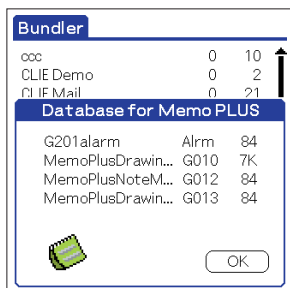


図 Bundlerを使えば、バンドルビット属性をデータベースごとに手動でオン/オフできる

Bundler

作者: ながまつたつお
 種別: フリーウェア
<http://www.geocities.com/nagamatu/>
 バンドルビット切り替え専用ソフト。同じクリエイターを持つファイルを一覧表示して簡単に切り替えられる

Saved PreferencesとUnsaved Preferences

「Saved Preferences」「Unsaved Preferences」とは、ウィンドウズでいえばレジストリのように、各アプリケーションが共通で使える設定格納ファイルだ。双方の違いは、バックアップビットがオンになっているかオフになっているかで、バックアップの必要がないものは「Unsaved Preferences」に格納されている。

ホーム画面からアプリケーションを削除したときは該当の設定データも削除されているが、ファイル管理ソフトから削除した場合などは、ゴミが残っている可能性もある。「G-PrefView」を利用すれば両ファイルの内容を確認、削除することができる(図)。操作を誤ると必要なアプリケーションが起動しなくなってしまうなどの危険もあるので、設定の意味がわからないときはそのままにしておこう。

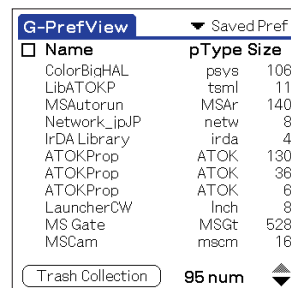


図 通常は見えないSaved PreferencesとUnsaved Preferencesが閲覧/削除できるが、むやみに削除しないように

G-PrefView

作者: Gaku Taniguchi
 シェアウェア(1000円)
<http://sapporo.cool.ne.jp/gpalm/>
 各Palmウェアが自データベースとは別にシステムに保存する「Preferences」データを表示できる

ソフトウェア

インストール・削除

必要なファイルをサッと追加でき、不要ならば簡単に削除できる
Palmデバイスの、インストールと削除の仕組みを知っておこう。

HotSyncによるインストールと削除の仕組み



インストール

普段はあまり意識することがないファイルのインストール。この仕組みを紹介しよう。ここでは「アプリケーションA」をパソコンからHotSyncでインストールする場合を例に、その流れを追ってみる。

はじめに、パソコン上のPalm DesktopでインストールツールにアプリケーションAを登録する。登録したアプリケーションAは、インストール用フォルダー(ウィンドウズでCLIEを使用する場合は、C:\Program Files\SonyPDA\HotSync\Install)にコピーされている。

次に、HotSyncを開始する。HotSyncマネージャがインストールコンジット(インストール時の動作を決めておくプラグイン)の設定内容を参照し、その内容が「アプリケーションをインストールする」となっていることを確認。アプリケーションAをインストール用フォルダーから取り出し、Palm

本体にコピーする。アプリケーションのコピーが終わると、最後に、HotSyncマネージャはインストール用フォルダーからアプリケーションAを削除し、HotSyncの後片付けをする、といった流れだ。

アプリケーションをインストールするには、HotSyncのほかにもメモリーカードを経由したり、赤外線でビームする方法などがある。例えば、拡張スロットのある機種なら、ファイルユーティリティーを使ってメモリーカードから本体にアプリケーションをコピーする。CLIEの場合は、付属の「MS Import」を使ってメモリスティックを挿した状態でパソコンと接続し、メモリスティックにアプリケーションを直接コピーするという手もある。

なお、メモリーカードにアプリケーションをコピーする場合は「/palm/launcher/」ディレクトリーに入れておくといい。拡張

スロットをサポートしている機種であれば、このディレクトリーにあるアプリケーションはランチャーから実行できるし、OS標準のコピー機能でアプリケーションをRAMにコピーすることもできるからだ。

アプリケーションによってはアプリケーション本体のほかにデータベースが必要な場合もある。アプリケーション付属の説明書などを参考にし、必要なデータベースをインストールしておこう。

アプリケーションのインストール方法

使用機器	インストール方法
パソコン	Palmとパソコンを接続し、HotSyncする
メモリーカード	ファイルユーティリティーを使ってメモリーカードからアプリケーションをコピーする
赤外線	一方のPalmからアプリケーションをビームする / 赤外線ポートを持つパソコンを経由してHotSyncする
Bluetooth	Bluetoothモジュールを使用したPalmと、Bluetooth対応パソコン間でHotSyncする

アプリケーションとデータがバラバラに

標準のコピー機能を使ってアプリケーションをメモリーカード経由でインストールしたり、ほかのPalmデバイスに赤外線経由でアプリケーションを送信した結果、アプリケーション本体のみがインストールされてしまい、アプリケーションで使用するデータベースがインストールされないことがある。

これは、データベースのバンドルビット属性がオフになっているために起こる現象だ(35ページ参照)。そんなときは、バンドルビットの属性を手動でオン/オフできる「Bundler」を使ってみよう。データベースごとに属性を変えられるので、必要なデータの属性の変え忘れが防げる(図1、2)。

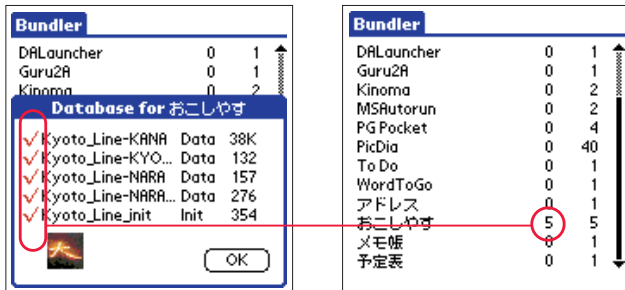


図1 アプリケーションを選ぶと、同じクリエイターIDを持つデータベースが一覧表示される。左端をタップすればバンドルビット属性をオン/オフできる

図2 アプリケーション名の右の数字が、バンドルビット属性オンのデータベース数。右端の数字は、同じクリエイターIDを持つデータベースの総数を表す

アプリケーションとデータは一緒に削除

削除したいアプリケーションがデータベースを伴うものである場合、そのアプリケーションをPalm OS標準の削除機能で削除すると、関連するデータベースも一緒に削除される(図1)。

通常、アプリケーションとそのアプリケーションが利用するデータベースには、同じクリエイターIDがついている(図2)。クリエイターIDとは、Palm OSがアプリケーションなどを識別するための記号だ(34ページ参照)。Palm OSは、アプリケーションを削除する際、そのアプリケーションと同じクリエイターIDを持つデータベース探し出し、アプリケーションと一緒に削除する。従って、ユーザーがデータベースの有無を意識しなくても、消し忘れる心配はない。

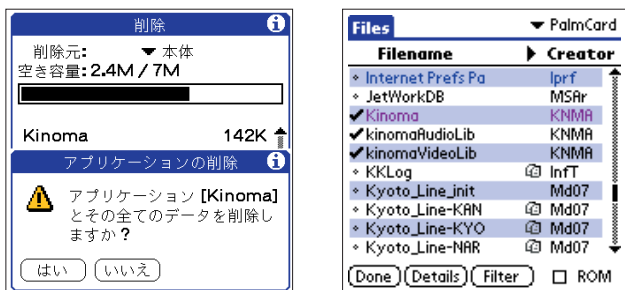


図1 標準の削除機能では、アプリケーションを削除すれば関連データベースも自動的に削除されるので、RAMの空き容量が増やせる

図2 ファイルユーティリティーを使えばクリエイターIDが確認できる。アプリケーションと同じクリエイターIDを持つデータベースもすぐに見つかる

メモリーカードにあるデータを利用するコツ

メモリーカードスロットとPalm OS 4.0以上を搭載した機種では、Palm Desktop 4.0を使ってメモリーカードにファイルが直接インストールできるようになった。ただし、アプリケーションもデータも無条件に「/palm/launcher」にインストールされてしまうため、独自のディレクトリーにデータを置く必要のあるアプリケーションでは、ファイルユーティリティーなどで該当のデータを所定のディレクトリーに手動で移動しない限り、そのままではデータが利用できない。そんなときは、「McTransfer」(図1、2 McFileに付属)を使ってみよう。自動的にデータを振り分けてくれる。

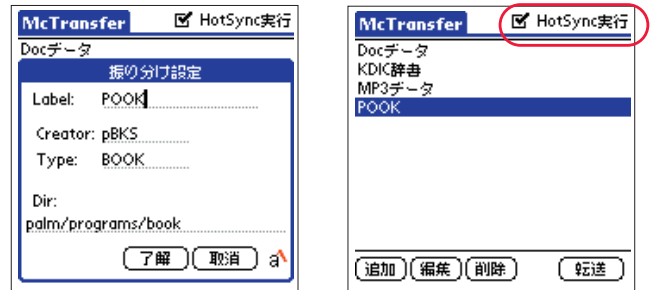


図1 データの振り分けには、データのクリエイターIDとタイプが必要だが、無指定の場合はインストールするすべてのファイルが振り分け対象となる

図2 画面右下の「転送」で手動転送。HotSync終了後の転送処理を自動化したい場合は、右上の「HotSync実行」にチェックしておく

削除したPIMデータのバックアップ

Palmデバイスに記録した予定表やアドレスなどのPIMデータを削除しようとする時、削除確認ダイアログが現れる(図1)。そこには「パソコンにバックアップ」というオプションが設けられており、Palm本体から削除したPIMデータがパソコンに保存できるようになっている。バックアップオプションを指定したうえで削除したPIMデータは、次回のHotSyncでPalm Desktopから削除され、バックアップ用のファイルに蓄積され、のちに再利用することもできる(図2、3)。

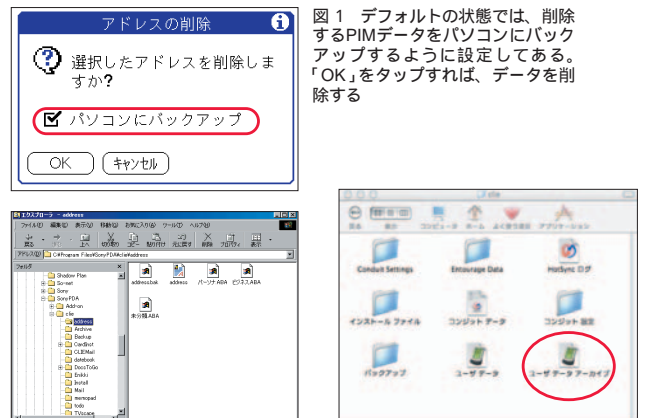


図2 ウィンドウは、各ユーザーのPIMフォルダーの中に、カテゴリごとのバックアップファイルが生成され、削除したPIMデータが追加される

図3 マックは各ユーザーフォルダーの中に「ユーザ データ アーカイブ」というファイルが生成され、削除したPIMデータはそこに追加される

ソフトウェア

カテゴリ自動作成のしくみ

「システム」や「メイン」など、Palmデバイスのランチャーにはあらかじめアプリケーションのカテゴリが設けられている。だが、アプリケーションによっては標準のカテゴリとは別に、独自のカテゴリを作るものもある。これは、そのアプリケーションが「自分自身をどのカテゴリに格納するか」という情報(デフォルトアプリケーションカテゴリ)を、アプリケーション自身の内部に持っているためだ。

デフォルトアプリケーションカテゴリ

の指定は、具体的には、アプリケーション本体(.prcファイル)の中にある、ID1000の「taicリソース」という場所で指定する。

ちなみに、カテゴリが16個ある状態で新たなカテゴリを作るアプリケーションをインストールした場合は、自動的に「未分類」カテゴリに格納される(図)。Palm OSは、カテゴリ不足を防ぐために基本的には各アプリケーションが独自のカテゴリを作成することを推奨してはいるが、「カテゴリあふれ」が原因でインストールできなくなるのを防ぐため、このような措置をとっている。

標準的なカテゴリと格納アプリケーション

カテゴリ名	内容
システム	カード情報、データ保護、環境設定、初期設定、HotSyncアプリケーション
メイン	アドレス、予定表、To Do、メモ帳、メール、電車、辞書
ユーティリティ	システム管理に必要なツール
ゲーム	任意のゲーム
未分類	追加アプリケーション

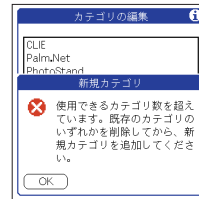


図 アプリケーションのカテゴリは「未分類」も含め、最大16個まで作成できる

削除したPIMデータを再利用する方法

PalmデバイスでPIMデータを削除する際は、パソコンにバックアップをとるように指定しておけば万が一のときでも安心だ。削除したPIMデータは、次回のHotSyncでPalm本体とPalm Desktopの両方から削除されるが、別個のバックアップファイルに蓄積され、必要なときにいつでも再利用できるようになっている。

データ復活の方法は簡単だ。アドレスを例に説明しよう。ウィンドウズ版Palm Desktopでは、バックアップファイル内のアドレスをエクスポートし、元のアドレスにインポートして戻せるほか、クリップボードにコピーし、張り付けて戻す方法もある。マ

ック版Palm Desktopの場合は、「書き出し」「読み込み」機能を使って元に戻せる。

なお、ウィンドウズ版Palm Desktopの場合は、アドレスの復活とともにコメントも復活するが、マック版Palm Desktopの場合は、アドレスに付けたコメントは外れてしまう。これは、アドレスを書き出す際にアドレスとコメントとの連結が外れてしまうためだ。ウィンドウズ版Palm Desktopは、アドレスとコメントをまとめて管理しているため、コメントが外れることはない。

逆に、マック版Palm Desktopの場合はすべてのアドレスを一括して元に戻せるが、ウィンドウズ版Palm Desktopの場合はカテ

ゴリー単位でしか復活できない。これは、ウィンドウズ版Palm Desktopのバックアップファイルが、カテゴリごとに生成されているために起こる。

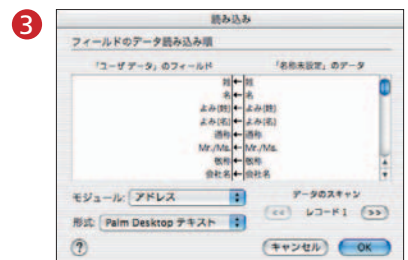
マックの場合



1 ユーザーフォルダーの中にあるバックアップ保存用の「ユーザーデータアーカイブ」を開く。復活させたいアドレスにマークを付けて抽出する

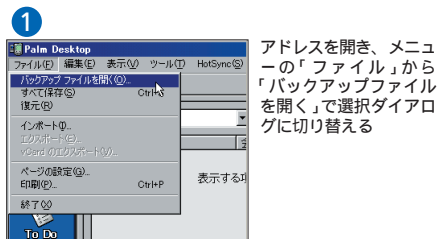


2 書き出しデータ形式は「タブ&リターン区切りテキスト」「Palm Desktopテキスト」のどちらでもOK。書き出すアドレスの範囲が選べる

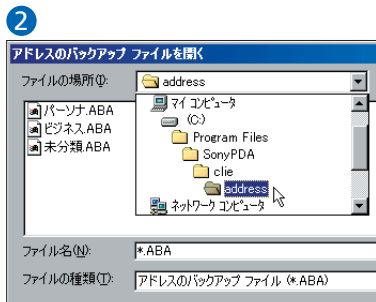


3 アドレスを読み込みたいユーザーの画面に切り替えてアドレスを読み込む。書き出しと同じデータ形式になっているかを確認するのがポイント

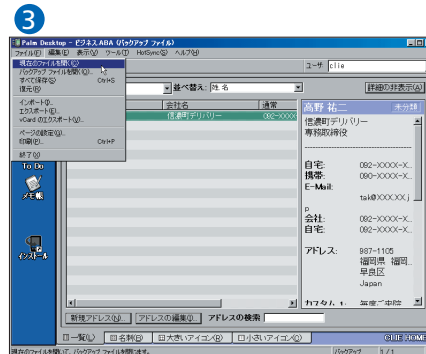
ウィンドウズの場合



1 アドレスを開き、メニューの「ファイル」から「バックアップファイルを開く」で選択ダイアログに切り替える



2 復活させたいアドレスが入っているカテゴリのバックアップファイルを選択して開く



3 復活させたいアドレスをクリップボードにコピー。「ファイル」の「現在のファイルを開く」で元の画面に戻って張り付ける



4 HotSyncで削除したアドレスをPalmデバイスのアドレスに転送する。カテゴリは未分類に戻るので設定し直す

HotSyncで削除したアドレスをPalmデバイスのアドレスに転送する。カテゴリは未分類に戻るので設定し直す

テキスト

Palmデバイスをメモ代わりに使う人も多いだろう。ここでは、メモデータの容量制限についての仕組みを追求してみよう。

標準のメモ帳で扱えるテキストデータの最大容量は4KBだ。Palm OSプラットフォーム独自の文書形式である「DOC」は、メモの容量制限を回避するために登場したと言われているが、いったいどのようにして回避しているのか。ポイントは、レコードの扱い方の違いにある。

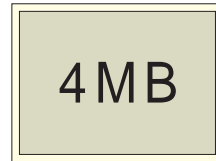
レコードとは、データを扱う際に用いる容量約64KBの入れ物だ。メモ帳は、「メモ1枚あたり最大4KB」、「メモを入れたレコードは1個しか扱えない」という2つの制限がある仕様になっている。

一方DOCファイルの場合は、「1個のレ

コードに入れるデータは4KB程度にする」というパフォーマンス上の配慮はあるが、メモ帳のように「レコードを1個しか扱えない」という制限がない。つまり、4KB程度のデータが入ったレコードを複数扱える。だから、DOCは4KBよりも大きいデータが扱えるように見えるわけだ。

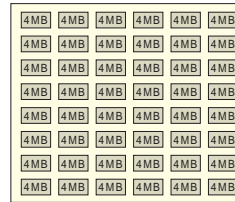
ただしDOCにも容量制限はある。Palm OSではデータベース1個あたりのレコード数が最大6万5536個と決まっているので、約4KB×6万5536個=262MB程度が限界となる。もっとも、そんなに巨大なDOCデータを作っても格納できない。

メモ帳ファイルのレコード



標準のメモ帳は、メモを入れたレコードが1つしか扱えず、かつその容量が最大4KBという厳しい制限がある

DOC形式ファイルのレコード



DOCの場合も1つのレコードに入れるデータ容量は4KBだが、1つのファイルで複数扱える点がメモ帳と違う

メモの容量制限の真相に迫る

標準のメモ帳で新規メモを作り文字を入力していくと、あるところでそれ以上入力できなくなる。メモ帳に入力した文字をカウントする「acwordc」で文字数を数えたところ、全角2048文字(=4096byte、約4KB)だった(図)。標準のメモ帳自身が容量を超えるデータを入力させないように制限しているのだ。

ではなぜデータの容量は4KBが限界なのだろうか。実は、メモ帳はメモを画面に表示する際、RAMの中の作業エリア(ダイナミックヒープ)にメモを読み込む。このダイナミックヒープの容量は、かつてRAMが512KBだったPalm OS 1.0の時代には32KBしかなかったが、現在は256KBにまで増えている。メモがなぜ4KBなのかは諸説あるが、4KBという数字はこの作業エリアの容量と関係があるのではないかと、というのが一般的な見方だ。

技術的に見ても、メモの4KB制限に関する指定を解除すること自体は可能で、もはやメモの容量を抑えたままにしておく積極的な理由はなくなったと言える。

ただしメモの容量制限に関する指定を解除してしまうと、Palmデスクトップや関連するコンジットも修正する必要があると同時に、既存OSを搭載した機種との互換性も確保しなければならなくなる。こうした問題に対応するのが難しいため、メモの4KB制限を継続せざるを得ない、というのが実状のようだ。

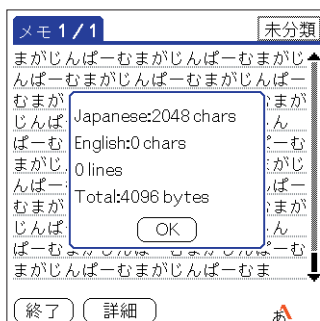
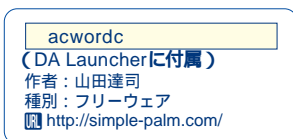


図1 メモ帳に文字をどのくらい入力したか、容量が心配になったときは、山田氏が作成したDAソフト「acwordc」を起動して文字数をカウントしてみよう



容量制限を超えるメモは転送できるか

マック版Palm Desktop側では最大32KBのメモが作成できる(図1)。マック版Palm Desktopで作った32KBのメモをPalmデバイスへ転送した場合、残念ながらすべては転送されず、4KBを超過した部分は切り捨てられてしまう(図2)。Palmデバイスでの容量制限は、パソコンからPalmにメモを転送する場合でも同様だった。

Palmデバイスに転送された、そのメモデータを編集して同期したとしよう。パソコン側には32KBのメモが残っていたが、編集したPalmデバイスのメモのほうが最新であると判断され、Palm Desktopにあったデータを上書きする。つまり、Palm Desktopにある32KBのメモは4KBに削られてしまうのだ。32KBのメモが4KBのメモに上書きされないようにするには、該当のメモをPalmデバイスで編集するのはやめておこう。

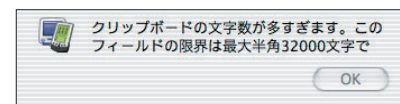


図1 マック版Palm Desktopのメモに、32KBより大きい文書を張り付けるとエラーになる。入力できるのは全角最大1万6000文字まで

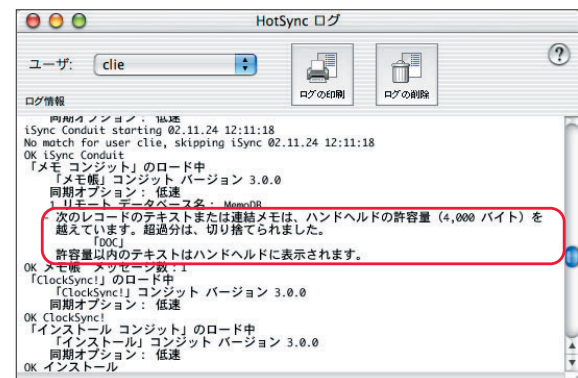


図2 HotSync終了後にログを見てみると、超過分が切り捨てられたことがきちんと記録されている

ソフトウェア



Information



ソフトニュース



ハードニュース



業界ニュース



海外ニュース



米パームソース社インタビュー

Palmの魅力は製品の幅広さ

日本のメディアに、米パームソース社の最新状況を伝えるために来日した同社マーケティングマネージャーのアンダース・ベックランド氏と主任製品担当者のスティーブ・サコマン氏に、Palm OSの最新動向を聞いた。(聞き手 林 信行)

Palm社から独立して約1年ですね。ベックランド 完全な独立はまだですが、来年早々には株も含め完全に独立予定です。

日本でもパームソース社として独立したオフィスを構えるのでしょうか？

ベックランド パームソース社は400人ほどの小さな会社です。米国のサニーベル市に米パーム社とは独立した本社があり、フランスにも小規模の開発グループがあります。ただし、日本支社の規模は小さく、業務的にも分離の必要を感じません。もっとも、今後、方針が変わるかもしれません。

ソニー(株)以下、ソニー)の2000万ドルの投資の影響は？

ベックランド ソニーが米パームソース社を買収するというものではありませんよ(笑)。この投資でソニーは6パーセントの株主になりましたが、それは、ソニーと我々が重要なパートナー同士だという証といったところです。これで他社との関係が変わることもありません。

PalmデバイスはPocket PCと比べて圧倒的なシェアを保持していますが^(*)、PDA市場そのものの出荷台数は減っていませんか。

サコマン 2つ見方があると思います。ひ

とつはIT不況ですが、これは我々のデータでは徐々に回復基調にあります。より重要なのは、人々の興味がPDAからコミュニケーション機器に移りつつあることです。そしてスマートフォンなどの新デバイスは、こうした統計でPDAに分類されていないことが多いのです。最近では、Palm OSもスマートフォンの分野で強さを発揮しつつあります。

日本でのスマートフォンの予定は？
サコマン 日本は他国とは非常に違う状況にあります。実現に向けて取り組んではいます。日本の電話会社ともずっと話し合いを続けています。

日本で発売されないPalmデバイスが数多くありますが、製品の日本語ローカライズはどこで行われているのでしょうか。
サコマン 製品によって日本語版製品が出ないのは、メーカー側の戦略に合致しないのが原因でしょう。米パームソース社は各ライセンサーに対して「Palm Development Kit(PDK)」というキットを提供しています。これにはEFIGS(English、French、Italian、German、Spanishの頭文字)という5カ国語版と、これに日本語を加えたEFIGS-Jというバージョンがあ

り、どの製品をどのキットで開発するかはメーカー次第なのです。ちなみに、中国語版は我々と台湾エイサー社で共同開発したものでPDKはありません。

最近、御社のロードマップに「Palm OS 6」の影が見え始めましたが……

サコマン Palm OS 6については、どういった機能を盛り込むか、いつ頃リリースすべきかも含め、各ライセンサーと相談しています。現時点でひとつ言えるのは、メーカーや製品ごとの機能の差別化をプラグインという形式で極めて柔軟に行えるようになることが決まっています。



'02年11月21日に来日した米パームソース社のスティーブ・サコマン氏(左)とアンダース・ベックランド氏(右)。ベックランド氏は日本の大学で教鞭を執っていた経験があり、日本語が堪能

(*) '02年7月付米ニューヨーク・タイムズ紙による7月の米国での出荷台数シェアは、米コンパック社と聯東芝のPocket PCがそれぞれ7.4パーセントと4.1パーセント、これに対して1、2、3位は米パーム社、ソニー(株)、米ハンスプリング社でそれぞれ49.6パーセント、17.8パーセント、13.0パーセントだ



米フォッシル社 Palm OS 4.1 搭載腕時計型デバイスを発表

米フォッシル社と米パームソース社は、11月に米国ラスベガスで開催されたCOMDEXで、フォッシル社がPalm OSのライセンスとなったことを発表した。また、フォッシル社は腕時計型Palmデバイス「WRIST PDA with Palm OS」(以下、WRIST PDA)の試作機を公開した。WRIST PDAは、CPUにDragonBall VZ(33MHz)、OSにPalm OS 4.1を採用し、従来のPalmデバイスと互換性を持つ。OS 4.1に対応する多くのソフトが利用可能だ。本体メモリーは2MBで、160×160ドッ

トの16階調グレースケール表示が可能な画面を装備する。インターフェースはUSBと赤外線ポートの2つ。内蔵の充電式電池は公称で4日間持続する。サイズは幅35×高さ12.5×奥行き51ミリ、重さは約160グラムで、これはCLIE Nシリーズとほぼ同じ重さ。ベルト部分に内蔵したスタイラスと、本体部両側にある計4個のボタンおよびスイッチで操作を行う。フォッシル社は、WRIST PDAを「FOSSIL」と「ABACUS」の2つのブランドで、'03年半ば頃に発売する予定だ。



アドレス帳のほか、メモ、手書きメモ、予定表、計算機、To Do、ノート、時計がインストールされている

未定
米フォッシル社
<http://www.fossil.com/>



CLIE SJ30に2つのカラーモデル アンビバレントとキサナドゥ発売

ソニーマーケティング(株)は、11月30日にCLIE SJ30のカラーバリエーションモデルとして、「アンビバレント」と「キサナドゥ」を数量限定で発売した。アンビバレントは、ブラックのボディにカーキページの前面パネルと、アクセントとしてイエローの電源ボタンとメモリースティックのスロットカバーを配した。キサナドゥはホワイトをベースに、フロントに淡いブルー、アクセント色にマゼンタを用いた。



アンビバレント、キサナドゥにそれぞれブラック、ホワイトの本革製キャリングケースが付属する
オープンプライス (税別3万2800円)
ソニーマーケティング(株)
<http://www.sony.jp/CLIE/>



エクストリームリミットから CLIE NX用モバイルスーツ発売

エクストリームリミットは、CLIE NX60 / NX70V用ケース「高級本革モバイルスーツ」を発売した。ブラックの高級牛革を使用し、ライトグレーの糸で縫製されている。金属プレートを埋め込んだ革の部分で、CFスロット部などを挟んでCLIEを固定。背面のカバーを真ん中で折って、後ろに跳ね上げるとケースを付けたままHotSyncできる。メモリースティックホルダーが2個、カードホルダーが3個付いている。



ケースに収納したメモリースティックによる画面の損傷を防ぐために、取り外し可能なプロテクターが付属する
5900円
エクストリームリミット
<http://www.extreme-limit.co.jp/>



AirH" 128CFカード対応 CLIE NX用ドライバー公開

ソニー(株)は、AirH" 128に対応したCF型PHSカードをCLIE NX60 / 70Vで使用するためのドライバーを公開した。対応するカードは、NECインフロンティア(株)製「AH-N401C」と本多エレクトロン(株)製「AH-H401C」。H" Link機能と、メール通知および自動取得機能には対応していない。また、本ドライバーはPalm OS 5および日本国内でのみ使用することが可能。下記URLにおいて、無償でダウンロードできる。

無料
ソニー(株)
<http://www.nccl.sony.co.jp/download/C-W010-002-01/index.html#TOP>



米パームソース社 モバイルデータ通信の標準化団体OMAに加盟

11月19日、米パームソース社は、携帯機器によるデータ通信の業界標準化を推進する団体「オープン・モバイル・アライアンス(OMA:Open Mobile Alliance)」に加盟したことを発表した。同団体は'02年6月に、モバイルデータ通信規格の策定などを行う2つの団体が合併して設立された。現在、米マイクロソフト社、フィンランドのノキア社をはじめとする約200の企業が加盟している。

米パームソース社
<http://www.palmsource.com/>



Palmの歴史をひもとく読み物「シンプル・パーム」が話題に

ソフトバンク パブリッシング(株)は、Palmの誕生から今日までを描いた「シンプル・パーム 理想のPDAを目指して」を出版した。'92年、パーム コンピューティング社を立ち上げたジェフ・ホーキンスは、その4年後、最初のPalmデバイス「パイロット」を世に送り出す。やがて、パーム社を飛び出した彼は、仲間とハンドスプリング社を設立する。Webサイト「パーム航空」機長の伊藤正弘氏監修。

2400円
ソフトバンク パブリッシング(株)
<http://books.softbank.co.jp/>



付加機能型HotSync充電ケーブル PDA工房がCLIE用2種類発売

ユニバーサルシステムズ(株)が運営するPDA工房は、CLIE用のHotSync充電ケーブル2製品を発売した。「Retractable充電Syncケーブル for CLIE」は、巻き取りリールによって、ケーブルの長さを11センチから81センチまで変えられる。「3 in 1充電Syncキット for CLIE」は、2つのアダプターが付属し、コンセントや自動車内のシガーソケットでCLIEを充電できる。いずれもCLIE T/NR/NVシリーズ、SJ30に対応。



「3 in 1充電Syncキット」付属のAC/USBアダプターは、AC100~250Vに対応している
 価格 2製品ともにオープンプライス (税別 2480円)
 株式会社ユニバーサルシステムズ(株)
 http://www.pdakobo.com/



PDA工房が32MB増設済みm515販売と Zire 8MB増設サービスを開始

ユニバーサルシステムズ(株)が運営するPDA工房は、本体メモリーを32MBに増設したPalm m515の販売を開始した。同工房では、持ち込まれたm515を32MBのメモリーに増設するサービスも行っているが、増設済みのデバイスを購入したほうが安く済み、LEDの交換を無料で受けられるメリットがある。さらに同工房は、Palm Zire(国内未発売)の本体メモリーを8MBに増設するサービスも開始した。



メモリーを増設するとメーカー保証が失われるため、代わりにPDA工房のオリジナル保証が付く
 価格 32MB増設済みm515 4万4800円
 m515メモリー増設サービス(32MB) 1万6800円
 Zireメモリー増設サービス(8MB) 4980円
 株式会社ユニバーサルシステムズ(株)
 http://www.pdakobo.com/



コンパクトなバーコードリーダー パイロット「ポケット スキャン」

(株)パイロットは、Palm用バーコードリーダー「ぺんとびあ ポケット スキャン」を発売した。スタイラス形状のリーダーペン部と、ジャケットタイプのデコーダー部で構成され、両者はケーブルでつながれている。リーダーペンの先端には直径2ミリのルビーボールが埋め込まれており、スキャンしたバーコードの情報がデコーダー部へ送信される。ジャケット部に単4形電池2本が必要。Palm m500シリーズに対応する。



リーダーペンは、軸径7ミリ、長さ130ミリ。スタイラスとしても使用できる
 価格 2万9800円
 株式会社パイロット
 http://www.pilot.co.jp/



キーボードとマウスを接続できる プレゼン用アダプター登場

シーエフ・カンパニー(株)は、米ポートスミス社製のプレゼンテーションアダプター「Pitch Solo」を12月下旬に発売する。Palmの本体メモリーまたはメモリーカードに保存したプレゼンテーションファイルを、直接、プロジェクターやモニターに出力できる。さらに、PS/2キーボードおよびマウス端子を備えており、モニターに映し出したPalmの画面に対して、文字の入力やスタイラス操作を行うことが可能。



本体前面の赤外線受光部を利用して、スライドショーをリモコン操作できる
 価格 2万4800円(予定価格)
 株式会社シーエフ・カンパニー(株)
 http://www.cfcompany.co.jp/



イーチームの新作は取り調べゲーム 刑事になって被疑者を追い詰める

(有)イーチームは、プレイヤーが取調官となって被疑者を自供に追い込む新タイプのゲーム「取り調べベンチャー 山さん」を発売した。プレイヤーは、被疑者の態度や受け答えを見ながら適切な行動を選択し、最終的に自供させることが目標。対応機種は、Palm OS 3.5以上を搭載したカラーデバイス。プレーには同社のアドベンチャーゲーム用エンジン「MEE」が必要だ(付属CD-ROMに体験版を収録)。

価格 950円(MEE付属版) 550円(コンテンツ単体)
 株式会社イーチーム
 http://www.eteam.jp/



ソニーの「イメージステーション」 リニューアルしてCLIE NXに対応

ソニー(株)は、デジタル画像のアルバムを作成/閲覧できるサイト「イメージステーション」をリニューアルした。CLIE NX60/NX70Vに対応し、NetFrontを使用した画像閲覧のほか、CLIEで撮影した画像を専用ソフトでアップロードできる。パソコンで作成した大きな画像サイズのアルバムを、CLIEの画面に合わせてリサイズ表示するほか、公開した画像の招待状をメールで送れるなどの機能がある。

価格 無料 株式会社ソニーマーケティング(株)
 http://www.imagestation.jp/



CLIE NR70V用動画撮影ソフト 設定項目も豊富な「Vivid」登場

スウェーデンのクリエビデオ社は、CLIE NR70Vで動画を撮影/再生/編集するためのソフト「Vivid」を発売した。12種類の画面サイズ(最高320x240ドット)のほか、画像エフェクトやホワイトバランス、秒間フレーム数などを設定して撮影できる。任意のフレームをJPEG画像としてメモリースティックに保存可能。付属のウィンドウズ用ソフトを使って、撮影した動画を一般的な形式の動画ファイルに書き出せる。

価格 29.95ドル(12月中は24.95ドル)
 株式会社クリエビデオ社
 http://www.clievideo.com/

パームウェア対応速報

Update

Now!

人気の定番ソフトが軒並みPalm OS 5をサポート。SONY CLIEシリーズの最新バージョンへの対応も進む。 文/小野寺浩二

アイコンの見方

	256色カラー		メモリスティック
	65000色カラー		SD
	ジョグ		CF
	ハイレゾ		パイプレーション/ LEDアラーム

Palm OS 5のハイレゾに対応



AClockDA2

Ver.1.31

作者 hiro 価格 フリーウェア 容量 16KB
URL <http://www2s.biglobe.ne.jp/%7Earak/palm.html>

カラーハイレゾに対応したアナログ時計ソフト。DAソフトなので、ほかのアプリケーションが起動中でも表示することができる。Palm OS 5のハイレゾに正式に対応。

Palm OS 5に対応



フランクリン・プランナー

for Palm Ver.1.2

作者 フランクリン・コヴィー・ジャパン(株) 価格 オンライン販売(4000円)
容量 172KB URL <http://www.franklincovey.co.jp/>

長期目標や中間ステップを設定したり、月/週/日ごとにタスクを管理することができる。フランクリン・プランナーのPalm版がPalm OS 5に対応。

Palm OS 5、ワイドハイレゾに対応



CutePack Release 9

CD-ROMに収録

作者 エムロジック(株) 価格 シェアウェア(1780円) 容量 200KB
URL <http://p-cafe.com/>

カラフルな予定表置き換えソフト「CuteDBook」、To Do置き換えソフト「CuteToDo」と、アイコンメーカー「CDBIconMaker」をまとめたパッケージ。Palm OS 5に対応。

Palm OS 5、ワイドハイレゾに対応



KsDatebook

Ver.1.1 バグ対応修正版

作者 Kim 価格 フリーウェア 容量 160KB
URL <http://kim.ponyoyo.jp/>

週一覧表示や、月表示画面での文字表示が可能な予定表置き換えソフト。CLIE NR/NXシリーズの320x480ディスプレイに対応。ジョグ操作の不具合を修正。

Palm OS 5、ワイドハイレゾに対応



SplashPhoto

Ver.3.5.4

作者 splashdata 価格 シェアウェア(\$19.95) 容量 188KB
URL <http://www.splashdata.com/>

サムネイル表示とスライドショー機能を持つイメージビューアー。ウィンドウズ、マックともにコンバーターを用意。CLIE NXシリーズの320x480ディスプレイ、Palm OS 5に対応。

ワイドハイレゾに対応



QED

Ver.2.83

CD-ROMに収録

作者 Kurt Schuster 価格 シェアウェア(\$17.95) 容量 47KB
URL <http://www.qland.de/qed>

古参のDOCエディター。横幅サイズを指定でき、画面をスクロールしながらの編集も可能。CLIEシリーズの320x480、320x320ディスプレイ対応ベータ版も付属。

CLIE NXシリーズに対応



DA Launcher

Ver.5.0b6

作者 山田 達司 (Hacker Dude-San) 価格 フリーウェア 容量 8KB
URL <http://simple-palm.com/>

グラフィティエリアにコマンドストロークで表示されるコマンドバー内に頻繁に使うDAソフトを2個登録できる定番のDAランチャー。CLIE NXシリーズをサポート。

Palm OS 5、ワイドハイレゾに対応



TealMovie

Ver.3.01

CD-ROMに収録

作者 TealPoint Software 価格 シェアウェア(\$19.95) 容量 243KB
URL <http://www.tealpoint.com/>

音声再生可能なビデオプレーヤー。メモリーカード上のファイルも再生でき、WAV形式のファイルもサポート。CLIEシリーズの320x480、320x320ディスプレイ、Palm OS 5に対応。

CLIE NXシリーズに対応



Crs-Launcher

Ver.1.2a

CD-ROMに収録

作者 高橋 大樹 価格 フリーウェア 容量 10KB
URL <http://crspalm.hp.infoseek.co.jp/>

ジョグダイヤル、ハイレゾ対応のCLIE専用ランチャー。1画面に最大30個のアイコンを表示でき、合計240個のソフトを扱える。CLIE NXシリーズ暫定対応版が付属。

Palm OS 5に対応



Date@Glance

Ver.1.1b2

CD-ROMに収録

作者 山田 達司 (Hacker Dude-San) 価格 フリーウェア 容量 36KB
URL <http://simple-palm.com/>

週間、月間に特化した予定表閲覧ソフト。日表示に切り替えなくても内容が確認できる。定番の「予定表」置き換えソフトと連携可能。CLIE NXシリーズをサポート。

#008

Bluetoothは新たな デジタルライフスタイルを生み出すか

文 / 取材 M.Hirose

パーソナルエリア向け無線技術であり、低消費電力がウリの「Bluetooth」パソコン周辺機器のワイヤレス化が進むこの2、3年の間、最も期待される技術のひとつとして取り上げられることが多かったが、仕様策定などに時間を要し、製品の登場までには時間がかかったことは否めない。しかし、いよいよ02年に入り、各社の搭載製品を見かけることが多くなってきた。

Palm関連では、パームコンピューティング㈱が㈱東芝と共同開発したBluetooth SDカードを、ソニー㈱がメモリースティックBluetoothモジュールを発売。米国では米パーム社の最新機種「Tungsten T」が標準搭載したほか、サードパーティーでは米ピココミュニケーションズ社がインターネットアクセスポイント「Pico Blue」を出荷し、企業や学校などで使われている。

今回は国内のBluetooth製品の中でも、ハードディスクとの組み合わせが斬新なポケットサーバー「HOPBIT」(写真)などの製品を投入している㈱東芝の、BT&ワイヤレス事業推進室の足立克己さんにお話をうかがった。

「ようやく最近になり消費電力が50mA、待機時には約20μA程度になるチップが開発され、応用商品が広がってきたんですよ。最初のころはチップメーカーもBluetooth機能を付けるだけで精いっぱいだった。そのため、IEEE802.11b(以下、11b)よりも消費電力が小さいとはいえ、約100mAのものしか存在しなかったのだ。Bluetoothを搭載した某社の携帯電話がなぜ、ユーザーが使うときにBluetooth機能をオンにする、という不便な仕様になったのか。その答えもここにある。

現在の11bの消費電力は約300mA。この3分の1の100mAとはいえ、FOMAのバッテリーでさえ、750mAhしかない携帯電話に採

写真 小型で軽量のストレージ「HOPBIT」。8ギガバイトのハードディスクとBluetoothを組み合わせたユニークな製品。リチウムイオンバッテリーを搭載し、連続データ転送時で最大6時間駆動する。東芝デジタルメディアエンジニアリング㈱のホームページ(<http://sales.toshiba-dme.co.jp>)で販売。価格は4万9800円。下写真は米国で発売された「Tungsten T」。Palmデバイスの中では初めてBluetoothを内蔵した



用することは難しかった。しかし、今までの半分の消費電力となったチップの登場により、Bluetooth製品の登場が早まるだろうと予測する。

また、現在は一般消費者に「こういうかたちで使うと便利だよ」とアピールするような製品が見当たらない。そのあたりに水を向けると、11bもBluetoothもそれぞれの特性を生かした製品づくりが必要なのではないか、という答えが返ってきた。

「よく11bとの競合を聞かれますが、この2つは補完し合うというものだと考えています。11bはネットワークに特化し、セキュリティを備え、バンド幅などを保つ方向ととらえており、Bluetoothは小さな端末に搭載される低消費電力、簡易ネットワークを構築する技術と考えていますね。」

HOPBITはBluetooth搭載製品から読み書きができるv1.1準拠(Class 2)のストレージ製品。1.8型5GBのハードディスクを搭載、最大待ち受け200時間。かばんなどに入れて持ち歩く際の振動衝撃を抑える設計もなされている。従来、携帯型端末の多くはそのメモリー容量がひとつの弱点でもあったが、HOPBITにより今までとは桁違いのスペースを外で利用することができるようになる。USBでパソコンにつなぎ、お気に入りの写

真や地図、MP3をコピーし、出先ではそれらをPDAで活用する、というような使い方もできるだろう。なお、この製品はウィンドウズ/Pocket PCで動作、とされているが、PalmでBluetoothプロフィールが用意されれば使えるようになるとのことだ。

今後の展開としては、Bluetoothを使ったスポット利用も視野に入れているという。駅周辺で店の情報やクーポンが配布されるなどのプッシュ型サービスや、家電すべてをBluetoothでつなぎ、パソコンやPDAなどで細かくコントロールできるようになるのではないかと、という話も聞くことができた。Bluetoothの特性を生かした製品の登場は、PDAの普及も後押しするだろう。新ライフスタイルを提案するような製品の登場が待ち遠しい。

M.Hiroseのひとり言

正直、Bluetoothですら、携帯電話に搭載するのに消費電力がネックになっていたことに驚いた。米ハンドスプリング社のロブ・灰谷氏が、いちばん向上してほしい技術としてバッテリー性能を真っ先に挙げていたことを思い出す。パーツ選びひとつでバッテリー寿命が左右され、製品の評価が決まってしまう。携帯端末を設計するときの電力割り当ては、ユーザーが考える以上にデリケートな部分なのだ。



吉沢 正敏

HV210のほかにもCF型Air H™端末も保有。もうすぐ出る(出た?)SDカード型Air H™端末も当然購入予定。これが差さるのは、m505か、Tungsten Tか?

http://pobox.com/ yoz

yoz@pobox.com

m500的携帯電話活用計画

Palmと携帯電話のふたつが揃うと、「つないでインターネットに接続...」という話になりがちなもの。だが、今回は少し違ったアプローチをとってみたい。携帯電話の代表として、九州松下電器㈱のH™端末「KX-HV210」(写真)を取り上げよう。

SDカード対応 H™電話機KX-HV210

KX-HV210(以下、HV210)は、Air H™によるつなぎ放題のインターネットアクセスに対応したH™最新機種だ。注目したいのは、この端末がSDカードに対応していること。KX-H™シリーズは従来からSDカードスロットを搭載しており、メールや着メロの保存などが可能なほか、パソコンやデジカメなどの外部機器との連携を強く意識した作りになっている。

ちなみに、KX-H™シリーズ以外にもSDカードに対応している携帯電話として、例えばau向けの㈱東芝製「A5301T」などがある。使用しているSDカードの中身をのぞいてみると、標準的なvCard、vCal形式でそれぞれ電話帳、スケジュールの情報が保存されており、パソコンとの情報のやり取りが考慮されていることがわかる。



写真 Air H™とエッジEメール放題に対応したH™端末。日常の携帯電話端末としても、また、データ通信端末としてもお勧めだ

SDカードスロットを備えたm500シリーズならば、これらの連携の輪の中にすんなり入っていけそうではないか。

HV210とm500で 予定や電話帳を共有

HV210には簡易スケジューラー機能が搭載されており、パソコン上のMicrosoft Outlookからデータを取り込むことが可能だ。要するに、一定の形式でスケジュール情報を「SCHEDULE.CSV」というファイルにし、SDカードの「IMEXPORT」フォルダーにコピーすれば、HV210に取り込める。ならば、m500上の予定表データをHV210に持って行けないだろうか?

そこで、m500上の予定表データを変換し、SDカードに書き出すソフト「Date to SD」(筆者のWebサイトで公開中、フリーウェア)を作ってみた。HV210のSDカードをm500に差してDate to SDを実行することで、先月および今月、来月の予定表データがSDカードに書き込まれる(図1)。これをHV210に差せば、HV210はm500と同期したPIMのサブセットとして動いてくれる(なお、HV210には予定表データの 카테고리が存在しないので、すべてのデータがひとまとめにされる)。電話帳データについてもアプリケーションを作れば、同じ



図1 H™用のSDカードにDate to SDを入れておくことで便利。ボタンをタップするだけで3カ月分のスケジュールを交換する

ようにm500と連携できそうだ。さほど難しくはなさそうなので、いずれ挑戦してみたいと思っている。

着メロもm500と連携できる?

HV210は、プラグインできる小型のカメラ「Trevla」で撮影した画像もSDカードに保存することが可能だ。形式は一般的なBMPなので、「Acid Image」(http://www.redmercury.com/acidimage.html、19.95円)などの画像閲覧ツールを使えば、m500でも簡単に表示できる(図2)。さらに、IMEXPORTフォルダーの中のMIDIファイル(SFM0)を着メロ化する機能を持っているので、Palmで着メロを作成してHV210に登録することも可能だろう。ちなみに、Palm OSの音楽演奏機能用のデータもSFM0ベースなので、変換は難しくはないはずだ。画像や音楽といった機能は、Palm OS 5以降で充実してくる。将来は、こういった面でもより積極的に楽しめることになるだろう。

TreoやTungsten Wのように、携帯電話と融合する道もあれば、こうして役割分担をしながら連携していく道もある。Bluetoothなどの先端技術もいいが、「今あるもの」を上手に活用していくのも、またPalmらしさを引き出せる使い方のひとつではないだろうか。



図2 Trevlaで撮影した映像をSDカードに保存し、AcidImageを使ってm500上でサムネールで選んだり、スライドショーで楽しむことができる



O-Yan

ようやくTreo 90でBluetoothを使える日が来たことに感激するのをつかの間、SDカード型のAir H"による常時接続でさらに感動。Visor / Treoの情報サイトVisor-Japan.com主宰

http://www.visor-japan.com/
oyan@visor-japan.com

Treo 90でAir H"対応SDカードを使う

Treo 90は米ハンドスプリング社のVisorおよびTreoの中で、唯一、SDカードスロットを搭載したマシンだ。発売当初はSDIOに対応しておらずメモリーカードしか使用できなかったが、今年9月にアップデータがリリースされ、Treo 90でもSDIOカードを使用できるようになった。

そこで今、最も注目したいSDIOカードが、セイコーインスツルメンツ(株)から発売されたAir H"対応PHSカード「AH-S101S」だ(写真)。過去にPCカードやコンパクトフラッシュサイズのAir H"はあったが、SDカードサイズはAH-S101Sが初めて。今回はこのAH-S101SをTreo 90で使用方法について紹介しよう。

まずはOSをアップデートしよう

冒頭で紹介した通り、初期に出荷されたTreo 90はSDIOに対応していないため、本体ROMのPalm OSをアップデートする必要がある。アップデートの対象となるのはPalm OS v4.1Hを搭載したデバイスで、バージョンが「v4.2H」となっているものは、アップデートの必要はない。アップデータはウィンドウズ用とマック用がそれぞれ用意されているので、環境に合わせてWebサイトからダウンロードする(図1)。本稿執筆時(11月中旬)における最新版のアップデータは「Treo 90 Updater 1.1」だ。それ以前にリリースされたバージョン1.0は、アップデート後に「Mail」と「Expense」の2つのソフトが削除されてしまうバグがあるので、必ずバージョン1.1を使用すること。アップデータのインストールには2.5MB程度のメモリーを必要とする。

なお、インストールの途中で自動的にハードリセットを行うため、事前にパソコンやSDカードにバックアップをとっておくことをお勧めする。

至極快適なキーボード付き通信端末に

次に、AH-S101Sに添付されているドライバーおよび設定ユーティリティ「Slot-DrvrsSDIO_jpJP.prc」「AH-S101S_drv.prc」「AH-S101S.prc」をTreo 90にインストールする。インストールを終えたら、AH-S101SをTreoに装着した状態でアイコン「AH-S101S」(電話番号表示ソフト)をタップして、電波状態や自局番号が表示されるか確認しよう。また、同ソフトではデータ通信モードや省電力に関する設定も変更できるようになっている(図2)。

ネットワークに接続するためには、「Prefs」の「Network」で、使用するプロバイダーのユーザー名やパスワードを入力し、AH-S101S用に新しい設定を作成しておく。また、「Connection」の設定は「Connect to」を「Modem」に、「Via」を「AH-S101S」に設定すればいい。通信速度は最高の5万7600bpsで特に問題なく通信できるようだ。

実際にメールの送受信やWebサイトの閲覧を試してみたところ、常時接続はもちろん、キーボードの便利さをあらためて実感した。あえて難点を挙げるとすれば、ネットワークに接続したまま作業すると目に見えてバッテリーが早く消耗する点だろうか。30分ほどWebサイトを閲覧したところ、フル充電のバッテリーが75パーセント程度に減っていた。また、SDスロットからはみ出したアンテナ部が比較的大きいのに対し、それを支えている基板部がとても薄いため、誤って破損してしまわないか不安になる。しかし、Treo 90が、そのサイズのメリットを生かしたままデータ通信端末として活用できるようになったことは、それらのマイナス面を忘れるほどにうれしいことである。

注意：Treo90はAH-101Sの正式な対応機種ではない。その動作について一切保証されないので注意すること。



写真 Palm Bluetoothカードよりも約7ミリ長い。上部は約6ミリの厚さがあり、「MODE」のLEDは通信速度によって点灯する色が異なる



図1 アップデータの入手先はhttp://support.handspring.com/esupport/forms/hsResolutionView.jsp?ResolutionId=8487



図2 付属のユーティリティでは、電波受信状態や自局番号の表示以外に、データ通信モードの変更や発信者番号通知、省電力モードのオン/オフが可能



なる

CLIE NXが出てOS 5の検証や無線LANなどの検証実施中。思ったよりもNXの安定度が高く楽しめるデバイスだ。早くポケットに入れて歩けるOS 5のCLIEが登場しないかと待機中。

http://www3.cds.ne.jp/narusawa/CLIE/
narusawa@cds.ne.jp

TPOに合わせてフォントを変えよう！

英語版PalmにJ-OSをインストールして使っていた頃は、フォントの置き換えが一般的に行われていた。しかし、CLIEではハイレゾ用フォントがほとんど存在しないため、フォントを置き換えることはあまりなかった。そんなCLIEでハイレゾフォントの置き換えを実現するソフトがリリースされたので紹介する。

リムフォント for クリエ

「リムフォント for クリエ」(http://www.simple-palm.com/)は、CLIEのハイレゾフォントを置き換えるソフトと、8種類の専用フォントで構成される。ソフト本体と必要なフォントをCLIE本体にインストールした後、ソフトを起動して置き換えたいフォントを指定する(図1)。CLIEの表示部分をソフトで置き換えるので、メニューやダイアログなど、すべてのハイレゾフォント表示が変更され、まったく違った雰囲気になる。

付属する8種類のフォントは、(株)リムコーポレーションが提供するもので、ファンの多い「丸文字」や「遊び文字」フォント、また視認性の高い「ゴシック」フォントなど、さまざまなフォントがある。フォントに全角

文字は含まれるが、半角文字は含まれないのでCLIEのフォントをそのまま表示する。ノーマル、ノーマルボールド、ラージ、ラージボールドの4種類それぞれでフォントを指定でき、各ソフトのメニューで表示フォントを変更することによって、瞬時にほかのフォントに切り替えられる。

ただし、すべてのフォントをインストールすると約4MBのメモリーを消費してしまうので、本体には自分が使うフォントのみをインストールするのが賢明だ。ノーマルフォント2種とラージフォント2種の計4種類を指定したら、残りのフォントはメモリースティックに移動するといい。なお、フォントの指定は本体にあるフォントしか指定できない。メモリースティック上のフォントも選択肢として表示され、指定した場合は自動的に本体にコピーや移動が行われると、さらに使いやすくなるだろう。

FontHack 123とJFHack

「FontHack 123」(http://www.sergem.net/)は、半角の英数と記号のフォントを置き換えるHackソフトだ。リムフォント for クリエと併用すれば、半角カタカナ以外のすべてのフォントを置き換え

られる。なお、FontHack123だけでは日本語が正しく表示されないため、「JFHack」(http://www.geocities.com/jp/SiliconValley-PaloAlto/7022/)、フリーウェア)も同時にインストールする必要がある。

FontHack123にはフォントは付属しないので、FontHack123のWebサイトからリンクされているフォント配布サイトや、「lubak's Clie fonts」(http://www.dominio.sk/lubak/)などからダウンロードする。lubak's Clie fontsの「Palm OS5」フォントは、ハイレゾ用で視認性も抜群だ(図2)。同フォントには4つのフォントが含まれるので、HrStandard、HrBold、HrLarge、HrLargeBoldの4カ所をFontHack123で指定する(図3)。

FontHack123とJFHackを使う場合には、「環境設定」でハイレゾアシストを有効にする必要がある。また、CLIEをリセットした場合は、日本語フォントがスモールフォント(ローレゾ用の小さいフォント)に切り替わってしまうので小さくて見づらかったり、表示が崩れることがある。このような場合は、X-MasterなどのHack基本ソフトでJFHackをいったん無効にしてから、再度有効にする作業が必要だ。

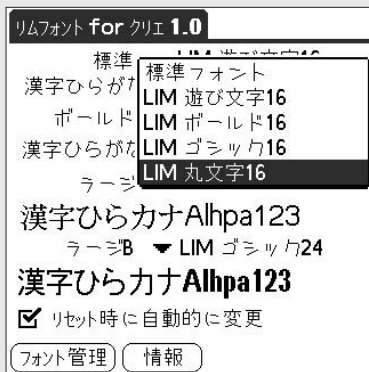


図1 4種類の各フォントに、置き換えるフォントを指定する。「フォント管理」では、本体とメモリースティック間でフォントのコピーと移動が可能



図2 斜線の左側がCLIEの標準、右側が「遊び文字」フォントと「Palm OS5」フォントの両方を指定したものの、視認性が大きく向上する

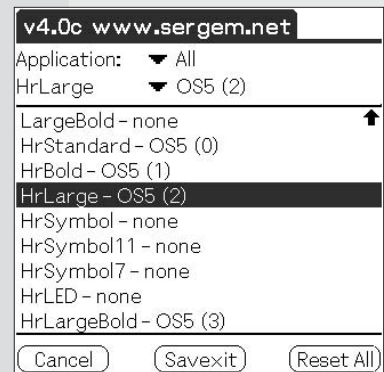


図3 システムの管理するフォントには、さまざまなフォントを割り当てられる。フォントの指定が終わったら、「Savexit」ボタンを押して設定を保存する



しげ / 難波茂広

ようやくPalm OSでも使えるようになった無線LANで、カフェ巡りを楽しむ毎日。この号が発売される頃には、128Kbps Air H™も対応してくれているだろうか.....。「ぶらっと新宿」主宰。

http://www.asahi-net.or.jp/pc3s-nnb/plat/
shige@star.email.ne.jp

使えなくなったHackの機能を、ソフトの使いこなしで補う!

待望のPalm OS 5は、ARMプロセッサの圧倒的なパフォーマンスを得て、全体的に動作も軽快だ。しかし、Palm OS 5になって動作しなくなったソフトも多い。中でも気になるのが、Hack系ソフトである。そこで、今までHack系ソフトで実現してきた機能を、別のソフトの使いこなしによって補うことを考えてみよう。

DAを起動するDA Launcher

DAを起動可能にするソフトの多くは、シルクボタンの一部をタップする操作をトリガーとする、「DA Launcher」や「App/DA Launcher」のようなHackソフトがほとんどだった。これらが利用できないPalm OS 5では、コマンドストローク(/)をDA起動のトリガーに変更した「DA Launcher 5.0」(http://simple-palm.com/、フリーウェア)を利用すればいい。コマンドストロークを書くと、メニューコマンドバーが表示される。インストールしてあるすべてのDAソフトを一覧から選択して起動する「DALボタン」、あらかじめ指定したDAをクイック起動する「DAボタン」をタップすることで、それぞれ起動可能だ(図1)。ただし、コマンドストロークは、シルクエリアを非表示にした状態では入力できない。そこで、頻



図1 DA Launcherの設定画面では、クイック起動したいDAソフトを2つまで指定できるほか、DAソフトをピーム/削除する機能もある

繁に起動するDAソフトの起動については、次に紹介する方法がお勧めだ。

ボタンをカスタマイズする FlexButton

スタイラスの操作で特定のソフトを起動したり、直前に起動していたソフトを表示するHackソフトも数多く存在したが、これらもPalm OS 5では使えない。そこで、フレックスボタン「FlexButton」(http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/、シェアウェアの予定)を利用すれば、少ない操作でソフトを起動できるようになる。

FlexButtonは、ハードボタンや、キーボード、検索、コントラストなどのシルクボタン、スタイラスのグラフィティアクションに、ソフトやDAの起動を割り当てられるソフト(図2)。以前は、「ButtonDA Hack」や「Calc Hack」などの個別のHackソフトで実現していたことを、FlexButtonひとつで設定できるというわけだ。このほかに、CLIE NXシリーズでは、Capture/Recボタンやリモコンのボタンにもソフトの起動を割り当てることが可能。さらに、DAソフトの「LDA」や「ADA」と組み合わせることによって、より多くのソフトをハードボタンだけで起動できるようになる。



図2 FlexButtonでは、アプリケーション、DAソフトのほか、McFileショートカットのような起動可能なデータボタンに割り当てられる

ステータスエリアにハードボタンを

CLIE NXシリーズは、そのデザイン上の制約からNRシリーズと同じく、ターンスタイルの時にハードボタンを使用できない。この欠点を解消するため、NRシリーズではステータスエリアの使用しない領域に仮想ハードボタンを配置する「VirtualButtonHack」が欠かせなかった。

これは、「OKey」(http://www.geocities.com/nagamatu/、フリーウェア)のステータスパー拡張機能で置き換えることが可能だ。OKeyは、ダイアログの「OK」ボタンや「キャンセル」ボタンを、キーボードショートカットの入力だけで押せるようにするソフトウェアだが、バージョン0.96からステータスエリアにハードボタンを割り当てる機能が追加された。「ステータスパー拡張機能」をオンにすると、現時点ではあまり使い道のないシルクプラグインアイコンに重ねて上ボタンが配置され、メモリースティックアイコンとボリュームアイコンのすき間に下ボタンが追加される。また、表示は変わらないが、バッテリーアイコンに予定表ボタンを、時計が表示されている領域を3等分して、左からアドレス、To Do、メモ帳のハードボタンをそれぞれ配置できる(図3)。

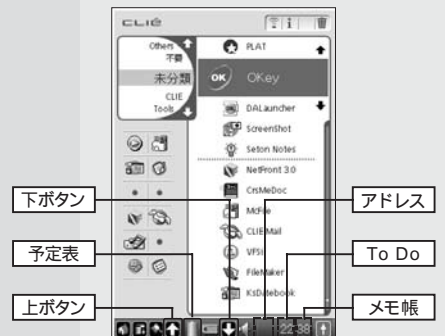


図3 ステータスパー拡張機能のほかに、画面上のボタンをジョグダイヤルだけで選択して押し下げる「Jogアシスト拡張機能」もある



山田達司氏
PowerRUN
前回3位 1800円



メモリーカードを有効活用できる定番ソフト

CLIEシリーズとm500シリーズに対応。サードパーティー製ランチャーからも、メモリーカード(メモリースティック、SD/MMCカード)上にあるアプリケーションを、Palmデバイス本体にインストールされているアプリケーションと同じ感覚で起動できる。アプリケーションだけでなく付随するデータもメモリーカードに移動可能。メモリーカードにあるアプリケーションのアイコンには、メモリーカード上にあることを示すマークが付く。



㈱イリンクス
Xiino(J, S.J, アップグレード版含む)
前回1位 2980円



Palm OS 4.0上で動作する日本語対応Webブラウザ。128ビットSSL、JavaScript、SDカードに対応。Webブラウジングの際、Palmでの閲覧に最適な形に変換する。



米スペース・ソフトウェア社
The Missing Sync
再登場 3830円



USB搭載のマックとCLIEシリーズでHot-Syncを可能にするソフト。「iPhoto」「iTunes」などの連携機能を持ち、MP3やJPEGファイルをメモリースティックにコピーできる。



山田達司氏
リムフォント for クリエ
初登場 3000円



CLIE N, NR, T, SJシリーズのフォントを変更できるソフト。読みやすくユニークなフォントを8種類用意している。ハイレゾに対応。試用期間は30日。



米ハーバード・ランゲージ・カンパニー社
PocketLingo Deluxe - 英語総合辞書
初登場 4800円



㈱研究社の「新英和辞典(第6版)」「新和英辞典(第4版)」のほか「アメリカン・ヘリテージラーナーズ英語辞典」を完全収録。外部メモリー対応。



今関弘明氏
McFile
1500円

前回2位

Palm本体、メモリーカードのファイル进行操作するためのソフト。ファイルのコピー、移動、DOCファイルの閲覧などが可能。ジョグダイヤルに対応。



エムロジック㈱
CutePack
1680円

再登場

標準PIMソフトを改良した置き換えソフト。Palm OS 5、CLIE NXシリーズにいち早く対応。色の変更とアイコンの指定が可能。アイコン作成ソフトも付属。



yibing氏
YiShow Explorer for CLIE
再登場 2600円

再登場

画像、電子ブック、ファイル管理などの機能を持つCLIE用高機能ランチャー。メモリースティック、ジョグダイヤルに対応。ランチャー画面のカスタマイズが可能。



米アイアンピック社
iambic Agendus (日本語版)
前回4位 3250円

前回4位

定番置き換えソフト「Action Names Datebook」が改名して「iambic Agendus(アジェンダス)」に。CLIEのハイレゾに対応。NXシリーズにも対応。



福本修仁氏
PEM
1980円

前回7位

消費税やクレジットカード別の支払い集計などができる定番お小遣い帳ソフト。コンジットを使えばマックとの連携も可能となる。ジョグダイヤルに対応。

OS 5時代になっても 定番ソフトは盤石の構え

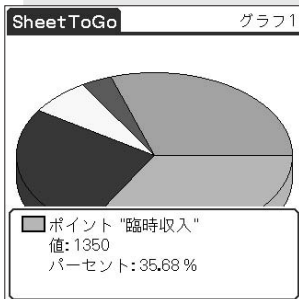
CLIE NXシリーズ発売後、初のランキングをお届けしようと張り切って調査に入ってみたが、顔ぶれにあまり変化が見られない結果となってしまった。とはいえ、定番が入れ替わらない理由は明確だ。定番ソフトともなると、きっちりガイドラインに沿って開発されているソフトが多いため、互換性にほとんど問題がない。そして、いち早く新OS対応のバージョンをリリースするからだ。

さて、前回でNXシリーズの登場がPalm用ソフトの方向性を変えていくと述べたが、現時点では定番ソフトのOS 5への対応が進んでいる、というところである。もちろん実機の販売が開始されて間もないことも理由のひとつだが、それ以上に大きいのは付属ソフトの充実ぶりだろう。シンプルなOS、ハードゆえに参入しやすかったPalm市場もすっかり様変わりしており、売れるソフトを開発するための投資額が跳ね上がっている。しかしその一方で、日本のPalm市場を支えているのは大きな組織ではなく、一人一人の開発者のスキルである。

実は先月、都内で「Handangoデベロッパ会議 in Tokyo」が開催された。米ハンダango社の副社長、アジア担当の、日本の優れた開発者と直接コミュニケーションが取りたいとの要望から実現した会議だが、その場でも日本は米国とは違い「企業」ではなく「開発者」が市場を支えていることをHandangoサイドも強く感じていた。ソフトが大型化し、開発に莫大なコストがかかるようになって、開発者のアイデアが尽きることはない。本コーナーのランキングにおいて、常に上位を占めているのは数名の開発者の作品であった。今後も独創的なアイデアと高いスキルを持つ開発者の作品が市場を活性化してくれることを願ってやまない。(水谷成智)

注目ソフト!

米データbiz社
Documents To Go Premium Edition 5.0 (日本語版)
6510円



PDAをお使いの皆さんは、かなりの確率で「エクセル、ワード使えるの?」という質問を受けているはずだ。画面のサイズや解像度は関係ない。これらのデータを扱えるかどうかがユーザー予備軍には重要なポイントなのだ。さすがにPalmの解像度も上がり、表によっては閲覧に十分、という使い方ができるようになってきた。

そこで「Documents To Go」。Palmにも付属しているが、Premiumは最上位のパッケージ。画像やグラフの変換表示が可能だ。Palm OS 5、ハイレゾ画面にも対応。ぜひ試してほしい(ピザビで12/31まで1000円オフのキャンペーン中)。

実

験

しま
した

街角ホットスポット

無線LANはホントに使える？

無線LAN & ホットスポットのメリット

もはや、家庭でのインターネット接続の常識になりつつあるADSLなどのブロードバンドネットワーク。安さと速さで定評のあるこのブロードバンド回線を、外出先でもワイヤレスで利用できるようにしたのが、公衆無線LANサービスだ。利用できるのは無線LANアクセスポイントが設置された場所だけなので、携帯電話やPHSのように、どこでも使えるというわけではない。しかし、'02年11月末時点で、全国には約1200カ所の無線LANスポットがあり、ここ数カ月はものすごい勢いで増加している。

あらゆるモバイル系通信手段よりも圧倒的に高速で、しかもつなぎ放題の定額制なのにとっても安価に利用できる点も魅力だ。しかも、現在は無料の実験サービスを提供しているところが多く、実験に参加すれば無料で使えるので気軽に試すことができる。

このほか、ローミングによるサービス同士の相互乗り入れ、メインで使っているISPのオプションサービスとしてさらに安価に提供されるサービスもあるので、まずは利用してみることをお勧めしたい。

公衆無線LANサービスが提供される形態

公衆無線LANのサービスは、提供されている場所によってさまざまな形態を採っている。大きく分けると、独立店舗型、スポット型、街中型の3タイプに分けられる。

独立店舗型とは、接続回線の負担から無線LANアクセスポイントの管理・運営までを、喫茶店などの飲食店、ホテルなどの宿泊施設が自前で行っているものだ。接続方法はスポットによって異なるが、WEP機能を使用せず、ID/パスワード認証をすることなく利用できるところがほとんどだ。'02年秋以降、急速に増加している「フリースポット FREESPOT (FREESPOT協議会) 対応のスポットは、どこでも同じ設定で利用できるためスポット型に分類したが、見方を変えれば独立店舗型とも言える。

スポット型は、広範なエリアで無線LANサービスを提供しているサービス事業者と契約することにより、飲食店チェーンやホテルのロビー、駅構内に多数設置された無線LANスポットを利用できる有料のサービスだ。利用するときには、ほとんどのスポットで、ESS-ID、

WEP機能の設定、128ビットSSL対応ブラウザ(CLIEの場合はNetFront)によるID/パスワードの認証が必要だ。現時点では、Yahoo!BB(ヤフー㈱)の「Yahoo!BBモバイル」など無料で実験サービスを提供しているところが多いが、NTTコミュニケーションズ㈱の「ホットスポット」のように、すでに有料サービスを展開しているところもある。単純に、利用できるスポット数の多さ、地域における密度の濃さが利用価値のバロメーターになる。

建物の屋上や壁面、道路に立っている電柱など、主に屋外で利用することを想定してアクセスポイントを設置しているのが街中型だ。車で移動中でもアクセスポイント間のローミングができるよう、モバイルIPを採用したMIS (モバイル インターネット サービス) の「ジェニユイン Genuine (注: '02年12月末で一部地域を除いてサービス停止) 京都や東京で接続実験が展開されている、「みあこネット (SCC)) や「BitStand (㈱鷹山) が街中型としてピックアップできる。ただ、CLIEで利用できるものは現時点ではあまり多くない。

CLIEで使えるサービス、使えないサービス

無線LANサービスを利用する上で注意しなければならないのは、CLIEでは利用できない方式のものが存在するという点だ。例えば、接続にPPPoE認証を利用する「Mフレッツ」(NTT東日本)や「フレッツ・スポット (NTT西日本) は、パソコン用の接続ツールしか用意されていないため、PDAでの利用は現時点で考慮されていない。また、前述のMISのGenuineは、専用のドライバーとアクセスソフトが対応している無線LANカードが必要のため、PDAでは利用できない。同じシステムを採用しているみあこネットもCLIEでは使えない。

このほか注意しなければならないのは、無線LANアクセスポイントとの相性によるものなのか、CLIEで接続したときに何らかの障害が発生するスポットが存在することだ。前出のNTTコミュニケーションズ㈱の無線LANサービスであるホットスポットは、無線LAN自体の接続ができない箇所がほとんどで、順次CLIEへの対応を進めている状態だ。また、すでに接続できるスポットでも5~10分以上の安定した接続ができないようだ。「Mzone」(㈱NTTドコモ) でも同じ症状が見られるので、今後の対応に期待しよう。

*この記事は'02年11月30日までの情報を基に制作しています

文 難波茂広、編集部
イラスト 永野敬子

CLIEで使える 無線LANサービス



Yahoo!BBモバイル

Yahoo!BB(ヤフー株)
<http://bbpromo.yahoo.co.jp/promotion/bbmobile/index.html>

申し込みから接続まで
 事前にパソコンで上記にアクセスして利用登録する方法と、対応スポットから携帯電話で行う方法の2つがある。
 ・パソコンから登録 Yahoo! Japan IDの取得、支払方法をYahoo!ウォレットに登録(実験サービス中は無料)、ウェルカムメッセージとパスワードの登録の順に手続きを行うと設定情報がメールで送られてくる。
 ・携帯電話から登録 専用電話番号にアクセスし、音声ガイダンスに従って手続きを済ませる。携帯電話で利用登録すると、携帯電話の番号がユーザーIDに設定される。

無線LANの設定 / 認証方法
 設定情報を基に「環境設定」でESS-IDと40/64bit WEPキー(16進数)を設定

料金
 現時点では実験サービスなので、登録すれば無料で利用できる。有料化の時期は明らかになっていないが、自宅Yahoo! BB 12M + 無線LANパックを利用している場合は無料、Yahoo! BB 12M、あるいはYahoo! BB 8Mを利用しているなら月額290円、それ以外のユーザーは月額1580円と予告されている。

サービスエリア内訳

ホットスポット

NTTコミュニケーションズ株
<http://www.hotspot.ne.jp/>

申し込みから接続まで
 有料サービスなので、ISPと同じように契約をする。入会は、上記URLからオンラインサインアップで行い、希望のID、パスワードを指定できる。郵送での入会も可能だ。

無線LANの設定 / 認証方法
 入会完了のメールにある設定情報を基に、ESS-IDと40/64ビットWEPキー(16進数)を設定する。NetFrontで適当なサイトを開くと、ホットスポットの認証画面が表示される。ID、パスワードを入力して「ログイン」ボタンをタップすれば認証が完了。ローミングサービスで利用している場合は、IDにドメイン名を含めて入力する。

料金
 月額基本料金は1600円、契約料が1500円。月途中の契約や解約では日割り計算はされず、利用開始月は無料で利用でき、解約月は1カ月分の料金を支払う必要がある。@nifty会員は、@niftyホットスポットサービスを利用することで、1日350円、1カ月1400円となる。Air11や無線LAN倶楽部とのローミング実験、OCN会員の試験サービスなど、ほかのISPとの協調したサービスも積極的だ。

サービスエリア内訳

FREESPOT

FREESPOT協議会
<http://www.freepot.net/>

申し込みから接続まで
 無線LAN製品を販売する㈱メルコが提唱。同名の専用アクセスポイント製品をお店のオーナーが購入し、自前で用意したブロードバンド回線に接続するだけで無線LANサービスを提供できるというもの。基本的に事前に利用登録などする必要はない。提供場所によっては、利用時間が制限されていたり、会員にならないと利用できないなど、制限事項を設けているところもあるが、多くのスポットでは自由に利用できる。

無線LANの設定 / 認証方法
 「環境設定」でのWireless LANの設定は、WEPキーは「無し」、ESS-IDも空欄のままでもいい。ESS-IDを空欄にしておくと、自動的に「Any」と設定される。有料サービスのほかの事業者と異なり、NetFrontによるパスワード認証も必要ない。接続が完了すればすぐにインターネットへの接続が可能だ。

料金
 FREESPOTを利用するのに、基本的には料金はかからない。ただし、無線LANサービスを提供しているのが飲食店やマンガ喫茶の場合、飲み物代やマンガ喫茶自体の利用料は別途かかる。

サービスエリア内訳

サービス名(事業社名)	CLIE NXでの利用可否	スポット数(11/30現在)	WEP	対応状況	サービス概要
Yahoo!BB モバイル (Yahoo!BB) http://bbpromo.yahoo.co.jp/promotion/bbmobile/index.html		221	40/64ビット	NetFront上でSSL認証すると利用可。「認証時に証明書が正しくありません」というダイアログが表示されるが、そのまま進めたい	無料で参加できる実験サービス中。利用登録必要。実験終了時期は現時点で未定。有料サービス移行時は、Yahoo!BB無線LANパック会員が無料、通常会員が月額300円、それ以外は月額1500円の予定
ホットスポット (NTTコミュニケーションズ株) http://www.hotspot.ne.jp/	順次対応	259	40/64ビット	基本的に利用不可だが、新宿、渋谷の一部のスポットでCLIE対応が進んでいる。利用可能なスポットでも、短時間しか安定した通信ができない	初期費用1500円、月額1600円でサービス展開中。Air11(ワイコム)とのローミングも提供中
FREESPOT (FREESPOT協議会) http://www.freepot.net/		245	なし	WEP設定不要。認証不要。ESS-IDは「Any」で可能	提供元によるが、基本的に未登録かつ無料で利用できる
Mzone (株NTTドコモ) http://www.nttdocomo.co.jp/p_s/mzone/		19	40/64ビット	接続、SSL認証とも問題ないものの、認証後5分後にアクセスエラーというページが表示され、無線LANカードの抜き差しが必要になる	初期費用1000円、月額2000円で有料サービスを展開中
eoスポット (株ケイ・オプティコム) http://www.eospot.com/		6	40/64ビット	NetFront上でSSL認証すると利用可。「認証時に証明書が正しくありません」および、「別ウィンドウは開けません」というダイアログが表示されるが、そのまま進めたい	'03年3月までの実験サービス中。事前に利用登録が必要で、モニター会員は毎利用時に会員カードを提示して、認証ID/PASSカードを受け取り利用する
「ホットスポット スターターキット」 (日本アイ・ピー・コム)を導入している店舗 http://www-6.ibm.com/jp/pc/wireless/solution.html		4	なし	WEP設定不要。認証不要。ESS-IDは「Any」で可能	無料で利用できる
@Mobile (BeB協議会) http://www.venture.or.jp/mobile/		36	なし	WEP設定不要。認証不要。スポットにより、CLIEで利用できない場合がある。ESS-IDは「Any」で可能	現在提供されているアクセスポイントは無料で利用できる
Biz Porta (株理経) http://www.bizportal.jp/		4	40/64ビット	利用登録後に入手したログインID、パスワードをNetFrontにて入力すると利用できる	1日24時間500円、7日168時間1000円の有料サービスで、新宿エリアのみで提供。事前登録は不要で、ワンタイム・カードを購入するか、クレジットカードによる支払いで利用できる
ノマディック・サービス (スピードネット株) http://nmds.speednet.ne.jp/		3	なし	NetFront上でSSL認証すると利用可。ただ、短時間しか安定した通信ができない	来年3月まで有料の実験サービスを実施(SpeedNetユーザーは無償)、24時間300円。事前登録は不要で、スクラッチカードを購入することで利用できる
ネオモバイル(NTT-ME) http://www.coolsport.wakwak.com/index.html		14	104/128ビット	IEEE802.1x認証ではなく、SSL認証で接続できるアクセスポイントを利用する。NetFront上でSSL認証すると利用可	2002年12月まで無料で参加できる実験サービス中。利用登録が必要。実験期間後は、有料サービスに移行する予定



東京23区における主要駅周辺アクセスポイント

【新宿駅】下記分布図参照 【渋谷駅】Yスターバックスコーヒー渋谷三丁目店 Yルノアール渋谷公園通り店 Yマクドナルド東映プラザ店 Hモスバーガー渋谷公園通り店 Hチェルシーカフェ道玄坂 【品川駅】YYahoo!Cafe品川プリンス店 F東急イン品川駅高輪口 H品川プリンスホテル別館ロビー 【有楽町駅】Yルノアール銀座インズ店 F有楽町ソフマップ Hピックピーカン有楽町店 【東京駅】Yスターバックスコーヒー八重洲地下街店/八重洲アーバンスクエア店 Yマクドナルド東京駅店(ローズロード店) Yドトールコーヒーショップ新大手町ビル店 H東京プリンスホテル1Fロビー 【秋葉原駅】YYahoo!Cafe秋葉原店 Yマクドナルド秋葉原ヤマギワ店 Yルノアール秋葉原店 Fソフマップ秋葉原1号店 【上野駅】Yマクドナルド上野公園前店 F東急イン 浅草千束 【市ヶ谷駅】Hモスバーガー市ヶ谷田町店 Hシャープ東京市ヶ谷ショールーム

Y Yahoo!BBモバイル H ホットスポット F FREESPOT

新宿駅周辺 主要3社アクセスポイント分布



政令指定都市アクセスポイント分布

札幌市 Yマクドナルド(中央区内)/札幌店/札幌インター店 Yミスタードーナツ(中央区内)/札幌新道店/菊水元町店 F東急イン 札幌すすきの南/札幌駅南口/札幌北大 Fヨドバシカメラ マルチメディア札幌 Hモスバーガー(中央区内)Hピックカメラ 札幌市 仙台市 Yスターバックスコーヒー(青葉区内) 仙台長町駅前店 Yマクドナルド(青葉区内) 市名坂店 F東急イン 仙台東口1号店・2号店/仙台西口広瀬通 F青葉ビジネスホテル 千葉市 F東急イン 千葉駅前/千葉ポートスクエア/千葉幕張/津田沼 横浜市 Yスターバックスコーヒー(中区内) 日吉店/センター南店 Yマクドナルド(中区内)/東神奈川駅前店/日吉駅前店/港南中央店/中山店/十日市場店 F東急イン 横浜西口/横浜桜木町/横浜館内/新横浜駅前本館・新館 FDiCE新横浜店 川崎市 Yミスタードーナツ 川崎子母口店 F東急イン 川崎駅前本町/川崎小川町 Fヨドバシカメラ 京急川崎駅前店 名古屋市 Fコンビニ 八事/大須第2アメ横/名古屋 Fスーパーコン 大須メガタウン/大須モバイルサイト F東急イン 名古屋丸の内/名古屋錦/名古屋駅桜通 F大須商店街 京都市 Yミスタードーナツ 寺町六角上ル店 F東急イン 京都四条大宮/京都五条烏丸/京都四条烏丸 Fセカンドハウス 北山店/出町店/銀閣寺店/河原町店/東洞院店/西洞院店 大阪市 Yスターバックスコーヒー(中央区内)/四ツ橋大阪中央ビル店 Yマクドナルド(北区内)/ Yあびこ店/文の里店 F東急イン 心斎橋西/大阪なんば/梅田中津/天満橋 大手前/大阪谷町四丁目/大阪船場 Fヨドバシカメラ マルチメディア梅田 FJ&Pテクノランド Hピックカメラ なんば店 神戸市 Yマクドナルド(中央区内)/2号線七宮店 Yパッセカフェ ポートライナー三宮駅前店/三宮センター街店 広島市 Fミスズガーデン 北九州市なし 福岡市 F東急イン 博多西中洲/博多祇園/博多口駅前/博多駅南



CLIEが使える カフェ・ラ・ヴォワ



Cafe la Voie (カフェ ラ ヴォワ)

住所：東京都新宿区西新宿1-23-1
 03-3346-1611
 最寄り駅：新宿駅 (JR、地下鉄、私鉄各線) 徒歩5分
 新宿中央郵便局 西南側交差点の斜め向かい
 営業時間：7:00～23:00
 http://www.kadoya-hotel.co.jp/CAFE.html

新宿西口オフィス街の一角、カドヤホテルの1階にある落ち着いた雰囲気のカフェ。レジカウンター脇にFREESPOT対応のアクセスポイントが設置されており、パソコンやCLIEから無線LANを経由して、無料でインターネットに接続できる。コンセントを使える席が複数あり、ACアダプターを持参していればバッテリー切れを心配することはない。無線LANの1日の利用者は十数人。現在はほとんど



がパソコンでの利用者。「今後、PDAで気軽に無線LANにアクセスできれば、利用するお客さんはもっと増えると期待しています」とは、店長の山本さんの弁。

無線LANが利用できる主なスポット

スターバックスコーヒー(全国)
 マクドナルド(全国)
 ミスタードーナツ(全国)
 成田空港サクララウンジ
 関西国際空港

CAFFE FOGLIO(カフェ フォリオ)
 住所：東京都渋谷区猿楽町23-3 鳥居ビルB1
 TEL：03-3464-0512
 喫茶 東洋
 住所：東京都千代田区外神田4-4-2
 TEL：03-3258-6868

無線LANサービスを利用するまで

多くの無線LANサービスは、CLIE NXシリーズで実際に利用するのに、無線LANネットワークへ接続し、NetFrontでSSL認証を行う手続きが必要だ。Yahoo!BBモバイルを例に、利用するまでの手順を紹介しよう。

Wireless LANの設定



「環境設定」メニューの「ネットワーク」で設定を行う。「サービス」から「Wireless LAN」を選択し、「詳細」ボタンをタップ。「Wireless LAN詳細設定」で新規プロファイルを作成する。利用登録時もらったESS-IDを「NetworkID」に、WEPキーは「40/64bit:16進数(10桁)」を選択してから入力。接続種別は「Infrastructure」がハイライト表示されたままにしよう

トップ画面



無線LANの設定が終わったら、NetFrontを起動してブックマークから適当なサイトを開く。すると、自動的に無線LANによる接続が行われ、Yahoo!BBモバイルのウェルカム画面が表示される。携帯電話で登録した場合、Yahoo! Japanで登録した場合で適切なリンクをタップして進める。ここでは、Yahoo! Japanで登録した場合を進める

Yahoo! Japan IDの入力



登録したYahoo! Japan IDを入力して、「ログイン認証開始」ボタンをタップする

ウェルカムメッセージの確認とパスワード入力



登録時に設定したウェルカムメッセージが表示されるので、正しいものが確認してからパスワードを指定し、「ログイン」ボタンをタップする

認証完了画面

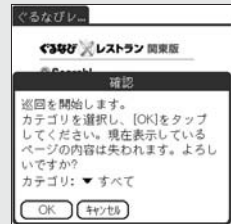


ログイン認証が完了すると、お知らせやメンテナンス情報が表示される。認証が完了後は、NetFrontで好みのWebページを表示したり、CLIE Mailでメールの送受信が利用できるようになる

知って得するTips

NetFrontの巡回機能で、高速回線を短時間で効率よく使う

NetFrontの巡回機能を使えば、ブックマークに登録したサイトをワンアクションで自動的に巡回することができる。この機能を使うと、駅などのスポットで短時間のうちに多くのサイトを一括してダウンロードでき、電車の中でゆっくりと閲覧できる。ただし、巡回機能は読み込み途中でなんらかのダイアログが表示される(例：ページが大きすぎるなど)サイトを指定すると途中でエラーになってしまうので注意して設定しよう。



「CLIE Style」で、電子本を購入する、地図を見る、ぐるなびで調べる

CLIEで利用するのに最適化されたポータルサイト「CLIE Style」はホットスポットでも重宝する。もちろん、CLIEで利用しやすいように閲覧するデータはあまり大きいわけではないが、無線LANならより軽快に情報を閲覧できる。お茶を飲みながら「ぐるなび」で夕食のお店をチェックするもよし、Mapionの地図で散歩するコースを下調べするのもいだろう。喫茶店でくつろぎながら本を読もうと思えば、その場で電子書籍を購入してCLIEで読むこともできるのだ。



子供だけに使わせるのは
もったいない!

ラップトップ型 Palmデバイス 「Dana」の魅力

フルサイズキーボードとワイドディスプレイが特徴的な、Palmデバイス「Dana」の販売が米国で開始された。今回、この貴重な機種に触れる機会が与えられたので、実際に触れてみたうえで感じたDanaの持つ魅力をご紹介します。

文 藤田 実、編集部
協力 山田達司
写真 篠原孝志(Pacia)

教育市場向けポータブルマシン

米アルファスマート社(<http://www.alpha-smart.com/>)から発売された「Dana」は、これまでPDAとして製品化されてきたすべてのPalm OSマシンとは異なるコンセプトの製品だ。米アルファスマート社は、これまでも教育市場向けポータブルワープロとして「AlphaSmart3000」という機種を発売してきた。低価格、低消費電力でありながら、必要十分な電子メール機能やワープロ機能を備え、多くの学生に利用されているという。今回発売されたDanaも、同様に教育市場向けに開発されたものであり、Palm OSを採用することにより、1万本以上のアプリケーションやPalm OS対応eBookなどが利用できるという強力な魅力が加わった製品だ。価格はPalmStore(<http://store.palm.com/>)によると399.99ドルで発売されている。なお、国内でもイケショップ

(<http://www.ikeshop.co.jp/mobile/>)がDanaの輸入を開始し、5万9800円で販売している。

外観はポータブル型ワープロ

本体サイズは、幅314×高さ235×厚さ(もっとも厚い部分)48ミリと大きく、重量も0.91キロと、明らかにPDAというよりも、ポータブルPCといった大きさだ(写真1)。そのぶん、キーボードは、筆者がメインで使用しているVAIOノート「SRX-7」(ソニー製)よりも横幅が広く、キーストロークも深いため快適な入力が可能。キー入力はスムーズで、キーボードを搭載していないPDAタイプのPalmデバイスに、外付けキーボードを取り付けたときのようなもたつき感や表示のチラツキ、高速入力時の取りこぼしなどもまったくなく快適だ。キーボードには、内蔵PIMソフトやメニューなどの機能も割り当てられていて、液晶画面をタップしな

くても多くの機能をキーボードだけで操作できる。キーボードマシンとして、本格的な仕上がりとなっている。ディスプレイは、560×160ドットのバックライト付きタッチスクリーンモノクロ液晶を装備しており、横幅がこれまでのPalmデバイス標準解像度の3.5倍となっているのが大きな特徴だ。本体内存メモリは容量8MBで、電源は単3形乾電池3本、充電機、ACアダプターの3方式に対応している。スタイラスは、本体側面に収納されており、ディスプレイ側の上には、2基のSDカードスロット、パソコン接続用USBポート、ACアダプターポート、プリンター接続用USBポート、赤外線ポートといった多くの入出力機能を備えている。

表示方法と搭載ソフト

Danaに搭載されているPalm OSは、Ver.4.1だ。アプリケーションが一覧できるホーム画面は、160×160ドットサイズの従来PDA用と同じ画面が中央に現れ、デフォルト設定では、その左側にDanaのロゴ、右側にグラフィティーエリアが表示される。グラフィティーエリアでは、グラフィティーによる文字入力やシルクボタン操作が可能だ。ここに表示されている矢印ボタンをタップすることで、両サイドの表示部分の左右を入れ替えたり、非表示にすることもできる。残念ながらホーム画面は160ドット四方のままだが、内蔵のアドレスや予定表、メモ、



写真1 DanaとPalm m505を並べてみると、DanaはPDAという枠を超えて、もはやラップトップマシンといった風格だ

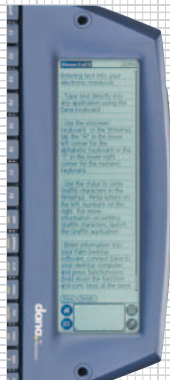


写真2 横長フルサイズ表示が可能な標準Memo Padを、回転表示させて縦長にしてみた。しかしこの表示にすると入力しにくいという矛盾が……



内蔵PIMソフトやメニューなどがキーボードに割り当てられているので、液晶をタップしなくても、ほとんどの操作をキーボードでできる。多くの入出力ポートを備えているのは、教育市場向けの製品ゆえだろう。ちなみに素材感やデザインは、やはり教育市場向けに発売された米アップル社の「eMate」を彷彿させる。「あ」キーがあるのが非常に気になる

ワープロソフトなど、ワイド画面に対応したソフトであれば、横長フルサイズ表示が可能だ。さらに、「Screen」という設定アプリケーションで縦横表示を切り替え、縦長画面にすることもできる（写真2）。

AlphaWordのテキスト送信機能

「AlphaWord」はフォントの修飾機能や右寄せ、センタリング機能などを装備したワープロソフト。シンプルなワープロソフトとして十分な機能を装備している。ファンクションキーに対応した複数のファイルを持つことができ、ワンタッチで切り替えることが可能だ。ユニークな機能が、HotSyncではないテキスト送信機能だ。これは、AlphaWordで書かれたテキストの内容を、そのままキーボードエミュレーションモードでパソコンに送るもので、USB接続が赤外線接続で送信することができる。試しに、DanaとパソコンをUSBケーブルで接続してみたところ、そのまま入力デバイスとして認識された。そこで、パソコンでエディターソフトを起動し、AlphaWordで書いた英文を表示させたまま「send」キーを2度押すと、その内容がそのままパソコン側のエディターソフトに入力された。パソコン側の

ソフトを日本語入力モードにし、ローマ字で書いた文章に変換用のスペースを入力したものを送信すると、面白いように日本語変換も行われた。なお、これはキーボードの入力をそのまま行うものなので、文字化けしたままの日本語文字を送信したところ、パソコン上でも、意味不明のコードが送信されてきたことによる文字化けとなり、途中で止まってしまった。

PrintBoyでプリンター印刷

プリントユーティリティ「PrintBoy」を使い、手持ちのプリンター「PM-900C（エプソン製）で印字できないか試してみたが、残念ながら動作しなかった。今回は時間の都合もあり詳しく確認できなかったが、単

搭載されているアプリケーション	
ワイド画面対応標準アプリケーション	Address Book、Date Book、To Do List、Memo Pad
ワープロソフト	AlphaWord（スペルチェック機能、類義語辞典を装備し、「マイクロソフトワード」とデータの互換性があるワープロソフト）
プリントユーティリティ	PrintBoy
電子ブックリーダー	Palm Reader
マイクロソフトワード/エクセルファイルの閲覧、編集ソフト	QuickOffice
高機能電卓	PowerOne Graph

体で印字できれば、英文ワープロとしてDanaは大変使いやすいマシンだろう。

J-OSによる日本語化は制限付きながら可能

今回試用したDanaは、英語版Palmデバイス用の日本語環境「J-OS」を開発している山田達司氏所有のものをお借りしたのだが、借用した時点で、あらかじめJ-OS Vがインストールされており、日本語コードが入力できるアプリケーションでは、問題なく表示されていた。さらに内蔵PIMアプリケーションやQuickWordでは、J-OSの「Windows」モードでの日本語入力も行うことができた。ただし、「Inline」モードでは表示が乱れたり、AlphaWordやQuickSheetでは日本語が入力できないなどの問題もあった。

日本の教育市場向け機器の登場に期待

Danaは、PDAとして見ると携帯性に問題があるが、可搬型ワープロとして見ると、快適な入力装置と広い表示画面を装備し、さらに、ほかに類を見ないほど多くのアドオンアプリケーションを持つ強力な電子文具といえる。同じようなポータブル性をもつノートパソコンはまだ高価であり、教育市場で幅広く普及させるには操作も複雑で、必要なソフトウェアを準備するのにさらに多大なコストがかかる。アドオンアプリケーションが、シンプルでわかりやすく、使いやすいものが多いのもPalm OSの特徴だが、その特徴を最大限に生かせるハードウェアではないだろうか。日本では、これまで一部の高校や大学などで関数電卓やポケットコンピューターなどを生徒に配布するといったことが行われてきたが、今後、日本でも使いやすさとコストに優れた同様の機種が登場することを強く望みたい。

Danaスペック	
OS	Palm OS 4.1（英語版）
CPU	不明
メモリー	8 MB(RAM)
インターフェース	赤外線ポート、SDカードスロット×2基、USBポート×2基、ACコネクタ
ディスプレイ	反射型TFTモノクロ液晶（バックライト搭載）
表示解像度/表示色	560×160ドット
外形寸法	幅314×高さ235×厚さ（もっとも厚い部分）48ミリ
重さ	910グラム
ボディカラー	グライフトグリーン
電源	内蔵充電電池、単3形乾電池3本にも対応
付属品	HotSyncケーブル、ACアダプター
価格	399.99ドル

入力王

決定戦!

比べてわかった
本当に速い入力方法はコレ!

今よりもっと速く文字を入力したい そう願って、入力デバイスをあれこれ検討してはみるものの、一体どれを選べばいいのか迷うこともあるだろう。そこで、本誌編集者とライターが、5つの入力方法を実際に体験し、比較してみた。はたして、その結果は皆さんの予想通りだっただろうか?

読者の皆さんは、普段、どんな方法でPalmに文字を入力しているだろうか。標準のグラフィティーのほかにも、キーボードや入力支援ソフトなど、選択肢はいくつもある。入力がラクになると信じて選んだそれらの方法は、本当に入力のスピードアップに貢献しているのだろうか? そこで本特集では、代表的な入力方法を5タイプ取り上げ、特定の文章を入力するのにかかる時間を計測して、各方法の評価を行った。

今回の検証では、2人のテスターが、そ

れぞれ5種類の入力デバイスでサンプル文章を入力するのに要した時間を計測し、比較する形式をとった。テスターは、ミニキーボード愛用派の編集者と、グラフィティー愛好派ライター。両者とも1年半から3年半ほどPalmを使い込んでおり、文字入力に対してはこだわりを持っている。この2人がおのおのの視点で、入力に要した時間と使用感の両面から、入力デバイスの評価を行う。入力内容は、アドレスとメモを1件ずつ。Palm標準のアドレスとメモ帳を使用し、

入力中のミスを修正するのに要した時間も計測時間に含めて、トータルの入力タイムを競うものとする。

皆さんが得意とする入力デバイスや、文字入力に対するこだわりなどを、テスターたちと照らし合わせて、自らの文字入力の趣向を見極めるもよし。また、手持ちの入力デバイスで、実際にサンプル文章を入力して、ふたりに挑戦してみるのもいいだろう。その結果から、あなたにとって最適な入力方法のヒントが見つかるかもしれない。

Rules

入力デバイス

1. グラフィティー

(IMEはPalm OS標準のものを、スタイラスは各自愛用のものを使用)

2. 手書き入力ソフト

(株)ジャストシステムの「ATOK for Palm OS」を使用。日本語グラフィティー機能を使用し、推測変換機能はオフにする。スタイラスは各自愛用のものを使用。)

3. フルサイズキーボード

(パーム コンピューティング(株)の「Palm Computing ポータブルキーボード」を使用)

4. ミニキーボード

(ソニー(株)の「ミニキーボード(PEGA-KB20)」を使用)


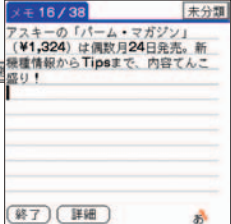
5. キーボードソフト

(株)ミサワホームの「CUT Key-Pen」を使用)

Palmデバイス

- ・CLIE PEG-T600C(グラフィティー、手書き入力ソフト、ミニキーボードの計測で使用)
- ・Palm m505(フルサイズキーボード、キーボードソフトの計測で使用)

入力内容

1. アドレス1件(標準のアドレスを使用、)
2. テキスト50文字(標準のメモ帳を使用、)

計測/比較方法

入力に要した時間をストップウォッチで計測する。各入力デバイスで1件の入力内容に対して10回の計測を行い、最も遅い3回の計測結果を除いた平均値を、最終的な結果とする。

図1 アドレス入力内容

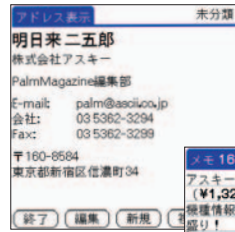
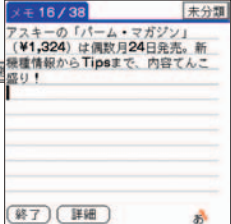


図2 テキスト入力内容



Profile



ミニキーボード派

本誌編集者 矢野原 隆行

Palm歴 1年半 使用機種 CLIE PEG-T600C

普段のPalmの使い方

メールの読み書きと、スケジュールおよび買い物リストの管理がメイン。長い文章も一気に読めるようになる「hrFontMapper」がお気に入り。

文字入力のコダワリ!

やっぱりミニキーボードがいちばん楽でしょう。フルサイズのキーボードはいかにも大げさだし、グラフィティーは記号がなかなか覚えられない。パソコンと同じ感覚でバシバシ入力できるキーボードは、とにかくラク。場所を問わず、頭に浮かんだことが消えてなくなる前に入力できてこそ、真の入力デバイスなのでは?



グラフィティー派

ライター & Webマスター ドクターyashimac

Palm歴 3年半 使用機種 CLIE PEG-NX70Vほか

普段のPalmの使い方

ボタンは左から「KsDatebook」「Address」「NetFront」「Q-Pocket」用。どれも日に10回以上は押す。「よく読み、よく書け」がモットー。

文字入力のコダワリ!

Palmで文字を入力するなら、やはりグラフィティーがベストでしょうか。出先でサッとメモを取る。特別な準備も場所も、ドライバーの導入も、聖徳太子(?)のようなスタイルさえもいりません。スタイラスを出さなくたって、爪の先で十分。長文? それはパソコンの役割でしょう。出かけるとき、かさばらないのが。

第1回戦 グラフィティー



グラフィティー (Palm OS標準)

■バーム コンピューティング株


■<http://www.palm-japan.com/products/what.html>

Palm OS標準の入力方法。グラフィティー文字は速記文字のような特殊な形をしており、アルファベットおよび数字、記号のほとんどすべてを1ストロークで入力することが可能。例えば、かなモードで「へ」のように書けば、わずかに2画で「あい」と入力できる。アルファベット、記号、特殊文字の3つの入力モードがある。

	本誌編集者 矢野原
アドレス 2分21秒	メモ帳 2分42秒

グラフィティーは形状がシンプルだけに、誤認識が少なく、その快適さをあらためて実感。ローマ字と数字を、モードを切り替えずに入力できるのもいい。

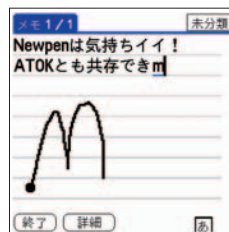
記号の入力は、ちょっと訓練が必要かも。「¥」や「#」など、その形状から連想できないグラフィティーは、入りに戸惑う。あと、「、」と「。」の「、」と「。」の入力がうまいかない人、多いんじゃないかなあ。とはいえ、とっつきやすく、すぐに上達する。標準の入力方法はやっぱりこれかな、という気がします。

	ライター ドクターyashimac
アドレス 1分37秒	メモ帳 1分49秒

ローマ字入力を強いられるグラフィティーは、正直いって日本語入力に最適とはいえないけれど、ちょっとしたコツでスピードアップするのが利点でしょう。例えば、書き方が似ている文字はメリハリをつけて書くと認識されやすい。「P」と「D」、「0」と「6」を正確に書き分けるには、心の中で「これはPなんだ！」と叫ぶつもりでグラフィティーエリアいっぱいを書くのがポイント。変換は「」決定と改行は「/」で行えることを知っておくと、スタイラスの移動距離を減らせます。

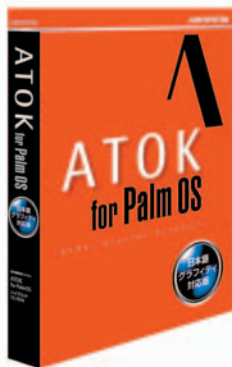
お試しあれ！ Newpen

Palmデバイスの画面領域を、丸ごとグラフィティーエリアに変えるソフト。左半分が英字用、右半分が数字用だ。筆跡表示オプションや、モード切り替え時のユニークな効果音など、遊び心と実用性を兼ね備える。



■ながまつたつお
■フリーソフトウェア
■<http://www.geocities.com/nagamatsu/>
■Palm OS 3.5以上

第2回戦 手書き入力ソフト




ATOK for Palm OS
日本語グラフィティー対応版

■剛ジャストシステム ■http://www.justsystem.co.jp/atok/atok_palmjg/index.html ■6800円(バージョンアップ版は3800円) 対応OS Palm OS 3.1以上、Palm OS 5対応版あり 本体必要メモリー容量 2MB以上

左右のグラフィティーエリアに直接かなを入力できる日本語入力ソフト。過去に確定した変換から、変換候補を予測して表示する「推測変換機能」を搭載。そのほか、カタカナで入力した言葉を英語に変換する「カタカナ語英語辞書」や、顔文字を作成できる「顔文字編集ユーティリティ」など、便利な機能がある。

	本誌編集者 矢野原
アドレス 5分19秒	メモ帳 3分42秒

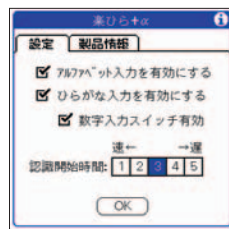
ひらがなを直接入力できるのは魅力的だし、左右両方のグラフィティーエリアを使えるのは確かに便利。でも、いちいちスタイラスを往復させるのは意外に面倒。何度練習してもうまく入力できない文字がある(特に記号!)。結局は認識エンジンの癖を見抜いて、それに合わせる必要がある。慣れてしまえば手放せなくなるだろうけど、それまでは標準グラフィティーのような勢いでバンバン入力できないから、僕みたいにせっかちな人には向かないかもしれないな。

	ライター ドクターyashimac
アドレス 4分48秒	メモ帳 3分17秒

グラフィティーエリアを流用するから画面が広々と使えていいけど、グラフィティーに慣れた中・上級者にとって、**スタイラスアクションが利かなくなるのはかかって痛手**。CAPSオンや、コピー&貼り付けによく使うコマンドストロークも利用できず、魅力が半減。また、例えばAは最後の横棒まで書かなければ正しく認識されないから、英字入力ではグラフィティーより不便かも。まあ、いざとなったら、豊富な入力パネルに頼ればいい。何がなんでも「かな入力」なら、試す価値はある。

お試しあれ！ 楽ひら+

左右のグラフィティーエリアを使って、ひらがなとアルファベットを手書きできるソフト。崩れた字の認識に強い。連文節AI変換機能を搭載してないぶん、省メモリ(約110KB)そして低価格だ。Palm OS 5対応。



■剛日本トラステクノロジー
■1800円
■<http://www.jtt.ne.jp/>
■Palm OS 3.1以上

第3回戦 フルサイズキーボード




Palm Computing
ポータブルキーボード

■パーム コンピューティング㈱ <http://www.palm-japan.com/catalog/m500/p10802jp.html> 【価1万2800円 対応機種 Palm m130 / m500 / m505 / m515およびWorkPad c505(型番10802U) / Palm m100 / m105 / cおよびWorkPad 30J / 31J(型番P10713JP) 本体サイズ 幅93×高さ130×厚さ22ミリ(折り畳み時)】

ノートパソコンと同様のパンタグラフ式を採用したキーは、確かな手応えがあって打ちやすい。テンキーは付いていないが、ホームやメニューなどのシルクボタン、PIMなどのハードボタンに対応したキーを備えている。ドライバーで設定すれば、数字キーでソフトを起動することも可能。電源はPalmから供給される。

	本誌編集者	矢野原
	アドレス	メモ帳
	1分08秒	1分02秒

とにかく打ちやすいし、レスポンスも速い。ミニキーボードでは無意識のうちにキーを狙いすぎて打つので疲れるものだが、フルサイズともなればその必要がないからラク。問題は広げたときのそのサイズ。横幅35センチは、A4サイズのノートパソコンよりも6~7センチ大きく、新幹線のテーブルで使うにはちょっと厳しいか? **でも、大きさと重さのハンデは打ちやすさと入力スピードで十分にカバーできるので、初めてのキーボードに思い切ってフルサイズを選択するのもいいと思う。**

	ライター	ドクターyashimac
	アドレス	メモ帳
	0分59秒	0分43秒

キーピッチ、キーストロークがパソコン並みだから、おのずとパソコンと比べたくなる。「Ctrl+c」「Ctrl+v」でコピー&貼り付けができてはもちろん、バックスペースも右上隅にあり、納得。スクロールや画面上のボタン押し、メニューオープン、ソフトの起動もできるので、ほぼ満足。ただ、「日/英」キーの位置が、右手の小指がつりそうになるくらい遠いので、日英モードの切り替え(「Cmd」と「日/英」キーを同時に押す)には難儀するかも。打つ場所を選ぶけど、この速さには代え難い。

お試しあれ! IrKB101

PS/2キーボードでPalmに文字を入力するための赤外線アダプター。打ち慣れたキーボードで入力したい人にオススメ。赤外線接続するため、スペースに余裕のないデスクの上などでも姿勢が調整しやすい。



■ ㈱日本トラストテクノロジー
価8800円
<http://www.jtt.ne.jp/>
Palm OS 3.5以上

第4回戦 ミニキーボード




ミニキーボード PEGA-KB20

■ソニーマーケティング㈱ <http://www.sony.jp/products/Consumer/PEG/Acc/PEGA-KB20/index.html> 【価4980円 対応機種 CLIE T400 / T600C / T650C、SJ30 本体サイズ 幅89×高さ17.5×厚さ42.5ミリ 重さ 約30グラム 接続コード長 約60ミリ(出荷時約30ミリ)】

パソコンと同じQWERTYキー配列を採用。文字キー以外にも、ホーム、メニューやPIM起動用のキーなどを備えているので、ほとんどの操作をキーボード上から行える。さらに、ジョグダイヤルの回転/押し下げや、Backボタンの操作も可能。キーの直径は5ミリ弱。通信アダプター(PEGA-CF61)を付けたままでも使える。

	本誌編集者	矢野原
	アドレス	メモ帳
	2分04秒	1分46秒

グラフィティと違って押したキーが誤認識されることはないから、あとはどれだけ速く、正確にキーを打てるかが問題。つまり、この手のキーボードを選ぶときは、**いかに自分の指になじむか、シフトキーなどの「同時押し」をするキーが押しやすい位置にあるかが重要。**その点、このキーボードのキーは、指の腹にしっかりと掛かって押しやすい。両手でPalmを支えるから、揺れる電車の中でも安定するし、いろんな状況での入力を考慮したらやっぱりミニキーボードでしょう。

	ライター	ドクターyashimac
	アドレス	メモ帳
	2分11秒	1分55秒

CLIEにはめたときのフィット感といい、ドライバーの安定感といい、まさに純正品ならではの出来栄。CLIE本体にかぶせて固定するから場所を取らないし、**両手で持ったときに人さし指がCLIEの背中の上のほうまで届くから、安定した姿勢で入力できる。**アドレス帳では、「Ctrl」と一緒に「Tab」キーを押すと、次の項目にジャンプできて便利。ただし、「@」「!」と「1」から「4」あたりまでの数字キーは、同時に押さなければならない「Fn」キーのすぐ近くにあるため、かなり窮屈。

お試しあれ! SnapNType

コネクターに直付けするタイプのミニキーボード。パソコンのようなキー配列と、親指で打つスタイルはPEGA-KB20とほぼ同じ。20種類以上のフェースマークがタップひとつで入力できる「顔文字キーボード」がユニーク。



■ ㈱日本トラストテクノロジー
価8800円
<http://www.jtt.ne.jp/>
Palm OS 3.5以上

第5回戦 キーボードソフト




CUT Key-Pen

〓 〓 サワホーム 〓 http://www.misawa.co.jp/CUTKEY/CUTKEY-PEN_PAGES/index_4.html
 4980円 対応機種 CLIE S300 / S500C / N600C / N700C / N750C / T400およびPalm Vx / m500 / m505 対応OS Palm OS 3.1以上4.1まで
 本体必要メモリー容量 2MB

グラフィティーエリアに貼るシールタイプのキーボードソフト。5つの母音、6つの子音、1つの半母音からなる12個のキーが使用頻度を考慮して配置されており、キーをタップ、またはドラッグすることによって文字を入力する。キーボードキーをドラッグすれば、グラフィティーモードに簡単に切り替えられる。

	本誌編集者	矢野原
	アドレス	3分31秒
	メモ帳	3分30秒

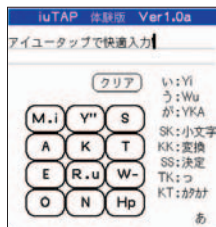
この手の独自の入力方法のポイントは2つ。**慣れるまでの時間がいかに短く済むかと、慣れた後に習得に費やした努力を報いるだけの利便性が得られるかだ。**その点、CUT-Key-Pen はとても完成度の高い製品だと思う。携帯電話のようにキーを複数回タップしてもいいし、キーの中心から文字が位置する方向にスタイラスでなぞっても入力できる。とにかくなじみやすいのだ。動作も軽くて快適。もしかしたら、グラフィティーを覚えるよりも、ずっと直感的な操作といえるかも。

	ライター	ドクターyashimac
	アドレス	3分15秒
	メモ帳	2分55秒

キーボード真ん中にある白い12個のキーには、携帯電話のテンキーのように、英数字と記号がびっしり印刷してある。その数76種類。今回測定に使った「タップによる標準入力」というベーシックな方法だと、数字と記号を入力する際にモードを切り替えるのが面倒だったけど、キーの中心からスタイラスを滑らせる方向によって文字/数字/記号が入力できる「パータッチによる高速入力」なら、いちいち数字記号モードに切り替える必要がない。**入力時間は約1~2割削減できるヨ。**

お試しあれ! iuTAP for PalmOS

独自方式を採用した入力ソフト。12個のボタンを使用する点はCUT Key-Pen と似ているが、ボタンの大きいiuTAP for PalmOSは、指などで画面をタップして、確実に入力できるのが特徴。ATOKと併用可能だ。



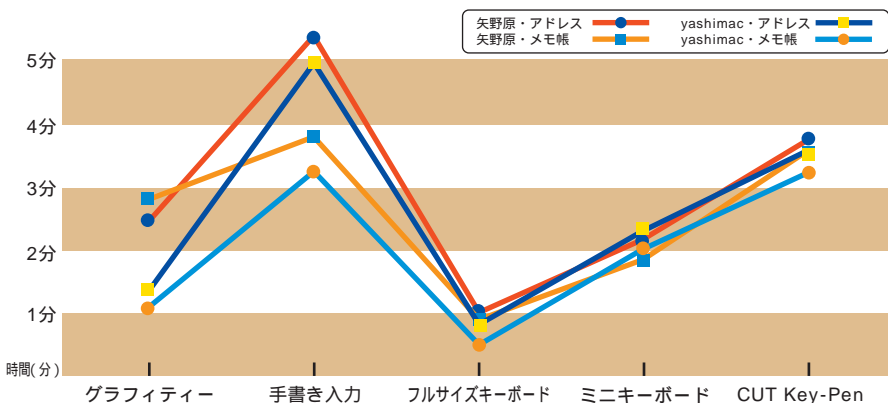
〓 スモールネットワーク㈱
 2600円
 〓 <http://www.smallnetwork.co.jp/pda.htm>

成績発表!

やはり速かったキーボード類

総合的な結果は右グラフのとおりだ。総合優勝は、平均タイム58秒のフルサイズキーボード。パソコンのキーボードと同じ感覚で扱える安心感と安定感が勝因か。2位は同着でミニキーボードとグラフィティー。タイムは1分59秒。4位のCUT Key-Pen は3分12秒と苦戦したが、5位の手書き入力ソフトの4分16秒を大きく上回った。

測定結果からわかるのは、入力速度という点では、単純に「形があって大きいモノ」が有利だということ。ただ、実際には「打つ場所」も考慮しなければならない。会議室などで落ち着いて打てる機会が多ければフルサイズキーボードが、立ったままでもいからメールの返事は速攻で書きたい、というのならミニキーボードがオススメだ。とにかく荷物はスリムにというならキーボードソフトが最適だし、追加投資が嫌なら黙ってグラフィティーをマスターすべし。最後は「慣れるが勝ち」だ。



矢野原の結論

「入力しやすい=速く入力できる」は成り立つのか? かねてから知りたかったことを、今回の対戦で明らかにできた。上のグラフからわかるのは、やはり直感的に入力できる方法ほど速く入力できるということ。手書き入力は、文字が正しく認識されるように常に意識していたし、CUT Key-Penは、頭の中で文字を入力アクションに置き換える作業をしていた。だから時間がかかったのだ。ただし、この2つについては、今後、使い込むほどに大幅な時間短縮が期待できる。

ドクターyashimacの結論

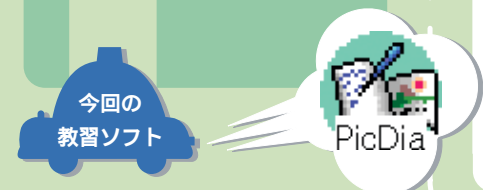
パソコンのキーボードをたたきまくり、グラフィティーを書きまくる。それが私の日常だから、この「着順」に異論なし。ショックだったのは、独自ルールCUT Key-Pen より、ひらがながそのまま書けるATOKのほうが、アドレス勝負で2分近くも遅かったこと。Palmもやっぱりコンピューター。入力速度を上げなければ、ヒトがカキに歩み寄ってしまっただけが手取り早くいいのかもしれない。グラフィティーの健闘が、そのことを象徴しているように。

学科と実地で免許皆伝！
定番ソフトを乗りこなす

パームウェア 教習所

今年も残りわずか。来年こそ新しいことを始めたいですよネ。そこで、絵日記ソフト「PicDia」はいかがでしょう。付属のパソコン用ソフトで絵日記入りのホームページも作成できる、新しいタイプのソフトです。早速、教習に出発ッ！

文 でのひらなでしこ(http://worpaholic.com/)



Palmで描いた絵日記がそのままホームページになる

PicDia

作者：(株)イーバレー
入手： http://picdia.jp/
価格：3750円
対応：Palm OS 3.5以上(カラー機種専用、11月現在Palm OS 5未対応)
Palm Desktop 4以上、ウィンドウズ98 / Me / 2000 / XP



手軽に微細な表現が可能な
絵日記ソフト

ピクダイア「PicDia」は、絵を描く楽しさと日記を公開する面白さを併せ持った、カラー機種専用の絵日記ソフトだ。Palmで絵日記を付けるためのPicDiaと、ホームページ公開用の「えにつきアップロードツール」がセットになっている。PicDiaには以下の2つの特徴がある。

まず、絵日記の命ともいべきペイントツールが充実している点。フリーハンドに適したツール(ペン、スプレー、塗りつぶし、スポイト、水滴、消しゴム)のほか、図形ツール(線、矩形、楕円)も完備。ツールの太さを選んでタッチを変えて描いたり、自分で中間色を作って、深みのある独自の色合いを表現することもできる。

次に、ほとんどの機能がアイコンをタップするだけで行えるように工夫されている点。特に、その日の天気と気分は数種類のアイコンを自由に組み合わせて記録することが可能だ。また、カレンダーには「プロ野球誕生の日」のような記念日が、1日につき最大3件まで登録しており、リストから選ぶだけで簡単に入力できる。

そして、最大のメリットは描く場所や時間を選ばないこと。新鮮な感動をその場で書き留められるのはPalmならではの。



ボタンひとつで
絵日記サイトが完成だ！

単体でも十分に優れた機能を持つPicDiaだが、さらに、えにつきアップロードツールを用いて、絵日記をホームページとして公開することもできる。えにつきアップロードツールは、HotSyncしてパソコンに転送した絵日記を、サーバーにアップロードするパソコン用ソフト。アップロードの際、絵日記を自動的にHTMLに変換し、さらにトップページまで生成してくれる。HTMLやFTPの知識がなくても使いこなせるので、絵日記を書くことに専念できる。

また、ホームページを立ち上げるには専用ソフトやサーバーの確保、サイトのメンテナンスなどで手間も時間もかかるのが一般的だが、PicDiaの場合は違う。ユーザー登録時にPicDiaのサーバー上に自分専用のディスクスペース(利用料は当面無料)が割り当てられるので、ユーザー登録さえ済んでしまえば、すぐにでもホームページを立ち上げられる。

なお、本バージョンはPalm OS 5での動作が保証されておらず、マック版ツールも付属していない。しかし、とにかく簡単に絵日記を描き、できればホームページとして公開したいという人には断然オススメだ。

CLIE PEG-N750Cを使用

インストールの手順



PicDiaの公式サイトから「オンライン販売はこちら」をクリックし、ダウンロードサイト「ピザピ・ハンダンゴ」で購入。現時点では試用版は提供されていない



PicDiaをPalmに、えにつきアップロードツールをパソコンにインストールしたら、PicDia公式サイトでユーザー登録をしよう。自分専用のURLがメールで通知される

採点簿

実用度…………… ●●●●●
使いやすさ…………… ●●●●●
楽しさ…………… ●●●●●

1 PicDiaの操作のキホンを理解する

PicDiaを起動してみよう!

左端にある4個のアイコンで、絵日記の作成や削除などの操作を行う。最初に起動した直後は、絵日記の「一覧表示」(左端の上から2番目のアイコン)が選択された状態になっている。絵日記を描く前に、まずは各種設定をしておこう



絵日記の末尾に付く署名「製作者名」を入力

左端の上から3番目のアイコンをタップして設定画面に切り替えたら、製作者名を入力する。入力するかどうかは任意だが、いったん作成した絵日記に関しては、あとから製作者名を変更できないので注意。並び順などの設定項目は、いつでも切り替えられる

3種類ある削除方法を覚えてしまおう

絵日記を削除するには、一覧表示で不要な絵日記を左下のゴミ箱にドラッグ&ドロップする。個別に日記を開いてゴミ箱のアイコンをタップし、上図の「ゴミ箱マーク設定削除」の「削除」をタップしてもいいし、ある期間の絵日記が必要なら、「日付範囲指定削除」を実行する

2 PicDiaで新しい絵日記を描く



お天気や気分がアイコンで簡単に表現できる

起動画面の左上にある「NEW」アイコンをタップして新しい絵日記を開く。左側の日付や天気、顔のアイコンをタップして、天気の変化やその日の気分にあったものを選択しよう。文章は下部の罫線部分にカーソルを合わせて入力する

色や太さを変えてペイントツールでお絵かき

絵を描くには、右上部をタップしてお絵かき画面に切り替える。左下のパレットにない色を作るには、右下のRGBインジケータをドラッグして調べればよい。書き終わったら「OK」をタップし、顔マークの上の「」をタップして一覧表示に戻る



最大7日分まで表示可能な一覧で内容をのぞく

日記を一覧表示できるのは最大7日分まで。左図は「日記内容」モードで、気分アイコンのほかに、本文の先頭全角11文字がプレビューできる。祝祭日を示す国旗アイコンまで表示されるなど、芸が細かい。右端の赤いバーで画面をスクロールする

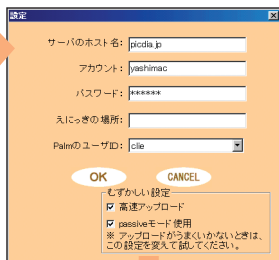
3 パソコンで絵日記公開の準備をする

えにっきアップロードツールを起動しよう!

パソコンで「スタート」の「プログラム」にある「PicDia」から、「えにっきアップロードツール」を起動する。主な機能は「えにっき発表!」(絵日記のアップロード)、「えにっき整理」(絵日記の管理)、「設定」(サーバーの設定)のアイコンにある

絵日記公開用サーバーの設定をしよう

パソコンをインターネットに接続した状態で、「設定」アイコンをクリックする。入力が必要の項目は「サーバーのホスト名」、「アカウント」、「パスワード」だ。「PalmのユーザID」に、使用するPalmデバイスのHotSync IDを選択しよう



HotSyncする前にコンジット設定を確認

HotSyncマネージャーの動作設定で、「EnikkiCond」が「えにっきを使用する」を選択しているか、さらに「バックアップ」が「本体がPalm Desktopを上書き」になっているかを確認しよう

4 パソコンで絵日記を公開し、管理する

クリックひとつでトップページまで自動生成

HotSyncが終了したら、えにっきアップロードツールの起動画面で「えにっき発表!」をクリックして、絵日記をパソコンから専用サーバーにアップロードする。ユーザー登録後に通知されたURLにアクセスして、トップページを確認しよう

公開した絵日記を4つのカテゴリーで管理する

公開前の絵日記は「えにっき整理」の「公開」に入っている。公開した絵日記をサーバーから削除するには、絵日記を右クリックして「削除」し、「えにっき発表!」を実行。過去の絵日記をPalmで再編集するには、「Palmへ」に入れてHotSyncする



古い絵日記は一括エクスポートで整理整頓!

古い絵日記をバックアップするには、マウスを右クリックして現れたメニューから「エクスポート」を選択する。公開したくない絵日記はマウスの右クリックで「カテゴリー移動」の「プライベート」に入れておけば、サーバーにアップロードされない

ハード&ソフト 新製品レビュー

毎日のように発売される周辺機器やソフトウェア。待ってました! と飛びつきたくなるモノもあるけれど、そんな時こそ冷静な目で見極めたい。少しでも品定めのお役に立てるように、とことん使ってレポートします。どうかあなたのPalmが確実にパワーアップしますように - -。

P.66 通信カードアダプター
Guyver

P.67 オフィスイート
Documents To Go Premium Edition V5 日本語版

P.68 パームウェア開発環境
NS Basic / Palm 3.0



通信カードアダプター

バッテリー内蔵のジャケット型アダプター Guyver

販売元 シーエフ・カンパニー(株) 開発元 香港RVテクノロジーズ社 対応機種 m130 / 500 / 505 / 515、Tungsten T 本体サイズ 幅80×高さ144×厚さ12ミリ 重さ 125グラム

ここがイイ!

モデムカードだけでなく、無線LANカードなどのさまざまなPC / CFカードに対応する

ここがオシイ!

別途、使用するPCカード製品を購入することになるので、コストがかさむ

シーエフ・カンパニー(株)の「Guyver」は、PCMCIA Type スロットを搭載するPalm用の多目的ジャケットだ。ユニバーサルコネクタを持つPalmデバイスの背面に背負わせるように取り付ける。スロットには、IEEE802.11bに準拠した無線LANカードや、P-in Comp@ctやAirH™などのPHSデータ通信カード、56Kアナログモデムカード、バーコードスキャナーなど、多種多様なPCMCIAカードを装着できる。また、PCカードアダプターを介して、CF型の拡張カードを使用することも可能だ。

無線LANの設定は、付属ソフトの「Guyver Config」で行う(図)。同ツールでは、SSIDやWEP(40/128bit)、IPアドレスの設定を行い、接続時はGuyverが設定情報を基にして無線LANへ接続するという仕組み。なお、筆者が試した限りでは、Intersil PRISMチップを搭載した無線LANカードは問題なく動作したが、それ以外の無線LANチップを搭載した製品は動作しなかった。PHSデータ通信カードに関して、動作し

表 GuyverのPC/CFカード動作対応表

動作可能		動作せず
AirH™ RH2000P、AirH™ AH-H401C、b-mobile BM-U100C	DDIポケット機系	AirH™ AH-N401C、AirH™ CFE-02
P-in Comp@ct、P-in memory	NTTドコモ PHS系	
Billionton CF56R-BJ	アナログモデム	TDK DF56CF
プリンストンテクノロジー(株) PDA-CFM		コレガ CF-M56D
AmbiCom CF56M-EZ		
エレコム LD-WL11/PCC	無線LANカード	メルコ WLI-PCM-L11
メルコ WLI-PCM-S11G、WLI-CF-S11G		Lucent ORINOCO Gold PC Card
アイ・オー・データ機器 WN-B11/PCMH		3Com 3CRSHPW196-AP
AmbiCom WL1100-PC		ソニー PEGA-WL100
オプトエレクトロニクス CFL-5000	バーコードスキャナー	

1:ダイヤル時に「電話番号が長すぎるか、不正な文字を含んでいます」のエラーが出るときは、半角ハイフンなどを追加して電話番号を16文字以上にすることで接続できる。

ない製品がいくつかあるようだ。使用するPHSカードが決まっている場合は、事前にGuyverで動作するか確認すべきだろう(表)。

なお、Guyverには1000mAhのリチウムポリマー充電電池が内蔵されている。消費電力の大きな無線LANカードを利用しても、連続で2時間弱は駆動可能だ。バッテリーの充電は、Palm本体に付属するACアダプターの先に、Guyverに付属するプラグを装着し、Guyver左側面のDCジャックに接続して行う。Palm用とは別にACアダプターを持ち歩く必要がなくなるので、なかなかいいアイデアと言えるだろう。(難波 茂広)



図 無線LANおよびIPアドレスの設定は、付属のGuyver Configで行う。IPアドレスはDHCPサーバーで自動取得することも可能

オープンブライズ (買 2万4800円)
シーエフ・カンパニー(株)
sales@cfcompany.co.jp
http://www.cfcompany.co.jp/



オフィススイート

大幅な機能アップで多彩な編集が可能に

Documents To Go Premium Edition V5 日本語版

販売元 エクセルソフト(株) 開発元 米データビズ社 対応OS Palm OS 3.5以上、Palm Desktop 4.0以上 対応機種 対応OSが動作する機種 パソコン側対応OS ウィンドウズ98/NT4.0/Me/2000/XP、マックOS 9.1以上、OS X 10.1以上 備考 ダウンロード配布されている体験版は30日間の試用が可能

エクセルソフト(株)の「Documents To Go Premium Edition V5 日本語版」

(以下、Premium Edition)は、Microsoft Word、Excel、PowerPointといったOffice文書を、Palmで扱うための統合ソフト。ウィンドウズとマック(マックOS X対応)の両方をサポートし、HotSyncを行うだけで、パソコン上のOffice文書をPalmに取り込めるのが特徴だ(PowerPointはウィンドウズ版のみ対応)。

最新のPremium Editionは、全3種類ある製品ラインアップ中で、最も多機能な上位版。バージョン4からのアップデート箇所は30項目以上にも及び、以下の4点を中心とする各種機能が充実した。なお、Premium Editionのフルコンポーネントをインストールする場合、Palmに約1.8MBの空きメモリーが必要になる。

第1に、ワープロソフト「Word To Go」が、画像の表示と表の作成/編集に対応した(図1)。画像は表の内部にも配置できるため、自由度の高いレイアウトを作成できる。また、従来はDOCファイルを開覧するには「Word View」というビューアーをインストールする必要があったが、Premium Editionでは、Word To Go単体でDOCファイルの開覧と編集が可能になった。そのほか、フォントサイズの指定がこれまでの大小2種類から、8~72ポイントまでの計16種類に大きく増え、文書内の文字検索/置換機能が追加されるなど、ワープロとしての性能が大きく進化している。

第2に、独自の「Smart Chartテクノロジー」の採用により、表計算ソフト「Sheet To Go」でさまざまなグラフが簡単に作れるようになった(図2)。Smart ChartテクノロジーはSheet To Goの機能の一部として動作するもので、シートの中でグラフ化した数値の範囲をドラッグして指定し、画面

上部のグラフアイコンをタップすることで起動できる。また、列をキーにした並べ替えができるようになり、簡易データベースとして使うことが可能になっている。

第3に、画像ビューアー「Pics To Go」を新しく搭載した(図3)。JPEG、BMPなどの画像をパソコン側のDocuments To Goで専用のファイル形式に変換してから閲覧する。画像は回転できないが、任意の場所をドラッグしてスクロールさせられる。

第4に、プレゼンテーションソフト「Slideshow To Go」に編集機能が追加されたことで、新規ファイルの作成や、スライドの挿入/複製/削除/並べ替えが、Slideshow To Go本体で可能になった。スライドに付けるコメントも編集できるので、いつでもセリフを修正できる。また、経過時間を秒単位で示すデジタル時計を内蔵しており、スライドの作成からプレゼンのリハーサルまで一貫して支援してくれる便利なツールへと進化を遂げている。

さらに、Palm OS 5にも対応したほか、編集内容を「元に戻す」操作が複数回実行できるようになり、安心して編集作業に打ち込める環境が整えられた。同期の際に書式が崩れるのを防ぐ独自技術「DocSyncテクノロジー」(ウィンドウズ版のみ対応)や、メモリーカードへのダイレクトインストール機能といった使い勝手のよさは従来のままだ。

だが、せっかくのメジャーアップデートにもかかわらず、旧バージョンから英語版には付属しているPDFビューアー「PDF To Go」や、Outlookなどとメールを同期し、メールの添付ファイル(Word、Excelほか)の開覧/編集を可能にする「DataViz Mail」が付属しないのは、やや寂しい気がする。こうした点も含め、Slideshow To Goのマック対応とともに、今後のパワーアップに期待しよう。(八島 伸之)

ここがイイ!

Sheet To Goは数値のグラフ化を、Word To Goは画像表示と表の編集をサポートした

ここがオシイ!

JPEGやBMPも専用形式に変換しなければならず不便。付属ソフトが英語版より少ない



図1 3段階のズーム切り替えが可能になったWord To Go。ワイド画面のCLIEならば、縮小モードで左図のように広範な領域を表示。画像はタップすると拡大できる

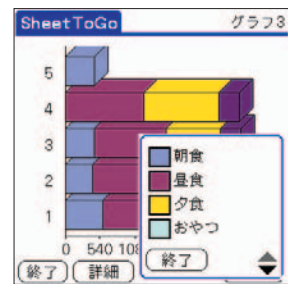


図2 Sheet To Go本体はCLIEのワイド画面表示に対応したが、グラフ表示は未対応。円グラフ、積み上げグラフなど全18種類をウィザード方式で描ける

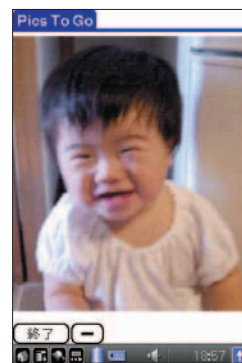


図3 新搭載のPics To Go。CLIEの高解像度ワイド画面だと見応えがある。画像は終了ボタン右側の「-」で大小2段階に切り替えが可能。メモリーカードにも対応する

6480円(ダウンロード版) / オープンブライズ(パッケージ版、¥7000円)
 エクセルソフト(株)
 xlsftkk@xlsft.com
 http://www.xlsft.com/



パームウェア開発環境

実行速度が2倍になった新しいNS Basic NS Basic / Palm 3.0

販売元 (有)メディア、(株)日本トラストテクノロジー、ビザビなど 開発元 加NSベーシック社 対応機種 Palm OS 3.1以上を搭載したデバイス(SPTシリーズ、Visorシリーズ、HandEraなどの独自機能にも対応)、Palm OS 5対応 パソコン側対応OS ウィンドウズ95 / 98 / Me / NT / 2000 / XP



ここがイイ!

開発の容易さはそのままに、実行スピードは最大で2倍に。きめ細かい改良もGOOD



ここがオシイ!

依然としてデバッグ機能が物足りず、CLIE対応も十分とは言えない

パームウェアの開発環境として広く利用されている「NS Basic」がメジャーバージョンアップを果たし、バージョン3.0となった。開発環境のもう一方の雄である「CodeWarrior」がC / C++言語によるプロ向け環境であるのに対して、NS Basicは平易なBASIC言語とビジュアルな統合環境 (IDE: Integrated Development Environment) を用い、初心者にも比較的入門しやすくなっているのが特徴だ(図1)。CodeWarriorを使いこなすにはPalm OSに関する知識が広く必要になるが、NS Basicならばある程度、そのあたりの知識習得を省いても、画面にボタンなどのパーツを配置して命令を書き込むだけで、十分に実用度の高いパームウェアを作れる。このことから、初心者から開発時間を節約したいプロまで幅広い層にアピールしている。

今回のバージョンアップの特徴としては、実行速度の高速化、Palm OS 5対応の強化、そしてプログラムから利用できる機能の拡充という3点を挙げるができるだろう。高速化については、変数の処理方法を改善したことにより、処理速度がおよそ2倍に引き上げられたとのこと。検証用に、1~100の数字を配列に入れ、別の配列100個に合計した数値を格納していくパームウェアを作成し、NS Basic 2.1と同3.0の両方で速度を比較してみた。単純に計算を行った場合は変数の処理が中心となるため、今回の高速化の影響が大きく表れるはずだ。実際に、2.1でコンパイルしたものと比較すると、倍以上のスピードが出ていることが確認できる(表、図2)。また、同じ内容のテストで処理過程を表示させた場合は、Palm OSの機能呼び出す部分でこれまでと同様に時間がかかるため、1.2倍程度のスピードアップにとどまっている。このことから、計算や文字列処理を多用するようなパーム

ウェアの場合には、大きな恩恵を受けられることが考えられる。

次に、Palm OS 5(以下、OS 5)への対応についてであるが、実は前バージョンからOS 5には対応していた。本バージョンでは、OS 5搭載機が登場する段階に至って判明した細かな不具合が修正されているようだ。従って、現時点では「OS 5で問題なく動作する」という段階にとどまっているにすぎず、今すぐマルチメディア機能などをフル活用できるわけではない。直接OSの機能呼び出すこともできるので、手の込んだ方法を使えばどのようなことも可能なのだが、それではNS Basicの手軽さを生かさないように思える。今後のバージョンアップでOS 5の高度な機能を、より手軽に利用できるよう改善されることに期待したい。

そして、プログラムから利用できる機能の拡充については、かゆいところに手が届く、実用的な機能が追加されている。例えば、SDカードやメモリースティックなどを読み書きするための命令群が追加されていたり、ユーザーとの対話を行うフォームを操作するためのきめ細かい改良が施されるなど、従来からのユーザーの声に応えようとする姿勢は高く評価できる。

このような改良点はあるものの、ソースコードデバッガが用意されていない点や、CLIEの機能を生かすような命令群が用意されていない点など、かねてから指摘されている欠点が直されていないのは残念なところだ。次回のバージョンアップでは、ぜひ改善を願いたい。

従来からのユーザーには、上述の高速化や種々の改良点は大きなメリットとなるように、とっつきやすさや手軽さは従来と変わらない。Palm OS 5の時代になっても、多くの名作パームウェアを生み出すソフトであり続けることに期待する。(吉沢 正敏)

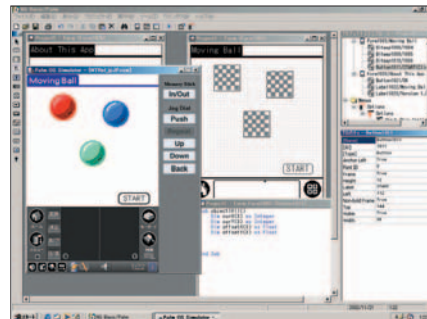


図1 作成したパームウェアは、「Palm OS シミュレータ」(Palm OS 5のシミュレーション環境)でもきちんと動作する

表 テスト結果

	NS Basic 3.0	NS Basic 2.1	CodeWarrior (参考)
表示なし	23秒	53秒	1秒以下
表示あり	183秒	236秒	108秒

注1 計測に使用したデバイスはm505
注2 CodeWarriorのプログラムは、NS Basicとなるべく同様な処理を行うように考慮した

```
curTime = Now()
timeStr = HourMin( curTime ) + "-" + Str( Second( curTime ) )
Field1007.text = timeStr

For i = 1 to 100
  a( i ) = i
Next

For i = 1 to 100
  For j = 1 to 100
    b( i ) = b( i ) + a( j )
  Next
  Field1011.text = Str( j )
Next

curTime = Now()
timeStr = HourMin( curTime ) + "-" + Str( Second( curTime ) )
Field1009.text = timeStr
```

図2 NS Basicを使ってスピード計測用のソフトを作るのに要した時間は、ほんの10分程度。操作に慣れば、さらに短時間で済むはずだ



オープンブライス (¥1万5000~9000円)
 (株)メディア、(株)日本トラストテクノロジー、ビザビなど
 media@big.or.jp
<http://www19.big.or.jp/~media/nsb/palm/nsbpalmtop.htm>
<http://www.jtt.ne.jp/>
<http://www.visavis.co.jp/>

バックアップだけじゃもったいない!

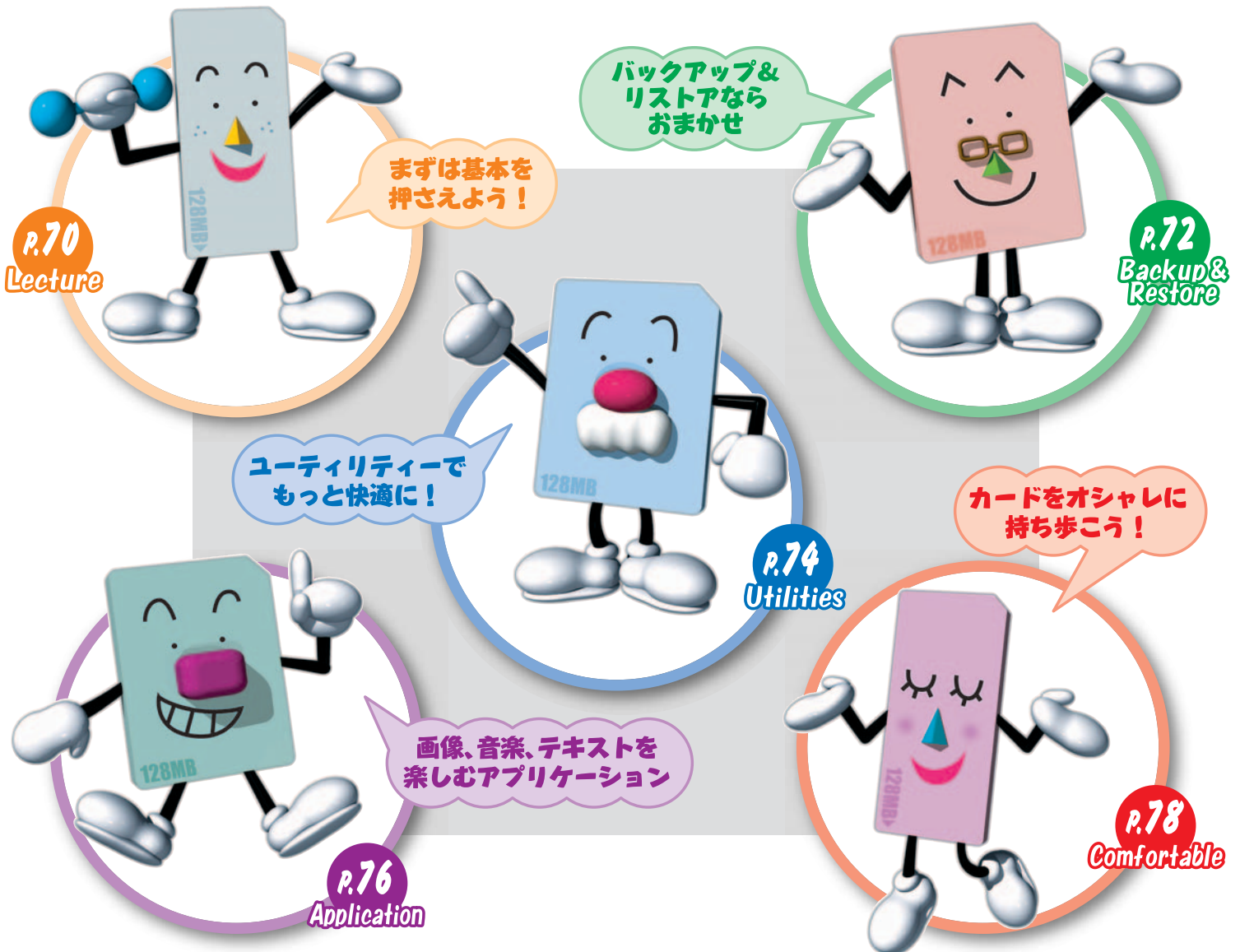
メモリーカード 得活用術

ソフトのサイズは増えたのに、本体のメモリーのサイズはそのまんま。

切っても切れない間柄、それがPalmとメモリーカードだ。でもイマイチよくわからないのがその使い方。

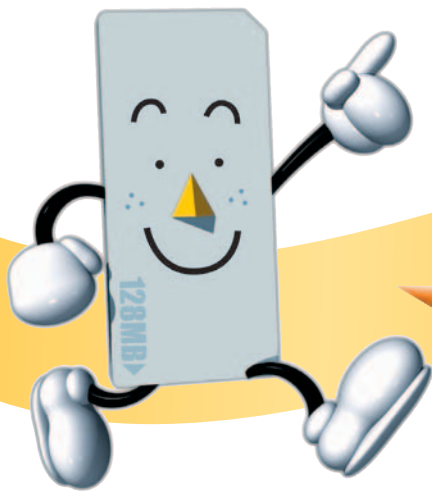
ここでは、メモリーカードのキホンから、具体的な活用法、ケース選び方に至るまで、メモリーカードのすべてを紹介。拡張スロットのない機種向けの情報もあり! ビバ“メモリー”クリスマス!

文 ドクターyashimac/八島伸之(<http://worpaholic.com>) 落合 徹 イラスト 小野敦人



まずは基本を押さえよう!

ひとくちに「メモリーカード」といっても、世の中にはさまざまな種類のカードがある。ではいったい、Palmデバイスで利用できるメモリーカードはどれなのだろうか？ また、メモリーカード用のスロットを持たない機種でメモリーカードを使うにはどうすればよいのか？ メモリーカードの基礎知識とともに、Palmデバイスとメモリーカードの関係を理解しよう。



この機種にはこのカード

本誌の読者も、Palmデバイスのメモリーのキャパシティーの少なさに不便を感じたことがあるはずだ。まずは、代表的な4機種とメモリーカードの対応関係をあらためて確認しておこう。

CLIE

同 ソニー機

http://www.sony.co.jp/CLIE/



- | | |
|------------|-----------|
| メモリースティック | SDメモリーカード |
| マルチメディアカード | スマートメディア |
| CFカード | マイクロドライブ |

全モデルにメモリースティックスロットを1基搭載。最大容量128MBのメモリースティックが利用できる。通常のメモリースティックのほか、著作権保護技術「マジックゲート」対応のメモリースティックや、小型の「メモリースティックDuo」(71ページ参照)が使える。メモリースティックDuoを利用するには同製品に付属のアダプターが必要。なお、NXシリーズのCFカードスロットではメモリーカードは使えない。

Palm

同 パーム コンピューティング機

http://www.palm-japan.com/



- | | |
|------------|-----------|
| メモリースティック | SDメモリーカード |
| マルチメディアカード | スマートメディア |
| CFカード | マイクロドライブ |

Palm m515/m505/m500/m130にSD/MMCカードスロットを1基搭載。最大容量512MBのSDメモリーカードが利用できる。利用可能なメモリーカードの容量に制限はないが、32MB以上のSDメモリーカードをほかのデジタル機器と併用する場合には、あらかじめPalmでメモリーカードを初期化する必要がある。なお、上記の機種では現状、SDMI準拠の著作権保護機能は利用できない。

WorkPad

同 日本アイ・ビー・エム機

http://www-6.ibm.com/jp/pc/workpad/



- | | |
|------------|-----------|
| メモリースティック | SDメモリーカード |
| マルチメディアカード | スマートメディア |
| CFカード | マイクロドライブ |

WorkPad c505にSD/MMCカードスロットを1基搭載しており、最大容量512MBのSDメモリーカードが利用できる。WorkPad c505は、Palm m505と同等のモデルであるため、カードスロットの機能はPalm m505と全く同じ。Palmシリーズ向けの「バックアップ拡張カード」や「PalmPakゲームカード」など、オプションの純正周辺機器が使えるのがWorkPad c505のメリットだ。

HandEra

同 米 HAND ERA社

http://www.handera.com/



- | | |
|------------|-----------|
| メモリースティック | SDメモリーカード |
| マルチメディアカード | スマートメディア |
| CFカード | マイクロドライブ |

HandEra 330にSD/MMCカードスロットとCFカードスロットを各1基ずつ搭載。メモリーカード以外に、最大容量1GBのマイクロドライブ(日本アイ・ビー・エム機製)が利用できる。日本語版は市販されていないが、標準で利用可能なメモリーカードは、全Palmデバイスの中で最多の4種類。なお、HandEra 330の前身であるTRGproで利用できるマイクロドライブは、340MBのタイプのみだ。

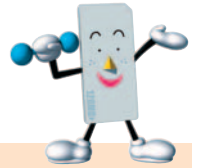
汎用スロットがない機種には.....

独自の拡張スロットを持つVisorと、それすら持たない初期の機種.....。一見、外部メモリーが使えなさそうだが、さにあらず。ここでご紹介する別売のアダプターがあれば、外部メモリーが使えるようになるのだ。



Visorならコレ!

注意: 価格はすべてオープンプライス。以下の記載は編集部調べの実勢価格です。実際の価格は店頭でお確かめください。



MemPlugスプリングボードモジュール



- メモリースティック
- SDメモリーカード
- マルチメディアカード
- スマートメディア
- CFカード
- マイクロドライブ

問 ㈱アスク
 価 1万1800円(MemPlugMS) 1万2000円
 (MemPlugSD/MMC) 9000円
 (MemPlugCF) 9000円(MemPlugSM)
 問 <http://www.ask-corp.co.jp/>
 Visorで各種メモリーカードを利用するためのスプリングボードモジュール。PiBackupや

PiDirectなどのオリジナルソフトが付属し、メモリーカード上のファイルが直接操作できる。メモリーカードの種類に応じて、MemPlugMS(メモリースティック)、MemPlugSD/MMC(SDメモリーカード/MMCカード)、MemPlugCF(CFカード)、MemPlugSM(スマートメディア)の4種類が選べる。

SnapSlot for Visor



- メモリースティック
- SDメモリーカード
- マルチメディアカード
- スマートメディア
- CFカード
- マイクロドライブ

問 ㈱アイ・オー・データ機器
 価 9800円
 問 <http://www.iodata.co.jp/>
 8MBフラッシュメモリーとCFカードスロット(タイプ2)を搭載したスプリングボードモジュール。Visor本体のRAM 8MBと合わせて合計16MBのメモリーが利用できる。

る。VFSもサポートしており、メモリーカード対応ソフトが利用できる。File MoverやbackupbuddyVFSといったユーティリティが5本付属。PHS対応アップデータ(無償)をインストールすることで、AirHなどのCF型PHSが利用できるようになる。

8MB / 16MBフラッシュモジュール



問 ㈱ハギワラスコム
 価 7000円(HSB-08M) 9800円(HSB-16M)
 問 <http://www.hscjpn.co.jp/>

フラッシュメモリーを内蔵したスプリングボードモジュール。8MB(HSB-08M)と16MB(HSB-16M)の2タイプがある。Visorに差せばすぐに利用でき、付属のファイルユーティリティ「File Mover」で、ファイルのコピー / 移動 / 削除ができる。

バックアップ&8MBフラッシュモジュール



問 ㈱ハギワラスコム
 価 9000円
 問 <http://www.hscjpn.co.jp/>

バックアップ機能と8MBフラッシュメモリーを内蔵したスプリングボードモジュール。バックアップ用エリアと8MBフラッシュエリアは独立している。付属のファイルユーティリティ「File Mover」で、ファイルのコピー / 移動 / 削除ができる。



Palm m100などにはコレ!

問 米 Northstar Mobile社
 価 19.99ドル
 (MSM08/MSV08)
 14.99ドル (MSM02)
 問 <http://www.northstarmobile.com/>

対応機種
 型番MSM08、MSM02
 Palm m100、m105、Palm IIIc、HandEra 330
 型番MSV08
 Palm Vx、WorkPad c3

MSM08、MSM02タイプ

MemorySafe

主にメモリーカードスロットを搭載していない機種で、2MBもしくは8MBのフラッシュメモリーが使えるようにするアダプター。Palm m100など向けのMSM08(8MB)とMSM02(2MB)、Palm Vxなど向けのMSV08(8MB)の3種類がある。Memory Safeが可能にするのはRAM内のファイルのバックアップとリストア。ファイルを個別に処理することはできるが、Memory Safe内のファイルにアプリケーションから直接アクセスすることはできない。従来、ハードリセットによりRAM内のデータがすべて

消えた場合は、MemorySafeアプリケーションも一緒に消えてしまうため、再度同アプリケーションをインストールしない限りデータは復旧できなかった。しかし、新たに公開された「MemorySafe Flash」(フリーソフト)を使えば、同アプリケーションがROMに保存できるようになるため、万が一、ハードリセットがかかっても、再度同アプリケーションをインストールすることなくデータが復旧できるようになった。なお、入手は米国の左記URLにて。MSV08はビザビでも販売されているが、在庫限(12/2現在)

Palmで使えるメモリーカード6種

Palmで使えるメモリーカードは全部で6種類。形状や重さのほかに、記録方法や転送速度などにも違いがある。

メモリースティック



最大容量は128MB。ほかに4/8/16/32/64MBがある。21.5×50×2.8ミリ。重さ4グラム。長さは単3乾電池とほぼ同じ。容積が3分の1で、重さが半分の「メモリースティック Duo」もある。
 問 <http://www.memorystick.com/>

SDメモリーカード



最大容量は512MB。ほかに8/16/32/64/128/256MBがある。24×32×2.1ミリ。重さ4グラム。切手と同じ大きさ。
 問 <http://www.sdcard.org/>

マルチメディアカード(MMC)



最大容量は128MB。ほかに8/16/32/64MBがある。MMCの約2分の1のサイズでMMCと互換性がある「RS-MMC」が2003年4-6月頃に登場する見込みだ。
 問 <http://www.mmca.org/>

スマートメディア



最大容量は256MB。ほかに16/32/64/128MBがある。薄くて軽く、比較的安価なのが特徴。37×45×0.76ミリ。重さ1.8グラム。
 問 <http://www.ssfcd.or.jp/>

CF(コンパクトフラッシュ)カード



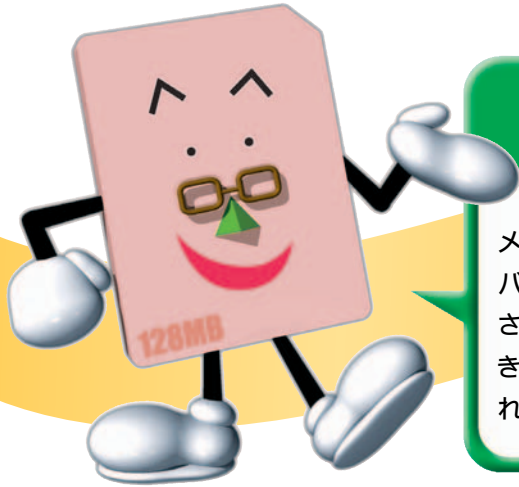
最大容量は1GB。ほかに8-512MBまで11種類がある。42.8×36.4ミリ。厚さは3.3ミリ(タイプ1)または5ミリ(タイプ2)。重さ12グラム。
 問 <http://www.compactflash.org/>

マイクロドライブ



最大容量は1GB。ほかに340MBがある。42.8×36.4×5ミリ。重さ16グラム。サイズはCFカード(タイプ2)と同じだ。
 問 <http://www-6.ibm.com/jp/oemj/storage/product/mdv96/mdv96a.html>

バックアップ&リストア



メモリーカードといえばバックアップ&リストア。おもな用途の中でも、バックアップ&リストアはそれくらい一般的かつ実用的だ。バックアップさえ取っておけば万が一の時も安心。パソコンなしでデータが復旧できるのだ。となると肝心なのはソフトの使い勝手。各ソフトの特徴を知れば、おのずと自分のバックアップ&リストアスタイルが見えてくる。

BackupBuddyVFS

開発 Blue Nomad社
価格 16.95 ドル
URL <http://www.bluenomad.com/>

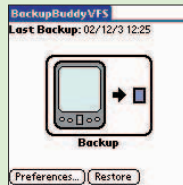
シンプルな操作性のなかに機能が充実

ズバリ、VFSを利用したバックアップソフト。データの復元(=リストア)もできる。インターフェースはシンプルだが、付加機能が充実しており実用性は高い。

操作モードは「Basic」と「Advanced」の2種類。とにかく急いで簡単にバックアップしたいという人には「Basic」がオススメだ。初回はすべてのファイルをバックアップするため時間がかかるが、2回目以降は、前回との差分を対象とするため処理時間が短縮できる。必要なファイルだけをバックアップしたいなら「Advanced」モードに切り替えよう。通常のア

プリケーションのほか、DAソフトやDOCファイルなども扱える。なお、いずれの操作モードでも、取得したバックアップファイルはメモリーカード上の「/palm/backup」に格納される。インス

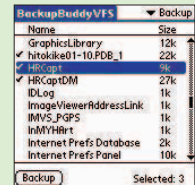
トール後30日間、すべての機能を試用できるが、バックアップ&リストアだけで十分だという人には、「BackupBuddyVFS:Free」(フリーウェア)という選択肢もある。



画面中央のアイコンをタップすればバックアップがスタートする。以後、万が一、RAMの内容が消失したら、下部の「Restore」で復元。前回バックアップした時点のRAMの内容が取り戻せる



定期的なバックアップをとるなら「Preferences」の「Schedule」でバックアップの予約をしておこう。「毎日指定した時刻に」「電源を切るたびに」のどちらかまたは両方が指定できる



「Advanced」モードでは、ファイルが個別に選択/処理できる。データを復元する場合は、右上のタブを「Restore」に切り替えてから。操作モードの切り替えは、メニューの「Options」で行える

card insert*Backup

開発 Petr Lesny
価格 9.95 ドル
URL <http://sweb.cz/cibackup/>

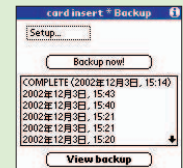
差せばホラ、オートバックアップが始まる!

メモリーカードをスロットに差すだけで、自動的にバックアップが取得できるソフト。バックアップのとり方をきめ細かくカスタマイズできるのが特徴だ。

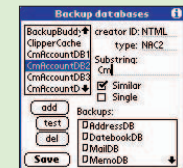
RAM内の全ファイルを対象にする「COMPLETE」と、あらかじめ指定したファイルだけをバックアップする「SELECTED」があり、「COMPLETE」ではその都度、個別のファイルが選択できる。通常のアプリケーションのほか、DAソフトやDOCファイルも対象になる。また、「SELECTED」では、バックアップし

たいファイルを、ユーザーが自由に指定できる。その際、クリエイターIDやタイプが共通のファイルだけを抽出し、対象とすることもできる。「COMPLETE」は1個のみ、「SELECTED」

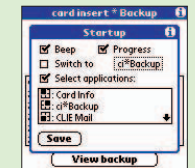
は複数のバックアップが取得でき、バックアップファイルはメモリーカード上の「/palm/mBackup」に格納される。リストアはもちろん、ユニークなランチャー機能などもある



初めての起動時には、card insert*BackupをRAMに必ずインストールしておく。「Setup」を実行することで、card insert*Backup自身をメモリーカードに移動する仕組みになっているためだ



「SELECTED」でバックアップするデータベースは、デフォルトでは6本(アドレス、予定表、メモ帳、To Do、メール、Saved Preferences)だが、「Setup」の「databases」で追加できる



バックアップを取得した後に、専用のランチャーが自動で起動するように設定できる。そのランチャーに登録できるアプリケーションは最大4本まで

PiBackup II

Portable Innovation Technology社
 14.95ドル
<http://www.pitech.com/>

1枚のメモリーカードが使い回せる超実用派

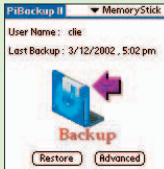
マルチユーザー対応のバックアップ&リストアソフト。「Basic」モードと「Advanced」モードの2種類があり、「Basic」モードではRAMをまるごとバックアップ & リストアできる。「Advanced」モードでは一括もしくは個別の処理が可能だ。

1枚のメモリーカードに、HotSync名の異なる複数のPalmデバイスのバックアップが作成できる。だから、メモリーカードの使い回しが利

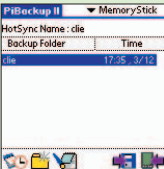
き、メモリーカードの物理的な管理が煩雑にならずに済む。また、変更のあったファイルのみをバックアップするため、2回目以降は処理時間を短縮できる。同じデバイスで連続してバック

アップすると、およそ5分の1程度の時間で済んだ。なお、バックアップファイルはメモリーカードの「/palm/PiBackup/HotSync名」に格納される。

TIPSツボ
ここが



「Basic」モードでは、メモリーカードを差して、アイコンをタップすればバックアップがスタートする。「Options」メニューにある「Preferences」で、本体の電源をオフにするときにバックアップをとるよう設定できる



「Advanced」モードでは、右下のアイコンでバックアップとリストアを行い、左端のアイコンで定期的なバックアップの予約ができる。定期的バックアップで取得するファイルは別途「/palm/PiBackup/schedule」に保存される

Adv. Backup

Alex Tsai
 9.95ドル
http://home.kimo.com.tw/palm_factory/

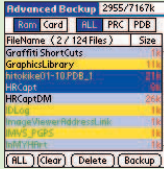
見た目は地味だが機敏かつキメこまやか

シンプルな操作性と高速動作が特徴のバックアップ&リストアソフト。メイン画面の上部にある2枚のタブ(Ram, Card)で、RAMとバックアップファイルの内容が簡単に切り替えられる。RAMの内容を一括してバックアップしたいときは、さらに右上と左下の「ALL」をタップすればいい。バックアップ&リストアの結果、エラーが起こった場合は自動的にエラーログが作成される。メモ帳などへの書き出し

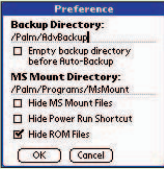
機能はないが、ソフト名とエラー内容、その理由が簡潔に記録され、わかりやすい。「Log」メニューにある「View Log」で過去ログが確認できるのもありがたい。

次ページで紹介する「PowerRun」や「MS Mount」に特化したオプションも用意しており、Power RunのショートカットやMS Mountのファイルが一覧で非表示になるよう設定できる。

TIPSツボ
ここが



右上の3枚のタブで、処理対象とするファイル(拡張子が.prca\,pdbか、それともすべてか)が指定できる。バックアップとリストアは、それぞれ右下の「Backup」または「Restore」をタップすればOK



デフォルトの設定では、バックアップファイルはメモリーカードの「/palm/AdvBackup」に格納されるようになっているが、「Options」メニューにある「Preference」で任意のディレクトリーに変更できる

Right Back Up

Stand Alone社
 10ドル
<http://www.standalone.com/>

主要機能の設定項目の豊富さではピカイチ

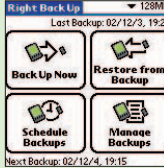
バックアップ&リストアなど、主な機能は4個だけだが、とにかく設定項目が豊富なソフト。例えば、どのファイルをリストアするかが、リストアの直前に選択できるほか、アプリケーションのみをリストアするか、データのみをリストアするか、その両方が、さらには特定のファイルのみを対象とするかなども、リストアの直前に選べる。

またカードを差したときに、自動的にバックアップをとることまではできないが、メモリーカードを差したときに自動的にRight Back Up自


身が起動するように設定することはできる。なお、バックアップファイルはメモリーカードの「/palm/programs/RBup/MM.YY.DD

[9桁の数字]」に複数保存できる。メニューにある「Options」で「Toggle Display」でエクスプローラー風の操作画面に切り替えられる。

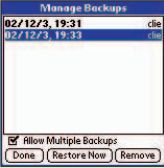
TIPSツボ
ここが



自動起動の設定は、「Options」メニューにある「Set Card Startup」で行う。もし、自動起動が不用な場合は、再度「Set Card Startup」で「Remove」を選択すれば、簡単に自動起動を中止できる

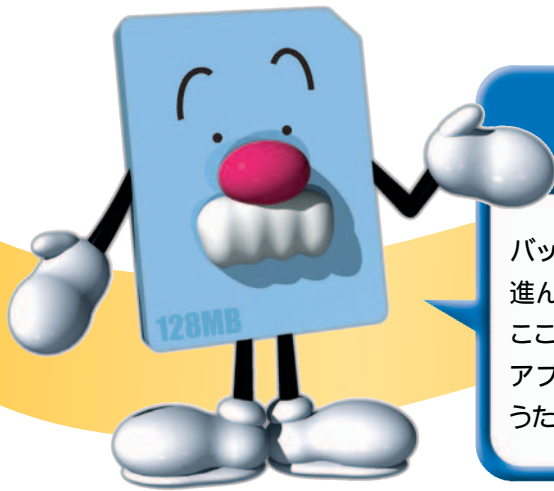


メイン画面の「Scheduling Backups」をタップし、定期的なバックアップを予約する。時間間隔は、毎日、毎週、2週に1回、3週に1回、毎月から選べる。もちろん、時刻指定も可能だ



メイン画面の「Manage Backups」をタップし、「Allow Multiple Backups」にチェックをしておけば、複数のバックアップファイルが取得できるようになる。バックアップファイルの削除もここで行う

便利に使うユーティリティー



バックアップ&リストアを入門編とするならば、ユーティリティーは一歩進んだ中級編。ツボさえおさえてしまえば“即効性”のあるものばかりだ。ここでは、起動支援ソフトから圧縮・解凍、インストール支援ツールまで、アプリケーションそのものではないけれど、メモリーカードを快適に使うための、かなり気の利いたソフトたちをまとめてご紹介しよう!

PowerRUN

山田 達司

1800円

<http://simple-palm.com/>

有無をいわずに起動支援ユーティリティー

メモリーカードに移動したアプリケーションが、あたかもRAM上にあるかのような感覚で実行できるソフト。複数のメモリーカードが管理でき、アプリケーションのほかにデータベースも任意の場所に移動できるのが特徴だ。

PowerRUNでメモリーカードに移動したソフトには共通のマークが付く。標準のランチャーなどで区別できるようになっている。また、移動したソフトを削除すると不要なショートカットがランチャーに残るが、ショートカットの削除機能でキレイに片付けられる。逆に、ソフトを残してショートカットを

消してしまった場合は、「オプション」メニューの「ショートカットを最新の状態に更新」を選べば、

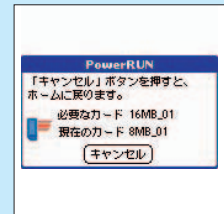
最新のショートカットが蘇る。移動できないソフトを自動判別するなど、痒いところに手が届く。



メニューの「編集」から「ソフト本体のみ移動」で、データベースを本体に残しておけば、該当のソフトの起動時間が大幅に短縮されることもある



左下に四角いマークが付いているのが、PowerRUNが管理するショートカット。スモールアイコンに変更しても識別しやすい



アプリケーションを入れたメモリーカードがわからなくなったら、とりあえず片端からスロットに差そう。正解は、PowerRUNが教えてくれる

MSMount

ながまつ つお

フリーウェア

<http://www.geocities.com/nagamatsu/>

アプリだけでなくデータベースも利用可能

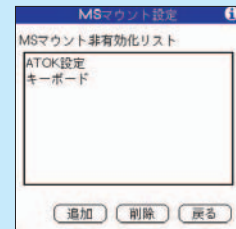
メモリーカードにあるアプリケーションやデータベースが、RAMにあるかのような感覚で扱える環境設定パネルアプリケーション。VFSに対応していないアプリケーションでも、所定のディレクトリーに置いておけばOK。辞書のような巨大なデータベースやDAソフトなども対象になり得る。ただし、データベースは読み取り専用のもが対象。なお、データベースはその都度、メモリーカードからRAMにコピーして使用しているため、RAMの空き容量が少ないとエラーになる可能性がある。Palmで警告音が鳴っ

たら、不要なファイルを削除するなどしてRAMを増やす工夫をしてみよう。HotSyncの実行

中や特定ソフトの使用中にMSMountを無効にできるなど、エラー回避手段も用意してある。



所定のディレクトリーは「/palm/programs/MsMount」だが、任意のディレクトリーに変更できる。このディレクトリーはあらかじめ手動で作り、必要なアプリケーションとデータをコピーしておく必要がある



もしも挙動が不安定なアプリケーションがあったら、そのソフトが動作している間だけMSMountを無効化しておこう。MSMount自身をいったん無効にしてから非有効化アプリケーション一覧に追加する。最大8本まで登録できる

PalmHandZipper

HandWatch
 9.99ドル
<http://www.handwatch.com/>

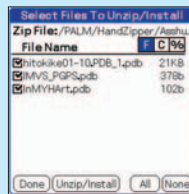
PalmでZIPファイルが解凍・圧縮できる

メモリーカードに置いたZIPファイルを解凍し、必要なファイルがインストールできるソフト。PalmHandZipperがあれば、パソコンがなくてもPalmにファイルがインストールできる。

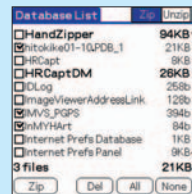
ダウンロードソフトの解説書によくあるテキストやHTMLなどといったファイルは、PalmHandZipperでそのまま閲覧できる。ただし、Palm OSの制約上、閲覧できるのは先頭から32KBまでの部分に限る。

一方、RAMにあるファイルをZIP形式で圧縮し、メモリーカードに保存することもできる。圧縮ファイルは、ウィンドウズで一般的なWinZipと

互換性があり、メモリーカードの「/palm/HandZipper」に保存される。ファイルの個別解凍や複数ファイルの一括圧縮もできる。



RAMにインストールしたいファイルを選択し、「Unzip/Install」でZIPファイルを解凍する。圧縮ファイルはメモリーカードの「/palm/HandZipper」に置いておく必要がある



右上のタブで画面を切り替え、圧縮したいファイルを選んだら、左下の「Zip」でZIPファイルを作成する。圧縮後の容量は元のファイルの約60パーセント程度にまで抑えられる

AutoInstall

福本 修仁 5ドル
<http://www.umap.net/>

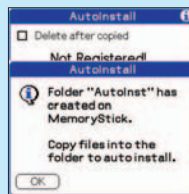
差すだけでアプリケーションをインストール

拡張スロットに差したメモリーカードから、アプリケーションやデータをインストールするソフト。メモリーカード上の「AutoInst」ディレクトリーにあるPalm用ファイル(.prc、.pdb)をコピーする仕組みだ。

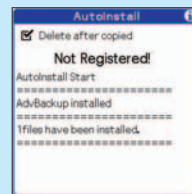
AutoInstallを起動してからメモリーカードを差すか、あるいはメモリーカードを差してからAutoInstallを起動するか、順序はどちらでもかまわない。これでファイルがRAMにインス

ールされる。なお、AutoInstallは、マックOSでメモリーカードを操作した場合に発生する不

要なファイルを削除する機能も持っている。マックユーザーには朗報だ。



初回起動時、メモリーカードに「/palm/programs/AutoInst」を自動的に作成する。インストールしたいファイルをこの中にコピーしよう



RAMにインストールしたファイルをメモリーカードに残しておくたくなければ、「Delete after copied」にチェックしておこう。メモリーカードに残ったファイルを削除してくれる

PalmRamDisk

HandWatch 9.99ドル <http://www.handwatch.com/>

メモリーカードへの高速アクセスを可能に

メモリーカードを利用してRAMの中に仮想的にVFS環境を作ってしまうという環境設定パネルアプリケーション。PalmがRamDiskを認識すると、ちょうどメモリーカードを2枚使っているような状態になる。

RamDiskを使うことで、本来ならRAMには置けないはずのファイル(テキストや画像など)に高速にアクセスできるようになるのがメリットだが、中には、複数のメモリーカード環境に対応していないアプリケーションもある。そういう場合は、メニューから「Mount Only RAM Disk」を実行すると、RamDiskが優先的に使用できる。



インストールしたら、環境設定を起動し「RamDisk」を選択。メニュー「Disk」メニューにある「Mount」でRamDiskをPalmに認識させる。RamDiskを解除したいときは「Unmount」を選択すればいい

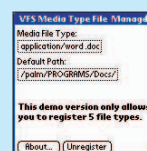
VFS Media File Type Manager

Toysoft Development 6.99ドル <http://www.toysoft.ca/>

ファイル形式でディレクトリーを振り分け

Palm Desktop 4.0からは、HotSyncでメモリーカードにファイルが直接インストールできるようになったが、通常は「/palm/launcher」にインストールされてしまう。VFS Media File Type Managerは、ファイルタイプに応じて、インストール先のディレクトリーが指定できるソフトだ。サポートするファイル形式は次の27種類。

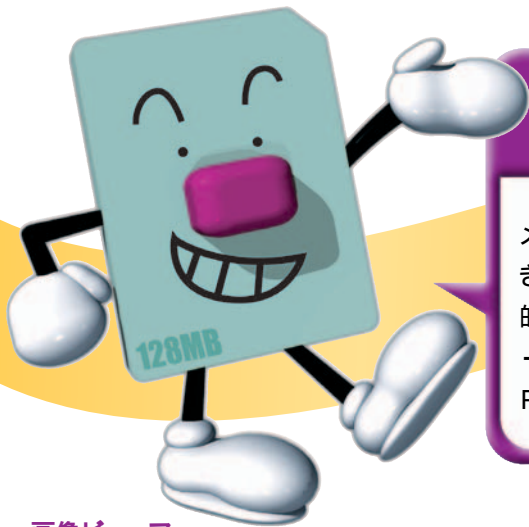
.jpg/.jpeg/.gif/.tiff/.bmp/.png/.txt/.text/.htm/.html/.doc/.xls/.pdf/.pdx/.prc/.pdb/.pqa/.zip/.lha/.sit/.exe/.com/.dll/.wav/.mpeg/.avi/.mp3.



「Media File Type」の中からファイル形式を選び、「Default Path」でインストール先のディレクトリーを指定する

アプリケーション

メモリーカードを利用すれば、パソコン用のファイルをそのまま活用できる。容量は本体メモリーよりも格段に大きく、大容量のデータも積極的に使用できる。USBなどを使用してパソコンに接続するメモリーカードリーダー/ライターも、入手しやすくなってきた。対応ソフトをPalmにインストールすることで、Palmの可能性が一段と広がる。



画像ビューアー

AcidImage

Red Mercury, LLC

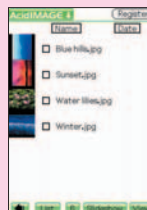
19.95ドル

<http://red-mercury-tore.com/index.html>

BMP、GIF、JPEG、PictureGear Pocket、Red Mercury、PhotoSuite、SplashPhotoなどの多量の画像に対応。単純な画像閲覧だけでなく、90度単位の回転、広範囲の倍率の拡大/縮小、スライドショー機能なども搭載。CLIEやHandEraのワイド液晶にも対応している。



AcidImageは、画像を含んだフォルダーを自動的にリストアップする



画像リストの表示では、サムネールの表示も可能。左下の矢印でフォルダーリストに戻る



画像閲覧時には、ボタン類の表示は最小限になる。ボタン類の非表示も可能

画像ビューアー

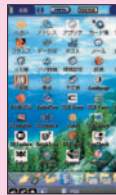
YiShow Explorer

補一兵 YiShow Explorer for CLIE

YiShow Explorer for Palm各2550円

<http://www.yibing.net/japanese/palmware.htm>

JPEG、BMP、PCX、PGPなどの画像のほか、DOCやテキストファイルの閲覧機能も搭載する高性能ランチャーソフト。ランチャー機能で表示したアイコンのタップで、画像を閲覧できる。



ビューアー機能がランチャーと融合しているため、直感的な操作で閲覧できる。壁紙表示機能も搭載している

画像ビューアー

Crs-ImageView

高橋大樹 フリーウェア

<http://isweb41.infoseek.co.jp/computer/crspalm/>

CLIEのT650Cと、NX、NR各シリーズ用の、(ワイド)ハイレゾ液晶画面を活用したJPEG画像ビューアー。今関弘明氏 (<http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>) 作のMcFileやMcJPEGとの連携が可能で、特にMcJPEGとの連携では、JPEGの簡易編集もできる。



機能がシンプルながら、操作もシンプルで、使い勝手がいい

音楽

ajvmp3

作者名記載なし (ajvmp3@paradise.net.nz)

版のためフリー

<http://ajvmp3.paradise.net.nz/>

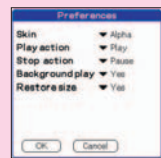
音楽再生機能搭載CLIE用のMP3再生ソフト。Audio Playerに比べ、MP3タグの一覧性が向上している。ID3v1、ID3v2のタグに対応。ただし日本語のタグ表示は不安定であり、現段階での使用は自己責任で行うべきだろう。



再生処理自体は、CLIEの中のソニー(株)製ライブラリーを用いるため、MP3データはAudio Playerと同様に、/palm/programs/msaudioフォルダーに格納する。画面上での操作のほか、CLIE添付のオーディオリモコンでの操作も可能だ。同名アルバムタグを持つ曲はグレーピングされる。タグに日本語で入れた情報は無視されてしまうが、ファイル名は日本語でも問題ない。



タグ情報をなるべく表示しようとするため、画面上の情報量が多い



版のためか、設定画面では見られても、まだ実装されていない機能もある

テキスト

めもめも

福本修仁 880円

http://www.umap.net/MacPalm/index-J.html

標準のメモ帳の不満点を解消したメモ帳ソフト。メモ帳にある1件4KBの制限もなく、メモリーカード上のテキストファイル(拡張子が「.TXT」のファイル)を読み書きできる。また、置換機能や複数ワードの検索機能も搭載されている。よく使う文章がある場合、それをヒナ形として保存し再利用できる。操作性はメモ帳を踏襲しているが、機能はテキストエディター並だ。メモ帳のデータベースをそのまま編集可能なほか(この場合、1件4KBの制限が課される)、めもめも独自のデータベースにメモ帳のデータを取り込むこともできる。データベース内のカテゴリズの他、データベース自体も複数作成し、切り替えるの使用が可能だ。

スケジュール

Date To SD

吉沢正敏

フリーウェア(ANTI-CCCDウェア)

http://www.pluto.dti.ne.jp/yozy/

Date To SDを使うと、SDカードスロットを搭載したPHSのKX-HV210、KX-HV200、KX-HS110などのスケジューラー用のデータを作成できる。SDカードスロット搭載のPalm機(Palm 505等)があれば、Palmの予定表で予定を入力し、KX-HV210などでそのまま読み込めるデータの作成が可能だ。

辞書

大辞鑑

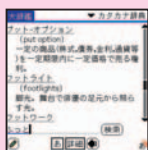
榊ホロン オープンブライズ(実売4800円程度)

http://www.holonsoft.co.jp/

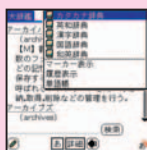
榊旺文社刊の国語、漢字、英和、和英、カタカナ語の5つの辞典をまとめた統合辞書ソフト。辞書データの見出し語は総数25万語、サイズは21MBほどになる。必要な辞書だけを入れておくこともできる。複数辞書にまたがって検索するマルチ辞書検索など機能搭載。

TIPSツボ

辞書データは、メモリーカードの/palm/programs/djikanフォルダーに格納する。また、/palm/launcherフォルダーでも構わないので、HotSyncの「インストール先の変更」機能を使って、HotSyncで転送することも可能だ。



少しパーツが増えていますが、基本的な操作に関しては、標準の辞書と大差がない



ポップアップリストで選んだ辞書に対して、インクリメンタルサーチが行われる。マルチ辞書検索は「検索」をタップ

辞書

PocketLingo Deluxe

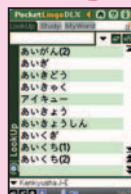
ハーバードランゲージ 4800円

http://www.harvardlanguage.com/jp/pocketlingodlx.html

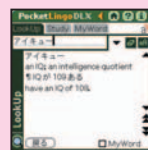
榊研究社の英和、和英および米Houghton Mifflin社の英英辞典を完全収録した英語統合辞書ソフト。辞書データは、見出し単語数20万以上、サイズは25MB。独自フォントやハイレゾ対応など、視認性の高さが特徴。マルチ辞書検索やインクリメンタルサーチ機能も搭載。

TIPSツボ

辞書データは、メモリーカードの/palm/launcherフォルダーに格納する。launcherフォルダーなので、HotSyncの「インストール先の変更」機能を使って直接転送が可能だ。



ワイド画面にも対応。一望できる範囲での情報量を増やすことができる



例文も豊富。単語帳など、辞書以外の機能も搭載されている

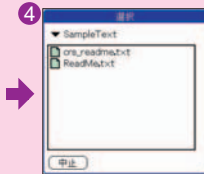
TIPSツボ



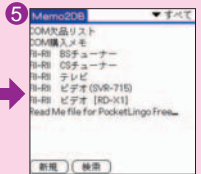
1 テキストファイルの編集は、データ一覧画面で「ファイル」メニューの「テキストファイル読み込み」を実行

2 ファイル選択画面で、読み込み元フォルダーまで移動。このタップで上の階層のフォルダーに移動可能

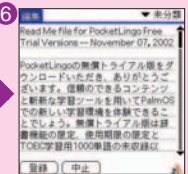
3 フォルダーが含まれている場合、リストアップされる。タップでそのフォルダーに移動する



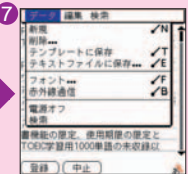
4 テキストファイルがある場合にはリストアップされる。目的のファイルなら、タップする



5 取り込んだデータは一覧に追加される。これで、テキストファイルの閲覧・編集が可能だ



6 編集後は、「登録」ボタンで本体メモリーに保存される。編集内容を破棄したい場合は「中止」

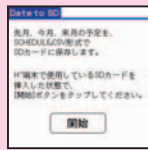


7 メモリーカードに保存する場合は、編集画面で「データ」メニューの「テキストファイルに保存」を実行する

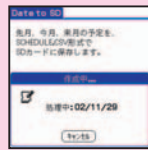
TIPSツボ



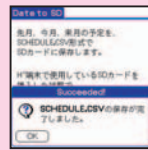
PalmデバイスにSDカードをセットして「開始」ボタンをタップする。処理終了後、PHSのスケジュール機能でSDカードから取り込みを実行する。SDカードに保存先フォルダー(/IMEXPORT)がないと保存に失敗するので、パソコンやPalmデバイス、あるいはPHSで、あらかじめ作成しておこう。出力されるのは、標準の予定表に登録されている開始時刻、内容文、アラームのオン/オフ。期間は前月～次月までの3カ月だ。



SDカードをPalmのスロットに入れて「開始」をタップするだけ



SDカードにデータ保存中。データ作成完了までほんの少し待つ



完了したら、SDカードをPHSに入れ、PHS側でデータを取り込む

Comfortable

メモリーカードをもっと快適に!

メモリーカードで、すっかりパワーアップしたPalm。でも、どんどん増えていくカードの整理に困ってはいませんか? ここでは、メモリースティック用とSDメモリーカード用のケースをご紹介します。ほかにも覚えておけばもっと快適、便利に使いこなすことができるメモリーカードのあれこれをまとめてレクチャー。

カードをオシャレに持ち歩こう



メモリースティックケース

取り出さなくても容量がわかる便利な小窓付き

メモリースティック×4、名刺サイズのカード×1収容

■KNOX

■各6800円

■<http://www.rakuten.co.jp/knox/>

KNOXブランドの革製ケース。ソニー(株)純正のメモリースティックなら、収納したままでも容量が確認できる小窓が特徴。メモリースティックの厚みを計算してデザインしており、収納した状態でもケースは膨らまないし、ブラックとキャメル(限定色)の2種類が選べ、名入れサービス(500円 先行している)。



メモリーホルダーフリップポケットSD8

お買い得感ではピカイチの本格派革製ケース

SDメモリーカード×8収容

■岡崎シグマ・スタイルジャパン

■1580円

■<http://xigma.jp/>

SDメモリーカードが最大8枚も収納できるケース。大きさはクレジットカードサイズ。カウハイドやラムスエードといった高級素材を多用しながら、1580円という低価格を実現。メモリースティック用やCFカード用のほか、PDA用ケースと組み合わせ使える「メモリーページ」タイプ(980円)など全7種類。

Memory Stick Metal Case

シュッとやればスッと出てくる独特のギミック

メモリースティック×3収容

■ビザビ

■1280円

■<http://www.visavis.co.jp/>

薄さ0.8ミリのアルミニウムでできたメモリースティックケース。中央のボタンを押上げてメモリースティックを取り出す。アルミ製なので軽くて持ち運びがラクなうえ、衝撃などからもメモリースティックをガード。上部に可動式のふたが付いており、ホコリが入る心配も少ない。



アルミメディアケースMS8「DMC-06MS」

収納力と頑丈さを兼ね備えたお手ごろケース

メモリースティック×8収容

■ハクバ写真真産業(株)

■各2000円

■<http://www.hakubaphoto.co.jp/>

メモリースティック用のアルミ製ケース。内側は、衝撃を吸収する合成ゴム。シガレットケースのようにふたが大きく開くので、メモリースティックの出し入れがラク。ほかにCFカード用(4枚)、スマートメディア用(8枚)がある。ポリプロピレン製のバステルカラータイプ(800円)も。 売。



SDメモリーカードケース「SPR-SD02GD」

冬でもホコリが付きにくい帯電防止素材を使用

SDメモリーカード×3収容

■エレコム(株)

■600円

■<http://www.elecom.co.jp/>

アルミ製のコンパクトケース。SDメモリーカードが触れる部分には帯電防止素材を採用しており、ホコリが附着しにくい。ほかにメモリースティック用、CFカード用、スマートメディア用(各450円)の全14種類があり、いずれも色はゴールドとシルバーの2種類から選べる。



SDカードホルダー「MC-06」

PDAとシステム手帳を併用する方にオススメ

SDメモリーカード×6収容

■三習工業(株)

■600円

■<http://www.sanshu-ind.co.jp/>

リフィルタイプのSDメモリーカードホルダー。システム手帳に挟んで使えるため、メモリーカードをケースごと紛失する恐れが少なく、安心だ。ほかにメモリースティック用、CFカード用、スマートメディア用(各600円)があり、それぞれミニ6穴、バイブルの両タイプがある。全8種類。

プラ・ネット デュアラ ワイドタイプ「PDW-SDMN」

柔らかなフォルムとパステルカラーで選ぶなら

SDメモリーカード×8収容

■岡崎アサヒネクスト

■780円

■<http://www.asahinext.com/>

アクア(水色) ミント(黄緑色) がそろうポリプロピレン製ケース。丸みを帯びたデザインとパステルカラーが特徴で、収納力も高く、バリエーションも豊富。メモリースティック用(8枚) CFカード用(4枚) スマートメディア用(4枚) はどれも帯電防止機能付きの素材を使用。



メモリースティックケース「MCC-305」

ワンタッチでメモリースティックが取り出せる

メモリースティック×1収容

■ナカバヤシ(株)

■700円

■<http://www.nakabayashi.co.jp/>

ケース横のボタンを押すとふたが開き、ワンタッチでメモリースティックが取り出せる。クリアグレー、クリアバイオレット、クリアホワイトの3色があり、ABS樹脂製なので衝撃にも強い。重さはわずか10グラム(ケースのみ)。ほかに、メモリースティックが3枚収納できる「MCC-303」(1500円)もある。



メモリーカードを複数のPDAで使い回すには？

Palm以外に、PDAやデジタルカメラにもメモリーカードが使われている。となると、気になるのがメモリーカードのメディアの種類。メモリスティック、SDメモリーカード、CFカード。機種によって使えるメモリーカードはさまざまだが、1枚のメモリーカードが他のPDAやデジカメでも使えたいものに……。そんな願いをかなえてくれるのがCFカード型のアダプターだ。CFカードスロットを搭載したPDAなら、特にドライバーをインストールしなくてもそのまま使えるのがメリットだが、すべてのPDAで市販のメモリーカードがすべて正常に動作するとは限らないので、購入前には必ず対応機種や対応メモリーカードを確認するように注意しよう。

メモリスティック CF

FA-CFMS
 ㈱ ㈱オウルテック
 価 7000円～8400円
 ① <http://www.owltech.co.jp/>
 CFタイプ2
 マジックゲート非対応
 一部PDAで128MBが使用できない



FA-CFMS

スマートメディア CF



FA-CFMS

FA-CFMS
 ㈱ ㈱オウルテック
 価 6400円～7800円
 ① <http://www.owltech.co.jp/>
 CFタイプ2
 HPC-CSA01
 ㈱ ㈱ハギワラシスコム
 価 5600円前後
 ① <http://www.hscjpn.co.jp/>
 CFタイプ2

SDメモリーカード CF

BN-CSDABP3
 ㈱ ㈱松下電器産業㈱
 価 4500円前後
 ① <http://www.pcc.panasonic.co.jp/>
 CFタイプ1



BN-CSDABP3

HPC-CDA01
 ㈱ ㈱ハギワラシスコム
 価 4900円～5800円
 ① <http://www.hscjpn.co.jp/>
 CFタイプ1

CFSD-ADP
 ㈱ ㈱アイ・オー・データ機器
 価 5500円
 ① <http://www.iodata.jp/>
 CFタイプ1

Column

どこにコピーすればいいの？ ディレクトリーのハナシ

動画、音楽、電子ブック……。大容量化が著しいメモリーカードには大量のデータが置けるようになったが、それとともに、ディレクトリーの種類や構造も複雑化してきた。

Palmのメモリーカードにおけるディレクトリーとは、パソコンでいうフォルダーのようなもの。たいていの場合、過去にPalmなどで読み書きをしたことのあるメモリーカードなら、その

中身を、McFileのようなファイルユーティリティーや、市販のメモリーカードリーダー/ライターを使ってのぞいてみると、ディレクトリーの存在が確認できる。

Palm OSは、基本的に、アプリケーションは「/palm/launcher」に、アプリケーションが利用するデータは「/palm/programs」以下の各アプリケーション専用のディレクトリーに置くよ

う推奨しており、実際にどのディレクトリーにデータを置くかはアプリケーションごとに決まっているのが普通だ(表)。つまり、メモリーカードリーダー/ライターなどを使って、パソコンのデスクトップからメモリーカードにデータを直接コピーする場合は、所定のディレクトリーにデータをコピーすれば、アプリケーションから正しく参照できるようになるワケだ。なお、メモリーカードの最上位のディレクトリーはルートディレクトリーと呼び、「/」で表す。

Palmで使うおもなディレクトリー

ディレクトリー名	格納ファイル	ファイル拡張子
/book	ブックビューア用の電子ブック	.zbf
/palm/launcher	アプリケーション	.prc

/palm/programs以下に置くもの

ディレクトリー名	格納ファイル	ファイル拡張子
ATOK	ATOK for Palm OS用のラージ辞書ほか	.pdb
book	Pook専用のPooDOC形式のファイル	.pdb

ディレクトリー名	格納ファイル	ファイル拡張子
Docs	各種DOCリーダーで閲覧可能なDOCファイル	.pdb
DXTG	Documents To Go用に変換したOffice文書や画像など	.pdb
Images	Crs-ImageViewで閲覧するJPEGファイル	.jpg
mmflash	Macromedia Flash Player 5で閲覧するFlashファイル	.swf
text	一般的なテキストファイル。Pookなどで閲覧可能	.txt
VFSi	VFSiで閲覧するビットマップファイル	.bmp

VFSって何？

VFSとは、Virtual File Systemの略。概念的には、アプリケーションと各種ファイルシステム(FATやVFAT)の間に位置し、データの受け渡しを仲介する。簡単にいえば、Palmでメモリーカードを利用してデータを読み書きするための機能のことだ。

VFSを採用する利点は2つある。ひとつは、開発者がソフトを作る際、メモリーカードのメディアの違いを意識せずに済むようになることと、そしてもうひとつは、ユーザーが、ソフトやデータを内蔵メモリーにあるのと同じような感覚で利用できるようになることだ。

確かに、Palm OSがバージョン4.0でVFSを標準的にサポートする前の時代でも、メモリーカードなどの読み書きはできた。が、それは、各メーカーが独自にOSの機能を拡張していたからであり、実は、開発者から見ても、ユーザーから見ても、あまり使い勝手がいいといえるものではなかった。

そういう意味で、OSがVFSをサポートしたのは、ある種の「革命」であり、今こうして、メモリーカード上のソフトやデータを、当たり前のように利用できているのは、VFSのおかげといえるのである。

SDメモリーカードとマルチメディアカードって何が違うの？

SDメモリーカードとマルチメディアカード。見た目もほとんど同じだし、カタログにはよく「SD/MMC対応」とか書いてある。これって同じモノなの？ と思いきや、実はそうではない。

まずはサイズ。ともに切手大で縦横の長さは同じだが、マルチメディアカードのほうが0.7ミリほど薄く、わずかに1.4ミリしかない。

次に端子(シリアルインタフェース)の数。SDメモリーカードが9ピンで、マルチメディアカードが7ピン。なので、マルチメディアカードは、SDメモリーカード対応機器でメモリーカードとして利用できるのだ。SDメモリーカードはマルチメディアカードの上位互換カードともいえる。

なお、SDメモリーカードは、SDMI(デジタル音楽著作権保護協議会)が策定した規格に準拠する著作権保護技術を搭載しているが、マルチメディアカードに著作権保護機能はない。また、マルチメディアカードに著作権保護機能を付けた「セキュアMMC」は、SDメモリーカードと互換性がない。

簡単！ 確実！ だから安心！

データ・ソフト・設定の クリーンX 移行術



Palm OS 5.0を搭載するCLIE NXとそれに対応するPalm Desktop。どちらもソフトや他機種に対する互換性について未知数の部分があるため、データの移行には注意が必要だ。本特集を参考に、CLIE NXへの乗り換えを確実に成功させて、魅力満点のこのデバイスをガンガン使い倒そう。

本特集で紹介している方法の成否は、パソコンやPalm本体などの環境に依存する可能性があります。誌面作成にあたっては十分な検証作業を行っていますが、記事を参考にした操作によって生じたいかなる損害についても、編集部は一切の責任を負うことはできません。

監修 / 丸山 弘詩
撮影 / 花田 真知子、寺島 竜太

簡単! 確実!
だから安心!

NX 移行術 PART-1

バックアップを確実にとって
作業を始めよう

これまで使っていたPalmデバイスからCLIE NXへPIMデータやソフトを移行する場合、移行元のPalm OSのバージョンや本体の仕様によって有効な方法にはいくつかパターンがある。本特集ではCLIEと、Palm コンピューティング(株)のPalmからの移行にしか触れないが、Visorやそのほかの機種ユーザーも参考にしてほしい。

知っておきたいのは、CLIE NX(以下、NX)に付属している「CLIE Palm Desktop」は、バージョンこそ4.0.1と、見慣れた数字

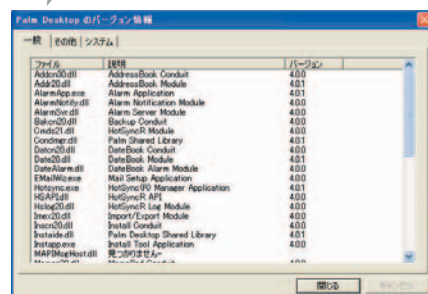
PIMデータ、ソフトウェアを移行する

まずは、現在使用しているPalmデバイスからPIMデータやソフトを効率よくCLIE NXに移す方法を、移行元の機種別いくつか紹介しよう。いままで感じていた多くの不安が、一気に解消されるはずだ。

だが、NXでの利用のみを考えられたバージョンである点(図)、後ほど触れるが、NX版のCLIE Palm Desktopは、NX以外のデバイスに対して、上位互換を果たしていない。他機種との併用を考慮してPalm Desktopの入れ替えを行うと、最悪の場合、NXでの利用ができなくなる可能性がある。

データ移行の作業に入る前には、Palm本体内のデータのバックアップを確実にとっておこう。バックアップ環境がない場合は、Palm Desktopのインストール先に作成されるユーザー名(またはその一部)のフォルダーを、デスクトップなど、標準ディレクトリーとは異なる位置にコピーして不慮のトラブルに備えておくこと万全だ。

Palm Desktopの バージョン情報



ファイル	説明	バージョン
Addr00.dll	AddressBook Conduit	4.0.0
Addr01.dll	AddressBook Module	4.0.1
AlarmApp.exe	Alarm Application	4.0.1
AlarmNotify.dll	Alarm Notification Module	4.0.0
AlarmServer.dll	Alarm Server Module	4.0.0
Backup00.dll	Backup Conduit	4.0.0
Conduit01.dll	HotSyncR Module	4.0.0
Conduiter.dll	Palm Shared Library	4.0.1
Date00.dll	DateBook Conduit	4.0.0
Date01.dll	DateBook Module	4.0.1
DateAlarm.dll	DateBook Alarm Module	4.0.0
EMailViewer	Mail Setup Application	4.0.0
HotSync.exe	HotSyncR Manager Application	4.0.1
HotSyncR.dll	HotSyncR API	4.0.0
HotSyncR.dll	HotSyncR Log Module	4.0.0
Import00.dll	Import/Export Module	4.0.0
Install00.dll	Install Conduit	4.0.0
Installer.dll	Palm Desktop Shared Library	4.0.1
TestApp.exe	Install Test Application	4.0.0
MAPMigrate.dll	見知りません	4.0.0

図 NX対応版のCLIE Palm Desktopは、詳細なバージョン情報を見ると、決して以前のCLIE Palm Desktopとは同一の「4.0.1」ではないことがわかる

CLIEシリーズ から NX へ

CASE

1

NX版のPalm Desktopを上書きインストールする

NX以前のCLIEからNXに移行するとき、同じユーザー名を引き継ぐなら、CLIE Palm DesktopとHotSyncを実行する方法がある。CLIE Palm DesktopをNX対応版で上書きインストールした後、使いたいユーザー名の「Backup」フォルダーを空にしてからNXでHotSyncする(図)。するとPIMデータだけが移行するので、その後、NXで使いたいソフトを1本ずつインストールして、動作確認を行う。作業は、NX上でのソフトの動作状況を紹介しているサイトを参考

にして進めよう「SONY CLIE NX70,NX60対応アプリ情報」<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Namiki/8083/nx70app.htm>。Backupフォルダーを空にせずにHotSyncすると、以前のCLIEの環境を丸ごと移行す

るが、動作に不具合を生じるソフトも転送する恐れがあるため、上述の手順が安全で確実といえる。

途中で不具合が生じてハードリセットを余儀なくされたら、原因と思われるソフト



をBackupフォルダーから取り除き、同フォルダーの残りのファイルをひとまず別の場所に待避させる。再びBackupフォルダーを空にして、残りのソフトの動作確認を繰り返していくと、最後に一揃いの「安全な」ソフトのラインアップを作ることができる。

これまで使用していたCLIEもNXと同じユーザー名で併用する場合、HotSyncだけでは、両デバイスのバックアップは確保できないので注意が必要だ。HotSyncの動作設定で「バックアップ」は、「本体がPalm Desktopを上書き」が通常だが、この設定では、HotSyncを行うたびに、BackupフォルダーがそのPalmの内容にすべて書き換わるから、ハードリセット後のHotSyncは、Backupフォルダーからリストアされるのでこ

の限りではない。

パソコンに各デバイスのソフト構成を保存しておくなら、HotSyncで内容を更新したBackupフォルダーを、ときどき別の場所に保存しておくといい。ハードリセット後にリストアするときは、Backupフォルダーを入れ替えてHotSyncする。Backupフォルダーの1つ上の階層(ユーザー名のフォルダー)へのショートカットを作成しておくことでダブルクリックでBackupフォルダーが見えるから、これらの操作が手軽になる。

「MS Backup」を活用して各CLIEのバックアップをとる方法もある。MS Backupで保存したデータは、別のデバイスでは復旧できないため、誤って別機種のデータを転送する心配がない。MS Backupによるバック

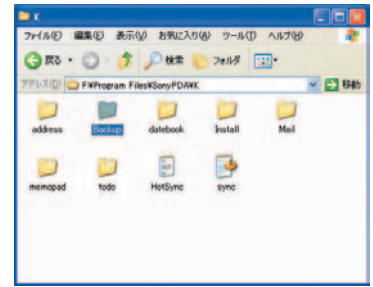


図 Backupフォルダーは、CLIE Palm Desktopを標準のディレクトリでインストールした場合、「マイコンピュータ / ローカルディスク / Program Files / SonyPDA / ユーザー名(またはその一部)」にある

アップ環境を整えたら、HotSync時のバックアップの動作設定は「何もしない」にしておくと、HotSync中にBackupフォルダーを書き換える時間を節約できる。

CASE

2

メモリースティックとMS Backupを使う

ユーザー名を引き継ぐなら前述の方法が手軽だが、新しいユーザー名を設定するなら、メモリースティックを経由して、CLIEのデータをNXに移行する方法もある。「MS Backup」で移行元のCLIEのバックアップを作成し、NXのファイル管理ソフト「CLIE Files」を利用して、必要なデータやソフトを移行する。MS Backupで保存したデータは、別のCLIEで復元することはできないが、CLIE Filesで読み取ることはできる点を利用するわけだ(図1)。

移行元のCLIEでバックアップをとったら、メモリースティックをNXに差し替えて、CLIE Filesを起動しよう。メモリースティック内の「Palm / Programs / MSBackup」

に、バックアップを5つとっている場合、「0」から「4」の番号が付いたフォルダーが見つかる。フォルダー名は、MS Backupの動作画面で振られているバックアップ番号から、1を引いた数字が対応している(バックアップ番号「1」のデータは「0」フォルダー内にある)。最新のバックアップをとったフォルダーを開いて、ファイル名のリストから移行したいデータを選択後、「コピー」をタップしよう(図2)。続けて、移行先に「本体」を選択してコピーを開始する(図3)。システムファイルを移行する場合は、上書き確認のメッセージが表示されるが、「OK」をタップして移行作業を進める(移行可能なシステムファイルについては、86ページを参考してほしい)。

この方法なら、移行元のCLIEで使用していたソフトを1本ずつ動作確認したい場合でも、HotSyncによるインストール作業をせずに、NX上で動作を完結できる。

個々のファイルがどのソフトに対応しているのか知りたい場合は、CLIE Filesで開いたバックアップフォルダーを移行元のCLIEに付属するファイル管理ソフト「MS Gate」で開いてみよう。MS Gateはフォルダー内のファイルをソフトごとにまとめて表示するので、ファイルがどのソフトに関係あるのか、突き止めることができる。

必要なデータの移行が終わったら、最後にHotSyncして、NXで使用するユーザー名を決定する。



図1 複数のCLIEでメモリースティックを共有して、MS Backupで各機のバックアップをとることは可能だが、別のデバイスのバックアップデータで復旧はできないため、本ソフトで丸ごとデータを移行するのはムリ

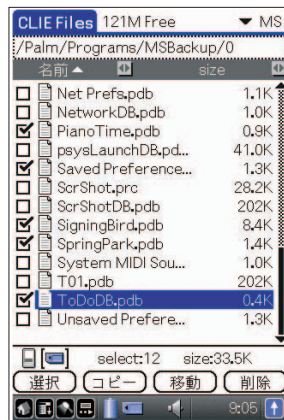


図2 ソフトを移行する際は、PDBファイルだけでなく、PDBファイルや、名前の一部にPreferenceなどがあるファイルも移行する。正常に動作を確認の持てないファイルは1つずつ移行して動作を確認しよう

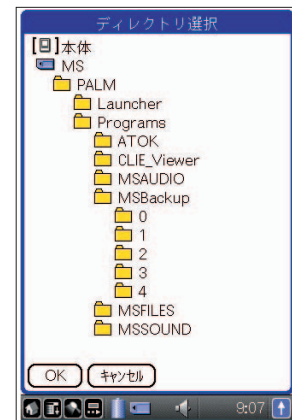


図3 コピーするファイルを決めたら、「本体」を選択して、「OK」をタップする。万が一、ハードリセットをするにしても、NX単体で手順を再開できる点は、この方法のメリットのひとつといえる

Palm から NX へ

ここでは、Palm mシリーズなどからNXにデータを移行する手順を2つ紹介しよう。VisorやそのほかのメーカーのPalmデバイスからNXへの移行を検討しているユーザーも参考にしてほしい。

CASE 1 Palm Desktopを入れ替えて PIM情報をインポートする

PIMデータは、あらかじめPalm Desktopで書き出しておいて、Palm DesktopをNX版に入れ替えた後に読み込むと移行できる。個々のファイルは、動作確認も兼ねてあらかじめインストールし直そう。

まず、移行元のデバイスでHotSyncして、パソコン側のPIM情報を更新する。Palm Desktopを起動後、「予定」を表示した状態

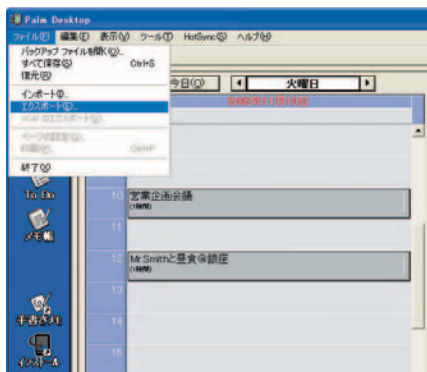


図 「エクスポート」によってパソコン上に書き出したPIMデータは、「インポート」の操作によって、別のPalm Desktopでも共有できる

で「ファイル」メニューから「エクスポート」を選択し、データの保存先を指定してエクスポートを実行する。同じようにアドレス、To Do、メモ帳のデータを書き出す。

続けて、Palm Desktopをアンインストールし、NX用の「CLIE Palm Desktop」をインストールする。NXでHotSyncをして、ユーザー名を設定したら、CLIE Palm Desktopの「ファイル」メニューから「インポート」を選択して、先ほど書き出したデータを順次、読み込んでいく(☑)。CLIE Palm DesktopにPIMデータを引き継いだら、あとはHotSyncでNXに転送するだけだ。

Palmで使用していたソフトを移行するには、Palm Desktopのアンインストール後も残るBackupフォルダーの中身を流用して、NXにインストールする。ただし、NXで動作しないソフトもあるため、インストール前に開発元のサイトなどで対応状況を確認しておこう。Backupフォルダーは、標準ディレクトリーなら、「ローカルディスクノ



Palm / ユーザー名(またはその一部)にある。

手書きメモをNXでも確認したい場合は、Palm Desktopをアンインストールする前に、手書きメモを表示するウィンドウの「編集」メニューから「コピー」を行い、ペイントソフトに張り付けて、BMPやJPEG形式で保存しておこう。NXに付属している「Image Converter」でCLIE形式に変換してメモリースティックに転送すれば、「CLIE Viewer」で閲覧が可能になる。

CASE 2 メモリーカードを経由して ファイルをコピーする

SDカードとメモリースティックを利用して、移行元のデバイスで作成したバックアップ情報をNX上に移行する方法もある。Palmがm500シリーズなどのSDカード対応機種であることと、パソコンでSDカードリーダーが使用できることが条件だ(図1)。

この方法の大きなメリットは、PIMデータ、ソフト構成、ユーザー辞書などの環境設定を、すべて同じ操作方法で移行できる

点にある。

まず、カード内にバックアップを作成するソフト「Backup BuddyVFS」(米ブルーノマド社、<http://www.bluenomad.com/>)をPalmにインストールする。ここで紹介する方法では、フルバックアップをとるだけなので、無料版で十分だ。バックアップを終えたら、SDカードリーダーを利用して、パソコン上にバックアップデータをコピーす



図1 SDカード内に作成したバックアップデータをSDカードリーダー経由でパソコンに移し、MS Import / Exportを利用するなどして、そのデータをNXに渡す

る。Backup BuddyVFSで作成したバックアップデータは、「PALM」フォルダー内の「Backup」フォルダーにある(図2)。

次に、バックアップデータをメモリスティックに移す。Backupフォルダーのコピー先ディレクトリーは特に問わない。この操作は、メモリスティックリーダーがあれば手軽だが、ない場合は、NXの付属CD-ROMに収録されている「MS Export」をパソコンにインストールしよう。このソフトを使えば、CLIE用ソフト「MS Import」と連動して、CLIE本体をメモリスティックを読み

書きできるリムーバブルディスクとして認識できるようになる。

パソコン上のBackupフォルダーをメモリスティックにコピーしたら、CLIE Filesを起動してカード内の同フォルダーを開く。NX本体に移行したいファイルを選択して、コピーを実行する。

最後に、NXとCLIE Palm DesktopでHotSyncして、NXで使用するユーザー名を設定する。83ページのCASE 2や、86ページで紹介しているコピー可能なシステムファイルも参考にしよう。



図2 Backup BuddyVFSは、メモリーカードの「PALM」フォルダー内に「Backup」フォルダーを作成する。Palm用のバックアップデータをNXでそのままリストアップしてもエラーが生じるため、一挙にデータを移すことはできない。ファイルはCLIE Filesで1つずつ移そう

検証 してみました

NXとPalm OS 3.x / 4.x機は併用できる



ARM系のCPUとPalm OS 5.0を備えるNXが、Palm OS 3.x機や4.x機とひとつのPalm Desktopでどこまで併用可能かは、いまだ計り知れない面がある。ここでは、NX60と、CLIE T650C(以下、T650C)、m515、Visor Prism(以下、Prism)の共存に成功した例を紹介しよう。ハードディスクの約3GBのパーティションをフォーマットして、ウィンドウズXPをフルインストールした直後に実行した。

まず、T650Cに付属するCLIE Palm Desktopをインストールして、T650CでHotSyncする。次に、CLIE Palm DesktopをNX版で上書きインストールし、ハードリセット直後のNX60でHotSyncする。T650Cと同じユーザー名を設定すると、NX60はT650Cが作成したバックアップデータを復元する。以降は、PIMを共有しながら、HotSync経由で各デバイスごとにソフトをインストールすることができる。というのも、Palm Desktop 4.0.1は、バックアップコンジットの動作設定を「本体がPalm Desktopを上書き」にしておく、「Backup」フォルダーの内容は、HotSyncするPalm本体のソフト内容に完全に置き換わるためだ。従って、T650Cのソフト内容とNX60のソフト内容がBackupフォルダー内で混同することはない。同じソフトを使いたいときは、HotSyncによるインストール作業をそれぞれのCLIEに対して行う必要がある。

続いてm515を併用するために、CLIE Palm

Desktopをアンインストールしてm515に付属のPalm Desktopをインストールする。このとき、インストール先を標準設定であるローカルディスク内の「Palm」フォルダーのままにすると、CLIEとのHotSyncができなかった。そこで、インストール先を変更して「Program Files」フォルダー内に残っている「Sony PDA」フォルダーに指定してみた。インストール後、ハードリセットしたm515のHotSyncボタンを押すと「ハードウェアの検出ウィザード」が起動して、ドライバーのインストールが始まる。インストールの終了後、T650C、NX60と同じユーザー名を選択してHotSyncを開始する。このHotSyncでは、直前にHotSyncしたどちらかのCLIEのバックアップ情報が復元されてしまうため、終了後に必要ないソフトは削除しておく必要がある。

これ以降のHotSyncでは、バックアップコンジットの設定を標準の「本体がPalm Desktopを上書き」のままにしておく、T650C、



NXとのソフトの使い分けが可能だ。Palm Desktopがm515版なので、m515の「手書きメモ」はパソコンで表示できる。

Prismについては、m515用のPalm DesktopがVisorをサポートしているため、HotSyncボタンを押すと、「ハードウェアの検出ウィザード」が起動して、ドライバーのインストールが始まる。m515の場合と同様の手順を進めると、ほかの3機種とソフトを混同せずに使うことができる。

この例では、3メーカーのPalm計4台、Palm OS 3.5 / 4.1 / 5.0の間でPIMデータを共有し、ソフトはデバイスごとにインストールできる環境を構築できたことになる。

ここで紹介する手順はあくまでも検証環境での成功例です。

簡単! 確実!
だから安心!

NX 移行術 PART-2

オリジナルのデータと 設定を移行する

ここでは、Palm OSの「環境設定」や、Palm上で使用していたWebブラウザのブックマークなど、ユーザー固有のデータをNXに移行する方法や、カスタマイズの移行に関する情報をまとめておこう。



メールのデータは移行できる？

Palmの標準メールソフト「メール」は、NXには付属していないため、メールのユーザーは、NXへの移行とともに「CLIE Mail」に乗り換えることになる。メールデータは、メールソフトごとに独自のデータベースファイルで管理されているため、メールが作成/参照するメールデータをCLIE Mailにそのまま移行することはできない。

そこで、Palm内のメールデータはHotSyncを利用してNXに渡すことになる。まず、HotSyncの動作設定で、メールコンジットの動作を「ファイルを同期」にして、移行元

のデバイスでHotSyncを行う。次に、Palm DesktopをNX版に入れ替えて、CLIE MailとCLIE MailコンジットをNXにインストールする。CLIE Mailと同期するメールソフトを指定して、HotSync時のコンジットの動作は「ファイルを同期」を選択する。この状態でNXでHotSync実行すれば、Palmに保存されていたメールデータを、NXに転送できる。

以前からCLIEでCLIE Mailを使用していた場合も、同じような手順で、CLIE MailとCLIE Mail Conduitを上書きインストール

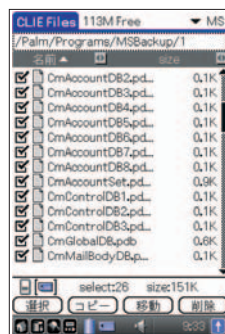


図 「Cm」で始まるファイルを移行すると、CLIE Mailのフォルダ分けやアカウント設定を移行できる

して、NXとパソコンのメールソフトを同期する。また、ファイル名が「Cm～」で始まるCLIE Mailのファイルを移行すると、メール本文だけでなく、設定自体を移行先に反映させることが可能だ(図)。



ユーザー辞書は移行できる？

ユーザー辞書は「FEP_UserDICT.pdb」というシステムファイルで管理されている。このファイルを上書きコピーすると、それまで使っていたPalmからNXへユーザー辞書を移行できる。パソコン上で作業するならば、使用していたユーザー名のBackupフォルダ内にある同ファイルを、HotSync経由でNXにインストールしよう。もちろん、メモリーカードを使った移行も可能だ。その場合は、PIMデータも同じ要領でNXに移行できる(表)。それ以外の各種設定も同じ方法で移行可能だが、システムファイルによっては、上書きすると「致命的

なエラー」が発生することもある。

これまで「ATOK for Palm OS」を使って、登録した単語をNXに移したいなら、「ATOK パワーアップツール」を利用しよう。ユーザー辞書の一括出力/登録や、学習データベースのバックアップ/リストアが可能だ。製品版には付属しているが、バンドル版のユーザーは、(株)ジャストシステムのサイトから入手する(図 <http://www.justsystem.co.jp/palm/sd2.html>)。移行元のデバイスとNX上のATOK for Palm OSのバージョンに対応したものをインストールして作業開始だ。



NR系の外観カスタマイズはできる？

NR系の外観カスタマイザーには、高橋大樹氏が作成した「Crs-SkinLoader」(フリーウェア、<http://crspalm.hp.infoseek.co.jp/>)がある(図)。NRシリーズのグラフィティエリアの外観をスキンファイルで変更できるソフトだが、現在最新バージョンの0.3は、残念ながら、NX上では正常に動作しない。



図 Crs-Skin LoaderのNX対応版を待ち望むユーザーは多い。外観カスタマイズに興味があれば、まずホームランチャーの置き換えなどを試してみよう

表 上書き可能なシステムファイルと移行できる内容

AdressDB.pdb	アドレス
DatebookDB.pdb	予定表
ToDoDB.pdb	To Do
MemoDB.pdb	メモ帳
FEP_UserDICT.pdb	ユーザー辞書

Q

ブックマークは移行できる？

これまでXiinoを使って、PalmでWebブラウジングをしていたユーザーの中には、引き続きXiinoを使いたい向きもあるだろうが、同ソフトは、現状(Ver.2.1J)ではOS 5に対応していない(編集部で検証したところ、チャンネルのインストールと閲覧、XiinoCruiserを利用した巡回と閲覧などは可能だったが、URLの編集操作ができなかった。操作によってはソフトリセットを要することもあった)。

従って、NXに付属するインターネットブラウザ「NetFront」に、Xiinoに保存して

いたブックマークを移行したくても、XiinoのURL編集画面でブックマークをコピーして、NetFrontのURL入力画面にペーストするという操作ができない。

地道な解決になるが、NetFrontにブックマークを移行するには、パソコン上でXiinoのブックマークを管理する「Xiino BookMarks」(Xiinoに付属)を使おう。URLをPalm Desktop経由でNXのメモ帳にまとめておけば、NetFrontで徐々に移行することができる。

メモ帳をいつでもポップアップ表示できるHack / DA環境を整えておけば、NetFront



図 NetFrontのURL入力画面で、daMemoPadを起動。URLをコピー&ペーストできれば、文字をグラフィティで入力しなくて済む

上でURLを入力する際のストレスは軽減できる。「TealMaster」と「PopUp Note」、「DA Launcher」と「daMemoPad」などの組み合わせを検討してみよう(図)。

Q

HackやDAは使える？

Hack基本ソフトについては、米ティールポイント社が提供する「TealMaster」(価格 9.95ドル、URL <http://www.tealpoint.com/>)がOS 5との互換性をうたっている。ただし、個々のHackソフトについては、通常のソフトと同じように、きちんと動作確認をしておこう。

DAでは、山田達司氏の「DA Launcher」(価格 フリーウェア、URL <http://www.simple-palm.com/>)がすでにPalm OS 5に対応している。詳しい情報は、49ページの「OS 5 Magazine」で紹介している。

Q

コンジットを移行する手段は？

HotSyncひとつでさまざまなデータをパソコンと同期できるコンジット。NX環境への引き継ぎは次のようにすれば可能だ。

まず、それまで使っていたCLIEからNXに移行する場合は、CLIE Palm DesktopをNX版で上書きインストールするときに、コンジットも自動的に引き継ぐことになる。PalmからNXに移行するためにPalm Desktopを入れ替えた場合でも、CLIE Palm Desktopを起動して、「HotSync」メニューから「動作設定」を選択すれば、使用していたコンジットの設定は、これまでと同じよ

うに行うことができる。

ただし、動作確認はほかのソフト同様、きちんと済ませておくほうが無難。まず、NX上でパームウェアの動作に異常がないか確認した後、HotSyncをして、データの同期をチェックしておこう。

Officeソフトと同期できる「Documents To Go」は、NX対応版が付属CD-ROM内に収録されているので、そちらを上書きインストールしよう。以前のバージョンをそのまま使用すると、表示に不具合が生じたり、書類の同期がうまくとれないことがある。

if 「致命的なエラー」が出たら？

移行元のデバイスで使っていたソフトやファイルを追加していくと、NXとの相性や、ソフト同士の相性によって「致命的なエラー」が発生することがある。そのときは一拍おいて、エラーメッセージの「OK」をタップしよう。インストールしたソフトやオリジナルデータを保存したままNXを再起動できる。この方法がソフトリセットだ。「OK」のタップにNXが反応しないときは、本体背面のリセットボタンを押して強制的にソフトリセットを実行する(図)。

ソフトリセット後、すぐに致命的なエラーとなる、フリーズするといった場合は、Hackソフトやパッチなどの機能拡張を無視して再起動できる「ウォームリセット」を試みよう。

上ボタンを押しながらリセットボタンを押して実行する。その後、最後にインストールしたHackソフトを削除するなどして、動作の安定化を目指そう。

これらのリセットを実行してもエラーが発生する場合は、ユーザーがNXに追加したデータをすべて削除してメモリーを初期状態に戻す「ハードリセット」を実行しよう。手順は以下の通りだ。

電源ボタンを押したまま、リセットボタンを押し、「Palm Powered」のロゴが現れたら電源ボタンを離す。「データをすべて消去しますか？」とメッセージが現れたら、「はい」を意味する上ボタンを押す。CLIE Demoが流れた後、



図 「RESET」と書かれた左の小さな穴がリセットボタンだ。ねじ式のピンになっている標準スタイルの上部や、クリップなどを使おう

初期設定の画面が現れるので、デジタイザの設定などを終えたら、ソフトのインストールをやり直そう。

まず、Backupフォルダーをデスクトップなどに移動してから、ハードリセットしたNXをHotSyncしてユーザー名を設定し、PIMデータを復旧する(このとき、空のBackupフォルダーが新たに作成される)。その後、取り出しておいたBackupフォルダーからソフトやファイルをひとつずつインストールして動作を確認していくと安全だ。

ショッピングリスト表示と整理方法

リスト表示は見やすい？ 購入した商品の処理は？ 買い物時の使いやすさをチェック

ジャンル別・ パームウェア 真剣

数あるパームウェアの中から定番ソフトを取り上げて、機能や使い勝手を徹底比較。一平とカナ、果たして2人の結論やいかに!?



カナ: ふう、やっと仕事が終わった～。今日はスーパーへ寄って夕飯の買い物をしなくちゃ。
一平: カナちゃん、買い物にはショッピングリストソフトだよ!
カナ: 先輩、何ですか突然。また、お得意のPalmウチク話ですか? 早くしないとスーパーが閉まっちゃうから帰らせてくださいよ。
一平: 何を言ってるんだ、何事も事前にしっかり準備するのが基本だろ!? だいたいオマエは危機管理がなったらん! 買い忘れて泣くハメになっても俺は知らんからな!
カナ: た、たかが夕飯の買い物にだけさな……。ハア、そんなに自慢したいんなら付き合ってくださいよ。でもちょっとだけですからね!

HandyShopper

夕飯の用意 ▼ すべて

アルミホイル	1	150.00	<input type="checkbox"/>
ウーロン茶	1	180.00	<input type="checkbox"/>
お米	1	1400.00	<input checked="" type="checkbox"/>
しょうゆ	1	180.00	<input type="checkbox"/>
マヨネーズ	1	250.00	<input type="checkbox"/>
牛乳	1	230.00	<input type="checkbox"/>
キャベツ	1	150.00	<input checked="" type="checkbox"/>
たまご	1	100.00	<input checked="" type="checkbox"/>
もやし	1	60.00	<input checked="" type="checkbox"/>
大根	1	100.00	<input checked="" type="checkbox"/>
味噌	1	250.00	<input checked="" type="checkbox"/>

合計金額を表示
アイコンの設定も可能
各商品の詳細を設定する
「All」「Need」切り替えボタン

チェックマークを付けると商品名がラインで消され、リストの下方向へ移動する。「All」画面では、購入済み/未購入の商品名をすべて表示する。

SplashShopper

夕飯の... ▼ All ▼ All

Item	Q	Price	
お米	1	4000.00	<input type="checkbox"/>
キャベツ	1	150.00	<input type="checkbox"/>
しょうゆ	1	180.00	<input type="checkbox"/>
たまご	1	100.00	<input type="checkbox"/>
マヨネーズ	1	250.00	<input type="checkbox"/>
もやし	1	60.00	<input type="checkbox"/>
牛乳	1	230.00	<input type="checkbox"/>
大根	1	100.00	<input type="checkbox"/>
味噌	1	250.00	<input type="checkbox"/>

購入済み商品にはアイコンが付かない
「All」「Need」切り替えボタン
合計金額は合計/購入済みの合計/未購入の合計から選択可能

購入済み商品にチェックマークを付けるとリストから消える。「All」に切り替えると、購入済み商品だけアイコンが外されて表示される

- 「HandyShopper」のリストは見やすいし、操作ボタンがまとまっていて使いやすいなあ。
- これって合計金額は出ないんですか?
- リスト画面では出ない! だが安心したまえ。そういった、HandyShopperの細かい弱点を SplashShopper 改善したのが「SplashShopper」なんだ。ほら、消費税込みの合計金額が出るだろう? Shopping Partner」とか「Purchase Pal」

Shopping Partner

Item	Store	Price	Get
アルミホイル	駅前スーパー	150	<input checked="" type="checkbox"/>
ウーロン茶	駅前スーパー	180	<input type="checkbox"/>
お米	駅前スーパー	4000	<input checked="" type="checkbox"/>
キャベツ	駅前スーパー	150	<input checked="" type="checkbox"/>
しょうゆ	All	180	<input type="checkbox"/>
マヨネーズ	コンビニ	250	<input type="checkbox"/>

購入済み/未購入のチェックボックス
タップすると合計金額を表示

1ページの表示商品数は6つ。商品が多い場合は画面をスクロールすることで閲覧する。合計金額表示では、消費税を計算に入れる機能を持たない

Purchase Pal

Item	Store	Y/N
アルミホイル	駅前スーパー	<input type="checkbox"/>
ウーロン茶	コンビニ	<input type="checkbox"/>
お米	駅前スーパー	<input type="checkbox"/>
キャベツ	駅前スーパー	<input type="checkbox"/>
しょうゆ	駅前スーパー	<input type="checkbox"/>
たまご	コンビニ	<input type="checkbox"/>
マヨネーズ	駅前スーパー	<input type="checkbox"/>
牛乳	All	<input type="checkbox"/>

購入済み商品リストではチェックマークが付く
購入済み/未購入商品の表示切り替え

購入済みの商品を「Buy」、未購入を「Don't Buy」で別々に表示。合計金額の計算、各商品の値段を設定できず、リストにも表示されないのが残念

- Palは、よりシンプルで画面も見やすいよ。
- うちの近所で買い物するなら、Shopping Partnerくらいのリスト量でいいかな。
- でも後者2つは、リスト表示の状態では購入商品にチェックマークを付けられないんだよね。
- ところで全部英語のソフトですけど、日本語はちゃんと表示できるんですか?
- それは問題ない。円での計算も大丈夫だよ。

HandyShopper

作者: Chris Antos 種別: フリーウェア
http://www.palmgear.com/
メモ帳への書き出し、電卓での数値入力機能など、実用的な機能を多数搭載。富永聡氏による日本語ローライザーもある(最新版の2.6には未対応)

Shopping Partner

作者: Clothesrack.Net 種別: フリーウェア
http://www.clothesrack.net/
ショッピングリストの使用に必要な最小限の機能をまとめたソフト。そのため多機能ではないが、逆にそのシンプルさが光る逸品

SplashShopper

作者: SplashData, Inc. 種別: シェアウェア(19.95ドル)
http://www.splashdata.com/
HandyShopperの弱点をことごとく追及してさらに磨き上げたソフト。HandyShopperのデータが扱え、パソコンでデータを編集するソフトも付属

Purchase Pal

作者: IZ Software 種別: シェアウェア(5.50ドル)
http://www.geocities.com/iz_software/
普段の買い物以外にも贈り物のリストなどを独立させ、価格の比較や購入記録を残すこともできる

データ入力のしやすさ

購入商品のデータ入力を、どれだけ手を煩わさずに行えるかを検証

- ところで、お買い物のリストってどうやって作ればいいんですか?
- よし、やってみせよう。「HandyShopper」はリスト表示画面に直接グラフィティ入力できるんだ。「Shopping Partner」と「Purchase Pal」は、各商品の詳細画面に切り替えてから入力することになるから、ちょっと不便だな。
- ホントだ。HandyShopperに比べて入力項

- 目も少ないですね。Shopping Partnerは数量が入力できないし、Purchase Palは商品名と店名、購入済みチェックの3つしか入力できない……。
- 確かにShopping Partnerで数量が入力できないのは痛いけど、「Description(記述)」欄に書き込めばノープロブレム! 購入製品にチェックマークを付けるには詳細画面を開く必要が

- あるから、そのときに数量は確認できるだろ!?
- なんか、苦しい言い訳っぽいですね。ま、Shopping Partnerは、入力済みのデータがコピーできるから、ちょっとは楽かも。グラフィティを使わないで入力できればもっといい!
- まったく面倒くさがりだな、オマエ! そういうやからには「SplashShopper」だな。リストの編集/作成がパソコンでできる「SplashShopper Desktop」が付いているから文句はないだろ!

3

ショッピングリストの分類方法

目的別にショッピングリストを作れば便利。リストが複数作れるかをチェックしよう

使い心地のいいソフトをゲットしたい!

勝負

← ショッピングリスト



Illustration ほしんいち

このページで紹介しているパームウェアは、付属CD-ROMに収録しています



石寺一平 (33歳)
CLIE T600を愛用する、総合社勤務の営業マン。気に入ったパームウェアの良さをみんなに伝えたいと、誰彼なくつかまえては熱く語り出す熱血漢



鷺沢カナ (24歳)
一平と同じ課の後輩で、最近m130を彼に譲ってもらった。クールな性格ゆえ、すぐに熱くなる一平に辟易する一方、少々うらやましく感じることも



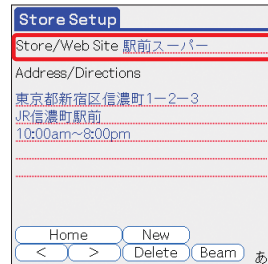
HandyShopper



ショッピングリスト形式を選ぶ

目的別にデータベースを作成するため、複数のリストが作れる。「per-store prices」にチェックマークを付けると、商品価格を店ごとに比較検討できる

Shopping Partner



店舗名だけの入力でもOK

複数のショッピングリストを作れず、カテゴリ分類機能もない。ただし、購入先を「Store Setup」画面であらかじめ登録しておくようになっている

SplashShopper



店舗リストは各商品の詳細情報を開いて「Store」メニューから「Edit」を選ぶ
リストごとに税率を登録

複数のリストが作れ、HandyShopper同様「Per-Store Prices」も選択できる。ただし、リストごとに税率や店舗リストを設定し直す必要がある

Purchase Pal



目的別のリストが3種類、あらかじめ用意されている

普段の買い物に使う「Shopping List」は1つしかリストを作れないが、あらかじめ「Gifts」と「Future Buys」のリストが用意されている

① カナちゃん、買い物のときにリストを作ることってどれくらいある？

② そうだな～、お休みのショッピングのときはブラブラ見て歩くのが楽しいから作らないし、日用品や食料品を買うときかな。あとは贈り物を買うのが何件か重なったときとか……。

③ そんなキミにうってつけなのが「Purchase Pal」だ！ これは目的別にリストが分かれていて、贈り物リストもあるんだよ。

④ おもしろ～い！ イベント好きな人にはいいかも。ところで、買い物リストっていくつも作れるんですか？ 例えば、今日と明日の

買い物に分けるとか、目的別に分けるとか。

① リストを複数作れるのは「HandyShopper」と「SplashShopper」だ。「Shopping Partner」とPurchase Palは、残念ながら作れない。

② あれ、Purchase Palはほかにもリストが作れるって、いま言ったばかりじゃ？

③ 贈り物と今後買う予定の商品用、この2ジャンルのリストがあらかじめ用意されていて、普段の買い物用は1つしかないんだ。

④ う、帯に短しタスキに長し、っていう感じ。目的に合わせて変更できればもっとよかったな。

HandyShopper



購入先を選ぶ カテゴリ分けできる
「Stores」ボタン 数量の単位を選択可能

「Details」では数量の単位やクーポンの有無、優先度などが設定できる。購入先も複数のお店を指定可能だ

Shopping Partner



購入先をメニューから選択
購入済み商品にチェックを入れる

各商品をタップし、詳細画面で登録/編集を行う。購入先はメニューから選べ、表示中の商品をコピーできる

SplashShopper



ポップアップメニューからも選択できる。
商品の新規登録/編集も可能

各商品をタップして表示する「Item Details」では、事前に登録しておくことで商品名をメニューから選べる

Purchase Pal



タップするとリスト画面に戻る
購入先をメニューから選択

贈り物リスト「Gifts」は贈る相手や購入期限、購入計画リスト「Future Buys」は発売日や詳細情報を記入できる

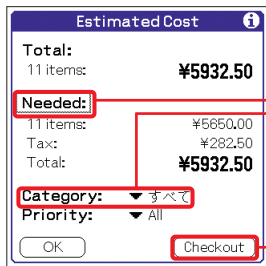
片手モード



ジョグダイヤルか「ToDo」ボタンを押せばチェックが入る

「One-handed mode」モードを選択すると、CLIEのジョグダイヤルやハードウェアボタンで商品を選択したり、購入済みのチェックマークを付けられる

合計金額計算



購入済み(Purchased)/未購入(Needed)の切り替え
 カテゴリー別に計算可能
 買い物を終えたときにタップすると購入済み商品を「Need」リストから削除してリストをリセット

「Estimated Cost」では、買い物の合計金額を消費税も計算に入れて購入済み/未購入に分けて計算する。カテゴリー別や優先度別の計算もできる

- ④ 買い物してるときってカゴを持ったりカートを押したりで、片手はふさがっちゃう。Palmをスタイラスで操作するなんて、物理的に無理っぽくないですか？
- ① フ、甘いな。まずは、商品選択や購入済み商品のチェックをハードボタンでできる「One-handed mode」を試してみてくださいませ。
- ④ あ、それならいいですね。でもやっぱり、合計金額を表示してくれないのが気になるな～。
- ① 商品価格の上にある「\$」マーク(初期設定で変更可能)をタップすれば、別画面で合計金額が

Best Buy



1個あたりの値段を表示
 AとBのどちらが安いか表示

まとめ売り商品の単価を計算し、どちらのお店の値段が安いのかを比較する。1円単位の細かな価格表示で、暗算では単価が計算しにくいときに便利

- 表示されるんだ。消費税の計算はもちろん、商品をカテゴリーや優先順位で分けておけば、カテゴリーごとの合計金額も計算できる。ほかにもまとめ売り商品の単価を計算して比較検討できる「Best Buy」なんて機能もあるぞ。
- ④ 至れり尽くせり、っていう感じですね。でもそんなにたくさんの機能、使いこなせるかなあ!? データの入力もグラフィティーでしかできないみたいだし。
- ① 文句の多いヤツだな! 「HandyShopper」は、メモ帳のデータとして書き出し/読み込みができるんだ。だから、リストはPalm Desktopで作るようにしてみればいいんじゃないか?



HandyShopper

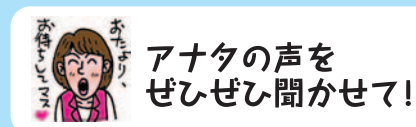
便利機能盛りだくさんのフリーウェア

- リストが見やすく、入力もしやすい。消費税率の変更、アラーム、優先度、アイコン添付などの機能が満載
- ✕ 合計金額がリスト内で表示されず、別画面での確認になるなど、やや使い勝手が悪い部分もある

Shopping Partner

シンプルで使いやすく親しみやすい逸品

- 複雑な機能がなく、マニュアルなしですぐに操作を覚えらる。インターフェースデザインも良く、リストも見やすい
- ✕ 目的別に複数のリストを保存できない。購入済みチェックマークがリスト画面の状態では入れられない

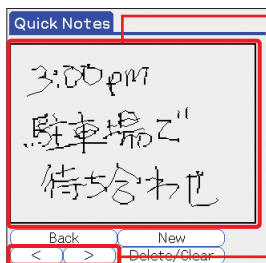


アナタの声をぜひぜひ聞かせて!

- 立つのがどこに駐車したかを記録しておける「Parking Locator」だな。ああ、なんて使う人のことを考えてるんだ、ってシビレたよ。
- ④ わあ、駐車料金や何時から駐車したかまで記録できるんですね!
- ① Palmがもう1台あれば買い物の内容をピームできるから、手分けして買い物できるしな。
- ④ 先輩、お言葉ですが、一緒に買い物に行ってくれる人を探すほうが先なのでは.....?

Shopping Partner

Quick Notes

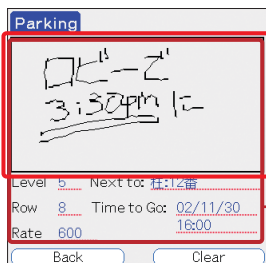


手書きメモ
 前次のメモに移動

買い物中にちょっとメモを取りたいときに「Quick Notes」を使えば手書きでのメモが可能。複数作成してもそのまま保存しておける

- ④ アタシはやっぱりシンプルでとっつきやすい「Shopping Partner」がいいかな～。先輩、これには何か面白い機能ってないんですか？
- ① よくぞ聞いてくれました! シンプルなソフトとはいえ、便利な機能がバッチリ搭載されてるぞ。まずは「Quick Notes」だな。要するに手書きメモだ。
- ④ あ、気になった商品なんかをちょこっとメモするのにいいですね。メモが1枚しか書けなかったら困るけど、これは何枚も書いて保存できるのがすごいイイ!

Parking Locator



手書きメモ
 駐車場所に関するデータを入力

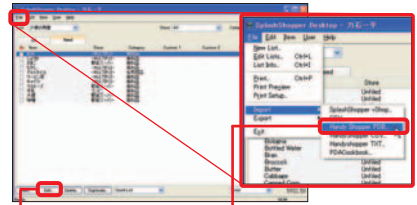
メイン画面で「Where did I park?」をタップすると、駐車場情報を記録する「Parking Locator」が開く。階数、目印、列、制限時間、料金が記録可能

- ① だるだる? だからリストにグラフィティーでデータ入力するのが面倒だったら、全部手書きで書いてあげばいいんだよ。
- ④ それじゃあ紙にメモ書いて持っていくのと一緒じゃないですか!
- ① しまった、その通りだ.....。ま、ちょっとした買い物ならそういう使い方もアリかもな。俺はガツーンとまとめ派だからなあ。最近では日本でも大きな駐車場がある大型ショッピングセンターが当たり前になっただろう? 俺は車で行くことが多いんだが、そんなときに役

- ① 「SplashShopper」ならカナちゃんの不満をばっちり解消してくれるぞ!
- ② エ、私の営業成績が上がるのか?
- ③ ショッピングリストと関係ないだろ! そうじゃなくてデータ入力が楽になるってことだよ。パソコン用ソフト「SplashShopper Desktop」が付属してるから、パソコンでデータの編集や作成ができるんだ! これはまさに革命だ!!
- ④ そんな大げさな……。ただ編集できるだけだったら「HandyShopper」のメモ帳書き出し/読み込みと変わりませんよ。
- ⑤ それはキミの認識不足。SplashShopper Desktopは、HandyShopperのデータがそ

- のまんま読み込めるから、乗り換えも楽勝なんだぜ。
- ⑥ でも操作感が変わったり、今まで使えてた機能がなくなったりしたら困っちゃうと思うな。
- ⑦ SplashShopperは、フリーウェアのHandyShopperをもっと使いやすくしたソフトなんだ。その辺は抜かりはないぞ。
- ⑧ たしかにどちらも見た目はそっくりだし、機能も同じのがいっぱいありますよね。SplashShopperでもリストで表示する項目を選べたり、片手で使える「No Stylus Mode」もある。操作にほとんど迷いませんね。

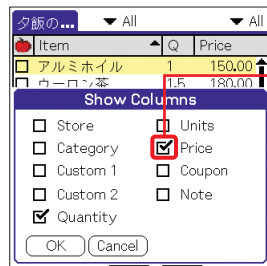
SplashShopper Desktop



各商品のデータを変更できる「Edit」ボタン
PDB形式のHandyShopperファイルを読み込む

「SplashShopper Desktop」を使えばパソコンでもショッピングリストを作成/編集できるうえ、HandyShopperのデータファイルも読み込める

表示項目設定



チェックしたもののだけ表示

「Show Columns」でリストに表示する内容(コラム)が選べる。リスト表示画面では、コラム名の境界線をドラッグすることで幅を変えられる

スタイラス不要モード



チェックを付けたボタンだけで操作可能に

各ボタンの操作内容

「No Stylus Mode」を選択すると、ハードウェアボタンだけで操作ができる。オン/オフは、リスト選択画面の「Options」メニューでのみ可能

ショッピングリストは、多機能を求めるかシンプルさを求めるかで好みが分かれるようだ。これは、とりえずメモ程度に使えればいいのか、データベースとして活用したいかという考え方の違いによる。自分に合った操作感のソフトを見極めるのも大切な!

SplashShopper

HandyShopperの弱点を補強した究極版

HandyShopperの使い勝手の悪さを細かい部分まで見直して作られたソフト。パソコン用ソフトが付属、データの編集が楽

商品名や価格のサンプルデータが大量にプリインストールされているが、日本人向けではないため削除せざるを得ない

Purchase Pal

贈り物用のリストなど個性的な機能を搭載

今後買う予定の商品や贈り物は、通常のショッピングリストとは区別できる。価格比較機能も搭載されている

ショッピングリストのみ商品データ項目数が少ない。価格比較機能に使うデータの登録方法が少々複雑で、使いにくい

パームウェアを实际使っている人の声を募集してます。次回取り上げるジャンルは「小遣い管理ソフト」。使用中のソフトで気に入っている点やソフトに関するエピソード、作者さんへの要望など、何でもどうぞ!

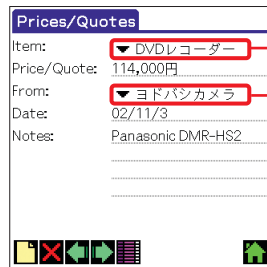
E-mail : palm-magazine@ml.ascii.co.jp

または、アンケートページにある「本書についての感想」欄でもOK。標題を「真剣勝負宛」でお願いします。

熱いご意見、お待ちしております。

Purchase Pal

Edit Prices/Quotes



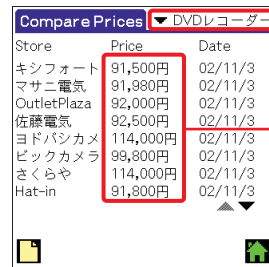
「Edit Price/Quote Items」で登録した商品から選ぶ

「Edit Stores/Suppliers」で登録した購入先から選ぶ

商品と購入先をメニューで選び、商品価格と購入日、メモを付けて保存する。登録したデータは商品別に「Compare Prices」のリストへと追加される

- ① 「Purchase Pal」には買い物記録を残せる「Expenses」(支出)項目がある。家計簿の参考にしたたり、以前の買い物との比較ができるよ。
- ② ショッピングリストで購入済みにしたものがそのまま記録されるってことですか?
- ③ いや、自分であらためて記録するのだ。
- ④ ブー、自動的に記入されないとメッチャ不便!
- ⑤ まあまあ、アイテムごとに他店との価格を比べられる「Compare Prices」機能もあるし。
- ⑥ このデータも、一から入力するんじゃ……。
- ⑦ Compare Prices画面の左下にある新規デー

商品価格の比較



比較したい商品を選択

店名と価格がリスト表示される

「Compare Prices」のリスト画面では、購入先や価格、日付が表示される。商品別に表示できるので、どの品がどの店で安いのかを見極めやすい

- ⑧ タ作成ボタンをタップすると、価格や購入日時を入力できる「Edit Prices/Quotes」画面になる。ここでは商品名と店名がポップアップメニューから選べるから、入力は結構楽だけどなあ。
- ⑨ でも結局は、あらかじめ登録しておかなくちゃならないってことでしょ? キー!
- ⑩ そうはいつでも、Compare Pricesは商品ごとに複数のリストが作れるから便利だよ。店舗ごとに価格を比較したいとき、例えば電化製品なんかを購入するときなんかいいね。

GO GO Palm Gamers!

160×160ドットで遊び倒せ!



「Master Thief 3D」はPDAでは初登載となる「Mobile-Wizardry 3Dエンジン」の能力をフルに生かした大迫力の3Dアクションゲームだ。リアルな描画が生み出す迫力と臨場感を、ぜひ堪能してほしい

小野寺 浩二 文



付属CD-ROMに今回掲載したゲーム(シェアウェアはお試し版)が収録されています。



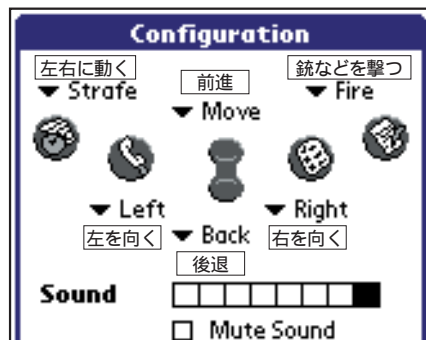
敵の拠点に潜入し、ミッションを完遂せよ

Master Thief 3D Ver.1.0

細密な3Dグラフィックによる視覚効果が素晴らしい本格3Dアクションゲーム。描画は、カラー版でもストレスを感じさせないほどスピーディーだ。Palm OS 5にも対応する。

産業スパイ組織に属する謎の女性工作員「Nebula」は、特別なミッション - - 敵組織の極秘アイテムを盗み出す - - を遂行するために、警戒態勢の建物内に単身で潜入する。通路が複雑に入り組んだ内部では、さまざまな敵やトラップが彼女を待ち受けていた。果たして彼女は目的のアイテムが眠る部屋にたどり着き、ミッションを完遂できるだろうか!?

操作



上記のほかに、「予定表+メモ帳」ボタンで武器を取り換え、「予定表+下」ボタンでスキャナーを使用する。グラフィティーで移動することも可能だ



作者 / 英カスカータ社
 価格 シェアウェア (14.95ドル)
 URL <http://www.cascatagames.com/>
 対応OS : Palm OS 3.3以上

敵キャラクター



ガードマン

銃で武装した最もスタンダードな敵。とてもしつこく攻撃してくる。銃で応戦しないと歯が立たない

番犬

鋭い嗅覚で気配を察知し攻撃を仕掛けてくる。銃弾が当たりにくいので、スタンガンで気絶させよう



ミニロボット

偏光パルス砲で武装した兵器ロボット。特殊なパルス波を放射する「EMP」を使えば停止させられる

SG309c

強力な武器を装備した兵器ロボット。EMPや破壊力のあるグレネード弾を使って撃破しよう



1 振り向けば敵が! 手持ちの武器をうまく使い分ける



建物内のどこかに配置してある銃やグレネード弾などの武器を拾い出し、次々と現れる敵を倒して進もう。また、防弾チョッキや暗視ゴーグルなどの特殊アイテムは、ピンチから身を守ってくれるはずだ

2 扉の向こうに待つものは?

重要な部屋は電子ロックによって厳重に施錠されている。決められた回数以内に4ケタのコードを解読してロックを解かなくてはならない。また、侵入するためにカードキーが必要となる部屋もある



Nebula, use your skill at lockpicking to open this door

Palmware Games

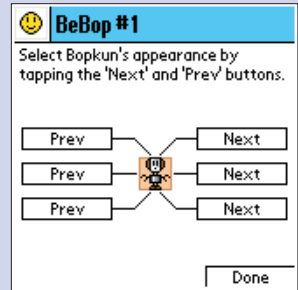
愉快的なキャラクターたちが大活躍する育成ゲーム「BeBop」は手軽に、しかもじっくりと楽しんでお勧めだ。そのほか、エキサイティングなスポーツシミュレーションゲーム2作品も要チェック！

BeBop Ver.1.7.0

作者：Dejobaan
 シェアウェア(14.95ドル)
<http://www.dejobaan.com/>
 対応OS：全機種



最初の資金200ドルで基本的なアイテムを揃える。資金を増やして、より快適な環境を作り上げよう



頭、上半身、下半身の各パーツを自由に組み合わせて、好みのキャラクターをデザインできる

Football Ver.1.0

作者：proprog
 シェアウェア(9.95ドル) / <http://www.palmgear.com/software/showsoftware.cfm?sid=93261020010910050000&prodID=45124>
 対応OS：Palm OS 3.5以上



素早いパスワークでゴールを目指し、鮮やかなグラフィックのサッカーシミュレーションゲーム

Tennis Addict Ver.1.1.5

作者：加ヘキサクト社
 シェアウェア(19.95ドル)
<http://www.hexacto.com/>
 対応OS：Palm OS 3.5以上



16人のキャラクターと4種類のコートを選ぶことができる、本格的なテニスゲーム

オシテメッセ Ver.1.1.5

作者：(株)CRI・ミドルウェア
 フリーウェア
<http://www.cri-mw.co.jp/>
 対応OS：Palm OS 2.0以上



フィールド上のキャラクターを移動し、同じものを4つくっつけて消してゆくパズルゲーム

GrandPrix Ver.1.0.0

作者：NOB
 フリーウェア
<http://nob.servehttp.com/nob/>
 対応OS：Palm OS 3.5以上



カードゲームの要素を取り入れたレーシングゲーム。うまくカードを選んでゴールを目指そう

Pocket将棋 Ver.2.0.1

作者：竹前 昌明
 シェアウェア(1200円)
<http://www.valley.ne.jp/takemae/index-j.html>
 対応OS：Palm OS 3.5以上



CLIE NXシリーズ、Palm OS 5に対応した定番の将棋ゲーム。7つのレベルを選択できる

GravityBall Ver.1.41

作者：Handarea
 シェアウェア(8.95ドル)
<http://www.handarea.com/>
 対応OS：カラー表示対応機種



何層にも積み重なったブロックをうまく動かし、ボールを転がしてゴールまで導こう

マックユーザーのための



パーム

わんわん

寺子屋

モバイル犬ポチが手ほどきします。

第4回

文 / 田中裕子 (モバイル犬ポチ)
イラスト / nom



今回の課題

CLIE NX70Vを マックOS Xで使い倒せ!

Palm OS 5搭載でマルチメディア機能満載の「CLIE PEG-NX70V」。マック非対応だが、NX70Vのマルチメディア機能は実はマックととても仲がいい。今回はNX70Vをマックでとことん使い倒す方法を紹介しよう。



NX70Vはマックユーザー が一番楽しめるPDA

CLIE PEG-NX70V(以下、NX70V)は、静止画&動画撮影、ボイスレコーダー、音楽再生機能などなど、マルチメディア機能がてんこ盛りのパワフルなマシン。マックは正式サポートされていないので、魅力を感じていても「マックと連携できないんじゃないの?」と購入を躊躇している人もいるのではないだろうか。しかし、NX70Vのマルチメディア機能で採用されているファイル形式はマックでも表示・再生できるJPEGやWAVといった一般的な形式が多く、動画のファイル形式はマックに標準搭載されている「クイックタイム6」で再生できるMPEG4が採用されている。NX70Vこそ、実はマックユーザーが一番楽しめるPDAなのである。今回は、マックOS X 10.2でNX70Vをとことん楽しむ方法をご紹介します。

NX70VとマックをHotSyncするため

には、「The MissingSync 3.0 (価 3980円)」が必要だ。HotSyncだけでなく、iPhotoやiTunesと連携したり、メモリースティックをマックのデスクトップにマウントできるなど何かと便利なので、マックユーザーにはおすすめのソフトだ。ソニー(株)のオンラインショップ「PDA Style (http://www.jp.sonystyle.com/peg/)」のほか、ネオスコポレーション(株)(http://www.neoscorp.co.jp/)やビザビ・ハンダンゴ(http://www.visavis.handango.com/)でも購入が可能だ。

The MissingSync 3をインストールすると、特別に初期設定などを変更しなくても、マックで普通にHotSyncができるようになる。ただし、本原稿執筆時点で最新版のThe MissingSync 3.03では、バックアップが途中で止まるという不具合がわかっており、メーカーの対応待ちの状態だ。現状での対策は、HotSyncのコンジット設定を開き、「バックアップ」の設定を「何もしない」にして、それを初期設定にして



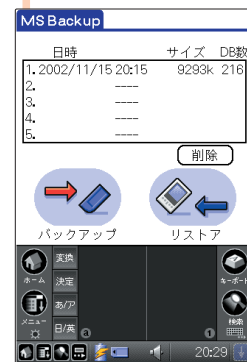
動画や音声ファイルが 全部マックで再生可能!



NX70V付属のデジカメで撮った写真はiPhotoで、動画はクイックタイムプレーヤーで、ボイスレコーダーで記録した音声はiTunesでそのまま再生できる。これはとってもグッド!



当面バックアップは メモリースティックで



The MissingSyncでNX70Vのバックアップをとると途中でHotSyncが止まる不具合があるが、そこはメモリースティックでカバーすればOKだ

チェックポイントの指標



満足



普通



残念

おくこと。ではバックアップはどうしたらいいかといえば、そこはメモリスティックを使ってカバーしよう。NX70Vには「MS Backup」というバックアップソフトがあるので、メモリスティックを使って定期的にバックアップをとっておけばOKだ。メモリスティックは、NX70Vの動画や写真、ボイスレコードデータを保存したり、MP3ファイルを持ち歩くのに必要なので、64MBや128MBの容量のものをひとつ購入しておくのがオススメ。

● iTunes、iPhotoと連携しよう

以前この連載でもご紹介したが、The MissingSync 3を使うと、iTunes3やiPhotoとCLIEを連携させることが可能だ。連携方法はいたって簡単。iTunesやiPhotoを立ち上げた状態で、メモリスティックを差したNX70Vにインストールされている「MS Import」を使ってマックと接続を行えばいい。iTunesならば、iPodのように入力源にCLIEがマウントされる。ここにライブラリーから音楽ファイルをドラッグ&ドロップすると、NX70VのメモリスティックにMP3ファイルが転送されてそのままNX70Vで聴けるのだ。iPhotoも同様に、MS Importを使ってNX70Vをマウントし、NX70Vで撮影した画像をiPhotoに取り込んだり、逆にiPhotoからNX70Vに「書き出し」メニューからPictureGear形式、またはJPEG形

式を選んで画像を転送することが可能だ。ここまでは、NX70V以前のCLIEでもできたこと。ここから先が、NX70Vのおもしろいところだ。

NX70Vのボイスレコーダーで記録した音声ファイルは、WAVというファイル形式。これはマックでもそのまま聴くことができる形式である。そこで、iTunesを起動した状態でMS Importでメモリスティックをマックのデスクトップにマウントし、「PALM」フォルダー内の「PROGRAMS」にある「MSSOUND」フォルダー内の「.WAV」の拡張子が付いたファイルをダブルクリックしよう。すると、サウンドファイルがiTunesのライブラリーに読み込まれて再生される。こうやって一度音声ファイルを読み込んでおけば、iTunesを使ってボイスレコーダーで記録した音声ファイルを管理・再生できるのである。ただし、WAVファイルはiPodに転送されるが、そのままではiPodでは再生できないので、iTunesでチェックマークを外し、チェックを付けたものだけiPodに転送するといい。

また、NX70Vの「CLIE Viewer」はJPEG形式の画像に対応しているので、JPEG形式の画像をメモリスティック内の「DCIM」にある「101MSDCF」フォルダーにコピーして持ち歩くこともできるのだ。

● ムービーファイルを編集して遊ぶ！

NX70Vの内蔵カメラで撮影した動画は、MPEG4という画像形式で保存されている。だから、マックOSに標準で付属している「クイックタイム プレーヤー」で観ることが可能だ。メモリスティックの「MQ_ROOT」フォルダーの中の「100MQV01」にある「.MQV」という拡張子のファイルがそれ。拡張子を「.MOV」に変えると、確実にマックで見ることができる。

さらに、「クイックタイム プロ」を使えば、「書き出し」メニューでファイル形式を「ムービーからDVストリーム」に変換して、マックの動画編集ソフト「iMovie」で編集して遊ぶことができる。画質は粗いが、NX70Vで撮影した動画をつなげてエフェクトをかけると、心は映画監督気分だ。

マック対応 アップデートNEWS



Documents To Go Premium Edition V5 日本語版

作者：米データビズ社
<http://www.xlsoft.com/jp/index.html>
 価格：6480円
 対応OS：マックOS OS 9.1以上

エクセルなどのデータをシンクロさせる定番ソフトがマック OSX対応。Palm OS 5にも対応し、画像を表示する「Pics To Go」も加わった



gbpdMEMO ver.0.1

作者：福本修仁
<http://www.umap.net/MacPalm/info-J.html>
 価格：バージョン
 対応OS：マックOS X 10.2.1 以上

メモデータを管理 / 編集するPalm Desktopのメモ帳置き換えソフト。検索機能もあり、消したいメモがまとめて消せるなど使い勝手抜群



SimpleDocEditor 0.3f0

作者：堂下光一
<http://www.001.upp.so-net.ne.jp/t-gr/>
 価格：テスト版
 対応OS：マックOS X 10.1.3以上

DOC形式ファイルの編集、テキストデータのDOCファイルへの変換ができるエディター。HTML形式のファイルの読み込みも可能



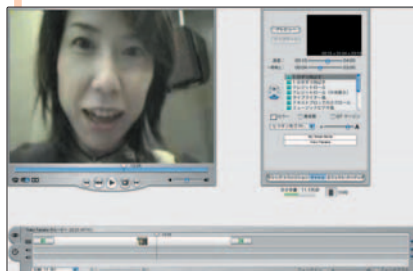
メモファイラー v0.5b

作者：HiroOii
<http://www.rainboweyes.org/palm/>
 価格：フリーウェア
 対応OS：マックOS X 10.1.2 以上 / OS 9以上

Palm Desktopのメモ帳データをテキストファイルとして書き出して保存するソフト。出先でメモをテキストファイルに変換するときに便利



マックからNX70Vへの ムービーファイル転送は不可



残念ながら、iMovieなどで編集した動画などをMPEG4のファイルにしてNX70Vに転送しても見ることができない。同じファイル形式をサポートしているが、これはちょっと残念

まとめ マックユーザーもNX70Vをバッチリ楽しもう！

NX70Vの魅力の動画、静止画、音声記録も、マックに色々取り込むことができる。使えない付属ソフトもたくさんあるが、マックでもこれだけNX70Vを活用できるので



モバイル犬ポチの満足度



パームファッション専門学校



Lesson.11

千カレンジ!
オーダーのスマホ
絵&文 nom.



ある日ヤシオカ先生が言った。

プチオーダーで
自分だけの Good Design
Palmケースを
手に入れるぞ!!



プチオーダーとは
既にあるデザインを基に
Palmケースをオーダーする
事だ!
おもしろい!
ぜひ作ろうぞ!

では千カレンジだー!
スマホで定評のある
TOM DICK and HARRY
のGO!

Step 1 プチオーダーがどきどきか Shopに確認!

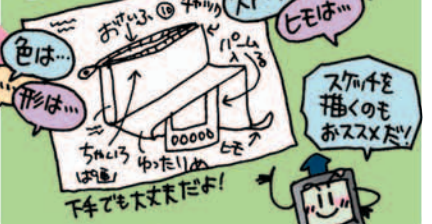
工房を持ち手づくりの靴を
作っているお店なら対応してくる可能性大!

トムディックアンドハリーでは職人さんが
工房で1点1点手づくりの靴を製作
している。今回は広々としたオーダー
OKしてくださった。ありがとう~!

Step 2 バスになるアイテムを選ぼう!



Step 3 自分の思いを伝えよう!



Step 4 プロのアドバイスを参考に!



※大分NOTE
 ● プチオーダー成功の秘訣は、そのお店の特色を模倣しないアイテムにすること。トムディックアンドハリーの鬼物は素朴でラフな味わい。だからPalmの手法にスマホとクリエのジョイントが操作できる...
 ● なんとPalmにありがちな機能をあえて無視してオーダーした。こうして割り切りができるのもプチオーダーだからだね!!
 ● しかし、下手は総だね。
 ● うちはいいじゃないスカー! 伝わるからね!!

既存製品をPalm用にリメイクする費用は、材料費込みで「葉っぱ風クリエート」が1万5960円、「ウオレットwith CLIE」が2万475円となった。なお、葉っぱ風クリエートがブラッシュアップされてヘルツの製品ラインナップに加わる可能性もあり!
トムディック アンド ハリー (ヘルツ)
 ☎ 03-3406-7547
 🌐 <http://www.leatherbag.co.jp/>





文 山田達司
イラスト nom



Palmでは、パソコンのように壁紙とかアイコンなどのカスタマイズはできるのですか？



もちろん可能です。一番人気があるのはランチャーソフトを使う方法です。「SilverScreen」というソフトは「テーマ」というかたちでアイコン、背景画面などをカスタマイズでき、多くの魅力的なテーマが提供されています。ジョグダイヤルの活用で有名なランチャー「Rondo」でも壁紙を張ることができます。ランチャーだけでは物足りないのなら、壁紙を張るソフトはいかがでしょう。「BackDropGC」が一番ポピュラーですし、CLIE NXシリーズをお使いなら「CodeDiver」を使えます。ただ、これらのソフトは動作環境を選び、ソフトとの互換性が問題になることがあります。十分にドキュメントを読んでから使いましょう。さらにパソコンのスクリーンセーバーのように、使っていない間、Palmを写真立てにする方法もあります。最近のCLIEには「PhotoStand」という優秀なソフトがありますし、「SplashPhoto」などの写真管理ソフトにも同様の機能が 있습니다。私の使っているCLIEとTungsten Tは、クレードルに乗っている間ずっと子供たちの写真を表示しています。これもお勧めの使い方です。



NetFrontをメモリーカードに移して使いたい。



残念ですが現在のところ、OS標準のランチャーを使っても、私の作成したPalmウェア「PowerRUN」を使ってもできません。最もサイズが大きいソフトだけに残念なことですね。

Palm OS 5ではほとんどのソフトがDragonBallというCPU用に使われており、それらのソフトが正常に動作するように用意された「PACE」という互換環境上で動作しています。しかし、WebブラウザのNetFrontだけは最大の性能を実現するためにARMプロセッサで直接動作するように作られており、プログラムのサイズが大きくなっているのがその理由です。

通常、大きなプログラムは64KB以下のサイズに分割されて格納されていますが、NetFrontでは1MB以上のプログラムがそのままのかたちで格納されているのです。そのため、いったんメモリーカードに移してしまうと、本体に戻せなくなり、普通にHotSyncでインストールすることもできません。

もしメモリーカードにNetFrontを移したら、一度NetFrontのインストーラーをHotSyncで本体に移し、CLIE上でインストールを実行することでNetFrontがCLIEに入れられます。バックアップ時にも問題が出るがあるので、注意が必要です。



海外でしか手に入らないPalm、個人輸入は可能ですか？



残念ながら、海外仕様のPalmデバイスを手入することが徐々に難しくなっています。メーカーのWebサイトでは海外への輸出はしていませんし、多くのメーカーでは、販売店からの海外への輸出も禁止しているようです。

海外に友人がいるような幸運な方を除くと、それらの機種を手入するには並行輸入をしている国内の販売店で購入するか、メーカーの意思に反して海外へ輸出してくれるオンラインショップを探す必要があります。並行輸入をしている国内のショップとしては、コンプマート、イケショップ、秋葉館、ビザビなどが有名です。個人輸入よりも購入価格が高くなってしまいますが、日本語で注文できますし、サポートも期待できますので、英語に自信がない方にはお勧めですね。

どうしても安く済ませたいという場合はオンラインショップを探すのが一番です。私が最近使ったのは「sparco.com」(http://www.sparco.com)というところです。英語版Palm、CLIE、Treoなどを入手できます。オンラインショップでは、時には非常に格安な商品も見つけられます。多少のトラブルにも英語で対処する自信がある方は、チャレンジしてみてもいいかもしれません。



同僚がPalmに子供の写真を入れて自慢するんです。



あなたがお気に入りのPalmやソフトを人に見せたいのと同じで、誰でも自分の好きなものは人にも見せて、褒めてもらいたいものです。多少の苦痛は伴いますが、円滑な人間関係を保つために我慢して見てあげましょう。もちろん「かわいいですねえ」と褒めることも忘れずに。

とはいえ代わり映えない写真やムービーを見つづけるのも苦痛ですので、できるだけ早くPalmもしくは写真を表示しているソフトに話題を移しましょう。その結果、より長時間拘束されることになっても責任は取れませんよ。ただ、私の子供たちのかわいさがわからないような人とはあまりお付き合いしたくないのも正直な気持ちです。

質問大募集 !!

「Palmの達人」では、達人山田氏に答えてほしい疑問や質問を募集しています。ご応募は氏名(ペンネーム)、性別、年齢、使用機種、電子メールアドレスを明記のうえ、次の宛先まで電子メールでお送りください。

メール宛先
palm-magazine@ml.ascii.co.jp
標題(Subject)に「Palmの達人」と明記のこと

プログラミング 目指せ!

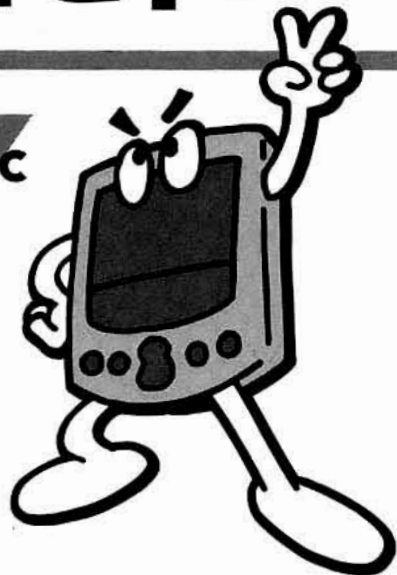
初心者

だけど

パームウェア作家



NS Basic
連載5回目



前 回に引き続き、イベント処理をもう少し深く掘り下げて考えてみよう。今回は、Palm OSを操作するうえで必ず行う「タップ」に焦点を当ててみる。画面をタップしたときの認識の方法と動作について解説したうえで、画面をタップするとビープ音が鳴るという処理を行うプログラムを作成する。ぜひチャレンジしてほしい。

文/丸山弘詩 (FocV Project) イラスト/NORIS



画面のタップは Palm重要な要素

まずは前回に引き続き、イベント処理について考えてみよう。今回はイベント処理全体を解説したが、今回はイベント処理の中でも、特に「画面をタップした場合の動作」だけを掘り下げていく。というのも、Palm OSを取り扱う中で画面をタップする操作は、Palmの持ち味とも言える重要な操作のひとつであるからだ。

周知のごとく、Palm OSはそのシンプルさにこそ意味がある。4つのハードウェアボタンと2つのスクロールボタンがあり、それ以外はタッチパネルである画面「スクリーン」

と「シルクエア」だけだ。必然的にユーザーインターフェースの中心はスタイルでのタップということになる(ここでいう「ユーザーインターフェース」とは、シリアルなどの入出力の中でも、文字入力などのユーザーが実際に行う操作に関するやりとりの部分)。



画面のタップにも 種類がある

実際のプログラムにおいて、Palmの画面をタップするというのはどのような場面があるだろうか。主なものを挙げると次のようなケースがある。

- ① 「OK」「Cancel」などのボタンをタップする(ボタンオブジェクトのタップ)
- ② 文字入力する項目を選択するためにタップする(フィールドオブジェクトのタップ)
- ③ 「アイコン」などの画像をタップする
- ④ 何もない画面の一部分をタップする(フォームのタップ)

このほかにも「ホーム」をはじめとする「シルクエアのタップ」やラベルやその他のオブジェクトのタップがある。①のボタンのタップの場合、ボタンの上でタップ後にドラッ

グし、ボタンの外で離すとボタンをタップする動作をキャンセルできる。これはボタンオブジェクト特有のイベント処理が行われるからなのだが、NSBasic/Palmのランタイム(作成したプログラムのインターフェースを提供するために共通して使用されるプログラム)が次のような処理を代行して行っているためだ。

- ・ ボタンの中をタップしたかどうかを判別
 - ・ ボタンの中でタップしたかどうかを判別
 - ・ すべての判別が「真(判別の値が合致)」した場合、ボタンオブジェクトの処理を行う
- しかし、ボタンオブジェクトでは「ボタンをタップした」ということしかわからない。そこで今回は④のフォームをタップしたときの認識の方法と動作について確認してみよう。



シンプルな プログラムで タップ動作を確認

シンプルなプログラムでタップという動作を考えてみよう。まずはNS Basic/Palm上で新しいプロジェクトを作成するとフォーム「Form1」が自動的に作成される(図1)。次に「Project Explorer」



図1 まずはフォーム(Form1003/Form1)を作成する

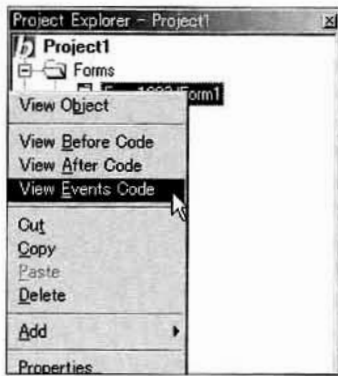


図2 フォームを右クリックして「View Events Code」を選択すればフォームのイベント処理を定義できる

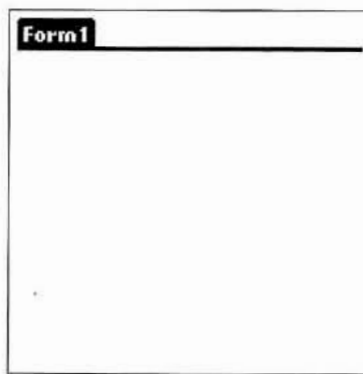


図3 画面をタップすると音が鳴る(Beep)プログラムを実行させてところ。オブジェクトは何も置いていない



図4 座標を表示させるために、フィールドオブジェクト(Field1004)を新しく作成する

でその作成されたフォーム「Form1003/Form1」を選択する。なお、状態によってForm名である「Form1」やIDの「1003」が異なっている場合があるので、以後読み替えて進んでほしい。「Form1003/Form1」を右クリックするとサブメニューが現れるので、そこで「View Events Code」を選択する(図2)。表示されたウィンドウ「SubForm1003_Event()」に記述すればイベント処理を行うプログラムが作成できる。

ではさっそく、画面をタップしたら音が発生するようにしてみよう。「SubForm1003_Event()」内に次のように記述する。

```
Sub Form1003_Event()  
    Beep  
End Sub
```

では実行してみよう。画面をタップするとイベントが発生し、Beepステートメントで音が鳴るという極めて単純なプログラムだ(図3)。ただし、Palm OSエミュレーターでは音が出ないことがある。その場合はエミュレーターではなく、Palmデバイス本体にインストールすれば音が鳴るのを確認できる。

画面をタップすると音が「2回」発生することがわかる。わからない場合は、画面をタップしたあとスタイラスを画面から離さず、音が発生した後にスタイラスを画面から離すと、もう一度音が鳴ることがわかる。なぜ2度「音」が発生するかといえば、画面にスタイラスが触れた瞬間と画面からスタイラスを離す瞬間のそれぞれでイベントが発生しているからだ。



画面をタップした場合のイベント

前述べたように、イベント処理はイベントが発生した瞬間に特定のコードを実行するものだ。画面に触れた瞬間には「スタイラス(ペン)が画面上に下ろされた」というイベント、画面から離れる瞬間には「スタイラス(ペン)が画面上から上げられた」というイベントがそれぞれ発生する。NSBasic/Palmでは前者の触れるイベントを「NsbPenDown」、離れるイベントを「NsbPenUp」と表す。といっても、これは発生したイベントの種類を数値で返す関数の「getEventType()」関数の示す数値を覚えやすくしたもので、「NsbPenDown」は「2」、「NsbPenUp」は「3」という数字を示しているだけだ。「触れたときは2、離れたときは3」と数字で覚えてももちろん構わない。では、今度は触れたときと離れた時で音の回数を換えてみよう。



タップの種類を判別する

「Sub Form1003_Event()」を次のコードに書き換えてみよう。

```
Sub Form1003_Event()  
    If getEventType()=nsbPenDown Then  
        Beep  
    EndIf  
End Sub
```

これを実行すると、画面に触れた瞬間(nsbPenDown)には音が鳴るが、画面から離れる瞬間には音が鳴らなくなる。これはgetEventType()関数によって同じイベントでもタップの状態によって処理が変わったことによるものだ。これを、次のコードに書き換えると反対に触れた

瞬間ではなく、離れる瞬間に音が鳴るようになる。

```
Sub Form1003_Event()  
    If getEventType()=nsbPenUp Then  
        Beep  
    EndIf  
End Sub
```

このようにgetEventType()関数に戻される数値をイベント処理内で判別することで、スタイラスと画面の関係をプログラムに理解させることが可能になる。では今度は、画面上のどの部分をタップしたかを判別することを考えてみよう。



タップされた座標を知る

getEventType()関数は「イベントの種類」を示す関数であって、スタイラス専用の関数ではない。実はスタイラスの状態を知ることができる別のステートメントがある。それが「GetPen」ステートメントだ。では「GetPen」ステートメントの動作を見ることにしよう。まずは内容を表示するためにフィールド(Field)オブジェクトをフォーム上に配置する。オブジェクトは横幅いっぱいのサイズにしてほしい(図4)。ここではField1004という名前をそのまま利用する。次に「SubForm1003_Event()」にコードを入力する。

```
Sub Form1003_Event()  
    Dim i as Integer  
    Dim x as Integer  
    Dim y as Integer  
    Dim z as Integer  
    Dim Status as String  
    i=getEventType()
```

```

If (i=nsbPenDown)Or
(i=nsbPenUp) Then
  GetPen x,y,z
  Status=" X:"+str(x)
  Status=Status+"/Y:"+str(y)
  Status=Status+"/Z:"+str(z)
  Field1004.text=Status
EndIf
End Sub

```

まずは実行してみよう(図5)。実行直後はフィールドには何も表示されていないが、画面のどこかをタップすると表示される。図の例でいえば「X:129/Y:85/Z:3」となる。それぞれの数字は次のような意味を持つ。

X:変数xの値
(画面のX座標、画面の左端からの位置)
Y:変数yの値
(画面のY座標、画面の上端からの位置)
Z:変数zの値
(タップの状態でnsbPenDownかnsbPenUp)

すなわち、「X」と「Y」の値で画面上の位置(座標)が、「Z」でXとYの値が画面に触れた位置なのか、離れた位置なのかがわかる。Zの値が「2」なら「nsbPenDown」であり、表示されるXとYの値は「スタイラスが触れた座標」、Zの値が「3」であれば「nsbPenUp」であり、表示されたXとYの値は「スタイラスが離れた座標」ということだ。X座標は「0」がフォームの左端を示し、Y座標は「0」がフォームの上端を示す。数値が大きくなればなるほどX座標では右、Y座標では下になる。では、もっとわかりやすく表現してみよう。



タップした位置まで線を引く

今度は画面に触れたときには左上隅の

座標「X座標=0、Y座標=0」から線を引き、離れた時には右下隅の座標「X座標=159、Y座標=159」から線を引きくようにコードを変更してみよう。

```

Sub Form1003_Event()
  Dim i as Integer
  Dim x as Integer
  Dim y as Integer
  Dim z as Integer
  Dim Status as String
  i=getEventType()
  If (i=nsbPenDown)Or
  (i=nsbPenUp) Then

    GetPen x,y,z
    Status=" X:"+str(x)
    Status=Status+"/Y:"+str(y)
    Status=Status+"/Z:"+str(z)
    Field1004.text=Status
    If z=nsbPenDown Then
      DrawLine 0,0, x,y
    End If
    If z=nsbPenUp Then
      DrawLine 159,159, x,y
    End If
  EndIf
End Sub

```

変更はコードの終わりの6行を追加するだけだ。追加した行では次のような処理が行われる。「DrawLine」ステートメントは「始点のX座標、Y座標」から「終点のX座標、Y座標」に線を描く命令で、例えば「左上隅から右下隅に線を描く」場合は「始点がX=0、Y=0」「終点がX=159、Y=159」なので、

```
DrawLine 0,0, 159,159
```

とすればいい。コード中の「DrawLine 0,0, x,y」は「左上隅から(x,y)の位置まで線を描く」ということを意味する。では実行してみよう。画面上の任意の場所に触れると左上隅から線が描かれる(図6)。次に画面からスタイラスが離れると画面の右下隅から線が描かれる。いろいろな場

所をタップしてみて動作を確認してみよう。



画面のタップのイベント処理の注意点

前回イベント処理全体について述べたが、画面のタップでのイベント処理の注意点について復習しておこう。

画面のタップを行うとそれまでのフロー(流れ)の途中で、いったんイベント処理が実行される。したがって、メインフローで使う変数と、イベント処理で違う処理を行ってしまう同じ変数を使うと、メインフローに戻った際に、メインフローの処理に不都合を生じることがある。具体的には次のような場合だ。

- ①メインフローであるフィールドオブジェクトに文字「EFGH」を出力する
- ②メインフローで同じフィールドオブジェクトに文字「IJKL」を追加出力する
- ③メインフローで同じフィールドオブジェクトに表示されている文字数をメッセージボックス(msgbox)命令で表示する

このプログラムを実行すると、次のようになる。

- ①の結果:フィールドオブジェクトに「EFGH」と表示
- ②の結果:フィールドオブジェクトに「EFGHIJKL」と表示
- ③の結果:メッセージボックスでフィールドボックス内の文字数「8」を表示

このメインフローにイベント処理として「スタイラスが接した座標」を次のように加える。

(X)イベントが発生したならば、フィールドオブジェクトに「イベントの発生した座標」を表示する。

このイベントが発生するポイントがメインフローの処理①と②の間で発生したとすると、

- ①の結果:フィールドオブジェクトに「EFGH」と表示

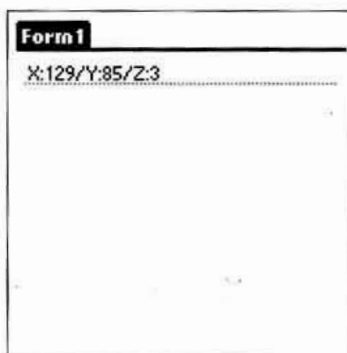


図5 座標表示プログラムを実行したところ。X座標とY座標、現在のタップの状態を表示する

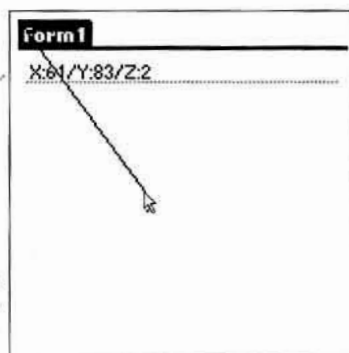


図6 DrawLine命令により、nsbPenDown時には左上から直線を引く



- (X)の結果:フィールドオブジェクトに「座標」を表示
- ②の結果:フィールドオブジェクトに「座標」と「IJKL」と表示
- ③の結果:メッセージボックスでフィールドボックス内の文字数「座標の文字数+4」を表示

となり、メインフローでの結果は、イベントが発生した場合と発生しない場合では異なる結果を示してしまう。また②の処理のあとであれば、

- ①の結果:フィールドオブジェクトに「EFGH」と表示
- ②の結果:フィールドオブジェクトに「EFGHIJKL」と表示
- (X)の結果:フィールドオブジェクトに「座標」を表示
- ③の結果:メッセージボックスでフィールドボックス内の文字数「座標の文字数」を表示

とやはり違う結果となる。

では、今まで試した画面タップの処理に書き加えて実際に試してみよう。

ボタンオブジェクトを書き加えて、タップ処理との関係を見る

まずはボタンオブジェクトを2つ新設する。ここでは「Button1006」と「Button1007」とする。ラベル(Label)はButton1006を「START」、Button1007を「RESULT」とする(図8)。

Button1006/STARTに処理①を担当させるためにコードに次のように記述する。

```
Sub object1006()
  Field1004.text="EFGH"
End Sub
```

Button1007/RESULTには処理②③を担当させる。コードは次のようになる。

```
Sub object1007()
  Field1004.text=Field1004.text+"IJKL"
  MsgBox(str(len(Field1004.text)))
End Sub
```

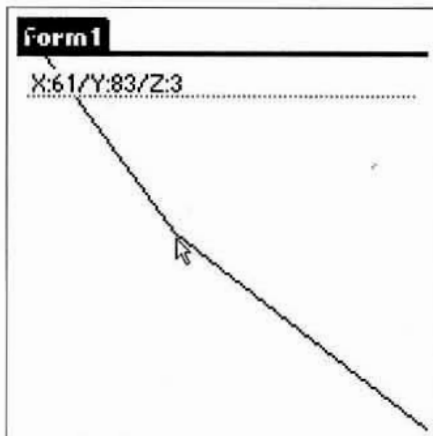


図7 タップしたスタイラスを離れたところ。右下隅からも直線が引かれた

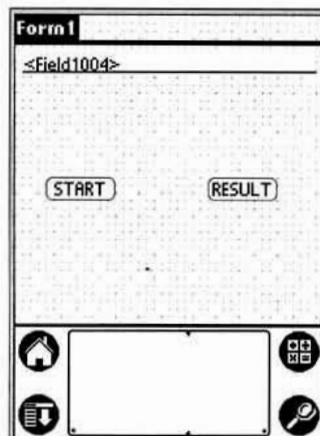


図8 ボタンオブジェクトを2つ作成する。左のボタンがButton1006/START。右のボタンがButton1007/RESULT

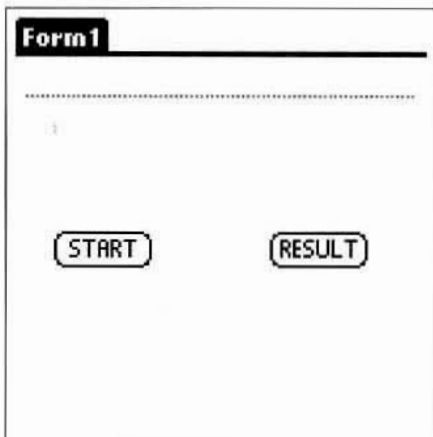


図9 プログラムを実行したところ。まだ画面をタップしていないのでフィールドオブジェクトは空白のまま

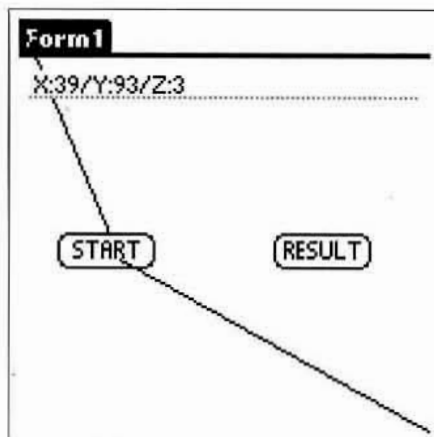


図10 「Button1006/START」をタップしたところ。ボタンをタップした処理の後にイベント処理が発生したため、座標しか表示されていない

イベント処理(座標の数値表示と直線描画)はそのまま使う。では実際に実行させてみよう(図9)。ボタンをタップした結果を見るとイベント処理があるために予想外の答えが出る(図10、11)。なお、タップに対するイベント処理はボタンオブジェクトのタップのコードよりも先に実行される。これはタップのイベントがボタンオブジェクトの処理に含まれているためだ。コードを書き換えていろいろ試してみよう。

今回はタップによる処理だけを解説したが、フィールドオブジェクトやボタンオブジェクトと組み合わせた場合の処理を試して、誤動作のないプログラムを考えてほしい。

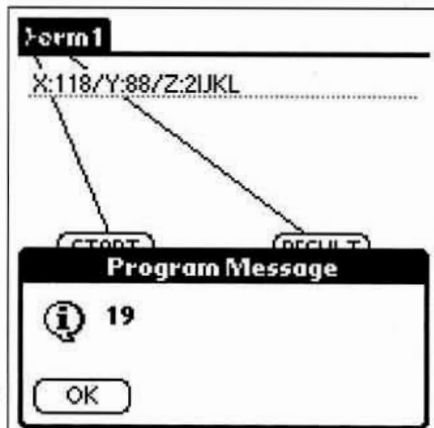


図11 「Button1007/RESULT」をタップしたところ。座標の表示の後に「IJKL」の文字が追加され、総文字数がメッセージボックスで表示される



Palm OS 5 ファーストインプレッションと Bluetooth対応ソフトの作成

丸山 弘詩 / 藤井 稔也 (FocV Project) ●文

定番開発環境「CodeWarrior」と実践的なサンプルを使って、パームウェア開発のさまざまなテクニックを紹介。今回は、実物を確かめられるようになったPalm OS 5をチェックしつつ、Bluetoothの利用方法を解説する。

ついに登場！ Palm OS 5

ソニー(株)からPalm OS 5を搭載したCLIE PEG-NX70V/60が発売になり、入手した読者はいろいろと試していることだろう。Palm OS 5になっても、Palm OSプログラミングの基本的なパラダイムは変わっていないので、ほとんどのアプリケーションはそのまま動かし、前々回の記事で紹介したPalm OS 5対応の処置を施しておけば、さほど苦労することなく新OSに対応できるはずだ。

今回は、まずPalm OS 5の実機をチェックして判明した情報に関して述べてみたい。そして、前回の記事のフォローになるが、NXシリーズやTungsten Tでのサウンドマネージャーについて解説する。さらにBluetoothを利用したアプリケーションを作成してみる。現時点では日本未発表機種である米パーム コンピューティング社(以下、パーム社)のTungsten Tは、初のBluetooth搭載Palm Poweredデバイ

スである。ようやくここに来てBluetoothにも春がやって来そうな雰囲気である。

CLIE NXシリーズと Tungsten T

10月19日にソニー社からCLIE PEG-NX70VとNX60が発売されたあと、10月28日にはパーム社からもPalm OS 5を搭載したTungsten T (m550)が発売された。それぞれの特徴をみていこう。

まず、PEG-NX70Vは、CPUに米インテル社のPXA250 (XScale)を使用している。クロック周波数は、200MHzだ。ポディーは基本的に前機種のPEG-NR70Vを踏襲しているが、背面にCFカードスロットが新規に設けられている。残念ながらAirHTMや無線LANなどの通信カード専用であり、ストレージデバイスには対応していない。ただし、PXA250内蔵のPCカードインターフェースに直結しているので、インテルの公開情報のみでドライバーを作成することも可能だ。興味があるなら、挑戦してみる価値はあるだろう。MPEG-4コーデックなどのマルチメディア関連アプリケーションだけではなく、多数のアプリケーションをARMネイティブなコードで実装しているもようであり、かなりの意欲作に仕上がっている。

一方、Tungsten Tは、CPUに米テキサス・インスツルメンツ社のOMAP1510

(OMAP)を使用し、クロック周波数は144MHzだ。ポディーデザインにスライド機構を組み込んでおり、縮めたサイズはこれまでのPalmデバイスの中では最も小型化されている。上下スクロールボタンを進化させた5方向ナビゲートボタンを採用するなど、インターフェースの改善にも努めている。しかし、最も特筆すべきは、Bluetoothを搭載していることであろう。赤外線を利用するIrDAのケースでもわかるように、Bluetoothのような機能はアダプターではなく、デバイスに搭載されなければ普及が進まない。携帯電話端末への搭載は、フィンランドのノキア社やスウェーデンのエリクソン社が強力に押し進めていることもあり、Tungsten Tの登場をきっかけにBluetoothの普及が進むのではないかと期待している。

バージョン番号の不思議

実際に発売されたPEG-NX70VやTungsten Tをチェックして不思議に思ったことがある。sysFtrNumbROMVersionで取得するバージョンナンバーが、これまでのパームソース社の命名規則からするとおかしいのである。バージョンナンバーは32ビットの情報で、上位からメジャー番号、マイナー番号、バグフィックス番号、ステージ番号となっているのだが、ここで製

品レベルを判断するステージ番号が、ともに0となっている。このステージ番号の意味は、SystemMgr.hに次のように記述されている。

```
3 : releaseレベル
2 : betaレベル
1 : alphaレベル
0 : developmentレベル
```

つまり、通常はステージ番号は基本的に「3」であるはずなのだが、なぜか試作機レベルを意味する「0」となっているのである。何か特別な意味があるのでは？と勘繰ってしまうが、CodeWarriorのテンプレートでも使用されているSysMakeROMVersion()でチェックすると、PEG-NX70VもTungsten TもPalm OS 5のデバイスではないと判断されてしまう。これはバージョン番号をチェックする必要があるアプリケーションでは隠れた盲点となり、なかなか気づかなかつたりするものである。頭の片隅の記憶に留めておくことをお勧めする。



パーム社の カンパニーIDの変更

もう一点は、Palm OS 5と言うよりもパーム社とパームソース社との問題であろう。Tungsten TではカンパニーIDが変更されているのである。これはデベロッパーには非常に重要な情報である。先のバージョン番号と同様に、デバイス製造メーカーのIDはフィーチャーで取得できる32ビットの情報だが、便宜的に4つのASCII文字で表記される。例えば、ソニー社は「sony」で、米ハンスプリング社は「hspr」となる。従来のパーム社のデバイスは「palm」になっていたのだが、Tungsten TやZireではなぜか「Palm」となっている。そのため、デバイスに依存するアプリケーションを作成する場合、リスト1のようにする必要がある。



サウンドマネージャー について

前回のサンプルアプリケーション「PCMAPI」は、PEG-NX70VやTungsten Tではノンサポートのダイアログが出るだ

けで、肝心の音は出力されない。誠に申し訳ないのだが、前回執筆時の情報では、当該機種にサウンドマネージャーが実装されないという情報はなかったためである。現時点ではパームソース社のサイト(http://www.palmos-japan.com/dev/tech/palmos5/check_newfeatures.html)で説明されている。サウンドマネージャーは各ライセンサーの判断で選択できるオプション機能となっており、同様にSSLライブラリーや暗号化マネージャー、ネットライブラリーのインターフェース設定情報の一部もオプション扱いで、Palm OS 5.1と同時に登場すると思われる。デベロッパーにとっては非常に残念な状況である。なお、実際にサウンドマネージャーが使えるかどうかは、フィーチャーによって情報を取得する必要があり、リスト2を利用することになる。



ソニー独自SDKについて

ソニー社初のPalmデバイス、PEG-S300/S500C(ともにPalm OS 3.5)のリリース時から独自のSDKが存在していたが、これもPEG-NX70V/60の発売後、Palm OS 5対応にバージョンアップされて

いる。添付ドキュメントから、従来のハイレゾAPIもそのままサポートされていることがわかるほか、シルクマネージャーが大幅に変更されていることがわかる。しかし、残念なことにさまざまな制限事項も存在する。具体的には、メモリースティックオーディオライブラリー、Sonyサウンドマネージャー、キャプチャーライブラリーなど、PEG-NR70で使用できた機能の半分程度が、PEG-NXシリーズでは使えなくなっているのである。現状では、サンプリングサウンドを操作する方法がないし、搭載されているビデオカメラの制御もできないことになる。SDKの今後のアップデートに期待したいものである。



Bluetooth対応 アプリケーション

Bluetoothデバイスは、ソニー社からシリアルポートに接続するモジュールやメモリースティックタイプのものが発売されており、パーム社からはSDIOのモジュールが発売されている。しかし、すでに半年以上が経過しているにもかかわらず、対応ソフトウェアはほとんどないに等しい状況である。Palmデバイス自体の価格が下落傾向にあるのに、Bluetoothモジュール

```
UInt32    companyID;

FtrGet(sysFtrCreator, sysFtrNumOEMCompanyID, &companyID);
if (companyID == 'palm') {
    //2002年夏以前のパーム社デバイス
    // Palm V等
}
if (companyID == 'Palm') { /* 新規に加えなければならないコード */
    //2002年夏以降のパーム社のデバイス
    // Zire, Tungsten
}
else if (companyID == 'sony') {
    // ソニー社のデバイス
}
else if (companyID == 'hspr') {
    // ハンスプリング社のデバイス
}
else { // before 2000 devices
    // その他のライセンサーおよび2000年以前のパーム社のデバイス
}
```

リスト1

```
UInt32    sndFtrIDVersion;

// フィーチャーよりサウンドマネージャーの情報を取得
if (FtrGet(sysFileCSoundMgr, 'sndFtrIDVersion', &value) ==
    errNone) {
    // Sample Sound APIの使用が可能
}
```

リスト2

ルの価格が高いこと、モジュールが本体に内蔵されていない不便さから、有効利用されていないためだろう。しかし、今回発売されたTungsten TにはBluetoothが本体に内蔵されたので、このような状況もきっと改善されると期待したい。

では、今回の本題、Bluetoothをテーマにしたプログラミングを始めよう。

Face Chatについて

Tungsten Tには、BlueChatとBlue BoardというBluetooth対応アプリケーションが付属している。Bluetoothを介して文字や絵でコミュニケーションするチャットアプリケーションだ。やはり、インスタントメッセージャーやIRCに代表されるチャットは楽しいということであろう。これら2つのアプリケーションは、Bluetooth SDKのBluetooth Library APIを利用しており、きめ細かな操作が可能だが、その半面、コールバック関数を駆使するプログラミングの理解は容易ではない。最大の欠点は、コミュニケーションをとる双方で、必ず同一のアプリケーションが実行されていなければならないことである。Palmデバイスのような携帯端末で、あらかじめ双方で起動する必要があるという前提条件は、その使い道を大幅に制限するものになってしまう。

しかし、この欠点を回避して、かつ簡単に実用性があるBluetoothアプリケーションを作成するには、赤外線通信でも利用したエクスチェンジマネージャーを使うと

いう選択肢がある。実は今回紹介するサンプルアプリケーションは、7月にカットシステム社から出版された「Palm OSプログラミング」において、赤外線を説明した章で用意したサンプルに少々変更を加えたものでしかない。赤外線通信では顔を付き合わせる必要があった「顔」のチャットが、少しの変更でBluetoothを応用して、相手の位置を気にせずに楽しめるようになり、面白さや実用性がアップしたことには、正直に言って少々驚いている。

Face Chatの操作方法であるが、起動時に表示される線画の「顔」は、眉と口をドラッグすることで表情を変えることができる。そのときの気分で笑った顔や怒った顔などを作れる(図1)。そして、その下にあるテキストボックスに文章を入力して、メニューから「Beam via Bluetooth」を選ぶ(下スクロールボタンを押す)ことで、通信相手にその「顔」とメッセージがBluetooth経由で送信されることになる。最初は送信相手が一覧表示され選択する必要があるが、以降は自動的に選択した相手に接続される(ほかの相手に送信する場合は、「NewSession」を選択する)。

ここで注目すべき点は、エクスチェンジマネージャーを使用しているため、相手がFace Chatを起動しているかどうかを気にせずに、メッセージを送れることである。

Bluetooth SDKのインストール

Bluetooth対応のアプリケーションを開発

するには、Bluetooth SDKをCodeWarriorに別途インストールする必要がある。このSDKはパームソース社のResource Pavilionの中で公開されているので、開発者登録が必要になる。ダウンロードしたSDKを解凍して、CodeWarriorのフォルダーに移動する。

CodeWarriorでプロジェクトを開いて、Editメニューの「Project-name Settings」を選択し、表示されるウィンドウ内のAccess Path情報を表示させると、図2のような設定画面が表示される。ここでシステムを選択したあとに、「Add」ボタンをクリックして、先ほどBluetooth SDKを移動した場所を指定する。

SDKのインストールが正常に完了したかどうかは、SDKの中に用意されているサンプルソースをコンパイルすることで確認できる。なお、注意事項であるが、サンプルの中には、Palm OS 5で動かすと、エラーダイアログが現れ、起動すらしないものがある。これはクリエイタIDを別のものに変更すれば大丈夫である。Palm OS 5に特定のクリエイタIDをはねる機能が存在するもようであるが、これに関する記述がなく詳細は未確認である。

エクスチェンジマネージャー

エクスチェンジマネージャーは、IrDA(赤外線データ通信協議会)で策定されたOBEX(Object Exchange)プロトコルをPalm OSに実装したものである。詳細は仕



図1 サンプルアプリケーション Face Chatの実行画面

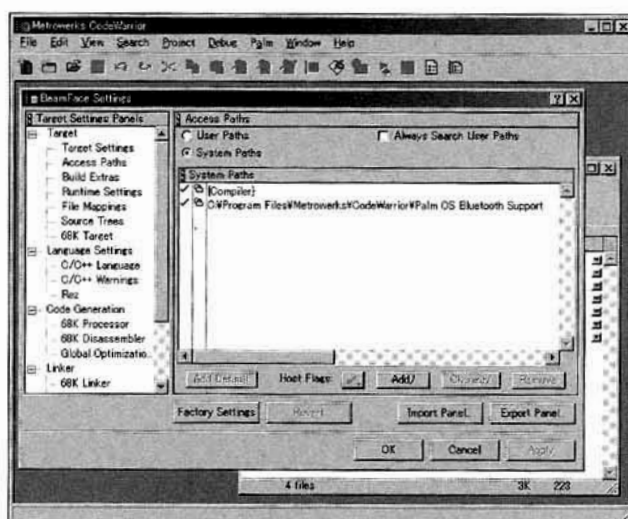


図2 Access Pathウィンドウの画面

様書を確認していただくとして、その基本はデータ交換のための枠組みである。Bluetooth規格でもOBEXを採用しているため、Palm OSもエクステンジマネージャを拡張して、Bluetooth経由で赤外線と同様にデータ交換が可能となっている。

メディアがBluetoothになったといってもさほどの変更は必要ない。赤外線の送信処理の1行を変更するだけで対応できる。まず、赤外線送信の処理の概要をチェックしてみよう。処理の中で重要な部分は、データパケットを作成してExgPut()で送信の初期化処理を行い、ExgSend()でデータを送信する。そしてExgDisconnect()で接続を解除することである(リスト3)。

この処理の中でBluetoothのために変更しなければならないのは、パケットの中のexgSocket.nameである。赤外線通信ではファイル名でかまわなかったが、BluetoothではURL名になる。ここでbtexgPrefixは「_btobex://」で、btexgSingleSuffixは「?_single/」なので、exgSocket.nameには「_btobex://?_single/beamface.fce」が代入されることになる。これだけの変更で、Bluetooth経由で通信相手を探し出し、送信可能な相手の一覧表示からユーザーに選択させ、データを送信できるのである。エクステンジマネージャを利用すると、本当に楽ができるものである。

■赤外線の場合

```
exgSocket.name = "beamface.fce";
```



■Bluetoothの場合

```
Char opponentURL[100];
```

```
StrPrintf(opponentURL, "%s%s",  
btexgPrefix, btexgSingleSuffix,  
"beamface.fce");  
exgSocket.name = opponentURL;
```

送る相手が 特定した場合の処理

Bluetooth対応は前述で可能だが、アプリケーションの使いやすさを考えるとまだ不十分である。前述の処理では、メ

```
//赤外線の送信処理  
void SendBeam(void)  
{  
    ExgSocketType exgSocket;  
    Err err = 0;  
    UInt32 size;  
    UInt32 sent;  
  
    //パケットの設定をする  
    MemSet(&exgSocket, sizeof(exgSocket), 0);  
    exgSocket.description = "Face Chat Data";  
    exgSocket.name = "beamface.fce"; //←Bluetooth用に変更しなければならない箇所  
    size = sizeof(prefs);  
    exgSocket.length = size;  
    exgSocket.target = appFileCreator;  
    //送信の初期化処理  
    err = ExgPut(&exgSocket);  
    if (!err) {  
        //データを送信する  
        sent = ExgSend(&exgSocket, &prefs, size, &err);  
        //接続を解除する  
        ExgDisconnect(&exgSocket, err);  
    }  
    return;  
}
```

リスト3

```
Char opponentURL[100];  
  
ExgSocketType exgSocket;  
ExgCtlGetURLType getUrl;  
UInt16 getUrlLen;  
  
//相手のBluetoothアドレスをセットする。  
getUrl.socketP = &exgSocket;  
getUrl.URLP = NULL;  
getUrl.URLSize = 0;  
getUrlLen = sizeof(getUrl);  
ExgControl(&exgSocket, exgLibCtlGetURL, &getUrl, &getUrlLen);  
getUrl.URLP = MemPtrNew(getUrl.URLSize);  
ExgControl(&exgSocket, exgLibCtlGetURL, &getUrl, &getUrlLen);  
StrPrintf(opponentURL, "%s%s", getUrl.URLP, "beamface.fce");  
MemPtrFree(getUrl.URLP);
```

リスト4

ッセージの送信ごとに通信相手の選択を行うことになる。通信相手が確定しているのならば、続くメッセージの送信相手は同一である可能性が高い。同じ相手に対する2度目以降の送信ではダイアログが出てくるのを省略したくなるだろう。

ここでは、ExgControl()で通信相手のアドレスを取り出し、exgSocket.nameに設定する。こうすることで、同一の接続相手に連続してメッセージを送信する際は、接続先を選択する手間を省くことができる。なお、ここでExgControl()を2度呼び出しているのは、最初に文字数を取り出し、次に実際のアドレスを取り出すためである(リスト4)。

このとき、文字列配列のopponentURLはグローバルに確保しておき、送信時にexgSocket.nameに代入すれば、煩雑な選択ダイアログは出てこないし、スムーズなチャットが楽しめる。しかし、

プログラミングの際に注意しなければならない点がある。それは、データを受信した場合、グローバルが破算になってしまうことである。このことは、赤外線の受信処理と同様にメモリーをアロケートして、パラメータ経由で受け渡すことで解決できる。詳細な処理コードに関しては、CD-ROMに収録されているサンプルアプリケーションのソースコードを確認していただきたい。

今回のような赤外線やBluetoothなどデバイス間通信に絡んだアプリケーションを開発するには、最低でも一組以上のデバイスが必要になる。小規模なデベロッパーにとっては、非常に負担が大きい開発になってしまうのは事実である。この点が非常に悩ましいことであるが、願わくば本稿がさまざまなアプリケーションが世に出てくることの手助けとなれば幸いである。

Palm第二期黄金時代の幕開けか

飯吉 透

▶先陣を切ったソニー

去年から今年の夏にかけて、あまり元気のなかったPalm業界が、ここしばらく明るい話題に活気づいている。まず去る10月、米Palm社に対してソニーが約25億円の投資を行ったというニュースが流れた。ソニーという世界一流のメーカーが、今後もPalm OSというプラットフォームを自社のPDAに使い続けるという意味表示をしたことで、CLIEユーザーだけではなく、何とはなく先行きに不安を感じていたであろうすべてのPalmユーザーが勇気づけられたことだろう。代表的なPalmマシンメーカーであるソニーは、自社のパーソナルコンピューター製品にはウィンドウズを採用しているだけに、ユーザーたちは、「もしPalm OSの行く末に陰りが見え始めたら、ソニーはPocket PCに乗り換えるかもしれない」という潜在的な不安を常に感じてきた。今回のソニーのPalm社への投資は、そんなユーザーたちの心配を払拭してくれたはずだ。

さらにソニーからは、よりパワフルなプロセッサとOS 5.0搭載の新CLIEが登場し、これまで特に強力なマルチメディア機能やIEEE802.11ベースのワイヤレスLAN装備を望んでいたPalmユーザーを熱狂させた。私もその中のひとりだ。ようやく自分の求めていたスペックを満足させてくれるCLIEが出たので、限定発売のグラファイトグレーの「NX70V」を早速日本から取り寄せることにした。これまで何台かPalmを購入してきたが、今回ほど心が浮き立ったのは初めてだ。一時はカメラを内蔵しているシャープのザウルズに触手が伸びかけたこともあったが、新しいCLIEを辛抱強く待っていた甲斐があったというものだ。

ちなみにアメリカでは、NX70Vの英語版が日本より少し遅れて発売開始となる模様で、11月初めの時点では、まだ販売予約受付を行っている段階だ。アメリカにおけるソニーのブランド力は相当なもので、歳末商戦シーズンに熱い注目を浴びることになるのは、まず間違いないだろう。

▶アメリカ勢も好調

明るい話題は、さらに続く。'02年の第3四半期、Handspring社が60億円近い利益を出したというニュースは、アメリカのPDA業界だけでなくパソコン業界も驚かせた。今年に入ってからのアメリカのハイテク業界は日本と同様、景気の落ち込みを反映してか元気がない。Apple社などのパソコンメーカーが同四半期に次々と赤字を計上する中、Handspring社の好調な業績は際立って見えた。アメリカ国内は確かに同社のTreoシリーズは人気が高いようで、街角や空港、ホテルなどで使っている人をよく見かける。こちらのビジネスマンの間で人気の高い「Blackberry」(ワイヤレスキーボード内蔵小型PDAで、主に外出先での電子メールチェックに使われている)の機能に携帯電話を付加した「Treo 300」が、特に好評を博しているようだ。多くの機能を持つ携帯電話が日本のように普及していないアメリカでは、このような「PDAが電話に進化した製品」に人気が集まるのもうなずける。最もこの手のPDAは、今後アメリカで多機能の携帯電話が普及するにつれ、熾烈な競争にさらされる可能性が高い。

老舗のPalm社も負けずに、10月にOS 5.0を搭載した新モデル「Tungsten T」を発表した。同社の高性能でコンパクトなPalmマシンという路線を踏襲したモデル

で、かなり洗練されたフォルムと相まって、こちらも人気を呼びそうだ。また同社からは、既存の低価格化路線も継承した99ドルの「Zire」もお目見えした。

▶シェア奪還に向けての布陣

このように新製品ラッシュのPalm業界だが、少なくともアメリカの市場をみる限り、Palm陣営内での各メーカー・各モデルの「棲み分け」がより明確になり、かつ安定してきているように思える。多少サイズを犠牲にしたとしても、ハイエンドなマルチメディア機能を追求する「CLIE」。携帯電話と電子メール機能が欠かせないユーザーのための「Treo」。ビジネスユーザーにターゲットを絞り、できる限り小さくしたボディに高機能を詰め込んだ「Tungsten」。そして、教育市場や初心者を狙った低価格の「Zire」。しかも、特にビジネス市場を意識したTungstenなどは、マイクロソフトOfficeのファイルを利用可能にするアプリケーションをあらかじめ内蔵するなど、Pocket PC陣営に奪われてきたビジネス市場におけるシェアを奪回しようとする意気込みが感じられる。昨年来、長らく待たれていた高速なプロセッサと新OS、そしてアイデンティティが明確にされた各Palmマシンメーカーの個性的製品の登場により、Palmが再びPDA市場に全面展開を挑む準備は整った。来年は、いよいよ「Palm第二期黄金時代の幕開け」となるか。機はまさに熟しつつある。

著者紹介

飯吉 透 (いひよし・とおる)
米国カーネギー財団上級研究員・知識メディア研究所ディレクター。学術博士Ph.D.(教育システム学)。コンピューター文化や教育とテクノロジーに関する著書、連載、講演など多数。シリコンバレー在住

PalmでOfficeを持ち歩こう！ Documents To Go

文 ドクターyashimac/八島 伸之(http://worpaholic.com/) 教室

第3回 「Sheet To Go」でオトナの小遣い帳を作ってみよう！

category | Sheet To Go
難易度 |

関数の基礎をマスターすべし

今回はSheet To Goの基本機能に触れながら実際に出張精算書を作成したが、今回は小遣い帳を作りながら関数の基礎を身につけよう。関数とはあらかじめ定義された数式のこと、数値や文字列などのデータを与えると、その値を計算して関数を入力

したセルに答えを表示する。関数を使うことによって、複雑な数式を簡素化できる利点がある。Sheet To Goでは、約110種類の関数が利用可能だ。このうちのいくつかの使い方をマスターしてしまえば、自分だけの小遣い帳が簡単に作れる。まずは、関数の入力方法と主な関数の種類、また、Sheet To Goでは使えない関数を把握しよう。

NEWS!

「Documents To Go 5.0」が待望の国内発売！

米国に続き、日本でも「Documents To Go 5.0 Premium Edition 日本語版」が発売された。Palm OS 5に対応したほか、数値のグラフ化、スライドの作成 / 編集(ウィンドウズ版のみ)などが可能になった(67ページにレビュー記事)。また、CLIE NXシリーズには「同Standard Edition日本語版」が、標準で付いている。

なお、当教室では今回より「Documents To Go 5.0 Premium Edition 日本語版」を使用します。

これが関数のキホンだ!

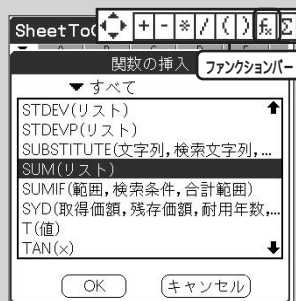
関数入力の基本ステップ

1 関数を入力するセルを選択



Sheet To Goでは、関数を入力することを「関数の挿入」という。関数を入力する先は、計算結果を表示したいセルだ。任意のファイルを開いて、セルを選択する

2 一覧の中から挿入する関数を指定



下部の「fx」をタップするとファンクションバーが現れる。この中の「fx」をタップして「関数の挿入」画面を呼び出し、挿入する関数を一覧から選択して「OK」をタップする

3 処理したいデータを選択



複数の連続したセルをまとめて指定したい場合は、先頭のセルから末尾のセルまでスタイルスでドラッグ。関数の挿入を中止したいときは下部の「x」をタップする

4 関数の計算結果を確認



関数を入力した結果、指定したデータがどのように処理されるかを確認するには下部の「x」をタップする。関数はデータを処理し、計算結果を選択したセルに即座に表示する

覚えておきたい関数10

関数	機能	書式	解説
1 SUM	与えられた数値をすべて合計する。数値は30個まで指定可能	SUM(A1:A5) SUM(A1:A5)	セルA1とA5の数値を合計する セル範囲A1:A5の数値を合計する
2 IF	任意の値または数式が条件を満たしているかどうかをテストする	IF(A5<=100,"不合格","合格")	セルA5の数値が100以下の場合「不合格」、超える場合は「合格」と表示
3 AVERAGE	指定した数値の平均値を求める。数値は30個まで指定できる	AVERAGE(A1:A5)	セル範囲A1:A5の平均値を求める
4 MAX	指定した範囲にある最大の数値を求める。数値は30個まで指定できる	MAX(A1:A5)	セル範囲A1:A5にある最大の数値を求める
5 COUNTIF	指定した範囲の中で、検索条件に合うセルの個数を数える	COUNTIF(A1:A5,">=200")	セル範囲A1:A5にある200以上の数値が入力されたセルの個数を求める
6 ROUND	指定した桁数で数値を四捨五入する	ROUND(A1,2)	セルA1の数値を小数点以下2桁で四捨五入する
7 MOD	指定した除数で数値を割ったときの余りを求める	MOD(A1,A5)	セルA1をセルA5の数値で割った余りを求める
8 SUBSTITUTE	文字列の中にある、指定した文字をほかの文字に置き換える	SUBSTITUTE(A1,"P","Palm")	セルA1の文字列にある「P」を「Palm」に置き換える
9 ROWS	指定したセル範囲または配列の行数を求める	ROWS(A1:A5)	セル範囲A1:A5の行数を求める
10 LEN	指定した文字列の文字数を求める	LEN("東京都 新宿区")	「東京都 新宿区」の文字数(=7)を求める

Sheet To Goでは使えない関数

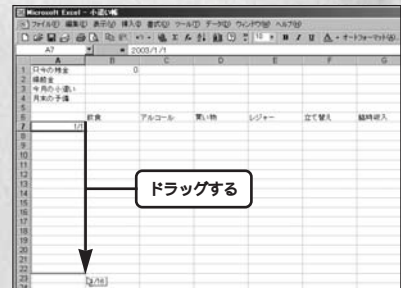
Sheet To Goがサポートしていない関数を含んだExcelファイルを読み込むと、ファイルが強制的に閲覧専用モードに固定(画面右下に鍵アイコンが表示)され、編集ができなくなる。以下はそんな関数の一部だ。

関数	解説
ASC	文字列内の全角英数カナ文字を半角に変換する
DAYS360	指定した2個の日付の間の日数を算出する
PHONETIC	指定文字列のフリガナを自動的にセットする
HYPERLINK	指定した文字列にハイパーリンクを埋め込む
RAND	0から1の間の乱数を発生させる
ROUNDDOWN	ある数値を、指定した桁数で切り捨てる
AVEDEV	平均値に対する各データの絶対偏差の平均を求める
LARGE	指定した順位番号に大きなデータを求める
RANK	指定した数値が範囲の中で何番目に大きいか、その順位を調べる
YEN	数値を四捨五入し、「¥」を付加した文字列に変換する

Excelで小遣い帳のひな形を作る

まずはExcelで小遣い帳のひな形を手早く作ってみよう。Excelを起動したら「ファイル」の「新規作成...」で、「標準」タブの「ブック」を選び、「OK」で新規ファイルを作る。なお、今回作成する「オトナの小遣い帳」の主な機能は以下のとおりだ。

- ・ 1シート1カ月分、1ファイル1年分とする。
- ・ 最初に手持ちの現金を「今月の小遣い」として入力する。
- ・ 支出を入力するつど自動的に減算を行い、先頭行に残金をリアルタイムで表示する。
- ・ 月末に確保しておきたい金額を自由に指定および変更できるようにし、変更したときは残金を自動で再計算する。
- ・ 赤字になったら、残金を赤色で表示する。
- ・ 前月からの繰越金が自動的に入力されるようにする。



Excelで日付を素早く入力するには、図のA7セルに2003年1月1日と入力。A7セルの右下にカーソルを合わせ、カーソルが「+」に変化したら、マウスを左クリックしたままA37セルまで移動する

Sheet To Goで関数を挿入する

Excelで作った小遣い帳のひな形を、HotSyncしてPalmに取込み、関数を設定しよう。SUM関数を使って、1日と1カ月ごとの収支と各項目の合計を求める。SUM関数は、ファンクションバーのオートSUMを使うとより早く挿入できる。1日の収支の合計を表示したいセル(H7)を選択した後、下部の「fx」をタップし、ファンクションバーの「Σ」をタップする。あとは、F7セルからB7セルまでドラッグして、集計範囲を指定すればいい。この合計値を臨時収入(G7セル)から減算するようにしておけば1日分の指定は完了だ。



1日分の収支を設定したら、そのセルを31日(H37セル)までコピーする。すると、SUM関数も各セルに、自動的にコピーされる



前月からの繰越金、今月の小遣い、1カ月の収支を合算し、月末の準備金額を差し引けば、常に最新の残金(B1セル)が求められる

もっと便利にカスタマイズする

前月からの繰り越し残高を自動的に入力できるようにしておけば、月の変わり目に別のシートをめくらなくていいので便利だ。関数を挿入する際、必ず前月のシート名を指定するように注意しよう。

また、その月の残金が赤字になった場合、数字を赤色で表示するには、残金を表示するセルを2秒ほどタップして、ポップアップしたウィンドウで「数値のフォーマット」を選択。「フォーマット」を「通貨」に、「種類」を「日本円」にして、「負の数値を赤色で表示」にチェックマークを付けられれば、



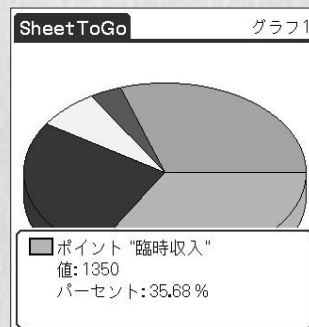
2月のシートの繰越金を表示するセルに「=SUM(Sheet1!B1)」と関数を入力。これで1月(Sheet1)の残金(B1セル)が自動的に繰り越せる



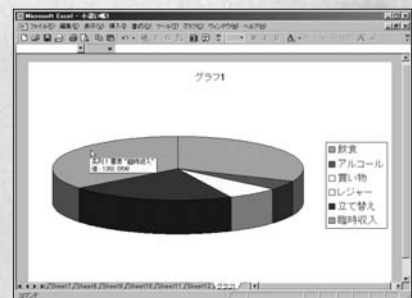
「1000セパレーターを使用」にチェックを付けておくと、残金を「¥10,000」のように表示できる。さらに赤字の金額をカッコで囲むこともできる

収支を入力し、グラフで分析してみよう

いよいよ実際に、日々の収支を各セルに入力していく。今回の小遣い帳で入力する必要があるのは、原則として「今月の小遣い」、「月末の予備」、各項目の収支の3種類だ。いずれも月の途中で変更でき、数値はリアルタイムで再計算される。数値で表示するのもいいが、ここはぜひSheet To Goの「Smart Chartテクノロジー」を利用してグラフで確認してみよう。



グラフ化したセルをスワイプして範囲指定し、画面上部のグラフアイコンをタップするとウィザードが現れ、グラフが簡単に作れる



Sheet To Goで作成し、保存したグラフは、HotSyncでパソコンに移して、Excelで開くこともできる。シートを切り替える要領で画面下のタブをクリックすればいい

このひら 通信生活

テーマ ▶▶ OS 5時代の標準ブラウザはNetFront? Xiino?

文 丸山 弘詩(FocV Project)

NXシリーズ付属の「NetFront」 の実力はいかに

'02年10月に、Palm OS 5を搭載したCLIE PEG-NXシリーズが発売となり、これから徐々に世代交代が進んでいこう。実際に手元に置いてメインデバイスとして使用すると、通信端末としてはどの程度進化しているのが気になる。特にメールとWebブラウズ環境は死活問題とも言える。これまでのPalm OS 4.xでは数多くのメーカーやブラウザが公開されており、さまざまな選択肢が存在したが、そのすべてが今回発売となったPalm OS 5に対応するにはそれなりに時間が必要だ。

メーカーもそのあたりの事情はよく分かっていると見えて、今回ソニー側から発売されたCLIE PEG-NX60 / 70Vには、PEG-T650などに搭載されていた「CLIE Mail」がPalm OS 5対応版として用意されている。また、日本国内ではいわば標準ブラウザとも言えた「Xiino」に代わるものとして、新たに「NetFront」も用意されている。ともに別途ライセンスを購入する必要などなく、NXシリーズを購入してすぐに利用できるのはうれしいことだ。

実は本稿ではメール環境の総まとめをや

る予定だったが、実際のところCLIE Mailを除くとメールソフトのOS 5対応状況は、残念ながらいまひとつ芳しくない。

そこで今回はOS 5の時代のブラウズ環境として標準となりうるNetFront Ver.3.0(以下、NetFront)の概略を見ていきたいと思う。比較対象として㈱インクスのXiino 2.1S(以下、Xiino)を用意した(11月末の執筆時点では、残念ながら㈱インクスからXiinoのPalm OS 5への対応予定はアナウンスされていない)。

今回使用したPalmデバイス、CLIE PEG-NX70V、同 PEG-T600C、通信用機器としてCFE-02(AirH)、PEGA-MSB1、PEGA-WL100である。CLIE PEG-NX70Vは、フラッシュのコンテンツの再生も可能と、Webブラウズ環境としては徐々に快適さが増しているが、NetFrontの利用時にメモリー不足のメッセージが表示されることが何度あり、まだまだブラッシュアップする余地があるようだ。今後、NetFrontの対応が期待される場所である。

さて、見るからに多機能なNetFrontであるが、その設定画面はシンプルにまとめられており、普段の操作はほとんどアイコンをタップするだけだ(図1~4)。細かい設定も難しくなく、

表示画面の情報量

まず、もっとも気になるのは1画面で表示可能な情報量だろう。NetFrontの場合は画面下部に用意されたアイコンをタップすることで、3段階に表示スタイルを変更可能となっている。

これに対してXiinoの場合、標準状態ではCLIE高解像度の恩恵にあずかれるのは画像表示のみである。しかし、今関弘明氏の「hrFontMapper 2.0」をインストールすることで、CLIE標準のフォントだけではなくスモールフォントの利用も可能となり、CLIEの高解像度を生かした表示ができる。

hrFontMapper 2.0

作者：今関弘明
種別：シェアウェア(1200円)
URL: <http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>
*本誌116ページを参照



図1 設定画面には、画像・アニメーションGIF表示の切り替え、テーブルタグ、CSS(スタイルシート)、JavaScriptのオン/オフ、クッキー、一時ファイルとしての使用サイズなどの設定がある



図2 プロキシの設定とオートダイヤル、自動回線切断などの設定。特に、社内の無線LANを利用する場合は、プロキシ設定が必要な場合が多いので、この画面で設定しておく



図3 BACKボタンの設定を行う。ホーム画面を表示するか、履歴を1つ遡る設定が可能。片手で操作することが多いPalmでは、かゆいところに手が届く、親切な設定項目だ



図4 ホームのURLの指定。入力支援モードがあり、URLの候補がポップアップメニューで表示されるので、URLを入力する手間が短縮されてラクだ

スタイルシートのサポート

昨今のWebサイトが一般的にスタイルシートを多用している状況を考えると、NetFrontが正式にスタイルシートに対応していることは喜ばしいことだ。

ここでは、スタイルシートを外部から読み込んで例として、Palm関係のニュースサイト「PalmFan」(http://www.palmfan.com)を利用し、パソコンでブラウズしたときと比較してどう見えるかを確認するため、NetFrontに用意されている3種類の画面を用意した。

標準フォントを利用した画面では、さすがに横方向すべてを一覧することは不可能であるが、スタイラスで上下左右に画面をドラッグすることができるので、制作者の意図するものに限りなく近いものを確認できる。このほか、グラフィックはそのままの比率で、スモールフォントを利用した画面、横320ドットというサイズにすべてを収めた画面が用意されている(図5~7)。メニューの「NetFront設定」にある「CSS」をオンにしての表示であるが、背景色やグラフィックなどを外部スタイルシートで指定しているにもかかわらず、正常に表示されているのがわかる。

表示比較のために、Palm OS 4.1搭載の

PEG-T600C上でXiinoを使用した場合の画面を見てみよう。残念ながら外部スタイルシートで指定された項目は正常に表示されていない。<TABLE>タグで配置されたトップの画像は崩れて表示されている。もちろん、表示される情報量は標準フォントのためNetFrontに比較すると少ない。ただし、前述のhrFontMapperを利用すること

で、一度に確認できる情報量を倍以上にすることも可能ではある(図8、9)。

なお、参照したPalmFanはNetFrontで表示した場合、ページサイズが大きいためエラーメッセージが出てしまう。画面表示にどの程度の影響が出ているかは確認できなかったが、HTMLタグが誤って解釈されているような表示はなかった(図10)。



図5~7 PalmFan.comの表示。スタイルシートで指定されている背景色などが反映されている。真ん中の図6のパナーにはアニメーションGIFが利用されているが、これもパソコン上と変わらない状態で表示される



図8、9 Xiinoのデフォルト設定で表示した様子。画面上部の画像配置がずれてしまっている。文字は標準フォントのみでの表示だ。図9は前ページで紹介したhrFontMapperでスモールフォントを利用した表示で、情報量は増加しているが視認性は上がっていない



図10 ページサイズが大きい場合は、コンテンツの一部が正常に表示されないという警告が表示される。更新頻度が高いニュースサイトではやむを得ないだろう

巡回機能とブックマークの保存

Webに掲載されている情報は接続した状態で閲覧するとは限らない。まとめてダウンロード、つまり、巡回機能も実装されているので、例えば出勤前にネットワークに接続して巡回して、通勤途中に閲覧することも可能である。ブックマークのリストで左側にマークが付いている項目は巡回指定されているサイトである(図11)。カテゴリごとに巡回することが可能なので、朝の会社時と退社時にカテゴリを分類して、行き帰りに閲覧するサイトを変えることもできる。ただし注意点は、ページサイズが大きく警告が出るサイトがあると、その時点で巡回が中断されることである。

場合によっては、Webページをメモとして残したい場合があるだろう。そのときはメモリースティックを差して、「編集」メニューの「ページメモ登録」でメモとして残することができる。拡張子MCFのファイルがそれ。また、パソコンで閲覧していたファイルをHTML形式で転送しておけば、NetFrontでの閲覧も可能だ。



図11 ブックマークリスト。巡回設定に含まれているのはアイコンで確認でき、カテゴリ分類もできる

メールとの連携

Xiinoでもサポートされていた機能であるが、NetFrontでもメールタグがサポートされており、リンクをタップすると自動的にCLIE Mailが起動してメール送信画面が表示される(図12)。CLIE Mailの起動を待つ

時間はほとんどなく、ここはDragonBallからARMへの移行が最も体感できるところだ。



図12 Webサイトに<MAILTO:>タグが埋め込まれている場合は、ダブルタップすることで自動的にCLIE Mailが起動する

Palm なんでも相談所

モノクロからカラーまで魅力的なモデルが出揃った Palm デバイス。周辺機器もますます充実し、使い道は広がるばかりだ。当然、使いこなす過程でさまざまな疑問やトラブルが生じるだろう。本コーナーでは、Palm にかかわる問題の解決に役立つ情報を提供していく。
●●● 落合 徹

Q メモリースティックの青色と白色はどう違うの?

メモリースティックには青色と白色があり、同容量のものでも実売価格が違う。CLIE ユーザーはどちらを買えばいいのだろうか

A ATRAC 形式の音楽データを再生しないならば青色で十分だ

メモリースティックは、容量を別にするとう白色と青色の2種類に分けられる。白いほうにはマジックゲートという著作権保護技術が組み込まれており、そのコストのぶん、同技術が組み込まれていない青いほうに比べて実売価格が高い。11月現在、64MBは青色が5000円、白色が7000円程度、128MBはそれぞれ9000円、1万1000円程度で販売されている(写真)。

では、CLIEで白色のメモリースティックが必要になるのはどのような場合だろうか。今のところは、「Audio Player」でATRAC形式の音楽データを再生するときだけだ(図1)。ATRAC形式のファイルは、CLIE 付属のウィンドウズ用ソフト「SonicStage」や「OpenMG Jukebox」で作成できる。それ以外のデータの出入力には影響はない。従って、音楽は聴かない場合や、Audio Playerに非対応のCLIEでは、必ずしも白色を使う必要はない。また、N700Cに付属するAudio Player Ver.1.0以外はMP3形式の音楽データを再生できるので、白色でなくても音楽を楽しめる。



写真 青色にはサードパーティー製もある。一般にソニー純正よりも安価だ。CLIEで使う場合、マジックゲート対応は必須ではないので、純正にこだわる必要はない



図1 Audio PlayerでATRAC形式を再生する場合のみ、白色のメモリースティックが必要になる。MP3形式を再生する場合は、青色でもいい

Q CLIE_NXシリーズでネットワークHotSyncがうまくいかない

CLIEのNXシリーズにワイヤレスLANカードを差してネットワークHotSyncをしようとしても、接続状態になったままで先に進まない

A CLIE側のプライマリーパソコン名を空白にする

CLIEのPEG-NX60/70Vでは、ワイヤレスLANカード(PEGA-WL100)を使って、ワイヤレスネットワーク上のパソコンとHotSync(以下、ネットSync)を行うことができる。LANカードの説明書に従ってCLIEを設定した結果、インターネットは使用できる状態にあるにもかかわらず、ネットSyncにトラブルが発生することがあるようだ。

このようなときは、CLIE側のプライマリーパソコン名の記入欄を空白にすれば、アドレス欄で指定したパソコンとうまくHotSyncできる(図2)。ただし、この欄はHotSyncが終了したときに、パソコン側のプライマリーパソコン名が入力されてしまうので、ネットSyncを行うたびに空白にする必要がある。「暫定対処丸」というソフト(図3、<http://www.maicca.com/>、フリーウェア)を使うと、この作業を自動化できる。また、プライマリーパソコン名を「!!」としても、同欄の書き換えを防ぎつつ、空白にした場合と同じ結果が得られるようだ。



図2 HotSyncアプリケーションの「オプション」にある「プライマリーパソコンの設定」で設定を行う

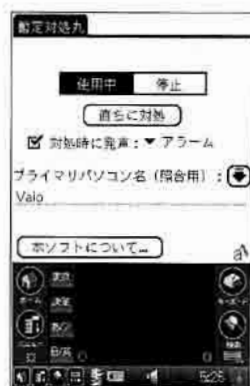


図3 「暫定対処丸」を使用すれば、プライマリーパソコン名を自動的に削除できる

Q TrainTimeの時刻表データを簡単に管理したい

時刻表ソフト「TrainTime」用のデータ作成に「TrainConv Explorer」を使っているが、多くの駅の時刻表を管理するのは手間がかかる

A 最近のTrainConvに付属しているPalm用プラグインを使ってみよう

「TrainTime」は、日頃、鉄道を利用する人にはとても便利なソフトだ。時刻表データも、広く普及しているTBL形式をベースにしているので、時刻表サイトのデータから自動作成するパソコン用のソフトを利用できる。中でもお勧めなのが、ウィンドウズ用ソフトの「TrainConv Explorer」(<http://www.bzwind.com/users/ntak/>、フリーウェア)だ。だが、TrainTimeのデータ保存場所がメモ帳あるいはTrainTime独自のデータベース内であるため、せっかくデータを作成しても、結局はPalm Desktop上のメモ帳などにコピー&ペーストして移さなくてはならない。利用する駅が少なければ大した手間ではないが、多くの駅の時刻表を利用している場合は、途端に面倒な作業になってしまう。

だが、最近のTrainConv Explorerはプラグイン形式で機能拡張ができるようになっており、Palm用も標準で付属している(図4)。TrainConv Explorerで時刻表データを作成したら、「ファイル」の「エクスポート」で「PalmDesktop(CSV)」を選択すると、そのときに作成したすべてのデータが1つのCSV形式ファイルにまとめて格納される。そのファイルをPalm Desktopのインポート機能でメモ帳に読み込んだら、あとはHotSyncするだけだ(図5)。メモ帳には1件につき4KBの容量制限があるため、1駅分のデータが4KB以上になる場合は、平日分と休日分に自動的に分割される(それでも収まらない場合は、その駅はスキップされる)。なお、Palm Desktopへインポートする際、インポートする駅の古いデータがメモ帳にある場合は、あらかじめ削除しておく必要があるので注意しよう。



図4 TrainConv Explorer添付のプラグインを使用すれば、時刻表サイトのデータを基に作成した時刻表を手軽にPalmで利用できる



図5 プラグインで作成したCSVファイルをPalm Desktopのインポート機能で読み込むと、複数の駅の時刻表データを一度でメモ帳に入力できる

Q 赤外線通信に対応していないソフトを赤外線送信できるか

一部のソフトやメモ帳などのデータは赤外線通信によって転送できるけど、赤外線通信機能がないソフトのデータやDAは転送できないの？

A 送信側で赤外線転送ソフトを使えば可能だ

周囲にPalmを使っている人がいる場合、赤外線転送は便利だ。だが、ソフトは転送できても、それに付属するデータが転送されないために転送先でそのソフトが使えないこともままある。また、DAソフトやHackソフト(ホームの「赤外線通信」のリストに表示されない)など、データの赤外線転送機能を持っていないソフトのデータは転送できないのだろうか。

結論から言うと、赤外線転送機能に特化したソフトを使うことによって可能だ。「B4*」(<http://www001.upp.so-net.ne.jp/h-yama/>、フリーウェア)など、転送先に特別なソフトを必要としないものがいくつか存在する(図6)。また、「McFile」(<http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>、[1500円](#))などのファイル管理ユーティリティにも、赤外線転送機能を備えているものがある。McFileは、転送側のPalmでもMcFileが起動している必要があるものの、外部メモリー上にあるファイルを、相手側の外部メモリーにダイレクトに転送できる便利な機能を備えている(図7)。

この種のツールでは、データベース(パソコンで言うとファイルに該当するPalm OSの管理単位)を相手に送ることになるので、ソフトのデータを送る場合には、その内容が格納されているデータベースがわかっていなければならない。また、ソフトのバージョンが異なったり機種固有のデータだと、転送しても相手側で使えなかったり、転送先のPalmの動作に不具合が発生する可能性がある。内容のはっきりしないものや、使用した結果がわからないものを転送する場合には、十分な注意が必要だ。

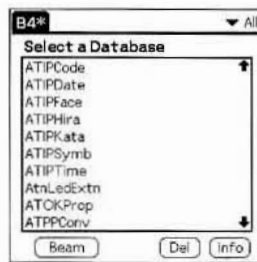


図6 B4*の画面。Palm本体内のデータベースがリストアップされるので、送信したいものを選択して「Beam」ボタンをタップする



図7 McFileは赤外線転送機能を備えている。相手もMcFileを使っている必要があるが、外部メモリー上のファイルも相手の外部メモリーに転送できる

即ブックマークしたくなる魅惑のサイト集

ToGo サイト案内板

文/八島 伸之 ドクターyashimac@www.worpaoholic.com

今回のテーマ 「Palm OS 5時代に備える」

世界初のPalm OS 5搭載機「CLIE NX」が登場して約2カ月。OS 5ってどう? あのソフトは動くの? など、インターネットの世界は喧騒。そこで今回は、OS 5時代を謳歌するための頼もしいサイトを紹介します。

チェックするだけでお目当てのソフトが検索できるデータベース

PalmWare DB for CLIE

URL <http://www.treasure-ways.com:8080/ClieWareList.jsp> 管理人:koby

カテゴリと機能でソフトを抽出

オンラインPalmウェアを対象とした検索専門サイト。必要な項目にチェックするだけで条件に合ったソフトを素早く探せるのが最大の特徴だ。Palmウェアの更新情報を伝えるサイト「PalmwareFan」を基に構築したデータベースは、およそ半月ごとに更新される。利用方法は簡単で、お目当てのソフトのカテゴリにチェックマークを付けて、検索ボタンをクリックするだけでいい。カテゴリは現在、「基本PIM」(通信系を含む)や「ファイル」(各種ビューアーを含む)など合計8種類がある。

さらに効率よく探したい場合は、全カテゴリを指定し、下段の「絞り込み」で機能を絞る。絞り込み条件は「os5」(Palm OS 5対応)、「FM音源」(CLIEのFM音源対応)などの5種類。カテゴリ、絞り込み条件とも複数と同時に指定できる。

知ってトクする便利な検索方法

絞り込み条件の中に目的の機能がない場合は、キーワード検索がオススメだ。例えば「OS 5でBMP画像が扱えるソフト」が希望なら、すべてのカテゴリと絞り込みの「os5」にチェックマークを付ける。さらに検索ボックスに「bmp」と入力して検索ボタンを押せばいい。絞り込み条件の指定は任意なので、例えば、上段のカテゴリにすべてチェックを付けて、次に検索ボックスに「mac」とだけ入力すれば、説明文にmacを含んだソフトだけを抽出できる。

なお、データベースには登録してあるが、絞り込み条件として設定していない項目にVFS対応がある。そこで、VFS対応のゲームだけを抽出したいときは、サイトのURLの後ろに続けて「?MODE=FIN&cxGAME=on&cxVFS=on」と直接指定すればOKだ。



検索結果として、ソフト名、指定したカテゴリ、機能を示すアイコン(下表記)、ソフトのアイコン、説明文を表示。価格などの変更の可能性が高い情報は扱わない方針だ

表 主なアイコン一覧

アイコン	意味
	Palm OS 5に正式対応している
	VFSに対応。メモリーカード上のソフトやデータが利用可能
	CLIEシリーズの高解像度(320×320ドット)液晶に対応
	CLIE NXシリーズの高解像度(320×480ドット)液晶に対応
	CLIE NRシリーズの高解像度(320×480ドット)液晶に対応
	CLIEのジョグダイヤルに対応。HandEra 330のジョグダイヤルとは別
	CLIEのFM音源に対応。NX/NR/Tの各シリーズで楽しめる
	16ビットカラーに対応。6万5536色の表示が可能
	海外版ソフトだが、対応する日本語ローカライザーが公開されている
	HandEra 330のランドスケープモード(横画面)表示に対応

定番サイト【要巡回編】

姉妹サイトのウェブマガジン「バルマガ」も盛況更新中
パーム航空

URL <http://palm.org/>

Palmをこよなく愛する人のための娯楽系サイト。主宰の機長氏監修による書籍「シンプル・パーム」が発売中

開発者の広場「Palm Hackers' Salon」を主宰する
Simple-Palm

URL <http://simple-palm.com/>

日本語環境ソフト「J-OS」の生みの親でもある山田 達司氏のサイト。氏の作品のOS 5対応状況が一覧表で登場

まずは5つ星ソフトをまとめてダウンロード&試用せよ
Muchy's Palmware Review!

URL <http://muchy.com/>

国内最大級のPalm関連製品総合レビューサイト。同サイトの書籍版「Palmシリーズ最強化パック1500」も必読

日本最大級のオンラインPDAユーザーコミュニティ
PDAフォーラム FPDA@nifty

URL <http://www.nifty.com/forum/tpda/>

10年以上の歴史を誇るPDAファンのための総合サイト。Palmをはじめとする各種PDA関連のニュースが随時掲載

Palm OS搭載機に関するニュースをかみ砕いて解説
PalmFan

URL <http://www.palxfan.com/>

ユーザーによるユーザーのための情報共有サイト。Palmウェアの更新速報は姉妹サイト「PalmwareFan」で

定番ソフトから日本語ローカライザーまでOS 5対応状況を随時更新

CLIE NX70、NX60アプリケーション対応情報

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Namiki/8083/nx70app.htm> 管理人：岩城

Palm OS 5搭載のCLIE NXシリーズで各種パームウェアが動作するかどうかを一覧表にまとめたサイト。一般のアプリケーションのほか、OS 5での動作が懸念されていた

HackソフトやDAソフトの対応状況も報告している。動作するものは白、しないものは灰色といった具合に、状況に応じて各ソフトの背景色を変えてあり、見やすい。



CLIEファンのためのコミュニティサイト「CLIE User Club」内に設置された掲示板の投稿を集約した。11月初旬時点で200本以上を紹介

掲載ソフトはカテゴリ別に分類されているので、お気に入りのソフトがOS 5未対応でも、同じタイプのソフトを探しやすい



大きなマークでハッキリ見える！ OS 5互換性一覧表が便利

CliePlanet

<http://www.clieplanet.com/>

管理人：Shaun McGill

英国のCLIE総合サイト。各種ソフトのPalm OS 5対応状況を確認するには、メニュータブ「HI-RES PROGRAMS」をクリックしよう。取り上げるのは原則として高解

像度液晶対応ソフトで、「HR+」欄にチェックが付いているものは、CLIE NR/NXシリーズのワイドハイレゾに対応する。日本製ソフトを含め約200本を網羅している。

Palm関係の関心と関心をつなぐメンバー制のユニークな空間

わかばPalm空間

<http://www.kanshin.jp/palm/>

管理人：たかはしっ

新機種情報をはじめとするPalm関係の話題がテーマごとに集約されたサイト。掲示板の即時性と高い閲覧性が特徴だ。管理者の招待を受けて登録を済ませたメンバーは、

テーマに対してコメントしたり、関連するテーマをリンクで結ぶなどして、関心の輪を広げられる。メンバーでなくても閲覧することは可能。テーマの検索方法も多彩だ。



テーマの検索方法は、トップページ右上のキーワード検索のほか、左側のキーワード一覧、その下のカテゴリー別検索というように選べる

プラットフォームの解説など、開発者を支援するオフィシャルな情報がコンテンツの中心になっている



Palm OSユーザーなら定期的にチェックしておきたい情報が満載

Palm OSデベロッパサイト

<http://www.palmos-japan.com/>

管理人：パーム コンピューティング

Palm OSに関する日本語公式サイト。OS 5の新機能やソフトの互換性に関するドキュメントは、左側メニューの「プラットフォームについて」にある「Palm OS 5」で

自由に閲覧できる。同じく「デベロッパプログラム」の「開発ツール」では、ソフトの互換性を検証するための「Palm OS 5 Simulator」を無償でダウンロードできる。

定番サイト【メーカー編】

Treo 90ファン急増中！ 日本語版の発売なるか？
ハンドスプリング(株)

<http://www.handspring.co.jp/>

ハンドスプリング(株)の公式サイト。FAQのほか、修理に関する問い合わせもカスタマーサポートのページから

魅力的な新機種が米国で続々発売。日本語版の行方は？
パーム コンピューティング(株)

<http://www.palm-japan.com/>

パーム コンピューティング(株)の公式サイト。OS 5搭載のTungsten Tや99ドルのZireなどが米国で発売

拡張性に優れるHandEra、TRGproのことならお任せ
(株)エム・ディ・エス

<http://www.mds2000.co.jp/>

HandEra 330、TRGproの製品情報を提供する(株)エム・ディ・エスのサイト。アップデータも入手可能

世界初のPalm OS 5搭載CLIE「NX」を世に送り出した
ソニー(株)

<http://www.sony.co.jp/CLIE/>

ソニー(株)のCLIE公式サイト。限定モデルも含め、ハイエンドから廉価版まで今年だけで9機種を発売した

世界初の日本語版Palm OS搭載機で歴史に名を刻んだ
日本アイ・ビー・エム(株)

<http://www.ibm.com/jp/pc/workpad/>

日本アイ・ビー・エム(株)のWorkPad公式サイト。市場在庫限りで販売は終了したが、サポートは継続

用語事典

文/片山 哲也

Palmを使っていると、長年パソコンを使っているユーザーでも聞き慣れない用語が数多く出てくる。ところが、「パソコン用語事典」へのPalm用語の掲載は少ない。そこで、このコーナーではPalm独特の用語をわかりやすく解説しよう。

NetFront

(株)アクセスが開発したWebブラウザのこと。携帯電話、PDA、カーナビ、ネット家電、ゲーム機などさまざまな機器に対応し、携帯端末用Webブラウザとして最も普及している。

対応プラットフォームはTRON、Symbian OS、Pocket PC、Linuxだったが、Palm OS 5を搭載したCLIE NXシリーズに標準で付属し、Palmユーザーにもその名前を知られることになった。

NetFrontの主な特徴として、以下のものが挙げられる。

HTML4.01対応(ダイナミックHTML対応)

クッキーのサポート

JavaScript 1.5サブセット搭載

SSL Ver.2/3

フレーム対応

JPEG、GIF(アニメーションGIFを含む)、PNGを表示可能

そのほかにも、プラグインを利用することでFlashやMP3、MPEG-4ファイルを再生したり、音声認識にも対応する。さらにCLIE NX

シリーズでは、ワイドハイレズスクリーンに対応してシルクエリアまで画面を拡大できるほか、画面サイズに合わせてページのレイアウトを整形して表示することが可能だ。また、ページ全体をメモリスティックに保存したり、ページを自動巡回する機能も装備し、PDA用とは思えないほどの充実した機能を搭載している(図)。パソコン用のWebブラウザとほとんど同じ感覚で利用でき、省メモリ、省電力機能を備え、さらに低速なCPUでも高速表示が可能のため、PDAには最適なブラウザといえる。ただし、現バージョンでは表示するページのファ

イルサイズが大きい場合に、正常な表示ができないという問題も抱えている。なお、Palm OS 5のSDKには「NetFront SDK」が標準で付属していることから、Palm OS 5環境における標準Webブラウザとして位置づけられているといえるだろう。



図 Palm MagazineのWebサイトをNetFrontで表示したところ。「ジャストフィットモード」では、画像とテキストが画面に納まるようにレイアウトされる

eラーニング

eラーニングとは、一部では「Web-based training」と呼ばれることもあり、インターネットやイントラネットを使った教育/研修システムを指す。各種の資格試験をはじめ、語学、ビジネススキルアップなどのさまざまな講座がある(図)。eラーニングはインターネットへの常時接続やモバイル機器によるアクセス、ブロードバンドの普及により、将来は3000億円を超える市場に成長すると言われている。

eラーニングの最大の特徴は、これまでのように講師と受講者が教室に集まって受講するというシステムとは異なり、好きなときに、好きな場所で受講できる点にある。これにより、受講者は通学にかかる負担を減らし、効率的な学習を行えると同時に、学校側も教室などの施設にかかるコストを大幅に削減できるメリットがある。

従来からの通信教育と異なるのが、紙をほとんど利用しないことだ。eラーニングのほとんどがWebサイトを利用したり、教材をCD-ROMやDVD-ROMで配布するようになっている。そのため、これまでの通信教育のように解答用紙を郵送して、講師が添削し、それを送り返して受講者が確認するといった形態をとらず、ネットワーク

を通じてリアルタイムに採点を行える。また、過去の成績をデータとして蓄積できるので、それらを分析して弱点分野を洗い出し、集中的に学習することも可能だ。

Palmデバイス用のWebブラウザ「Xiino」を開発する(株)イリンクスは、eラーニング業界大手の(株)NTT-Xと提携し、モバイルラーニングソリューションの開発を進めている。NTT-XのeラーニングコンテンツをXiinoのチャンネル用に変換したり、Palmデバイスでオフライン状態で選択した解答を、HotSyncすることによってPalmデバイスからパソコン、そしてeラーニングサーバーへ、という流れでフィードバックすることが可能になるという。



図 Palmデバイスで動作するeラーニングの例。英語だけではなく、さまざまな言語が用意されている。受講者のレベルに応じた学習が可能だ

アクセラレータ機能

モバイル機器などによるインターネットへのアクセスにおいて、体感上の通信速度を向上させるためのサービス。Palmデバイスでは、日本通信(株)のデータ通信サービス「b-mobile」のWebアクセラレータ機能が利用可能だ。専用のアクセラレータサーバーが用意されているので、これをプロキシサーバーとして設定すればいい(図)。基本的にはWebサイト上の画質を圧縮することで容量を減らし、体感速度を上げるというもの。ただし、画質はそのぶん劣化する。

DDIポケット(株)が運営するプロバイダー「PRIN」は、通信プロトコルを最適化し、データを圧縮することによるアクセラレータ機能を提供している。32Kパケット、128Kパケット、フレックスチェンジ方式に対応し、通信プロトコルもHT-

TP、HTTPS、POP-3、IMAP、SMTP、FTPと幅広く対応している。ただし、専用のソフト「Fourelle Venturi for Air H」-PRIN」を必要とし、同ソフトのPalm OS用が提供されていないために、Palmデバイスではその恩恵にあずかれない。



図 b-mobileが提供するWebアクセラレータを利用するには、NetFrontなどのWebブラウザでプロキシサーバーの設定を行う

スマートフォン

携帯電話の機能とPDAの機能を融合させた次世代端末のことで、海外では米京セラ・ワイヤレス社、米ハンドスプリング社、フィンランドのノキア社などがすでに製品化している。

日本国内でも過去に京セラ(株)の「データスコープ」などが発売されたが、それ以来、販売されたことはない。さらに、日本国内で最大のシェアを誇る(株)NTTドコモの通信方式(PDC方式)が日本独自のものであるために、海外メーカーが参入しにくい側面もある(海外で販売されているスマートフォンの多くはGSM方式に対応している)。最近では、海外でCDMA方式のスマートフォンも登場しているが、auはすでに次世代通信規格であるcdma 2000 1xへと移行が完了しつつあるため、海外と同仕様のcdma one規格のものがこの時期から参入できないという事情がある。

スマートフォンと携帯電話の最大の違いはアプリケーションにある。現在の携帯電話では、iモードやezplusなどを利用することでJavaアプレットをインストールできるが、あくまでもJavaアプレットに限定されており、パソコンのように自由にアプリケーションをインストールできるわけではない。これに対してスマートフォンでは、SymbianのEpoch OS、PalmのPalm OSなどを採用していることもあり、PDAと同じようにアプリケーションのインストールによって機能の拡張が可能になっている。

HotSync

Palmデバイスとパソコンでデータのシンクロナイズを行うための機構。2回目以降のHotSyncでは、変更されたデータだけがシンクロされるため、短時間で作業が終了する。

PalmPowered

Palm OSを採用したデバイスに付けられるようになったロゴ。

ROM

Palm OSのシステム、ソフトが搭載されている場所。Palm、ソニー、HandEra、IBMのPalmデバイスは書き換え可能になっており、システムのアップデートが可能だ。Palm m100/105やハンドスプリング(株)のVisorシリーズは書き換え不可能なマスクROMのため、システムのバージョンアップはできない。

SDカード

松下電器産業(株)、サンディスク(株)、東芝(株)の3社が提唱したメモリーデバイスで、「SD」とは「Secure Digital」の略称。著作権保護機能を持つ。Palm m500/505が採用している。

USB

パソコンと周辺機器を接続するための規格。現在のUSB 1.1規格では通信速度が最大12Mbpsとなっている。PalmデバイスのクレードルにはUSBタイプとシリアルタイプがある。USB接続を標準でサポートしている機種では、シリアル接続より高速でHotSyncできる。

カテゴリー

アドレスやメモなどのデータをジャンルに分類して管理する仕組み。カテゴリーはユーザーが任意に作成できる。

グラフィティ

Palmデバイスが標準で用意する文字入力の方法。ひと筆書きのようなアルファベットや数字を使って文字入力を行う。

システムアップグレード

Palm OSのシステムをバージョンアップすること。フラッシュROMを採用していないPalm m100/105や、ハンドスプリング(株)のVisorシリーズなどはアップグレードできない。

シリアルポート

パソコンで一般的な周辺機器を接続するためのコネクタ。DOS/Vマシンでは通信速度が最大115kbpsとなっている。Palmデバイスではクレードルを接続するために利用される。HandEra、WorkPadシリーズはシリアル接続が標準。USB接続が標準のソニー(株)のCLIE、ハンドスプリング(株)のVisorでも、シリアルクレードルを利用することで接続可能。

赤外線

すべてのPalmデバイスには赤外線ポートが用意されており、赤外線を使ってデバイス同士でデータやソフトなどを交換することができる。また、赤外線HotSyncすることも可能。

ハードウェアボタン

Palmデバイスには、電源ボタン、上下スクロールボタン、4つのアプリケーションボタンが用意されている。アプリケーションボタンを押せば、電源オフの状態から即座に起動し、目的のソフトに素早くアクセスすることができる。

ランチャー

Palmのソフトを起動するもので、Home(ホーム)と呼ばれる。カテゴリー分けや表示方法の選択が可能。さまざまな置き換えソフトもある。

リチウムイオンポリマー充電電池

Palm m500やm505、ソニー(株)のN700Cが採用した次世代のリチウムイオン充電電池。従来の液状の「電解液+金属外装」という組み合わせに対して、「ゲル状の電解液+ラミネートフィルム外装」になったことで軽量化、および形状の自由度が向上している。重量当たりの出力は10パーセント程度向上する。

周辺機器&ソフトカタログ

Net
Work

CF型PHS用通信アダプター
(PEGA-CF70)



● ソニーマーケティング㈱
 ● <http://www.sony.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥1万9800円)
 対応機種: CLIE NRシリーズ
 CLIE NRシリーズでコンパクトフラッシュ型PHSを利用可能にする通信アダプター。リチウムイオンポリマー充電電池を内蔵する

モバイルコミュニケーションアダプター
(PEGA-MA15)



● ソニーマーケティング㈱
 ● <http://www.sony.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥1万2800円)
 対応機種: CLIE NR / Tシリーズ, SJ30
 CLIE NR / Tシリーズと携帯電話およびPHSを接続し、ネットワークアクセスを可能にする通信アダプター。ケーブルは別売り

CF型PHS用通信アダプター
(PEGA-CF61)



● ソニーマーケティング㈱
 ● <http://www.sony.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥1万4800円前後)
 対応機種: CLIE Tシリーズ, SJ30
 CF型PHS用アダプター。サポートする通信カードは「PEGA-CF60」と同じ。電源オフのとき、ミニキーボードなどを併用可能

Bluetooth モジュール
(PEGA-MSB1)



● ソニーマーケティング㈱
 ● <http://www.sony.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥1万9800円)
 対応機種: CLIE NR / T / Nシリーズ (Palm OS 4.1以上) / SJ30
 メモリースティックスロットに差し込み、Bluetooth技術によるワイヤレス通信を可能にする

Bluetooth アダプター
(PEGA-BT700)



● ソニーマーケティング㈱
 ● <http://www.sony.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥1万7000円前後)
 対応機種: CLIE N / Sシリーズ
 Bluetoothアダプター。Bluetoothを搭載したパソコンや携帯電話とワイヤレス通信を行い、HotSyncやインターネット接続が可能

Palm Bluetooth カード



● パーム コンピューティング㈱
 ● <http://www.palm-japan.com/>
 ● ¥1万9800円
 対応機種: m130 / 500 / 505 / 515
 SDカードスロットに差し込み、Bluetooth技術によるワイヤレス通信を可能にする。サイズは、幅24×高さ49×奥行2.4ミリ

コミュニケーションカードアダプター



● ㈱ハギワラスコム
 ● <http://www.hscjpn.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥1万1500円)
 対応機種: m130 / 500 / 505 / 515、WorkPad c505
 CF型PHS用アダプター。AirH⁺、P-in Comp@ctなどに対応。単4形乾電池2本で動作し、標準通信速度は32Kbps

モバイルコミュニケーションアダプター
(PEGA-MA700)



● ソニーマーケティング㈱
 ● <http://www.sony.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥1万2800円)
 対応機種: CLIE Nシリーズ
 PDC (デジタル携帯電話)、H⁺、PHS、cdmaOneなどに対応した接続アダプター。4種類のケーブルを用意する

SnapConnect 500



● ㈱アイ・オー・データ機器
 ● <http://www.iodata.co.jp/>
 ● ¥1万6500円
 対応機種: m500 / 505 / 515
 m500シリーズでデータ通信を実現する接続アダプター。デジタル携帯電話、feel H⁺、H⁺、PHS、cdmaOneなどに対応

モバイルコミュニケーションアダプター
(HPD-SCCP)



● ㈱ハギワラスコム
 ● <http://www.hscjpn.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥1万1800円)
 対応機種: CLIE Nシリーズ
 CLIEでCF型PHSを使用するためのアダプター。C@rdH⁺64petit、P-in m@ster、P-in Comp@ctに対応し、最高64Kbpsの通信を実現

56K アナログモデム
(PEGA-MD700)



● ソニーマーケティング㈱
 ● <http://www.sony.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥1万3000円前後)
 対応機種: CLIE Nシリーズ
 モジュラージャック経由でネットワーク接続を行うためのCLIE用本体装着型モデム。付属のUSBケーブルでHotSyncも可能

iTAX-irDA



● 加賀電子㈱
 ● <http://www.taxan.co.jp/>
 ● オープンプライス (¥9800円)
 対応機種: 全機種
 ㈱NTTドコモの携帯電話に装着して、赤外線によるインターネット接続や電子名刺の交換などの通信を可能にする

Spring Board Module

PHSモバイルカードアダプター (HSB-CFP)



株式会社ハギワラシスコム
<http://www.hscjpn.co.jp/>
 オープンプライス (¥7980 円)
 対応機種：Visor
 P-in Comp@ct接続用アダプターモジュール。PalmScape 3.1 日本語版、PalmScape Mail 1.0 日本語版(無料版)が付属する

Data Communication Card Adapter for C@rdH®64petit (HSB-CFH)



株式会社ハギワラシスコム
<http://www.hscjpn.co.jp/>
 オープンプライス (¥7980 円)
 対応機種：Visor
 C@rdH®64petit接続用アダプターモジュール。PalmScape 3.1 日本語版、PalmScape Mail 1.0 日本語版(無料版)が付属する

SnapSlot for Visor



株式会社アイ・オー・データ機器
<http://www.iodata.co.jp/>
 ¥9500 円
 対応機種：Visor
 8MBフラッシュメモリーとCFスロット(Typell)をひとつのモジュールに。ドライバーのアップデートによりCF型PHSも使用可能

バックアップ&8MBフラッシュモジュール



株式会社ハギワラシスコム
<http://www.hscjpn.co.jp/>
 オープンプライス (¥1万2000 円)
 対応機種：Visor
 メモリー内容のバックアップ・復元が可能なバックアップモジュールと、8メガバイトのフラッシュモジュール機能を装備した拡張モジュール

iTAX-ADTYPE1



加賀電子株式会社
<http://www.taxan.co.jp/>
 オープンプライス (¥4980 円)
 対応機種：Visor
 CFメモリーカード用アダプターモジュール。VisorとCFカード間で、ファイル交換を行うソフト「FAFileMover」が付属する

MemPlug SD/MMC



株式会社アスク
<http://www.ask-corp.co.jp/>
 オープンプライス (¥1万1000 円)
 対応機種：Visorシリーズ
 SDカードおよびMMC(マルチメディアカード)を利用するためのアダプター。メモリースティック、スマートメディア、CF用もある

iTAX-GPSVSR



加賀電子株式会社
<http://www.taxan.co.jp/>
 オープンプライス (¥2万4800 円)
 対応機種：Visor
 GPS衛星から得た位置情報を受信し、自分の位置を表示できる。地図ソフト「GNAVIX」の試用版が付属する(Windows版のみ)

GlueLocation



株式会社グルーエージェント
<http://www.gluegent.com/>
 オープンプライス (¥3万9800 円)
 対応機種：Visor
 モデムとフラッシュメモリーを内蔵したGPS受信モジュール。地図情報を記録できる。日本全国の地図を収録したCD-ROMが付属

SoundsGood



株式会社エム・ディ・エス
<http://www.mds2000.co.jp/>
 オープンプライス (¥2万4800 円)
 対応機種：Visor
 スプリングボードモジュール型MP3プレーヤー。データ転送はクレードル経由で行う(専用ユーティリティはWindows版のみ)

Beat Plus



株式会社ハギワラシスコム
<http://www.hscjpn.co.jp/>
 オープンプライス (¥7980 円)
 対応機種：Visor
 スピーカー内蔵FM音源モジュール。対応ソフトで高音質な音楽や効果音が再生できる。シューティングゲーム「Zapl 2016」が付属

STEP KEEPER 株式会社ハギワラシスコム	http://www.hscjpn.co.jp/ オープンプライス (¥4980 円) 対応機種：Visor 腰につけて歩数をチェックできる	SnapConnect for Visor 株式会社アイ・オー・データ機器	http://www.iodata.co.jp/ ¥1万9800 円 対応機種：Visor 携帯電話・PHSによるデータ通信が可能
iTAX-Flash 加賀電子株式会社	http://www.taxan.co.jp/ オープンプライス (¥5980 円) 対応機種：Visor コンパクトフラッシュを利用できる	my-Vox 株式会社エム・ディ・エス	http://www.mds2000.co.jp/ オープンプライス (¥8980 円) 対応機種：Visor 最大8分、99件のメモを音声録音できる
iTAX-CFAD 加賀電子株式会社	http://www.taxan.co.jp/ オープンプライス (¥5800 円) 対応機種：Visor コンパクトフラッシュ型PHSを接続できる	MiniJam 株式会社エム・ディ・エス	http://www.mds2000.co.jp/ オープンプライス (¥2万5800 円(32MB) ¥3万2800 円(64MB)) 対応機種：Visor スプリングボードモジュール型MP3プレーヤー
eyemodule2 株式会社エム・ディ・エス	http://www.mds2000.co.jp/ オープンプライス (¥2万7800 円) 対応機種：Visor デジタルカメラモジュール	TaleLight for Visor 株式会社エム・ディ・エス	http://www.mds2000.co.jp/ オープンプライス (¥4800 円) 対応機種：Visor アラームにLEDライトを点滅

Visor用スプリングボードモジュールは生産を終了している場合があります。

周辺機器&ソフトカタログ

Key Board



ミニキーボード
(PEGA-KB20)

㊦ ソニーマーケティング㈱
 ㊧ <http://www.sony.co.jp/>
 ㊨ オープンプライス(¥4980円)
 対応機種: CLIE Tシリーズ、SJ30
 QWERTY配列の携帯型キーボード。4つのアプリケーションボタンのほか、ホームなどのシルクボタンもキーとして配列されている

Palm Computing ポータブルキーボード



㊦ パーム コンピューティング㈱
 ㊧ <http://www.palm-japan.com/>
 ㊨ 1万2800円
 対応機種: Palm Vx、m100、WorkPad c3(50J)
 折り畳み式キーボード。専用ドッキングクレードルと接続する。日本語入力プログラム「ATOK Pocket」が付属

Logo Top PDA Keyboard



㊦ マックレットドットコム㈱ ㊧ <http://www.maclet.com/>
 ㊨ 6380円(CLIE用)5980円(Visor用)
 対応機種: CLIE PEG-S300 / S500C / N700C / N600 (CLIE用) Visor Deluxe / Platinum / Prism(Visor用)
 幅180×高さ20.5×奥行き95mmのコンパクトなサイズながら、キーピッチ3.4ミリ、キーストローク1.5ミリを実現したキーボード

Accessory for CLIE

ワイヤレスLANカード



㊦ ソニーマーケティング㈱
 ㊧ <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 ㊨ オープンプライス(¥1万4800円)
 対応機種: CLIE NXシリーズ
 CLIE NXシリーズで無線LANに接続するためのCFカード(Type Ⅰ)。ネットワーク上のパソコンと無線でHotSyncが可能

スピーカークレードル



㊦ ソニーマーケティング㈱
 ㊧ <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 ㊨ オープンプライス(¥9800円)
 CLIE NXシリーズ
 スピーカー内蔵のUSBクレードル。CLIE T / NRシリーズでは、ヘッドホンジャックと接続して音楽再生が可能(接続コードは別売)

バッテリーアダプター



㊦ ソニーマーケティング㈱
 ㊧ <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 ㊨ オープンプライス(¥3800円)
 対応機種: CLIE T / NR / NXシリーズ、SJ30
 単3形乾電池4本でCLIEを充電するアダプター。アルカリ乾電池、ニッケル水素電池、ニッケル充電電池に対応する

オーディオアダプター
(PEGA-SA500)



㊦ ソニーマーケティング㈱
 ㊧ <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 ㊨ オープンプライス(¥1万2800円)
 対応機種: CLIE N / Sシリーズ
 音楽再生機能を搭載しないCLIE用のオーディオアダプター。MP3形式の音楽データに対応。ヘッドホン、専用リモコンが付属する

オーディオアダプター
(PEGA-SA10)



㊦ ソニーマーケティング㈱
 ㊧ <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 ㊨ オープンプライス(¥1万2800円)
 対応機種: CLIE Tシリーズ、SJ30
 CLIE Tシリーズで、音楽のリスニングを可能にするオーディオアダプター。MP3形式の音楽データに対応する。ヘッドホン、リモコンが付属

ゲームコントローラー



㊦ ソニーマーケティング㈱
 ㊧ <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 ㊨ オープンプライス(¥3900円)
 対応機種: CLIE T / NR / NXシリーズ、SJ30
 CLIE用ゲームコントローラー。ドライバーの設定で、各ボタンにハードキーを割り当てられる。(株セガのゲーム「コラムス」が付属)

カメラモジュール



㊦ ソニーマーケティング㈱ ㊧ <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 ㊨ オープンプライス(¥1万4800円)
 対応機種: CLIE N(N700C は要 OS 4.1 アップグレード) / T / NRシリーズ、SJ30
 メモリースティックスロット用カメラモジュール。10万画素CMOSイメージセンサーを搭載。画像を「CLIE Mail」に添付できる

カーバッテリーアダプター



㊦ ソニーマーケティング㈱
 ㊧ <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 ㊨ オープンプライス(¥4900円)
 対応機種: CLIE T / NR / NXシリーズ、SJ30
 車のシガーライターソケットを使ってCLIEを充電するためのアダプター。USBクレードルや通信アダプターに接続することも可能

GPSモジュール



㊦ ソニーマーケティング㈱
 ㊧ <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
 ㊨ オープンプライス(¥1万9800円前後)
 対応機種: CLIE N / T / NR / NXシリーズ、SJ30
 デジタルマップ上に現在位置などの情報を表示できるGPSモジュール。経度や緯度、目的地までの直線方向の表示なども可能

Soft

The Missing Sync 3.0



■ ネオスコーポレーション(株) <http://www.neoscorp.co.jp/>
 価格 3980 円
 対応機種: CLIE N(N700Cは要 OS 4.1 アップグレード) / T / NR / NXシリーズ、SJ30
 マックでCLIEとHotSyncできるドライバー。メモリースティックをマウント可能。マックOS XおよびPalm Desktop 4.0以上で動作

Power RUN 1.1



■ (株)オルジェ <http://www.oruge.co.jp/>
 価格 オープンプライス (¥2980 円)
 対応機種: Palm OS 3.1以上。VFS Manager 要搭載
 外部メモリーに保存したソフトを本体メモリーにあるソフトのように起動できるソフト。本体から外部メモリーへの移動も簡単

Documents To Go Pro 5 プレミアムエディション



■ エクセルソフト(株) <http://www.xlssoft.com/>
 価格 オープンプライス (¥7000 円、ダウンロード版は6480 円)
 対応機種: 日本語版 Palm OS 3.1 以上
 Microsoft Word / Excel / PowerPointのファイルをPalmで閲覧 / 編集するためのソフト。CLIE NXシリーズにも対応する

NS Basic / Palm 3.0



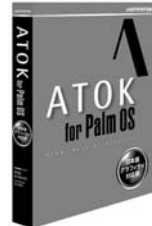
■ (株)日本トラストテクノロジー / (有)メディア <http://www.jtt.ne.jp/> <http://www19.big.or.jp/~media>
 価格 オープンプライス (¥1万9200 円)
 対応OS: ウィンドウズ95 / 98 / NT / 2000
 BASIC言語でPalmウェアを作成するための開発環境ソフトウェア。作成したPalmウェアはライセンス料フリーで配布できる

Intellisync For Palm 3.7J



■ プーマテックジャパン(株) <http://www.pumatech.co.jp/>
 価格 9800 円
 対応機種: 日本語Palm OSを搭載した機種
 パソコン上のスケジュール、アドレス帳、メール、仕事リスト、メモ帳などのデータをボタンひとつでPalmとシンクロン化できる

ATOK for Palm OS 日本語グラフィティ対応版



■ (株)ジャストシステム <http://www.justsystem.co.jp/>
 価格 6800 円
 対応システム: 日本語版 Palm OS 3.1 以上
 ひらがなや漢字を手書きで入力できる日本語入力ソフト。Palm OS 5専用版が、'02年11月に発売された

CodeWarrior for Palm OS Platform 日本語バージョン8



■ メトロワークス(株) <http://www.metroworks.co.jp/>
 価格 4万9800 円、1万9800 円 (アカデミック版)
 対応OS: ウィンドウズ98 / Me / NT 4.0 / 2000 / XP / マックOS 8.6 / 9.x / X (クラシック環境のみ)
 C / C++ 対応のPalm OS用アプリケーション開発ツール

Palm 辞スバ 統合辞書



■ (株)学習研究社 <http://www.three-a.co.jp/products/palm/>
 価格 5800 円
 対応機種: 日本語Palm OS 3.1 以上を搭載した機種
 国語・漢和・英和・和英の辞書ソフト。メモリースティック、SDカード、スプリングボードモジュールなどに対応

三省堂版デイリーコンサイス 英和・和英・国語辞典



■ (株)日本トラストテクノロジー <http://www.jtt.ne.jp/>
 価格 オープンプライス (¥7800 円)
 対応機種: Palm OS 4.0以上のSD/MMCカードスロットを搭載した機種
 英和・和英・国語それぞれ約7万語を収録した統合型辞書ソフト。検索履歴の一覧表示や、解説文中の文字列に対する再検索もできる

プロアトラスW



■ (株)アルプス社 <http://www.alpsmap.co.jp/>
 価格 1万4800 円 (全国版DVD-ROM/CD-ROM) 6800 円 (各地域版)
 対応機種: ウィンドウズ98 / 98SE / Me / 2000 / XP / NT 4.0、マックOS 9、マックOS X 10.1 (Classic環境)
 都道府県別にインストール可能な地図ソフト。地図を切り出して、専用ビューアー「プロアトラスLitePDA」(無償)で表示できる

極楽ひら



■ (株)日本トラストテクノロジー <http://www.jtt.ne.jp/>
 価格 オープンプライス (¥3900 円)
 対応機種: Palm OS 3.1 以上 (Palm OS 4.0 推奨)
 ひらがな認識と連文節変換機能を持つ日本語入力ソフト。グラフィティエリアにひらがなを直接入力でき、長文も一度で漢字変換が可能

極楽ペン



■ (株)エム・ディ・エス <http://www.mds2000.co.jp/>
 価格 オープンプライス (¥2980 円)
 対応機種: Palm OS 3.1 以上を搭載した機種
 手書き文字認識ソフト。文字入力枠を2個装備して、続け字、悪字、くせ字などの認識率が飛躍的に向上した

Palm デバイスカタログ

ソニー(株)

http://www.sony.co.jp/CLIE/



CLIE PEG-SJ30
 〇 オープンプライス (税 2万 9800 円)
 IB W

高さ 104 ミリ
 厚さ 16.8 ミリ
 重さ 139 グラム

T シリーズよりも高さが 14 ミリ 小さくなった。本体のスペックは T600C とほぼ同じ。HotSync クレードルは別売りだ

日本語版 Palm OS 4.1 DragonBall VZ 33MHz
 高さ 104 ミリは CLIE 最小



CLIE PEG-T650C
 〇 オープンプライス (税 3万 9800 円)
 PB W

高さ 118 ミリ
 厚さ 12.5 ミリ
 重さ 140 グラム

CLIE T シリーズに音楽再生機能を追加したモデル。さらに高速な CPU (DragonBall Super VZ 66MHz) を搭載

日本語版 Palm OS 4.1 DragonBall Super VZ 66MHz
 音楽再生機能



CLIE PEG-NR70V
 〇 オープンプライス (税 5万 9800 円)
 PB W

高さ 136.6 ミリ
 厚さ 16.7 ミリ
 重さ 200 グラム

デジカメ機能 (10 万画素 CMOS) DragonBall Super VZ 66MHz、回転式の縦型ワイド液晶、キーボードを内蔵する

日本語版 Palm OS 4.1 DragonBall Super VZ 66MHz
 音楽再生機能 回転カメラ搭載



CLIE PEG-NR70
 〇 オープンプライス (税 4万 9800 円)
 PB W

高さ 136.6 ミリ
 厚さ 16.7 ミリ
 重さ 200 グラム

回転式の解像度 320 × 480 ドットの縦型ワイド液晶を搭載。さらに本体にキーボードを内蔵し、音楽再生機能も搭載。

日本語版 Palm OS 4.1 DragonBall Super VZ 66MHz
 音楽再生機能 回転式ディスプレイ



CLIE PEG-T600C
 〇 オープンプライス (税 3万 9800 円)
 PB W

高さ 118 ミリ
 厚さ 12.5 ミリ
 重さ 138 グラム

厚さ 12.5 ミリ、重さ 138 グラムとカラー機種の中では、最も薄型で軽量。高解像度で 6 万 5536 色表示が可能

日本語版 Palm OS 4.1 DragonBall VZ 33MHz
 本体の重さが 138 グラムと軽量



CLIE PEG-T400
 〇 オープンプライス (税 2万 9800 円)
 M PB W

高さ 118 ミリ
 厚さ 9.9 ミリ
 重さ 122 グラム

厚さ 9.9 ミリと現行機種の中では最も薄く、軽量。モノクロ初の解像度 320 × 320 ドットを実現する

日本語版 Palm OS 4.1 DragonBall VZ 33MHz
 現行機種の中で最薄・最軽量



CLIE PEG-N750C
 〇 オープンプライス (税 4万 9800 円)
 PB W

高さ 118.5 ミリ
 厚さ 16.8 ミリ
 重さ 160 グラム

ATRAC3 / MP3 音楽再生機能を搭載。解像度 320 × 320 ドット、6 万 5536 色表示が可能

日本語版 Palm OS 4.1 DragonBall VZ 33MHz
 音楽再生機能が充実



CLIE PEG-N700C
 〇 オープンプライス (税 4万 4800 円)
 PB W

高さ 118.5 ミリ
 厚さ 16.8 ミリ
 重さ 160 グラム

解像度 320 × 320 ドットの高解像度表示。内蔵の音楽再生ソフトで連続再生約 11 時間を実現

日本語版 Palm OS 3.5 DragonBall VZ 33MHz
 音楽再生機能が充実



CLIE PEG-N600C
 〇 オープンプライス (税 3万 9800 円)
 PB W

高さ 118.5 ミリ
 厚さ 16.8 ミリ
 重さ 160 グラム

USB に完全対応したため、HotSync のスピードアップが図られた。解像度 320 × 320 ドット、6 万 5536 色表示が可能

日本語版 Palm OS 4.0 DragonBall VZ 33MHz
 フロントライト付きカラー液晶

モノクロ16階調	リチウムイオンバッテリー	ウィンドウズ対応
カラー液晶	リチウムポリマーバッテリー	ウィンドウズ マック両対応
	単4乾電池	

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
CLIE PEG-SJ30	Palm OS 4.1 日本語版 Motorola DragonBall Super VZ(33MHz) 320 x 320 ドット 半透過型 TFT カラー液晶(6万5536色)	16MB(DRAM) / 8MB(フラッシュROM) / メモリースティックスロット USB	リチウムイオンバッテリー 約12日間 パーリシルバー アルミ	HotSyncケーブル、ACアダプター、 スタイラス、ソフトカバー、 通信 / プラグアダプターアタッチメント	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Documents To Go、ATOK、Kinoma Player、 Pook、Pook用コンテンツ(お試し版)、 ゲーム3種(ZANAC、PSol Liteなど)
CLIE PEG-T650C	日本語版 Palm OS 4.1 Motorola DragonBall Super VZ(66MHz) 320 x 320 ドット 半透過型 TFT カラー液晶(6万5536色)	16MB(DRAM) / 8MB(フラッシュROM) / メモリースティックスロット USB	リチウムイオンポリマーバッテリー 約10日 シルバー アルミ	HotSyncクレードル(USB)、ACアダプター、 スタイラス、ステレオヘッドホン、 リモートコントローラー	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Documents To Go、Audio Player、 SonicStage LE、ATOK、Xiino、Xiino Cruiser、 gMovie、CLIE Mail
CLIE PEG-NR70V	日本語版 Palm OS 4.1 Motorola DragonBall Super VZ(66MHz) 480 x 320 ドット 半透過型 TFT カラー液晶(6万5536色)	16MB(DRAM) / 10MB(フラッシュROM) / メモリースティックスロット USB	リチウムイオンポリマーバッテリー 約10日 サテンシルバー マグネシウム	HotSyncクレードル(USB)、ACアダプター、 スタイラス、ステレオヘッドホン、 リモートコントローラー	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Documents To Go、Audio Player、 SonicStage LE、ATOK、Xiino、Xiino Cruiser、 gMovie、CLIE Mail
CLIE PEG-NR70	日本語版 Palm OS 4.1 Motorola DragonBall Super VZ(66MHz) 480 x 320 ドット 半透過型 TFT カラー液晶(6万5536色)	16MB(DRAM) / 10MB(フラッシュROM) / メモリースティックスロット USB	リチウムイオンポリマーバッテリー 約10日 サテンシルバー マグネシウム	HotSyncクレードル(USB)、ACアダプター、 スタイラス、ステレオヘッドホン、 リモートコントローラー	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Documents To Go、Audio Player、 SonicStage LE、ATOK、Xiino、Xiino Cruiser、 gMovie、CLIE Mail
CLIE PEG-T600C	日本語版 Palm OS 4.1 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 320 x 320 ドット 半透過型 TFT カラー液晶(6万5536色)	16MB(DRAM) / 8MB(フラッシュROM) / メモリースティックスロット USB	リチウムイオンポリマーバッテリー 約12日 ロイヤルブルー、サテンシルバー アルミ	HotSyncクレードル(USB)、ACアダプター、 ソフトカバー、スタイラス ACコード	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Documents To Go、Remote Commander、 PictureGear Pocket、CLIE Paint、Sound Utility、 Navin'You Pocket、TVscape、Xiino
CLIE PEG-T400	日本語版 Palm OS 4.1 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 320 x 320 ドット モノクロ16階調	8MB(DRAM) / 8MB(フラッシュROM) / メモリースティックスロット USB	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 サテンシルバー、リミテッドブラック アルミ	HotSyncクレードル(USB)、ACアダプター、 ソフトカバー、スタイラス、 ACコード	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Documents To Go、Remote Commander、 PictureGear Pocket、CLIE Paint、Sound Utility、 Navin'You Pocket、TVscape、Xiino
CLIE PEG-N750C	日本語版 Palm OS 4.1 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 320 x 320 ドット 反射型 TFT カラー液晶(6万5000色)	8MB(RAM) / 8MB(フラッシュROM) / メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 サテンシルバー アルミ	HotSyncクレードル(USB)、ACアダプター、 ヘッドホン、リモートコントローラー、 ソフトカバー、トップカバー、スタイラス	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Audio Player、PictureGear Pocket、 Memory Stick Gate、ATOK Pocket、 Palmscape、Xiino、Real Jukebox
CLIE PEG-N700C	日本語版 Palm OS 3.5 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 320 x 320 ドット 反射型 TFT カラー液晶(256色)	8MB(RAM) / 8MB(フラッシュROM) / メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 サテンシルバー アルミ	HotSyncクレードル(USB)、ACアダプター、 ヘッドホン、リモートコントローラー、 ソフトカバー、スタイラス	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Audio Player、PictureGear Pocket、 Memory Stick Gate、ATOK Pocket、 Palmscape、OpenMG Jukebox
CLIE PEG-N600C	日本語版 Palm OS 4.0 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 320 x 320 ドット 反射型 TFT カラー液晶(6万5536色)	8MB(RAM) / 8MB(フラッシュROM) / メモリースティックスロット	リチウムイオンポリマーバッテリー 約15日 ラズダーパープル、サテンシルバー アルミ	HotSyncクレードル(USB)、ACアダプター、 ソフトカバー、スタイラス、 トップカバー	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) ATOK Pocket、gMovie、 Xiino、Navin'You Pocket、 PictureGear Pocket

(株)エム・ディ・エス ☎ 03-3834-5250 <http://www.mds2000.co.jp/> / **(株)アスク** ☎ 03-5215-5650 <http://www.ask-corp.co.jp/>



HandEra 330

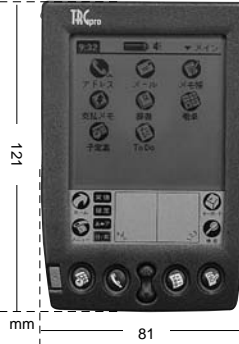
価格 4万9800円



- Palm OS 3.52
- DragonBall VZ 33MHz
- SD / CF カードスロット搭載
- 240 x 320 ドットの16階調液晶

SD / CF ダブルスロットとバーチャルグラフィティエリアを持つ240 x 320ドットの液晶ディスプレイが特徴。ジョグボールを採用しており、OSは英語版

厚さ17ミリ 重さ167グラム(単4電池使用時)



TRGpro

価格 オープンブライズ (税3万9800円)



- 日本語版 Palm OS 3.51
- DragonBall EZ 16MHz
- CF カードスロット搭載
- マイクロドライブやP-in Comp@ctを装着可能

CF カードスロットを搭載しているため、容量の大きいアプリケーションやデータファイルをCFカードやマイクロドライブに一時的に退避させることが可能

厚さ20ミリ 重さ165グラム

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
HandEra 330	Palm OS 3.52 DragonBall VZ(33MHz) 240 x 320 ドット モノクロ16階調	8MB(DRAM) / 2MB(フラッシュROM) / SD/CFカードスロット	単4形乾電池×4本 リチウムイオンバッテリー(別売) シルバー プラスチック	HotSyncクレードル(シリアル)、 ACアダプター、スタイラス、 フリップカバー、 SD / CFカードスロットカバー	Palm Desktop英語版、 CardPro、Backup、 Pocket Mirror、QuickOffice
TRGpro	日本語版 Palm OS 3.5.1 Motorola DragonBall EZ(16MHz) 160 x 160 ドット モノクロ16階調	8MB(RAM) / 4MB(フラッシュROM) / CFカードスロット	単4形乾電池×2本 約2カ月 グレー プラスチック	HotSyncクレードル(シリアル)、 フリップカバー、スタイラス	Palm Desktop英語版、 CFPro、CFBackup、FlashPro

Palm デバイスカタログ

パーム コンピューティング(株)

☎ 0120-564-380

http://www.palm-japan.com/

 <p>Palm m130 〇オープンブライズ (¥2万1800円) IB WM SD / MMCスロット、ユニバーサルコネクタ、カラー液晶を搭載、Palm OS 4.1のコンシューマーモデル 厚さ22ミリ 重さ153.1グラム</p> <p>日本語版 Palm OS 4.1 ユニバーサルコネクタ</p>	 <p>Palm m515 〇オープンブライズ (¥3万4800円) CPB WM m505をベースに、メモリーが16MBに増量され、液晶画面はより明るくなった。ATOK for Palmなどが付属 厚さ13ミリ 重さ139グラム</p> <p>日本語版 Palm OS 4.1 ユニバーサルコネクタ</p>	 <p>Palm m505 〇オープンブライズ (¥3万4800円) CPB WM カラー液晶を搭載した厚さ13ミリのスリムなPalmデバイス。Palm OS 4.0を搭載し、パソコンとはUSBで接続 厚さ13ミリ 重さ139グラム</p> <p>日本語版 Palm OS 4.0 ユニバーサルコネクタ</p>	 <p>Palm m500 〇オープンブライズ (¥2万4800円) MPB WM 基本仕様はm505と同じだが、液晶ディスプレイにモノクロ16階調を採用。本体重量は113グラムと軽量 厚さ10ミリ 重さ113グラム</p> <p>日本語版 Palm OS 4.0 ユニバーサルコネクタ</p>
 <p>Palm Vx 〇1万2800円 (キャンペーンブライズ) IB WM モノクロ液晶の厚さわずか10ミリの薄型機種。Palm OS 3.5を搭載し、付属のクレードルはシリアル接続 厚さ10ミリ 重さ113グラム</p> <p>日本語版 Palm OS 3.5 DragonBall EZ 20MHz</p>	 <p>Palm IIIc 〇1万2800円 (キャンペーンブライズ) IB WM シリアル端子はロングセラー機種だったシリーズと共通なので、オプションで販売されている周辺機器の数が豊富 厚さ17ミリ 重さ193グラム</p> <p>日本語版 Palm OS 3.5.1 DragonBall EZ 20MHz</p>	 <p>Palm m105 〇9800円 (キャンペーンブライズ) M 4 WM 基本的な仕様はm100と同等だが、内蔵メモリーが8MBになり、別売りだったクレードルが標準で付属する 厚さ18ミリ 重さ137グラム</p> <p>日本語版 Palm OS 3.5.1 DragonBall EZ 16MHz</p>	 <p>Palm m100 〇4800円 (キャンペーンブライズ) M 4 WM ボディーは、樹脂製で液晶ディスプレイを保護するカバー付き。フェースプレートとの交換でカスタマイズが可能 厚さ18ミリ 重さ137グラム</p> <p>日本語版 Palm OS 3.5 DragonBall EZ 16MHz</p>

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディーカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
Palm m130	日本語版 Palm OS 4.1 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 160 x 160ドット 反射型TFTカラー液晶(5万8621色)	8MB(RAM) 4MB(フラッシュROM) SD/MMCカードスロット	リチウムイオンバッテリー 約1週間 シルバー&紺のツートン プラスチック	HotSyncクレードル(USB、充電機能付き) スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版/マック版) Pocket Mirror、極楽ひら、 MGI Photosuite Mobile、 Document To Go 4 日本語版
Palm m515	日本語版 Palm OS 4.1 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 160 x 160ドット 反射型TFTカラー液晶(6万5000色)	16MB(RAM) 4MB(フラッシュROM) SD/MMCカードスロット	リチウムポリマーバッテリー 2週間 メタリックシルバー アルミ	HotSyncクレードル(USB、充電機能付き) スタイラスペン、保護カバー	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版/マック版) ATOK for Palm、Pocket Mirror、 MGI Photosuite Mobile、MultiMail SE、 Documents To Go 4 日本語版
Palm m505	日本語版 Palm OS 4.0 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 160 x 160ドット 反射型TFTカラー液晶(6万5000色)	8MB(RAM) 4MB(フラッシュROM) SD/MMCカードスロット	リチウムポリマーバッテリー 20日間 メタリックシルバー アルミ	HotSyncクレードル(USB、充電機能付き) スタイラスペン、保護カバー	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版/マック版) ATOK for Palm、Pocket Mirror、 MGI Photosuite Mobile、Pocket Mirror、 Document To Go 4 日本語版
Palm m500	日本語版 Palm OS 4.0 Motorola DragonBall VZ(33MHz) 160 x 160ドット モノクロ16階調	8MB(RAM) 4MB(フラッシュROM) SD/MMCカードスロット	リチウムポリマーバッテリー 4週間 メタリックシルバー アルミ	HotSyncクレードル(USB、充電機能付き) スタイラスペン、保護カバー	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版/マック版) 手書きメモ、クロック、MultiMail SE、 MGI Photosuite Mobile、Pocket Mirror、 Document To Go 4 日本語版
Palm Vx	日本語版 Palm OS 3.5 Motorola DragonBall EZ(20MHz) 160 x 160ドット モノクロ16階調	8MB(RAM) 4MB(フラッシュROM)	リチウムイオンバッテリー 約2週間 シルバー アルミ	HotSyncクレードル(充電器兼用) 革製カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版/マック版)
Palm IIIc	日本語版 Palm OS 3.5 Motorola DragonBall EZ(20MHz) 160 x 160ドット 256色カラー	8MB(RAM) 4MB(フラッシュROM)	リチウムイオンバッテリー 約2週間 ブラック プラスチック	HotSyncクレードル(充電器兼用) カバー、スタイラスペン、 マック用シリアルアダプター	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版/マック版) Album To Go、Chroma Gammon(ともに英語版)
Palm m105	日本語版 Palm OS 3.5.1 Motorola DragonBall EZ(16MHz) 160 x 160ドット モノクロ16階調	8MB(RAM) 4MB(フラッシュROM)	単4形乾電池 x 2本 約2カ月 ブラック プラスチック	HotSyncクレードル、スタイラスペン、 マック用シリアルアダプター、	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版/マック版) 手書きメモ、クロック
Palm m100	日本語版 Palm OS 3.5 Motorola DragonBall EZ(16MHz) 160 x 160ドット モノクロ16階調	2MB(RAM) 4MB(フラッシュROM)	単4形乾電池 x 2本 約2カ月 ブラック プラスチック	HotSyncケーブル、スタイラスペン、 マック用シリアルアダプター、	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版/マック版) 手書きメモ、クロック

モノクロ16階調	リチウムイオンバッテリー	ウィンドウズ対応
カラー液晶	リチウムポリマーバッテリー	ウィンドウズ マック両対応
	単4乾電池	

HANDSPRING(株) ☎ 045-339-1605 http://www.handspring.co.jp/

Visor Edge



■ オープンブライズ (奥 1万2800円)
 「エッジコネクタ」と呼ばれる拡張端子を採用し、高い拡張性を残しつつ、わずか11ミリの厚さを実現した

厚さ11ミリ 重さ136グラム

日本語版 Palm OS 3.5.2H
 「エッジコネクタ」を搭載

Visor Prism

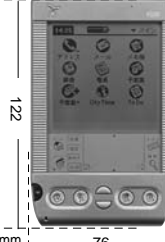


■ オープンブライズ (奥 2万4800円)
 Visorシリーズ唯一のカラー液晶搭載モデル。最大解像度160×160ドット、6万5536色の表示が可能

厚さ20ミリ 重さ196グラム

日本語版 Palm OS 3.5.2H
 カラー液晶

Visor Platinum



■ オープンブライズ (奥 1万4800円)
 33MHzの高速CPUでモノクロ画面を駆動するため、高速な画面表示が可能。USB接続のクレードルが付属

厚さ18ミリ 重さ153グラム

日本語版 Palm OS 3.5.2H
 DragonBall VZ 33MHz

Visor Deluxe



■ オープンブライズ (奥 9800円)
 カラフルな5色のスケルトンボディから選べるのが特徴。低価格でありながら8MBのメモリーを搭載する

厚さ18ミリ 重さ153グラム

日本語版 Palm OS 3.5.1H
 5色のボディカラー

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
Visor Edge	日本語版 Palm OS 3.5.2H Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160×160ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) エッジコネクタ	リチウムイオンバッテリー 約4週間 / メタリックシルバー、 メタリックブルー、 メタリックレッド / アルミ	HotSyncクレードル(USB、充電機能付き) メタルフリップカバー、スプリングボードスロット、 メタルスタイラスペン、 ACアダプター、エッジコネクタアダ	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版、マック版) ATOK Pocket、Palmscape、Palmscape Mail、 Handspring Photo Album
Visor Prism	日本語版 Palm OS 3.5.2H Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160×160ドット 透過型TFTカラー液晶(6万5536色)	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) スプリングボードスロット	リチウムイオンバッテリー 約2週間 コバルトブルー プラスチック	HotSyncクレードル(USB、充電機能付き) レザーケース、スタイラスペン、 ACアダプター	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版、マック版) ATOK Pocket、Palmscape、Palmscape Mail、 Handspring Photo Album
Visor Platinum	日本語版 Palm OS 3.5.2H Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160×160ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) スプリングボードスロット	単4形乾電池×2本 約2カ月 メタリックシルバー プラスチック	HotSyncクレードル(USB) レザーケース、スタイラスペン、 スナップカバー、スリッパケース	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版、マック版) ATOK Pocket、Palmscape、Palmscape Mail、 Handspring Photo Album
Visor Deluxe	日本語版 Palm OS 3.1 H2 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160×160ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (マスクROM) スプリングボードスロット	単4形乾電池×2本 約2カ月 / アイス、グラファイト、 ブルー、グリーン、オレンジ / プラスチック	HotSyncクレードル(USB) カバー、ソフトケース、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版、マック版)

日本アイ・ビー・エム(株) ☎ 0120-80-4545 http://www-6.ibm.com/jp/pc/workpad/

WorkPad c505

(8602-70J)



■ オープンブライズ (奥 4万9800円)
 日本語版 Palm OS 4.0
 DragonBall VZ 33MHz
 ユニバーサルコネクタ
 SD / MMCカード
 スロット搭載

厚さ13ミリ 重さ139グラム

Palm OS 4.0搭載。SD / MMCカードスロット、6万5536色表示と基本仕様はPalm m505と同等。付属ソフトはビジネス向けのものが用意されている

WorkPad c3

(8602-50J)



■ オープンブライズ (奥 8980円)
 日本語版 Palm OS 3.5
 DragonBall EZ 20MHz
 ユニバーサルコネクタ

厚さ11.5ミリ 重さ119グラム

Palm OS 3.5搭載。モノクロ16階調表示、リチウムイオンバッテリーと基本仕様はPalm Vxと同等。付属ソフトはビジネス向けのものが用意されている

WorkPad

(8602-31J)



■ オープンブライズ (奥 3万4900円)
 日本語版 Palm OS 3.1
 DragonBall EZ 16MHz
 PHSモジュール内蔵

厚さ18ミリ 重さ182グラム

本体にPHSモジュールを内蔵しているため、付属の通信ソフトをインストールするだけで、インターネットが使用できる(※アステルまたはNTTドコモとの契約が必要)

製品名	OS / CPU / 解像度 / 色数	メモリー容量 / 拡張スロット	電源 / バッテリー寿命 / ボディカラー / 材質	主な付属品	主な付属ソフト
WorkPad c505 (8602-70J)	日本語版 Palm OS 4.0 Motorola DragonBall VZ (33MHz) 160×160ドット 反射型TFTカラー液晶(6万5000色)	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM) SD / MMCカードスロット	リチウムポリマーバッテリー 約2週間 ブラック アルミ	HotSyncクレードル(充電器兼用) ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版、 Satellite Forms ランタイムモジュール、 Intellisync for IBM WorkPad
WorkPad c3 (8602-50J)	日本語版 Palm OS 3.5 Motorola DragonBall EZ (20MHz) 160×160ドット モノクロ16階調	8MB (RAM) 4MB (フラッシュROM)	リチウムイオンバッテリー 約2週間 ブラック アルミ	HotSyncクレードル(充電器兼用) ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Lotus EasySync(ノーツ用) Palmscape for WorkPad、英和・和英辞書、 Jotmail for WorkPad
WorkPad (8602-31J)	日本語版 Palm OS 3.1 Motorola DragonBall EZ (16MHz) 160×160ドット モノクロ16階調	4MB (RAM) 2MB (フラッシュROM)	単4形乾電池×2本 約2週間 ブラック プラスチック	PHSユニット内蔵、 HotSyncクレードル(充電器兼用) ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版) Lotus EasySync(ノーツ用) Palmscape for WorkPad、英和・和英辞書、 Jotmail for WorkPad、MultiMail for WorkPad